
福島原発事故により放出された放射性核種の
環境動態に関する学術的研究

2409

平成 24 年度～平成 29 年度科学研究費助成事業
(科学研究費補助金)
(新学術領域研究(研究領域提案型))
研究成果報告書

平成 30 年 6 月

領域代表者 恩田 裕一
筑波大学 生命環境系教授

はじめに

平成 23 年 3 月 11 日の大地震および津波を契機として、東京電力福島第一原子力発電所の事故が発生した。原子炉施設から放出された放射性物質は、福島県とその周辺地域をはじめ、東日本の広域に飛散・沈着した。放射性物質による影響は、初期の気象条件や地形、地表面の被覆状態等により特異な分布を示した。その後、地表面に降り積もった放射性物質の再飛散や、放射性物質を吸着した土砂の移動にともなう河川、湖沼、海洋への移行、森林・農作物、陸域・海洋生物への移行が問題となり、短期予測や除染などの対策基盤策定のための調査から、長期予測を視野に入れた学術研究の必要性が高まっている。一方で、放出された放射性物質は大気の輸送拡散過程により全球に拡散しており、事故当時からどれほどの放射性物質が環境中に放出されたかを明らかにし、またその移行過程についての学問的知見を国際的に発信することが我が国の責務である（図 1）。

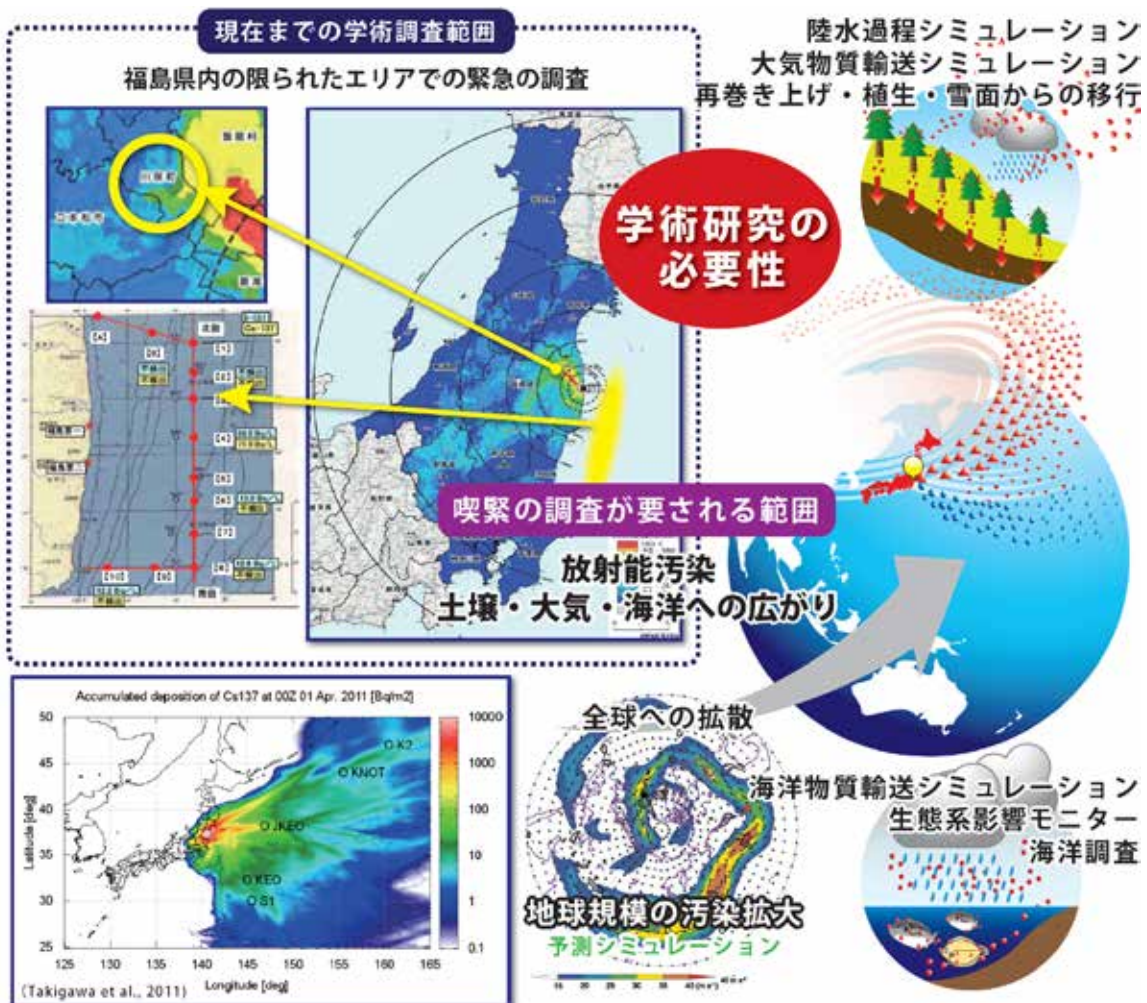


図 1 環境中の放射性物質移行の学術研究の必要性

本領域研究の目的は、オールジャパン体制で放射性物質の拡散・輸送・沈着・移行過程を同定し、その実態とメカニズムを解明すること、及びそれに基づいて長期的な汚染状況の予測と被ばく線量の低減化のための方策を提示することである。しかし、環境中に放出された放射性物質は、これまでに、大気・海洋・陸域での物理化学過程や生態系での移行・濃縮などの様々な移行が進行しているため、その影響や相互作用は多岐にわたる。そのため、この放射能汚染は、既存の学問分野の単独的な取り組みでは解決できない複合的で未曾有の問題であり、地球環境科学の多くの分野に放射化学や放射線計測技術の分野などを加えた、分野横断的で新しい学問領域を創設して取り組むことが必要である。さらに、化学の専門チームを備えた新領域を形成することにより、公募研究を含めた新たな分野を創生することに意義がある。

以上を踏まえて、本領域研究では、研究項目を4項目（**項目 A01** ~ **項目 A04**）に区分したうえで、各項目が協働で研究を深化させ、相互にフィードバックを図れるように8つの計画研究を設定した（図2）。

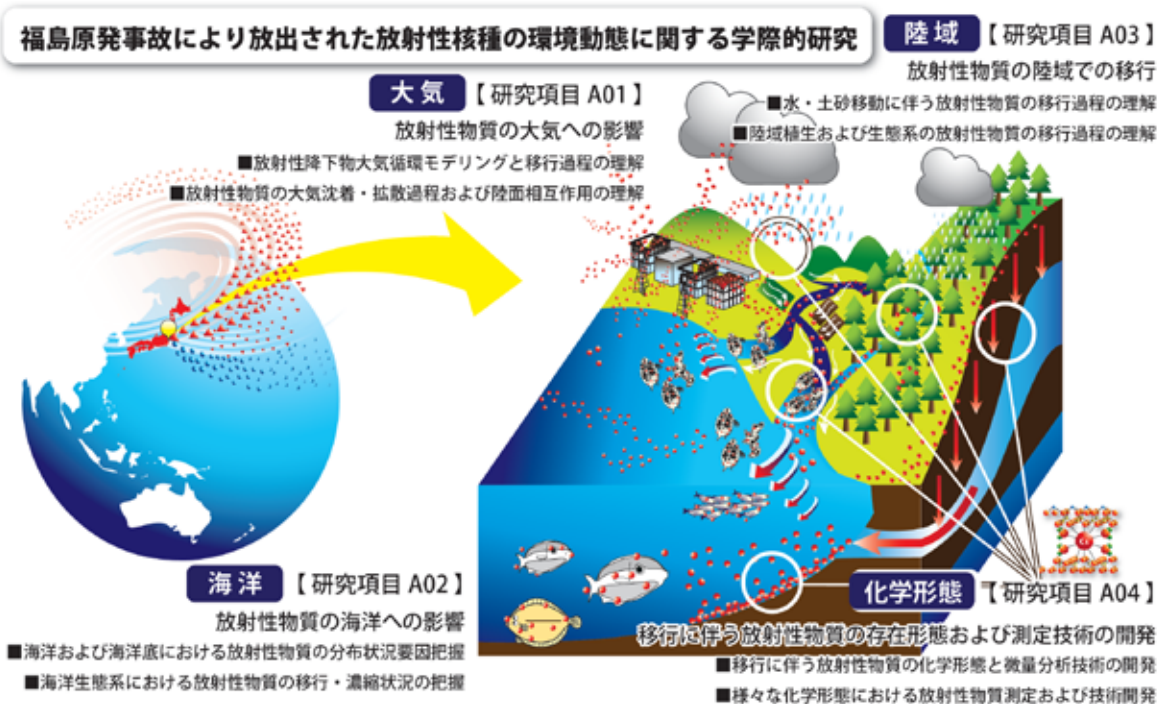


図2 本領域研究の研究体制

項目 A01では、放射性物質の大気中への影響に注目し、放射性物質の大気循環モデリングと拡散・沈着過程の解明により、大気—陸面相互作用の理解を目指す。**項目 A02**では、放射性物質の海洋への影響に着目し、海洋及び海洋底における放射性物質の分布状況と移行要因の把握、および海洋生態系への移行・濃縮状況の把握を目指す。**項目 A03**では、放射性物質の陸域での移行に着目し、水・土砂移動にともなう移行過程の理解と森林をはじめ

とする陸域生態系での放射性物質の移行・循環過程の理解を目指す。項目 A04 では、移行に伴う放射性物質の存在形態の解明および測定技術の開発に着目し、さまざまな化学形態における放射性物質測定技術の開発を目指す。

大気拡散モデルである SPEEDI は、原子力発電所からの放射性物質放出という緊急事態に、周辺環境への影響を迅速に予測するシステムとして備えられてきたが、その数値シミュレーション結果の学術研究利用における道筋は明らかでない。他方、汚染物質の全球大気拡散モデルは、国内の複数のモデルグループが有し、この度の事故にともなうシミュレーション結果を報告している。しかし、事故当初の原子炉からの放射能放出の時刻や規模、原発周辺の詳細な風向や降水等の気象条件が明らかでないことと、複雑な地形にともなう気流系・降水の正確な表現に至っていないため、従来の大気モデルでは、事故当時の地域的な放射性物質の降下の再現や長期的な予測は難しい。観測データとシミュレーション結果の比較による検討が必要である。

海洋についての観測データは圧倒的に少なく、特に大気経由の海洋への放出量については、大気輸送・沈着モデルと海洋中での分布・移行データの双方から解析することが必要である。さらに、水中の溶存態あるいは有機物等を介した海洋・淡水生物への移行・濃縮など、大気 - 土壌 - 河川 - 海洋での放射性物質の発生源や輸送経路、生態系循環への取り込みといった一連の移行過程を理解するには、地球環境科学の多くの分野に、放射化学や放射線計測技術分野などを加えた分野横断的な協力や連携無くしては解決出来ない。森林における放射能汚染に関しては、これまでの実態調査から、樹体に吸着した放射性物質は、雨水や落葉とともに徐々に地表に降下し、移行が開始していることがわかってきた。チェルノブイリの知見から、森林では約 1 年で放射性物質が樹体から土壌へと移行し、その後再び樹木に吸収されるという「循環」が始まる。こうした放射性物質の移行による環境の二次汚染の広がり、および農作物や飲料水への影響は、住民や産業に極めて深刻な被害を引き起こす。チェルノブイリ周辺と全く異なった地形・地質・気候環境における福島において、除染の優先順位や、山林のすそ野に住宅を建て、森林を生活圏の一部としてきた住民の今後の帰還を考える際、こうした放射性物質の移行を予測することが最重要課題である。

以上のように、この放射能汚染という問題は、各学問分野の単独的取組みでは解決できない複合的で未曾有の問題であるが、同時にその解決に向かい研究者が英知を結集させ、その我が国の学術的水準のさらなる向上につなげていくことは、科学者としての責務である。住民生活の安全確保に寄与し、さらに事故当時国としての責務を果たすためには、放射化学や放射線計測技術の分野などを加えた分野横断的で新しい学問領域を創設して取り組むことが不可欠である。また、福島原発事故およびその後の経過は世界の注目するところで、国外への情報発信が必要であり、それに加えてチェルノブイリ原発事故との関連においてヨーロッパを始めとした各国との国際的連携は問題解決を促進するものと考えられる。こうした一連の学際的で国際的な取り組みを深化していくことにより、今後の我が国における学際的研究への模範的事例を提示することができると思われる。とくに若手研究者の本領域

研究への参画を奨励し、経験を積ませることは、我が国における次世代の学術的水準を確実に向上させるものと信じる。

本領域研究を行うに当たって、代表者はこれまでの放射性物質の環境動態研究の経験、そして地球環境科学における学際的研究事業における経験を最大限に活用する。代表者はこれまでにグローバルフォールアウトによる¹³⁷Csの挙動を指標として土砂や水の移動を研究してきた経験があり、今回の事故に伴う政府系の緊急調査では、¹³⁷Csに関する長年の観測実績が、福島県の計画的避難地域の放射性物質が吸着した土壌や植生からの移行調査に活かされ、文部科学省への報告書の提出のほか、行政関係者にも指導的立場に立っている。これらの経験を活かし、計画研究班間の協働を深化させ、全体会議によるフィードバックをはかることにより、放射性物質の生態影響評価と将来予測を提示することを目指す。

研究組織

本領域研究では、研究項目を大まかに4項目(研究項目 A01-04)に区分したうえで、協働で各研究を進化させるとともに、相互にフィードバックを図れるように設定する。

以下に示すように、横断的なチームを立ち上げ、地球環境科学の関連分野の連合体を核として複数の関連異分野を取り込む構成によって、汚染状況の実態把握と放射性物質の移行・拡散過程のモデル化を図る。そして、さまざまな学際研究を通して、長期対策を要する科学的知見とモデル基盤を確立する。このように福島原発事故に伴う放射性核種の環境動態に関する学際研究を通じて、我が国の地球環境科学の学術水準を強化するとともに、社会への貢献を図る。

[総括班] 計画研究を総括するとともに、領域内の相互啓発と情報共有、国内外への情報発信、研究支援活動により研究班間の円滑な協働・相互フィードバックを促進する。

[研究項目 A01] 項目 A01：放射性物質の大気への影響に着目し、放射性降下物大気循環モデリングと大気沈着・拡散過程、陸面相互作用の理解を目指す。主に数値モデルを用いた放射性物質の湿性・乾性沈着量の推定・復元を担う大気物理班(A01-1 班)と陸面における一次放出プロセスの推定および二次放出プロセスの予測を担う大気陸面班(A01-2 班)から構成される。

[研究項目 A02] 項目 A02：放射性物質の海洋、海洋底における放射性物質の分布状況要因把握、および海洋生態系における放射性物質の移行・濃縮状況の把握を目指す。放射性物質の海洋への総放出量および海流による拡散・循環の解明を目指す海洋班(A02-3 班)と海洋生物への移行および循環プロセスの解明を目指す海洋生物班(A02-4 班)から構成される。

[研究項目 A03] 項目 A03：水・土砂移動に伴う放射性物質の移行過程、および、陸域植生、生態系の放射性物質の移行過程の理解を目指す。土壌侵食・河川など物理的な移行プロセスの解明を目指す陸域移行過程班(A03-5 班)と生物を介した拡散・循環プロセスの解明を目

指す陸域生態班 (A03-6 班) から構成される。

[研究項目 A04] 項目 A04 : 環境移行中の放射性物質測定技術開発および化学反応/素過程解明を目指す。環境試料に関する化学種の分析から放射性物質の挙動に影響を与える化学的因子の解明を目指す化学形態班 (A04-7 班) と移行に伴う放射性物質の存在形態および測定技術の開発を担う測定技術開発班 (A04-8 班) から構成される。



図3 研究組織図

総括班： 領域研究の支援・推進と統括

領域代表者

恩田裕一： A03-5 代表 (筑波大学・水文地形学)

中島映至： A01-1 代表（宇宙航空研究開発機構・第一衛星利用ミッション本部地球観測研究センター センター長）
五十嵐康人：A01-2 代表（気象研究所・大気エアロゾル学 第四研究室 室長）
山田正俊： A02-3 代表（弘前大学・海洋学 教授）
神田穰太： A02-4 代表（東京海洋大学・海洋生物学 副学長）
竹中千里： A03-6 代表（名古屋大学・森林環境学 教授）
山本政儀： A04-7 代表（金沢大学・環境放射能学 名誉教授）
篠原 厚： 分析チームリーダーを兼務，A04-8 代表（大阪大学・放射化学 教授）
浅沼 順： データベースワーキンググループ代表，A03-5 研究分担者（筑波大学・地表面水文学 教授）
北 和之： データベースワーキンググループ，A01-2 研究分担者（茨城大学・大気環境学 教授）

研究項目 A01： 放射性物質の大気への影響

計画研究（A01-1） 放射性降下物大気輸送モデリングと移行過程の理解

研究代表者

中島映至： 宇宙航空研究開発機構・第一衛星利用ミッション本部地球観測研究センター センター長

研究分担者

滝川雅之： 海洋研究開発機構・気象学・大気化学 主任技術研究院
近藤裕昭： 産業技術総合研究所・気象学・大気拡散 研究員
梶野瑞王： 気象研究所・大気化学 主任研究官
山澤弘実： 名古屋大学・環境安全科学 教授
五藤大輔： 国立環境研究所・大気化学 主任研究員

連携研究者

中村 尚： 東京大学・大気循環力学 教授
竹村俊彦： 九州大学・気象学・大気環境学 教授
森野 悠： 国立環境研究所・大気環境科学 主任研究員
速水 洋： 電力中央研究所 副研究参事
若月泰孝： 茨城大学 准教授

弓本桂也： 気象研究所 主任研究員

研究協力者

鶴田治雄： リモート・センシング技術センター

計画研究 (A01-2) 放射性物質の大気沈着・拡散過程および陸面相互作用の理解

研究代表者

五十嵐康人： 気象研究所・大気エアロゾル 第四研究室 室長

研究分担者

北 和之： 茨城大学・大気環境学 教授

吉田尚弘： 東京工業大学・地球化学 教授

石塚正秀： 香川大学・水文学 准教授

大河内博： 早稲田大学・環境化学 教授

連携研究者

川島洋人： 秋田県立大学・環境科学 准教授

田中泰宙： 気象研究所・大気化学モデリング 第四研究室 室長

関山 剛： 気象研究所・大気化学モデリング 第一研究室 主任研究官

眞木貴史： 気象研究所・大気化学モデリング 第一研究室 室長

山田桂太： 東京工業大学・同位体分析 准教授

財前祐二： 気象研究所・環境動態解析 予報研究部 第四研究室 室長

足立光司： 気象研究所・粒子分析 応用気象研究部 第四研究室 主任研究官

研究協力者

中井 泉： 東京理科大学・分析化学 教授

羽田野祐子： 筑波大学・原子力学 教授

阿部善也： 東京理科大学・分析化学 講師

山田 豊： 理化学研究所・エンジニアリング 顕微鏡解析ユニット ユニット長

西口講平： 株式会社ジェイ・サイエンス・ラボ・分析化学

緒方裕子： 早稲田大学・環境影響評価 助教

吉川知里： JAMSTEC・物質循環モデリング 技術研究員

青山智夫： 江戸川大学・環境放射能 外来研究員

豊田 栄： 東京工業大学・地球化学 准教授

服部祥平： 東京工業大学・同位体 地球化学 助教

村上茂樹： 森林総合研究所・森林水文学 産学官民連携推進調整監
梶野瑞王： 気象研究所・環境・応用気象研究部 第四研究室 主任研究官
新村信雄： 茨城大学・生体関連化学 特任教授
渡邊 明： 福島大学共生システム理工学類・地球物理学 教授
長田直之： 岡山大学・放射化学 助教
谷田貝亜紀代： 弘前大学大学院・気象学 教授
三上正男： 気象業務支援センター・気象学 国際業務課 課長
佐藤志彦： 日本原子力研究開発機構 廃炉国際共同研究センター 研究員
牧 輝弥： 金沢大学物質化学系 准教授

研究項目 A02： 放射性物質の海洋への影響

計画研究 (A02-3) 海洋および海洋底における放射性物質の分布状況要因把握

研究代表者

山田正俊： 弘前大学・海洋学 教授

研究分担者

本多牧生： 海洋研究開発機構・化学海洋学 上席技術研究院
熊本雄一郎： 海洋研究開発機構・化学海洋学 主任技術研究院
永井尚生： 日本大学・放射化学 教授
鄭 建： 放射線医学総合研究所・同位体海洋化学 上席研究員
加藤義久： 東海大学・化学海洋学 客員教授
津旨大輔： 電力中央研究所・海洋学 上席研究員
浜島靖典： 金沢大学・核地球化学・放射線測定 准教授
田副博文： 弘前大学・海洋化学 助教
青山道夫： 福島大学・環境放射能 特任教授

連携研究者

植松光夫： 東京大学・附属海洋科学国際共同研究センター センター長
川上 創： 海洋研究開発機構・化学海洋学 技術副主幹
池原 研： 産業技術総合研究所・堆積学・海洋地質学
入野智久： 北海道大学・堆積学・無機地球化学・古環境学 助教
高畑直人： 東京大学・海洋化学 助教
升本順夫： 東京大学・物理海洋学・気候力学 教授
磯辺篤彦： 九州大学・海洋物理学 教授

木田新一郎：海洋研究開発機構・海洋物理学 准教授
坪野考樹：電力中央研究所・海洋環境工学 上席研究員
三角和弘：電力中央研究所・海洋物質循環・モデリング 主任研究員
猪股弥生：金沢大学・地球化学・大気環境科学 准教授
帰山秀樹：水産総合研究センター・海洋学・環境放射能 研究員

研究協力者

日下部正志：海洋生物環境研究所・環境放射能 研究員
Pavel Povinec：Comenius University・海洋地球化学 教授
Ken Buesseller：WHOI・海洋地球化学 Senior Scientist
Mihael Hult：EU JRC-IRMM・海洋地球化学 Sector Head
Hartmut Nies：IAEA MEL・海洋地球化学 教授
楊 国勝：弘前大学・環境分析化学 研究員
中野 俊也：気象庁地球環境・海洋部・海洋物理学 主任研究官

計画研究 (A02-4) 海洋生態系における放射性物質の移行・濃縮状況の把握

研究代表者

神田穰太：東京海洋大学・化学海洋学 副学長

研究分担者

喜多村稔：海洋研究開発機構・浮遊生物学 技術研究員
西川 淳：東京大学・浮遊生物学 助手
青野辰雄：放射線医学総合研究所・分析化学 環境動態研究チームリーダー
山口 篤：北海道大学・浮遊生物学 准教授
土屋光太郎：東京海洋大学・無脊椎動物学 准教授
渡辺 豊：北海道大学・化学海洋学 准教授
高木省吾：北海道大学・海洋生態学 准教授
野田 明：東京海洋大学・海洋科学 教授
林 敏史：東京海洋大学・海洋科学 准教授
立田 穰：電力中央研究所・海洋放射生態学・海洋生物学・海洋環境学・水産生物学 特別嘱託

連携研究者

守屋繁春：理化学研究所・進化生物学 専任研究員
小林卓也：電力中央研究所・生物環境 上席研究員

芳村 毅： 北海道大学・大気・海洋環境 准教授

研究協力者

石丸 隆： 東京海洋大学・生物海洋学 特任教授

五十嵐敏： 福島県水産試験場・底生生物学

須賀次郎： 日本水中科学協会 代表理事

伊藤 友加里： 東京海洋大学

研究項目 A03： 放射性物質の陸域での移行

計画研究 (A03-5) 水・土砂移動に伴う放射性物質の移行過程の理解

研究代表者

恩田裕一： 筑波大学・水文地形学 アイソトープセンター センター長

研究分担者

福島武彦： 筑波大学・水環境学 教授

辻村真貴： 筑波大学・水文科学 教授

末木啓介： 筑波大学・放射化学 教授

笹 公和： 筑波大学・加速器質量分析学 教授

清水康行： 北海道大学・河川工学 教授

山敷庸亮： 京都大学・水資源工学 教授

近藤昭彦： 千葉大学教授・地理学・水文学 教授

浅沼順： 筑波大学・地表面水文学 教授

難波謙二： 福島大学・環境微生物学 教授

脇山義史： 福島大学・水文地形学 講師

連携研究者

関口智寛： 筑波大学・地質学 講師

高橋隆行： 福島大学・ロボット工学・制御工学 教授

Olivier Evrard： LSCE, France Researcher

研究協力者

Valentin GOLOSOV： Moscow University, Russia ・地形学 principal research scientist

Laurent Garcia-Sanchez: IRSN Researcher

計画研究 (A03-6) 陸域生態系における放射性物質の循環過程の理解

研究代表者

竹中千里： 名古屋大学・森林環境化学 教授

研究分担者

肘井直樹： 名古屋大学・森林保護学 教授

柴田理尋： 名古屋大学・応用核物理学 教授

金子信博： 横浜国立大学・土壌生態学 教授

大久保達弘： 宇都宮大学・森林生態学 教授

古川 純： 筑波大学・植物生理学 准教授

関本 均： 宇都宮大学・植物栄養学 教授

連携研究者

前島正義： 名古屋大学・生化学 教授

三村徹郎： 神戸大学・植物細胞生物学 教授

藤原 徹： 東京大学・植物栄養学 教授

福田裕穂： 東京大学・植物生理学 教授

中森泰三： 横浜国立大学・放射線・化学物質影響科学 准教授

川井浩史： 神戸大学・基礎生物学 教授

小林大輔： 福島県立医科大学・応用生物化学 助教

小金沢正昭： 宇都宮大学・野生鳥獣管理学 教授

研究協力者

逢沢峰昭： 宇都宮大学・森林植物学 准教授

飯塚和也： 宇都宮大学・森林資源管理学 准教授

研究項目 A04： 移行に伴う放射性物質の存在形態および測定技術の開発

計画研究 (A04-7) 移行に伴う放射性物質の化学形態と微量分析技術の開発

研究代表者

山本政儀： 金沢大学・放射化学・核地球化学 名誉教授

研究分担者

長尾誠也： 金沢大学・環境放射能 教授

海老原充： 首都大学東京・放射化学・分析化学 教授
田中万也： 日本原子力研究開発機構・地球化学
坂口 綾： 筑波大学・環境放射能 准教授
高橋嘉夫： 東京大学・地球環境化学 教授

連携研究者

静間 清： 広島大学・放射線工学 特任教授
松崎浩之： 東京大学・加速器質量分析・同位体地球化学 教授
遠藤 暁： 広島大学・エネルギー工学 教授
福土圭介： 金沢大学・環境鉱物学・地球化学 准教授

研究協力者

Peter Steier： University of Vienna ・核物理学

計画研究 (A04-8) 様々な化学形態における放射性物質測定および技術開発

研究代表者

篠原 厚： 大阪大学・核化学 教授

研究分担者

齊藤 敬： 尚絅学院大学・地球化学 准教授
横山明彦： 金沢大学・核化学 教授
上杉正樹： 金沢大学・環境放射能
大浦泰嗣： 首都大学東京・核宇宙化学 准教授
沖 雄一： 京都大学・放射化学 准教授
村松久和： 信州大学・放射化学 特任教授
大槻 勤： 京都大学・放射化学 教授
小島貞男： 愛知医科大学・無機化学 教授
吉村 崇： 大阪大学・無機化学 教授
二宮和彦： 大阪大学・物理化学 助教

連携研究者

中西 孝： 金沢大学・環境放射能 教授
高橋成人： 大阪大学・放射化学 講師
末木啓介： 筑波大学・放射化学 教授
大塚孝治： 東京大学・原子核物理 教授

高宮幸一： 京都大学・放射化学 准教授
苅部甚一： 茨城大学・環境化学 助教
岡田往子： 東京都市大学・環境放射能 准教授
高橋賢臣： 大阪大学・地球化学 講師

研究協力者

小池裕也： 明治大学・地球化学 専任講師
斎藤裕子： 青山学院大学・放射化学
山口喜朗： 大阪大学・環境放射能 技術専門職員
菊永英寿： 東北大学・核化学 准教授
市原千博： 愛知医科大学医学部総合医学研究機構・核医学実験部門 客員教授

現在までに研究項目間での連携が行なわれている研究について、本新学術領域研究により新たな研究領域の創成につながることを期待される下記の4つのテーマについて、総括班からもワークショップの開催等の補助をおこなうことにより、重点的に支援する下記の4プロジェクトを中心に、連携をより強固なものとする。また、本年度募集する公募研究は、下記の4つのプロジェクトのいずれかに属するものとして、連携研究の強化を行うとともに、新しい領域の創出の具現化をはかる。

B01: 放出時の放射性物質の化学形態の探索・分析・解明に基づく放射性核種沈着プロセスの推定と移行への影響評価

【A01、A04】(担当：五十嵐康人/気象研究所)

B02: 森林における放射性物質の循環プロセスの解明とモデル化

【A01、A03、A04】(担当：竹中千里/名古屋大学)

B03: 陸域から河川を通じた海洋への放射性核種移行プロセスの解明とモデル化

【A02、A03、A04】(担当：恩田裕一/筑波大学)

B04: 環境中の放射性核種の動態と移行状況の把握に基づく地点別の被ばく量算定

【A01、A02、A03、A04】(担当：鶴田治雄/リモート・センシング技術センター)

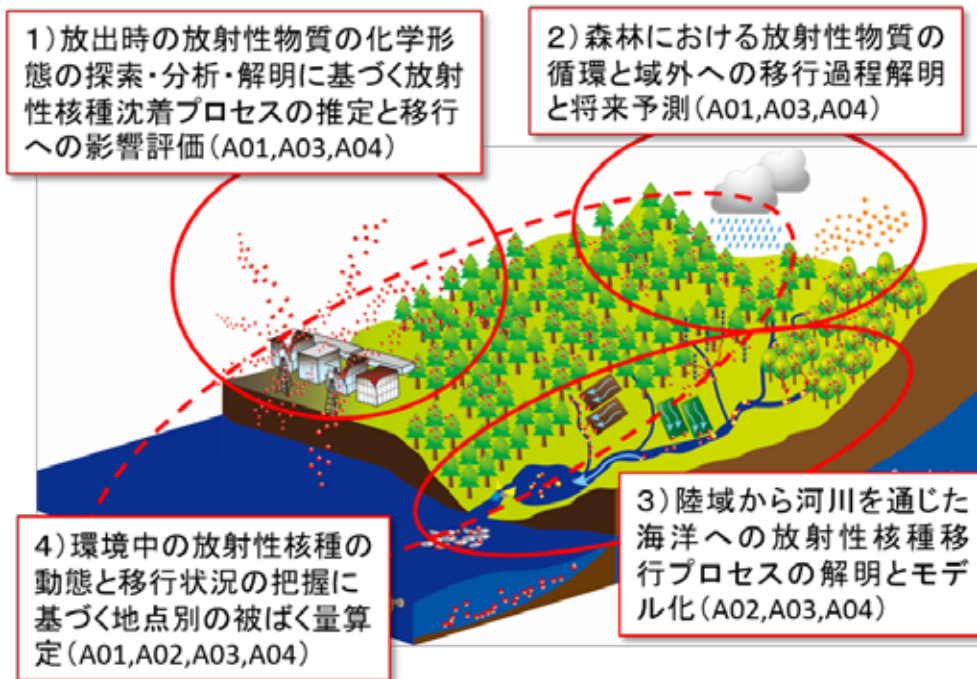


図4．本領域の研究における連携研究の位置づけ



図5．各班の連携

第二期公募研究（H27年度～H28年度）

- B01 谷田貝亜紀代（総合地球環境学研究所）「初期の3次元の詳細気象データに基づく放射性核種沈着プロセス推定」
- B01 中井 泉（東京理科大学）「放射光複合X線分析による福島第一原発事故由来の放射性物質の特性化」
- B02 Yoschenko Vasyi（福島大学）「Study of stable cesium for long-term」
- B02 加藤弘亮（筑波大学）「森林に降下した放射性セシウムの初期遮断率の広域評価」
- B02 高橋純子（筑波大学）「間伐施業が森林生態系の放射性セシウムの循環に及ぼす影響の定量的評価」
- B02 福島和彦（名古屋大学）「セシウムと植物成分の相互作用解析ならびに物理的・化学的吸脱着過程に関する研究」
- B03 鯉淵幸生（東京大学）「都市域および都市沿岸域における放射性物質の動態解明」
- B03 吉村千洋（東京工業大学）「網羅的分析アプローチによる自然水中での放射性セシウムの存在形態と溶出機構の解明」
- B03 張 勁（富山大学）「汽水域での河川 - 海洋相互作用を考慮した放射性セシウムの移行プロセス解析」
- B03 内山雄介（神戸大学）「放射性核種の海域移行評価に向けた懸濁態・溶存態セシウム同時輸送解析システムの開発」
- B04 伊藤好孝（名古屋大学）「福島原発事故に関する放射線測定メタデータベース構築と初期被曝推定」

第一期公募研究（H25年度～H26年度）

- A01 吉川知里（JAMSTEC）「福島原発事故由来の硫黄放射性同位体モデルを用いた硫酸塩エアロゾルの動態の解明」
- A01 中井 泉（東京理科大学）「放射光ナノビームX線分析による大気粉塵中の放射性物質の起源解明」
- A02 張 勁（富山大学）「福島県河口域の放射性セシウムの移動と堆積状況の把握」
- A02 内山雄介（神戸大学）「放射性核種の海域移行定量化に向けた統合型河口・浅海域土砂輸送解析システムの開発」
- A02 猪股弥生（アジア大気汚染研究センター）「最適内捜法による人工放射性核種の海洋汚染の実態解明」
- A03 木内 豪（東京工業大学）「粒径分布に着目した土壌流出現象の実験的検討と物

理モデルの開発」

A03 鯉淵幸生（東京大学）「放射性物質の都市河川および都市沿岸域における挙動把握」

A03 福士圭介（金沢大学）「福島第一原発周辺に分布する土壌粘土鉱物によるセシウム脱離予測モデル」

A03 吉村千洋（東京工業大学）「反応速度論に基づく水生生物のセシウム摂取モデルの開発」

A03 福島和彦（名古屋大学）「放射性セシウムの樹幹内における分布と存在形態の動的解析」

A03 平良文亨（長崎大学）「農産物を介した福島原発事故由来の人工放射性核種の環境動態と内部被ばく評価」（H25年度）

交付決定額（配分額）

交付決定額(配分額)

(金額単位:円)

	直接経費	間接経費	合計
平成 24 年度	10,500,000	3,150,000	13,650,000
平成 25 年度	10,500,000	3,150,000	13,650,000
平成 26 年度	12,500,000	3,750,000	16,250,000
平成 27 年度	10,500,000	3,150,000	13,650,000
平成 28 年度	13,000,000	3,900,000	16,900,000
平成 29 年度	3,000,000	900,000	3,900,000
総計	60,000,000	18,000,000	78,000,000

研究発表

(1) 雑誌論文

A01-1 班

1. Kajino, M., T. T. Sekiyama, A. Mathieu, I. Korsakissok, R. Perillat, D. Quelo, A. Querel, O. Saunier, K. Adachi, S. Girard, T. Maki, K. Yumimoto, D. Didier, O. Masson, Y. Igarashi (2018) Lessons learned from atmospheric modeling studies after the Fukushima nuclear accident: Ensemble simulations, data assimilation, elemental process modeling, and inverse modeling, *Geochemical Journal*, Vol.52. [Doi:10.2343/geochemj.2.0503](https://doi.org/10.2343/geochemj.2.0503) (査読あり)
2. Mathieu, A., M. Kajino, I. Korsakissok, R. Perirat, D. Quelo, A. Querel, O. Saunier, T. T. Sekiyama, Y. Igarashi, D. Didier (2018) Fukushima Daiichi-derived radionuclides in the atmosphere, transport and deposition in Japan: A review, *Applied Geochemistry*, Vol.91, P.122-139. [Doi:10.1016/j.apgeochem.2018.01.002](https://doi.org/10.1016/j.apgeochem.2018.01.002) (査読あり)
3. Sakaguchi, A., Chiga, H., Tanaka, K., Tsuruta, H., and Takahashi, Y. (2018) Estimation of desorption ratios of radio/stable caesium from environmental samples (aerosols and soils) leached with seawater, diluted seawater and ultrapure water. 52, *Geochemical J.*, [Doi:10.2343/geochemj.2.0496](https://doi.org/10.2343/geochemj.2.0496). (査読あり)
4. Tsuruta H., Y. Oura, M. Ebihara, Y. Moriguchi, T. Ohara, and T. Nakajima (2018) Time-series analysis of atmospheric radiocesium at two SPM monitoring sites near the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant just after the Fukushima accident on March 11, 2011. 52, *Geochemical J.* [Doi:10.2343/geochemj.2.0520](https://doi.org/10.2343/geochemj.2.0520). (査読あり)
5. Sekiyama, T. T., M. Kajino, M. Kunii. (2017) The impact of surface wind velocity data assimilation on the predictability of plume advection in the lower troposphere, *Journal of the Meteorological Society of Japan*, Vol.95(6), P.447-454. (査読あり)
6. 鶴田治雄, 大浦泰嗣, 海老原充, 森口祐一, 大原利眞, 中島映至 (2017) 東電福島第一原子力発電所近傍の2地点における事故直後の大気中放射性セシウムの経時変化, *Proceedings of the 18th Workshop on Environmental Radioactivity*, KEK Proceedings 2017-6, November 2017 R, 56-63. (査読あり)
7. 鶴田治雄, 大浦泰嗣, 海老原充, 森口祐一, 大原利眞, 中島映至 (2017) 東電福島第一原子力発電所事故直後の東日本における放射性セシウムの時空間分布 大気環境常時測定局の SPM 計の使用済みテープろ紙分析データの解析, *エアロゾル研究*, 32, 244-254. <https://doi.org/10.11203/jar.32.244>. (査読あり)
8. Uchida, J., M. Mori, M. Hara, M. Satoh, D. Goto, T. Kataoka, K. Suzuki, T. Nakajima, (2017) Impact of lateral boundary errors on simulations of convective systems with a non-

- hydrostatic regional climate model. *Month. Weath. Rev.*, 145, 5059-5082.
 Doi:10.1175/MWR-D-17-0158.1 (査読あり)
9. Goto, D., Sato, Y., Yashiro, H., Suzuki, K. and Nakajima, T. (2017) Validation of high-resolution aerosol optical thickness simulated by a global non-hydrostatic model against remote sensing measurements, *AIP Conference Proceedings*, 1810, 100002. Doi: [10.1063/1.4975557](https://doi.org/10.1063/1.4975557) (査読あり)
 10. Kaskaoutis, D.G., Rashki, A., Houssos, E.E., Legrand, M., Francois, P., Bartzokas, A., Kambezidis, H.D., Dumca, U.C., Goto, D. and Takemura, T. (2017) Assessment of changes in atmospheric dynamics and dust activity over southwest Asia using the Caspian Sea - Hindu Kush Index, *International Journal of Climatology*. Doi: [10.1002/joc.5053](https://doi.org/10.1002/joc.5053) (査読あり)
 11. Trieu, T. T. N., Goto, D., Yashiro, H., Murata, R., Sudo, K., Tomita, H., Satoh, M. and Nakajima, T. (2017) Evaluation of summertime surface ozone in Kanto area of Japan using a semi-regional model and observation, *Atmospheric Environment*, 153, 163-181, Doi:10.1016/j.atmosenv.2017.01.030 (査読あり)
 12. Aoyama, M., Kajino, M., Tanaka, T. Y., Sekiyama, T. T., Tsumune, D., Tsubono, T., Hamajima, Y., Inomata, Y. and Gamo, T. (2016) ¹³⁴Cs and ¹³⁷Cs in the North Pacific Ocean derived from the March 2011 TEPCO Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident, Japan. Part Two: estimation of ¹³⁴Cs and ¹³⁷Cs inventories in the North Pacific Ocean, *J. Oceanography*, 72, 67-76. Doi:10.1007/s10872-015-0332-2 (査読あり)
 13. Nakajima, T., Misawa, S., Morino, Y., Tsuruta, H., Goto, D., Uchida, J., Takemura, T., Ohara, T., Oura, Y., Ebihara M. and Satoh, M. (2017) Model depiction of the atmospheric flows of radioactive cesium emitted from the Fukushima Daiichi Nuclear Power Station accident, *Progress in Earth and Planetary Science*, 4(1), 1-18. Doi:10.1186/s40645-017-0117-x. (査読あり)
 14. Goto, D., Ueda, K., Ng, C-F-S., Takami, A., Ariga, T., Matsushashi, K. and Nakajima, T. (2016) Estimation of excess mortality due to long-term exposure to PM2.5 in Japan using a high-resolution model for present and future scenarios, *Atmos. Environ.*, 140, 320-332. Doi:10.1016/j.atmosenv.2016.06.015 (査読あり)
 15. Hanna, S., Yamada, T., Kondo, H., Watanabe, A. and Ohba, R. (2016) International Workshop at Fukushima, Japan, on Dispersion and Deposition Modeling for Nuclear Accident Releases-Transfer of Science from Academic to Operational Models, *Bulletin of the American Meteorological Society*, 97(2), 31-36, 206. Doi:10.1175/BAMS-D-15-00191.1 (査読あり)
 16. Kajino, M., Ishizuka, M., Igarashi, Y., Kita, K., Yoshikawa, C. and Inatsu, M. (2016) Long-term assessment of airborne radiocesium after the Fukushima nuclear accident: re-

- suspension from bare soil and forest ecosystems, *Atmos. Chem. Phys.*, *16*, 13149-13172. [Doi: 10.5194/acp-16-13149-2016](https://doi.org/10.5194/acp-16-13149-2016) (also in A01-2) (査読あり)
17. Schutgens, N.A.J., Gryspeerdt, E., Weigum, N., Tsyro, S., Goto, D., Schulz, M. and Stier, P. (2016) Will a perfect model agree with perfect observations? The impact of spatial sampling, *Atmospheric Chemistry and Physics*, *16*, 6335-6353. [Doi:10.5194/acp-16-6335-2016](https://doi.org/10.5194/acp-16-6335-2016) (査読あり)
 18. Shi, C., Nakajima, T., and Hashimoto, M. (2016) Simultaneous retrieval of aerosol optical thickness and chlorophyll concentration from multi-wavelength measurement over East China Sea, *J. Geophys. Res.*, *121*, 14084-14101. [Doi:10.1002/2016JD025790](https://doi.org/10.1002/2016JD025790) (査読あり)
 19. Terasaka, Y., Yamazawa, H., Hirouchi, J., Hirao, S., Sugiura, H., Moriizumi, J. and Kuwahara, Y. (2016) Air concentration estimation of radionuclides discharged from Fukushima Daiichi Nuclear Power Station using NaI(Tl) detector pulse height distribution measured in Ibaraki Prefecture, *Journal of Nuclear Science and Technology*, *53*(12), 1919-1932 (Published online: 17 Jun 2016). [Doi:10.1080/00223131.2016.1193453](https://doi.org/10.1080/00223131.2016.1193453) (査読あり)
 20. 鶴田治雄, 五十嵐康人, 井上智博, 大河内博, 大原利真, 梶野瑞王, 兼保直樹, 北和之, 反町篤行, 平木隆年, 堀江洋佑, 森口祐一, 森野悠, 渡辺明 (2016) 福島第一原子力発電所事故による大気環境影響調査研究の現状と課題, *大気環境学会誌*, *51*(2), A 11-A19. [Doi: 10.11298/taiki.51.A11](https://doi.org/10.11298/taiki.51.A11) (査読あり)
 21. Uchida, J., Mori, M., Nakamura, H., Satoh, M., Suzuki, K. and Nakajima, T. (2016) Error and energy budget analysis of a non-hydrostatic stretched-grid global atmospheric model, *Mon. Wea. Rev.*, *144*, 1423-1447. [Doi: 10.1175/MWR-D-15-0271.1](https://doi.org/10.1175/MWR-D-15-0271.1) (査読あり)
 22. 山澤弘実, 木村秀樹, 小山吉弘, 岩崎俊樹 (2016) 屋内退避か? 避難か? 災害対策における緊急時モニタリングの役割(報告), *日本原子力学会誌*, *58*(2), 115-120 (査読あり)
 23. Yin, X., Dai, T., Schutgens, N.A.J., Goto, D., Nakajima, T. and Shi, G. (2016) Effects of data assimilation on the global aerosol key optical properties simulations, *Atmos. Res.*, *Vol.178-179*, 175-186. [Doi: 10.1016/j.atmosres.2016.03.016](https://doi.org/10.1016/j.atmosres.2016.03.016) (査読あり)
 24. Yumimoto, K., Morino, Y., Ohara, T., Oura, Y., Ebihara, M., Tsuruta, H., Nakajima, T. (2016) Inverse modeling of the ¹³⁷Cs source term of the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident constrained by a deposition map monitored by aircraft, *Journal of Environmental Radioactivity*, *164*, p.1-12. [Doi:10.1016/j.jenvrad.2016.06.018](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2016.06.018) (査読あり)
 25. Dai, T., Shi, G. and Nakajima, T. (2015) Analysis and evaluation of the global aerosol optical properties simulated by an online aerosol-coupled non-hydrostatic icosahedral atmospheric model, *Adv. Atmos. Sci.*, *32*, 743-758. [Doi: 10.1007/s00376-014-4098-z](https://doi.org/10.1007/s00376-014-4098-z) (査読あり)
 26. Goto, D., Nakajima, T., Dai, T., Takemura, T., Kajino, M., Matsui, M., Takami, A., Hatakeyama, S., Sugimoto, N., Shimizu, A. and Ohara, T. (2015) An evaluation of simulated particulate sulfate over East Asia through global model inter-comparison, *J. Geophys. Res.*,

- 120, 6247-6270. [Doi:10.1002/2014JD021693](https://doi.org/10.1002/2014JD021693) (査読あり)
27. Hirouchi, J., Yamazawa, H., Hirao S. and Moriizumi, J. (2015) Estimation of Surface Anthropogenic Radioactivity Concentrations from NaI(TL) Pulse-Height Distribution Observed at Monitoring Station, *Radiation Protection Dosimetry*, 164(3), 304-315. [Doi: 10.1093/rpd/ncu305](https://doi.org/10.1093/rpd/ncu305) (査読あり)
28. Hirouchi, J., Terasaka, Y., Hirao, S., Moriizumi, J. and Yamazawa, H. (2015) Effect on Radioactivity Concentration Estimation of Radon Progenies with NaI(Tl) Pulse Height Distribution from Considering Geometric Structure around Detector and Infiltration of Radionuclides, *Radiation Protection Dosimetry*, 167(1-3), 206-209. [Doi:10.1093/rpd/ncv245](https://doi.org/10.1093/rpd/ncv245) (査読あり)
29. Igarashi, Y., Kajino, M., Zaizen Y., Adachi K. and Mikami M. (2015) Atmospheric radioactivity over Tsukuba, Japan: A summary of three years of observations after the FDNPP accident, *Prog. Earth Planet. Sci.*, 2:44. [Doi: 10.1186/s40645-015-0066-1](https://doi.org/10.1186/s40645-015-0066-1) (査読あり)
30. 岩崎俊樹, 石川裕彦, 近藤裕昭, 鈴木靖, 関山剛, 竹村俊彦, 滝川雅之, 茅野政道, 鶴田治雄, 中島映至, 中村尚, 新野宏, 三上正男, 山澤弘実, 余田成男, 渡邊明(2015) 原子力関連施設の事故に伴う放射性物質の大気拡散に関する数値予測情報の活用策について, *天気*, 62(2), 113-123 (also in A01-2) (査読あり)
31. Kajino, M. and Aikawa, M. (2015) A model validation study of the washout/rainout contribution of sulfate and nitrate in wet deposition compared with precipitation chemistry data in Japan. *Atmos. Environ.*, 117, 124-134. (査読あり)
32. Katata, G., Chino, M., Kobayashi, T., Terada, H., Ota, M., Nagai, H., [Kajino, M.](https://doi.org/10.5194/acp-15-1029-2015), Draxler, R., Hort, M. C., Malo, A., Torii, T. and Sanada, Y. (2015) Detailed source term estimation of the atmospheric release for the Fukushima Daiichi Nuclear Power Station accident by coupling simulations of atmospheric dispersion model with improved deposition scheme and oceanic dispersion model, *Atmos. Chem. Phys.*, 15, 1029-1070. [Doi:10.5194/acp-15-1029-2015](https://doi.org/10.5194/acp-15-1029-2015) (査読あり)
33. Kajino, M. (2015) Sensitivity of depositions to the size and hygroscopicity of Cs-bearing aerosols, in Contribution of JMA to the WMO Technical Task Team on Meteorological Analyses for Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident and Relevant Atmospheric Transport Modeling at MRI, *Technical Reports of the Meteorological Research Institute* (気象研究所技術報告), 76, 133-142 (査読あり)
34. 近藤裕昭, 渡邊明 (2015) 原子力災害緊急時の拡散・沈着モデルに関する国際ワークショップ -学術モデルから実用モデルへの橋渡し-の報告. *大気環境学会誌*, 50 (4), 36-37 (査読あり)
35. Liu, Y., Sato, Y., Jia, R., Xie, Y., Huang, J. and Nakajima, T. (2015) Modeling study on the

- transport of summer dust and anthropogenic aerosols over the Tibetan Plateau, *Atmos. Chem. Phys.*, 15, 12581-12594. [Doi: 10.5194/acp-15-12581-2015](https://doi.org/10.5194/acp-15-12581-2015) (査読あり)
36. Moriizumi, J., Kondo, D., Kojima, Y., Liu, H., Hirao S. and Yamazawa, H. (2015) $^{214}\text{Bi}/^{214}\text{Pb}$ Radioactivity Ratio in Rainwater for Residence Time Estimation of Cloud Droplets and Raindrops, *Radiation Protection Dosimetry*, 167(1-3), 55-58. [Doi:10.1093/rpd/ncv220](https://doi.org/10.1093/rpd/ncv220) (査読あり)
37. 中島映至 (2015) 地球温暖化研究の30年, *パリティ*, 30(4), 27-29 (査読なし)
38. 中島映至 (2015) 新しい大気科学の方向性について-地球環境研究との接点-(2013年度春季大会気象学会シンポジウム「変化する地球環境と気象学の役割」の報告), *天気*, 62(4), 275-281 (査読なし)
39. 中島映至, 今須良一, 高見昭憲, 五藤大輔, 鶴田治雄, 打田純也, Tie Dai, 三澤翔大, 上田佳代, Chris Fook Sheng Ng, 渡辺知保, 小西祥子, 佐藤陽祐, 樋口篤志, 増富祐司, 村上暁信, 土屋一彬, 近藤裕昭, 丹羽洋介, 芳村圭, 大原利眞, 森野悠, Nick Schutgens, 須藤健悟, 竹村俊彦, 井上豊志郎, 新井豊, 村田諒, 米元亮馬, Tran Thi Ngoc Trieu, 植松光夫, 佐藤正樹, 富田浩文, 八代尚, 原政之(2015) 大気環境物質のためのシームレス同化システム構築とその応用, *シミュレーション*, 34(2):28-38. (査読あり)
40. Oura, Y., Ebihara, M., Tsuruta, H., Nakajima, T., Ohara, T., Ishimoto, M., Sawahata, H., Katsumura, Y., and Nitta, W. (2015) A Database of Hourly Atmospheric Concentrations of Radiocesium (^{134}Cs and ^{137}Cs) in Suspended Particulate Matter Collected in March 2011 at 99 Air Pollution Monitoring Stations in Eastern Japan. *Journal of Nuclear and Radiochemical Sciences*, 15(2), p.1-12. [Doi.10.14494/jnrs.15.2_1](https://doi.org/10.14494/jnrs.15.2_1) (査読あり)
41. Oura, Y., Ebihara, M., Tsuruta, H., Nakajima, T., Ohara, T., Ishimoto, M., Sawahata, H., Katsumura, Y. (2015) Determination of atmospheric radiocesium on filter tapes used at automated SPM monitoring stations for estimation of transport pathways of radionuclides from Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant, *J Radioanal Nucl Chem.* [Doi:10.1007/s10967-014-3662-4](https://doi.org/10.1007/s10967-014-3662-4) (also in A04-7 and A04-8) (査読あり)
42. Sekiyama, T.T., Kunii, M., Kajino, M. and Shimbori, T. (2015) Horizontal Resolution Dependence of Atmospheric Simulations of the Fukushima Nuclear Accident Using 15-km, 3-km, and 500-m Grid Models, *J. Meteorol. Soc. Japan*, 93(1), 49-64. [Doi:10.2151/jmsj.2015-002](https://doi.org/10.2151/jmsj.2015-002) (査読あり)
43. Shi, C. and Nakajima, T. (2015) The Eddington approximation calculation of radiation flux in the atmosphere-ocean system, *J. Quant. Spectrosc. Radiat. Transfer*, 157, 34-41. [Doi:10.1016/j.jqsrt.2015.02.007](https://doi.org/10.1016/j.jqsrt.2015.02.007) (査読あり)
44. Yamazawa, H., Yamada, S., Xu, Y., Hirao, S. and Moriizumi, J. (2015) An experimental method for quantitatively evaluating the elemental processes of indoor radioactive aerosol

- behavior, *Radiat. Prot. Dosimetry*, 167(1-3), 171-175. [Doi:10.1093/rpd/ncv238](https://doi.org/10.1093/rpd/ncv238) (査読あり)
45. Aikawa, M., Kajino, M., Hiraki, T. and Mukai, H. (2014) The contribution of site to washout and rainout: precipitation chemistry based on sample analysis from 0.5 mm precipitation increments and numerical simulation, *Atmos. Environ.*, 95, 165-174. [Doi: 10.1016/j.atmosenv.2014.06.015](https://doi.org/10.1016/j.atmosenv.2014.06.015) (査読あり)
46. Campanelli, M., Nakajima, T., Khatri, P., Takamura, T., Uchiyama, A., Estelles, V., Liberti, G. L. and Malvestuto, V. (2014) Retrieval of characteristic parameters for water vapour transmittance in the development of ground based Sun-Sky radiometric measurements of columnar water vapour. *Atmospheric Measurement Techniques*, 7, 1075-1087. [Doi:10.5194/amt-7-1075-2014](https://doi.org/10.5194/amt-7-1075-2014) (査読あり)
47. Chatani, S., Morino, Y., Shimadera, H., Hayami, H., Mori, Y., Sasaki, K., Kajino, M., Yokoi, T., Morikawa, T. and Ohara, T. (2014) Multi-model analysis of dominant factors influencing elemental carbon in Tokyo Metropolitan Area of Japan, *Aerosol and Air Quality Research*, 14, 396-405 (査読あり)
48. Choi, I.J., Iguchi, T., Kim, S.W., Nakajima, T. and Yoon, S.C.(2014) The Effect of Aerosol Representation on Cloud Microphysical Properties in Northeast Asia, *Meteorology and Atmospheric Physics*, 123, 181-194. [Doi:10.1007/s00703-013-0288-y](https://doi.org/10.1007/s00703-013-0288-y) (査読あり)
49. Dai, T., Goto, D., Schutgens, N. A. J., Dong, X., Shi, G. and Nakajima, T.(2014) Simulated aerosol key optical properties over global scale using an aerosol transport model coupled with a new type of dynamic core, *Atmospheric Environment*, 82, 71-82. [Doi: 10.1016/j.atmosenv.2013.10.018](https://doi.org/10.1016/j.atmosenv.2013.10.018) (査読あり)
50. Dai, T., Schutgens, N.A.J., Goto, D., Shi, G.-Y. and Nakajima, T.(2014) Improvement of aerosol optical properties modeling over Eastern Asia with MODIS AOD assimilation in a global non-hydrostatic icosahedral aerosol transport model, *Env. Pol.*, 195, 319-329. [Doi: 10.1016/j.envpol.2014.06.021](https://doi.org/10.1016/j.envpol.2014.06.021) (査読あり)
51. Goto, D. (2014) Modeling of black carbon in Asia using a global-to-regional seamless aerosol-transport model, *Env. Pol.*, 195, 330-335. [Doi: 10.1016/j.envpol.2014.06.006](https://doi.org/10.1016/j.envpol.2014.06.006) (査読あり)
52. Katata, G., Kajino, M., Matsuda, K., Takahashi, A. and Nakaya, K. (2014) A numerical study of the effects of aerosol hygroscopic properties on dry deposition onto a broad-leaved forest. *Atmos. Environ.* [Doi: 10.1016/j.atmosenv.2013.11.028](https://doi.org/10.1016/j.atmosenv.2013.11.028) (査読あり)
53. Kaskaoutis, D. G., Houssos, E. E., Goto, D., Bartzokas, A., Nastos, P. T., Sinha, P. R., Kharol, S. K., Kosmopoulos, P. G., Singh, R. P. and Takemura, T. (2014) Synoptic weather conditions and aerosol episodes over Indo-Gangetic Plains, India, *Climate Dynamics*, 43(9), 2313-2331. [Doi:10.1007/s00382-014-2055-2](https://doi.org/10.1007/s00382-014-2055-2) (査読あり)
54. Goto, D., Dai, T., Satoh, M., Tomita, H., Uchida, J., Misawa, S., Inoue, T., Tsuruta, H., Ueda,

- K., C. F. S., Takami, Ng. A., Sugimoto, N., Shimizu, A., Ohara, T. and Nakajima, T. (2014) Application of a global nonhydrostatic model with a stretched-grid system to regional aerosol simulations around Japan, *Geosci. Model Dev.*, 8, 235-259. [Doi:10.5194/gmd-8-235-2015](https://doi.org/10.5194/gmd-8-235-2015) (査読あり)
55. Hirouchi, J., Yamazawa, H., Hirao, S. and Moriizumi, J. (2014) Estimation of surface anthropogenic radioactivity concentrations from NaI(Tl) pulse-height distribution observed at monitoring station, *Radiation Protection Dosimetry*, 164 (3), 304-315. [Doi:10.1093/rpd/ncu305](https://doi.org/10.1093/rpd/ncu305) (査読あり)
56. 梶野瑞王, 五十嵐康人, 藤谷雄二 (2014) Fresh soot と、aged soot は、どちらが気道に沈着しやすいか - 粒径分布と吸湿性の気管支・肺沈着率への影響 -, *大気環境学会誌*, 第49巻, 第2号, p.101-108. [Doi:10.11298/taiki.49.101](https://doi.org/10.11298/taiki.49.101) (査読あり)
57. Katata, G., Kajino, M., Matsuda, K., Takahashi, A., Nakaya, K. (2014) A numerical study of the effects of aerosol hygroscopic properties to dry deposition on a broad-leaved forest, *Atmospheric Environment*, 97, p.501-510, [Doi:10.1016/j.atmosenv.2013.11.028](https://doi.org/10.1016/j.atmosenv.2013.11.028) (査読あり)
58. 梶野瑞王, 滝川雅之, 田中泰宙, 津旨大輔, 川原慎太郎, 杉山徹, 森野悠, 鶴田治雄, 井上豊志郎, 打田純也, 関山剛, 眞木貴史, 中島映至 (2014) 福島第一原発事故による放射性物質の環境汚染シミュレーションに関する講習会報告, *天気*, 61(5), 411-418 (査読あり)
59. Kondo, H., Murayama, S., Sawa, Y., Ishijima, K., Matsueda, H., Wada, A., Sugawara, H. and Onogi, S. (2014) Vertical diffusion coefficient under stable condition estimated from variations in the near-surface radon concentration, *Journal of the Meteorological Society of Japan*, Vol.92, No.1, p.95-106. [Doi:10.2151/jmsj.2014-106](https://doi.org/10.2151/jmsj.2014-106) (査読あり)
60. Sahu, L. K., Sheel, V., Kajino, M., Deushi, M., Gunthe, S. S., Sinha, P. R., Sauvage, B., Thouret, V. and Smit, H. G. (2014) Seasonal and inter-annual variability of tropospheric ozone over an urban site in India: A study based on MOZAIC and CCM vertical profiles over Hyderabad, *J. Geophys. Res.*, 119, p.3615. [Doi:10.1002/2013JD021215](https://doi.org/10.1002/2013JD021215) (査読あり)
61. Seiki, T. and Nakajima, T. (2014) Aerosol Effects of the Condensation Process on a Convective Cloud Simulation, *Journal of Atmospheric Science*, 71, 833-853. [Doi:10.1175/JAS-D-12-0195.1](https://doi.org/10.1175/JAS-D-12-0195.1) (査読あり)
62. Tsuruta, H., Oura, Y., Ebihara, M., Ohara, T., and Nakajima, T. (2014) First retrieval of hourly atmospheric radionuclides just after the Fukushima accident by analyzing filter-tapes of operational air pollution monitoring stations, *Scientific Reports*, 4, 6717. [Doi:10.1038/srep06717](https://doi.org/10.1038/srep06717) (also in A04-7 and A04-8) (査読あり)
63. 若月泰孝, 青山智夫, 滝川雅之 (2014) 2011年3月15~16日の福島県中通り地方の空間線量率シミュレーション, *Journal of Computer Chemistry, Japan*, 13, 5, 268-277. [Doi:10.1002/jccj.1001](https://doi.org/10.1002/jccj.1001) (査読あり)

- [10.2477/jccj.2014-0012](https://doi.org/10.2477/jccj.2014-0012) (査読あり)
64. Uchino, O., Sakai, T., Nagai, T., Morino, I., Maki, T., Deushi, M., Shibata, K., Kajino, M., Kawasaki, T., Akaho, T., Takubo, S., Okumura, H., Arai, K., Nakazato, M., Matsunaga, T., Yokota, T., Kawakami, S., Kita, K. and Sasano, Y. (2014) DIAL measurement of lower tropospheric ozone over Saga (33.24°N, 130.29°E), Japan, and comparison with a chemistry-climate model, *Atmospheric Measurement Techniques*, 7, 1385-1394. [Doi:10.5194/amt-7-1385-2014](https://doi.org/10.5194/amt-7-1385-2014) (査読あり)
65. Adachi, K., Kajino, M., Zaizen, Y., and Igarashi, Y.(2013) Emission of spherical cesium-bearing particles from an early stage of the Fukushima nuclear accident, *Scientific Reports*, 3, Article no.2554. [Doi:10.1038/srep02554](https://doi.org/10.1038/srep02554) (also in A01-2) (査読あり)
66. Fukuda, S., Nakajima, T., Takenaka, H., Higurashi, A., Kikuchi, N., Nakajima, T. Y. and Ishida, H. (2013) New approaches to removing cloud shadows and evaluating the 380nm surface reflectance for improved aerosol optical thickness retrievals from the GOSAT/TANSO-Cloud and Aerosol Imager. *Journal of Geophysical Research, Atmosphere*, 118, 13520-13531. [Doi:10.1002/2013JD020090](https://doi.org/10.1002/2013JD020090) (査読あり)
67. Hirao, S., Yamazawa, H., and Nagae, T.(2013) Estimation of release rate of iodine-131 and cesium-137 from the Fukushima Daiichi nuclear power Plant, *J. Nucl. Sci Tech.*, 50(2), p.139-147. [Doi:10.1080/00223131.2013.757454](https://doi.org/10.1080/00223131.2013.757454) (査読あり)
68. 猪股弥生, 梶野瑞王, 佐藤啓市, 黒川純一, 大泉毅 (2013) 北東アジアにおける PAHs の排出インベントリと大気モデル解析-BaP を例として-, *エアロゾル研究*, 28(1), 5-11. [Doi: 10.11203/jar.28.5](https://doi.org/10.11203/jar.28.5) (査読あり)
69. Inomata, Y., Kajino, M., Sato, K., Ohara, T., Kurokawa, J., Ueda, H., Tang, N., Hayakawa, K., Ohizumi, T. and Akimoto, H. (2013) Source contribution of surface particulate polycyclic aromatic hydrocarbon concentrations in Northeast Asia from source-receptor relationship analysis, *Environmental Pollution*, 182, 324-334. [Doi:10.1016/j.envpol.2013.07.0209](https://doi.org/10.1016/j.envpol.2013.07.0209) (査読あり)
70. Kajino, M., Easter, R.C., Ghan, S.J. (2013) Modal Bin Hybrid Model: a surface area consistent, triple moment sectional model for process-oriented modeling of atmospheric aerosols, *J. Geophys. Res. Atmos*, Vol.118, Issue 17, p.10011-10040. [Doi: 10.1002/jgrd.50685](https://doi.org/10.1002/jgrd.50685) (査読あり)
71. Kajino, M., Sato, K., Inoue, Y. and Ueda, H. (2013) Source-receptor relationships of nitrate in Northeast Asia and influence of sea salt on the long-range transport of nitrate, *Atmos. Environ.*, 79, 67-78. [Doi:10.1016/j.atmosenv.2013.06.024](https://doi.org/10.1016/j.atmosenv.2013.06.024) (査読あり)
72. Katagiri, S., Sekiguchi, M., Nakajima, T. and Hayasaka, T. (2013) Cirrus cloud radiative forcing caused by the 1987 El Nino using the nighttime global distribution of microphysical parameters derived from AVHRR, *Umi to Sora*, 88, 71-83 (査読あり)

73. 近藤 裕昭, 山田哲二, 茅野政道, 岩崎俊樹, 堅田元喜, 眞木貴史, 斉藤和雄, 寺田宏明, 鶴田治雄 (2013) 第 93 回米国気象学会年会日米気象学会共催「福島第一原子力発電所からの汚染物質の輸送と拡散に関する特別シンポジウム-現状と将来への課題-(Special Symposium on the Transport and Diffusion of Contaminants from the Fukushima Dai-Ichi Nuclear Power Plant: Present Status and Future Directions)」報告 *天気*, 60, 723-729(査読なし)
74. Liu, X., Kondo, Y., Ram, K., Matsui, H., Nakagomi, K., Ikeda, T., Oshima, N., Verma, R. L., Takegawa, N., Koike, M. and Kajino, M. (2013) Seasonal variations of black carbon observed at the remote mountain site Happo in Japan, *J. Geophys. Res.*, 118(9), 3709-3722, 10.1002/jgrd.50317. [Doi:10.1002/jgrd.50317](https://doi.org/10.1002/jgrd.50317) (査読あり)
75. Miyazawa, Y., Masumoto, Y., Varlamov, S. M., Miyama, T., Takigawa, M., Honda, M., and Saino, T. (2013) Inverse estimation of source parameters of oceanic radioactivity dispersion models associated with the Fukushima accident, *Biogeosciences*, 10, p.2349-2363. [Doi:10.5194/bg-10-2349-2013](https://doi.org/10.5194/bg-10-2349-2013) (査読あり)
76. Morino, Y., Ohara, T., Watanabe, M., Hayashi, S., Nishizawa, M. (2013) Episode Analysis of Deposition of Radiocesium from the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident, *Environ Science & Technology*, 47, p.2314-2322. [Doi:10.1021/es304620x](https://doi.org/10.1021/es304620x) (査読あり)
77. 中島映至(2013) 広域大気汚染の問題と大気清浄化に向けた努力, *科学*, 83, 433-438 (査読なし)
78. 中島映至, 鶴田治雄, 滝川雅之, 森野悠, 関山剛, 梶野瑞王, 渡邊明, 篠原厚, 北和之 (2013) 地球科学分野における活動と緊急災害時における研究者の対応, *Radioisotope*, 62, 761-766. [Doi:10.3769/radioisotopes.62.761](https://doi.org/10.3769/radioisotopes.62.761) (査読なし)
79. Nakajima, T., Takenaka, H., Goto, D., Misawa, S., Uchida, J. and Nakajima, T. Y. (2013) Measurements and modeling of the solar radiation budget, *Simulation*, 32, 199-207(査読あり)
80. Oshima, N., Koike, M., Kondo, Y., Nakamura, H., Moteki, N., Matsui, H., Takegawa, N. and Kita, K. (2013) Vertical transport mechanisms of black carbon over East Asia in spring during the A-FORCE aircraft campaign, *J. Geophys. Res.*, 118, 13175-13198. [Doi:10.1002/2013JD020262](https://doi.org/10.1002/2013JD020262) (査読あり)
81. 滝川雅之 (2013) 大気への大規模な汚染物質放出時のシミュレーション. *シミュレーション学会誌*, 31, p. 234-238. (査読あり)
82. Sahu, L. K., Sheel, V., Kajino, M. and Nedelec, P. (2013) Variability in tropospheric carbon monoxide over an urban site in Southeast Asia, *Atmos. Environ.*, 68, 243-255. [Doi:10.1016/j.atmosenv.2012.11.057](https://doi.org/10.1016/j.atmosenv.2012.11.057) (査読あり)
83. Sahu, L.K., Sheel, V., Kajino, M., Gunthe, S. S., Thouret, V., Nedelec, P. and Smit, H. G.

- (2013) Characteristics of tropospheric ozone variability over an urban site in Southeast Asia: a study based on MOZAIC and MOZART vertical profiles, *J. Geophys. Res.*, *118*(15), 8729-8747. [Doi: doi:10.1002/jgrd.50662](https://doi.org/10.1002/jgrd.50662) (査読あり)
84. Sampe, T., Nakamura, H. and Goto, A.(2013) Potential influence of a midlatitude oceanic frontal zone on the annular variability in the extratropical atmosphere as revealed by aqua-planet experiments. *Journal of the Meteorological Society of Japan*, *91A*, p.243-267. [Doi:10.2151/jmsj.2013-A09](https://doi.org/10.2151/jmsj.2013-A09) (査読あり)
85. Schutgens, N., Nakata, M. and Nakajima, T. (2013) Validation and empirical correction of MODIS AOT and AE over ocean, *Atmospheric Measurement and Technology*, *6*, 2455-2475. [Doi:10.5194/amt-6-2455-2013](https://doi.org/10.5194/amt-6-2455-2013) (査読あり)
86. Tanaka, K., Sakaguchi, A., Kanai, Y., Tsuruta, H., Shinohara, A., and Takahashi, Y. (2013) Heterogeneous distribution of radiocesium in aerosols, soils and particulate matters emitted by the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident, *Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry*, *295*, p.1927-1937. [Doi:10.1007/s10967-012-2160-9](https://doi.org/10.1007/s10967-012-2160-9) (also in A04-7 A04-8) (査読あり)
87. 鶴田治雄, 荒井俊昭, 司馬薫, 山田裕子, 草間優子, 中島映至 (2013) 福島第1原子力発電所事故後初期に茨城県東部沿岸域で測定された複数の汚染気塊の考察, *放射化学*, *28*, p.9-16. (査読あり)
88. 山澤弘実 (2013) 大気中放射性物質の影響と拡散評価(解説), *安全工学*, *52*(6), p.364-370. [Doi:10.18943/safety.52.6_364](https://doi.org/10.18943/safety.52.6_364) (査読あり)
89. 山澤弘実 (2013) 大気拡散計算の役割と制約(解説), *日本原子力学会誌*, *55*(12), 707-711 (査読あり)
90. Yoshida, M., Haywood, J.M., Yokohata, T., Murakami, H. and Nakajima, T.(2013) Spatial distribution of dust's optical properties over the Sahara and Asia inferred from Moderate Resolution Imaging Spectroradiometer, *Atmospheric Chemistry and Physics*, *13*(21). [Doi:10.5194/acp-13-10827-2013](https://doi.org/10.5194/acp-13-10827-2013) (査読あり)
91. Zhang, H., Yin, Q., Nakajima, T., Nakata, M.M., Lu, P. and He, J. (2013) Influence of changes in solar radiation on changes of surface temperature in China, M.M. Nakata, L. Peng and H.E. Jihnai Influence of changes in solar radiation on changes of surface temperature in China, *Acta Meteorologica Sinica*, *27*,87-97. [Doi:10.1007/s13351-013-0109-8](https://doi.org/10.1007/s13351-013-0109-8) (査読あり)
92. Danielache, S.O., Yoshikawa, C., Priyadarshi, A., Takemura, T., Ueno, Y., Thiemens, M. H., and Yoshida, N.(2012) An estimation of the radioactive ³⁵S emitted into the atmospheric from the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant by using a numerical simulation global transport, *Geochemical Journal*, *46*, p.335-339, 2012. [Doi:10.2343/geochemj.2.0212](https://doi.org/10.2343/geochemj.2.0212) (also in A01-2) (査読あり)

93. Goto, D., Oshima, N., Nakajima, T., Takemura, T. and Ohara, T.(2012) Impact of the aging process of black carbon aerosols on their spatial distribution, hygroscopicity, and radiative forcing in a global climate model, *Atmospheric Chemistry and Physics*, Discussion 12, 29801-29849. [Doi:10.5194/acpd-12-29801-2012](https://doi.org/10.5194/acpd-12-29801-2012) (査読あり)
94. Inomata, Y., Kajino, M., Sato, K. and Akimoto, H.(2012) Emission and atmospheric transport of particulate PAHs in Northeast Asia, *Environmental Science and Technology*, 46, 4941-4949. [Doi:10.1021/es300391w](https://doi.org/10.1021/es300391w) (査読あり)
95. Kajino, M., Deushi, M., Maki, T., Oshima, N., Inomata, Y., Sato, K., Ohizumi, T. and Ueda, H.(2012) Modeling wet deposition and concentration of inorganics over Northeast Asia with MRI-PM/c. *Geoscientific Model Development*, 5, 1363-1375. [Doi:10.5194/gmd-5-1363-2012](https://doi.org/10.5194/gmd-5-1363-2012) (査読あり)
96. Kajino, M., Inomata, Y., Sato, K., Ueda, H., Han, Z., An, J., Katata, G., Deushi, M., Maki, T., Oshima, N., Kurokawa, J., Ohara, T., Takami, A. and Hatakeyama, S.(2012) Development of the RAQM2 aerosol chemical transport model and prediction of Northeast Asian aerosol mass, size, chemistry, and the mixing type. *Atmospheric Chemistry and Physics*, 12, 11833-11856. [Doi:10.5194/acp-12-11833-2012](https://doi.org/10.5194/acp-12-11833-2012) (査読あり)
97. 近藤 裕昭, 里村雄彦, 竹村俊彦, 山澤弘実, 渡邊明ほか 43 名(2012) 2011 年度秋季大会スペシャルセッション「放射性物質輸送モデルの現状と課題」報告, *天気*, 59, 239-250(査読なし)
98. Miyama, T., Nonaka, M., Nakamura, H. and Kuwano-Yoshida, A.(2012) A striking early-summer event of a convective rainband persistent along the warm Kuroshio in the East China Sea, *Tellus A*, 64. [Doi:10.3402/tellusa.v64i0.18962](https://doi.org/10.3402/tellusa.v64i0.18962) (査読あり)
99. 中島映至, 鶴田治雄, 五藤大輔, Nick Schutgens, 中田真木子(2012) CAI 衛星解析とモデルシミュレーションの統合システムの構築, *平成 23 年度国立環境研究所スーパーコンピュータ利用研究年報*, 70-77 (査読なし)
100. Schutgens, N., Nakata, M. and Nakajima, T. (2012) Estimating aerosol emissions by assimilating remote sensing observations into a global transport model, *Remote Sensing*, 4, 3528-3543. [Doi: 10.3390/rs4113528](https://doi.org/10.3390/rs4113528) (査読あり)
101. Tsuruta, H., and Nakajima, T.(2012) 福島第一原子力発電所の事故により放出された放射性物質の大気中での動態: Radioactive materials in the atmosphere released by the accident of the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant, *地球化学*, 46, p. 99-111.(with English abstract) (査読あり)
102. Takemura, T., Nakamura, H., Takigawa, M., Kondo, H., Satomura, T., Miyasaka, T. and Nakajima, T.(2011) A Numerical Simulation of Global Transport of Atmospheric Particles Emitted from the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant, *SOLA, 2011, Vol.7*, p.101-104. [Doi:10.2151/sola.2011-026](https://doi.org/10.2151/sola.2011-026) (査読あり)

A01-2 班

1. Nakagawa, M., K. Yamada, S. Toyoda, K. Kita, Y. Igarashi, S. Komatsu, K. Yamada, R. Jun, N. Yoshida. (2018) Characterization of hydrocarbons in aerosols and investigation of biogenic sources as a carrier of radiocesium isotopes, *Geochemical Journal*, Vol. 52, [doi:10.2343/geochemj.2.0512](https://doi.org/10.2343/geochemj.2.0512) (査読あり)
2. Kinase T., K. Kita., Y. Igarashi, K. Adachi; K. Ninomiya, A. Shinohara, H. Okochi, H. Ogata, M. Ishizuka, S. Toyoda, K. Yamada, N. Yoshida, Y. Zaizen, M. Mikami, H. Demizu, and Y. Onda. (2018) The seasonal variations of atmospheric ^{134,137}Cs activity and possible host particles for their resuspension in the contaminated areas of Tsushima and Yamakiya, Fukushima, Japan, *Progress in Earth and Planetary Science*, 20185:12. [Doi.org/10.1186/s40645-018-0171-z](https://doi.org/10.1186/s40645-018-0171-z) (査読あり)
3. Satou, Y., K. Sueki, K. Sasa, H. Yoshikawa, S. Nakama, H. Minowa, Y. Abe, I. Nakai, T. Ono, K. Adachi and Y. Igarashi. (2018) Analysis of two forms of radioactive particles emitted during the early stages of the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Station accident, *Geochem. J.*, 52. [Doi:10.2343/geochemj.2.0514](https://doi.org/10.2343/geochemj.2.0514). (査読あり)
4. Kajino, M., T. T. Sekiyama, A. Mathieu, I. Korsakissok, R. Perillat, D. Quelo, A. Querel, O. Saunier, K. Adachi, S. Girard, T. Maki, K. Yumimoto, D. Didier, O. Masson, Y. Igarashi. (2018) Lessons learned from atmospheric modeling studies after the Fukushima nuclear accident: Ensemble simulations, data assimilation, elemental process modeling, and inverse modeling. *Geochemical Journal*, Vol.52. [Doi:10.2343/geochemj.2.0503](https://doi.org/10.2343/geochemj.2.0503) (査読あり)
5. Mathieu, A., M. Kajino, I. Korsakissok, R. Perirat, D. Quelo, A. Querel, O. Saunier, T. T. Sekiyama, Y. Igarashi, D. Didier (2018) Fukushima Daiichi-derived radionuclides in the atmosphere, transport and deposition in Japan: A review, *Applied Geochemistry*, Vol.91, P.122-139. [Doi:10.1016/j.apgeochem.2018.01.002](https://doi.org/10.1016/j.apgeochem.2018.01.002) (査読あり)
6. Sekiyama, T. T., M. Kajino, M. Kunii. (2017) The impact of surface wind velocity data assimilation on the predictability of plume advection in the lower troposphere, *Journal of the Meteorological Society of Japan*, Vol.95(6), P.447-454 (査読あり)
7. 金野 俊太郎, 大河内 博, 勝見 尚也, 緒方 裕子, 片岡 淳, 岸本 彩, 岩本 康弘, 反町 篤行, 床次 眞司 (2017) 福島県の里山における植物, 土壌, 底砂中放射性セシウム の長期変動, *分析化学*, 66 巻, 3 号, P.163-174. [Doi.org/10.2116/bunsekikagaku.66.163](https://doi.org/10.2116/bunsekikagaku.66.163) (査読あり)
8. 小野貴大, 飯澤勇信, 阿部善也, 中井 泉, 寺田靖子, 佐藤志彦, 末木啓介, 足立光司, 五十嵐康人 (2017) 福島第一原子力発電所事故により 1 号機から放出された放射性粒子の 放射光マイクロビーム X 線分析を用いる化学性状の解明, *分析化学*, 66 巻, 4 号 P.251-261. [Doi.org/10.2116/bunsekikagaku.66.251](https://doi.org/10.2116/bunsekikagaku.66.251) (査読あり)

9. 足立光司(2017)原子力発電所事故で放出された不溶性放射性粒子の形態と組成, *エアロゾル研究*, 32 巻, 4 号 P.255-260. [Doi.org/10.11203/jar.32.255](https://doi.org/10.11203/jar.32.255) (査読あり)
10. T. Maki, K. Hara, A. Iwata, K.C. Lee, K. Kawai, K. Kai, F. Kobayashi, S.B. Pointing, S. Archer, H. Hasegawa, Y. Iwasaka. (2017) Variations of airborne bacterial communities at high altitudes in response dust events, over Asian-dust downwind area (Japan). *Atmospheric Chemistry and Physics*, 17, P.11877–11897. [Doi.org/10.5194/acp-17-11877-2017](https://doi.org/10.5194/acp-17-11877-2017) (査読あり)
11. D.C. Lacap-Bugler, K.C. Lee, S. Archer, L.N. Gillman, M.C. Lau, S. Leuzinger, C.K. Lee, T. Maki, C.P. McKay, J.K. Perrott, A. de los R. Murillo, K.A. Warren-Rhodes, D.W. Hopkins and S.B. Pointing. (2017) Global diversity of desert hypolithic cyanobacteria, *Frontiers in Microbiology*, (In Press) [Doi: 10.3389/fmicb.2017.00867](https://doi.org/10.3389/fmicb.2017.00867). 2016.5. (査読あり)
12. T. Maki, S. Furumoto, Y. Asahi, K.C. Lee, K. Watanabe, K. Aoki, M. Murakami, T. Tajiri, H. Hasegawa, A. Mashio, Y. Iwasaka. (2018) Long-range transported bioaerosols captured in snow cover on Mount Tateyama, Japan: Impacts of Asian-dust events on airborne bacterial dynamics relating to ice-nucleation activities. *Atmospheric Chemistry and Physics Discussion*. (In Press) [Doi.org/10.5194/acp-2017-1241](https://doi.org/10.5194/acp-2017-1241) (査読あり)
13. 牧輝弥(2017)季節風が運ぶ納豆菌, セブン イレブン記念財団「みどりの風」, No.52 winter, P.16-17. (査読あり)
14. Tomoo AOYAMA, Jun ASANUMA. (2017) Analysis of Time Series of the Ambient Dose Rates. *Journal of Computer Chemistry*, Volume 3. Doi:<https://doi.org/10.2477/jccjie.2016-0053> (査読あり)
15. 青山 智夫, 八木 徹, 神部 順子(2017)線形変換と交差検証法による空間線量率予測, *Journal of Computer Chemistry*, 16 巻, 3 号, p. 70-76. Doi: <https://doi.org/10.2477/jccj.2016-0070> (査読あり)
16. 金野俊太郎, 大河内博, 勝見尚也, 緒方裕子, 片岡淳, 岸本彩, 岩本康弘, 反町篤行, 床次眞司(2017) 福島県の里山における植物、土壌、底砂中放射性セシウムの長期変動, *分析化学*, 66 巻, 3 号, 163-174. [Doi:10.2116/bunsekikagaku.66.163](https://doi.org/10.2116/bunsekikagaku.66.163) (査読あり)
17. Aoyama, M., Kajino, M., Tanaka, Y. T., Sekiyama, T. T., Tsumune, D., Tsubono, T., Hamajima, Y., Inomata, Y., and Gamo, T. (2016) ^{134}Cs and ^{137}Cs in the North Pacific Ocean derived from the March 2011 TEPCO Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident, Japan. Part two: estimation of ^{134}Cs and ^{137}Cs inventories in the North Pacific Ocean, *Journal of Oceanography*, 72 (1), p.67-76. (also in A02-3) [Doi: 10.1007/s10872-015-0332-2](https://doi.org/10.1007/s10872-015-0332-2) (査読あり)
18. Ishizuka, M., Mikami, M., Tanaka, T.Y., Igarashi, Y., Kita, K., Yamada, Y., Yoshida, N., Toyoda, S., Satou, Y., Kinase, T., Ninomiya, K. and Shinohara, A. (2016) Use of a size-resolved 1-D resuspension scheme to evaluate resuspended radioactive material associated with mineral dust particles from the ground surface, *Journal of Environmental Radioactivity*,

- 166(3), 436-448. [Doi:10.1016/j.jenvrad.2015.12.023](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2015.12.023) (査読あり)
19. Kajino, M., Ishizuka, M., Igarashi, Y., Kita, K., Yoshikawa, C. and Inatsu, M. (2016) Long-term assessment of airborne radiocesium after the Fukushima nuclear accident: re-suspension from bare soil and forest ecosystems, *Atmos. Chem. Phys.*, *16*, 13149-13172. [Doi: 10.5194/acp-16-13149-2016](https://doi.org/10.5194/acp-16-13149-2016) (also in A01-1) (査読あり)
 20. Satou, Y., Sueki, K., Sasa, K., Adachi, K., Igarashi, Y. (2016) First successful isolation of radioactive particles from soil near the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant, *Anthropocene*, *14*, 71-76. [Doi: 10.1016/j.ancene.2016.05.001](https://doi.org/10.1016/j.ancene.2016.05.001) (also in A03-5) (査読あり)
 21. 足立光司(2015) 電子顕微鏡がとらえた放射性粒子:福島第一原子力発電所事故初期に大気中に放出された放射性粒子の物理化学的性質, *地球化学*, *49* (4), p.185-193. [Doi: 10.14934/chikyukagaku.49.185](https://doi.org/10.14934/chikyukagaku.49.185) (査読あり)
 22. Igarashi, Y., Kajino, M., Zaizen, Y., Adachi, K., and Mikami, M. (2015) Atmospheric radioactivity over Tsukuba, Japan: a summary of three years of observations after the FDNPP accident, *Progress in Earth and Planetary Science*. [Doi: 10.1186/s40645-015-0066-1](https://doi.org/10.1186/s40645-015-0066-1) (査読あり)
 23. Ichige, H., Fukuchi, S. and Hatano, Y. (2015) Stochastic model for the fluctuations of the atmospheric concentration of radionuclides and its application to uncertainty evaluation, *Atmospheric Environment*, *Vol.103*, p.156-162. [Doi:10.1016/j.atmosenv.2014.12.030](https://doi.org/10.1016/j.atmosenv.2014.12.030) (査読あり)
 24. 岩崎俊樹, 石川裕彦, 近藤裕昭, 鈴木靖, 関山剛, 竹村俊彦, 滝川雅之, 茅野政道, 鶴田治雄, 中島映至, 中村尚, 新野宏, 三上正男, 山澤弘実, 余田成男, 渡邊明(2015) 原子力関連施設の事故に伴う放射性物質の大気拡散に関する数値予測情報の活用策について, *天気*, *62*(2), 113-123 (also in A01-1) (査読あり)
 25. Sekiyama, T. T., Kunii, M., Kajino, M. and Shimbori, T. (2015) Horizontal resolution dependence of atmospheric simulations of the Fukushima nuclear accident using 15-km, 3-km, and 500-m grid models, *Journal of the Meteorological Society of Japan*, *93* (1), p. 49-64. [Doi: 10.2151/jmsj.2015-002](https://doi.org/10.2151/jmsj.2015-002) (査読あり)
 26. Steven, H., Yamada, T., Kondo, H., Watanabe, A. and Ohba, R. (2015) International workshop at Fukushima, Japan, on dispersion and deposition modeling for nuclear accident releases: Transfer of Science from Academic to Operational Models, *Bulletin of the American Meteorological Society*, *97*, ES31-36. [Doi: 10.1175/BAMS-D-15-00191.1](https://doi.org/10.1175/BAMS-D-15-00191.1) (査読あり)
 27. Yamaguchi, N., Mitome, M., Akiyama-Hasegawa, K., Asano, M., Adachi, K. and Kogure, T. (2016) Internal structure of cesium-bearing radioactive microparticles released from Fukushima nuclear power plant, *Scientific Reports*, *6*-20548. [Doi: 10.1038/srep20548](https://doi.org/10.1038/srep20548) (査読あり)

28. Abe, Y., Iizawa, Y., Terada, Y., Adachi, K., Igarashi, Y., Nakai, I. (2014) Detection of uranium and chemical state analysis of individual radioactive microparticles emitted from the Fukushima nuclear accident using multiple synchrotron radiation X-ray analyses, *Analytical Chemistry*, 86(17), p.8521-8525. [Doi : 10.1021/ac501998d](https://doi.org/10.1021/ac501998d) (査読あり)
29. Ishizuka, M., Mikami, M., Leys, J. F., Shao, Y., Yamada, Y., and Heidenreich, S. (2014) Power law relation between size-resolved vertical dust flux and friction velocity measured in a fallow, *Aeolian Research*, 12, p.87-99, [Doi:10.1016/j.aeolia.2013.11.002](https://doi.org/10.1016/j.aeolia.2013.11.002) (査読あり)
30. 梶野瑞王, 五十嵐康人, 藤谷雄二 (2014) Fresh soot と、aged soot は、どちらが気道に沈着しやすいか - 粒径分布と吸湿性の気管支・肺沈着率への影響 -, *大気環境学会誌*, 第 49 巻, 第 2 号. p.101-108. [Doi:10.11298/taiki.49.101](https://doi.org/10.11298/taiki.49.101) (査読あり)
31. Katata, G., Kajino, M., Matsuda, K., Takahashi, A., and Nakaya, K. (2014) A numerical study of the effects of aerosol hygroscopic properties to dry deposition on a broad-leaved forest, *Atmospheric Environment*, 97, p.501-510. [Doi:10.1016/j.atmosenv.2013.11.028](https://doi.org/10.1016/j.atmosenv.2013.11.028) (査読あり)
32. 黒島碩人, 緒方裕子, 大河内博, 床次眞司, 反町篤行, 細田正洋 (2014) 福島県浪江町の里山に大気沈着した放射性セシウムの森林内分布と挙動, *大気環境学会誌*, 49, p.93-100. [Doi:10.11298/taiki.49.93](https://doi.org/10.11298/taiki.49.93) (査読あり)
33. Yamashiki, Y., Onda, Y., Smith, H. G., Blake, W. H., Wakahara, T., Igarashi, Y., Matsuura, Y., and Yoshimura, K. (2014) Initial flux of sediment-associated radiocesium to the ocean from the largest river impacted by Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant, *Scientific Reports*, 4, 3714, [Doi:10.1038/srep03714](https://doi.org/10.1038/srep03714) (査読あり)
34. 八木徹, 神部順子, 中山榮子, 長嶋雲兵, 青山智夫 (2014) 南関東の放射性物質の環境動態, *Journal of Computer Chemistry, Japan*, Vol.13(2014) No.4, pp.199-209, [Doi:10.2477/jccj.2013-0025](https://doi.org/10.2477/jccj.2013-0025) (査読あり)
35. 若月泰孝, 青山智夫 (2014) 放射性物質の陸域への影響, *エネルギー・資源*, 35, p.100-104. (査読あり)
36. 若月泰孝, 青山智夫, 滝川雅之 (2014) 2011 年 3 月 15-16 日の福島県中通り地方の空間線量率シミュレーション, *Journal of Computer Chemistry, Japan*, Vol.13(2014) No. 5, pp.268-277. [Doi:10.2477/jccj.2014-0012](https://doi.org/10.2477/jccj.2014-0012) (査読あり)
37. Adachi, K., Kajino, M., Zaizen, Y., Igarashi, Y. (2013) Emission of spherical cesium-bearing particles from an early stage of the Fukushima nuclear accident, *Scientific Reports*, 3, Article no.2554. [Doi:10.1038/srep02554](https://doi.org/10.1038/srep02554) (also in A01-1) (査読あり)
38. 五十嵐康人 (2013) 新学術領域研究 (研究領域提案型) 「福島原発事故により放出された放射性核種の環境動態に関する学際的研究」とその立ち上がり, *放射化学*, 第 27 号, 2013 年 4 月, p.28-34. (査読あり)
39. 五十嵐康人 (2013) 日本地球惑星科学連合 2013 年大会セッション「最新の大気化学: 福

- 島原発事故放射能の 대기・陸圏輸送、沈着問題」の報告, *天気*, 60(11), p.975-976. (査読なし)
40. Priyadarshi, A., Hatakeyama, S., Noguchi, I., Nojiri, Y., Tanimoto, H., Falkenthal, J. H., Thiemens, M. H., Yoshida, N., Toyoda, S., Yamada, K., Mukotaka, A., Fujii, A., and Uematsu, M.(2013) Detection of Radioactive ^{35}S at Fukushima and other Japanese sites, *Journal of Geophysical Research: Atmospheres*, Vol.118, Issue 2, p.1020-1027, 27 Jan 2013. [Doi:10.1029/2012JD018485](https://doi.org/10.1029/2012JD018485) (査読あり)
41. Tabersky, D., Nishiguchi, K., Utani, K., Ohata, M., Dietiker, R., Fricker, M. B., Maddalena, I. M., Kocha, J., and Gunther, D.(2013) Aerosol entrainment and a large-capacity gas exchange device (Q-GED) for laser ablation inductively coupled plasma mass spectrometry in atmospheric pressure air, *Journal of Analytical Atomic Spectrometry*, 2013,28, p.831-842. [Doi:10.1039/C3JA50044F](https://doi.org/10.1039/C3JA50044F) (査読あり)
42. 田中泰宙 (2013) 放射性物質の全球シミュレーション, *日本風工学会誌*, 38, 4 (通号第 137号), p.388-395. (査読あり)
43. Toyama, C., Muramatsu, Y., Igarashi, Y., Aoyama, M., Matsuzaki, H. (2013) Atmospheric Fallout of ^{129}I in Japan before the Fukushima Accident: Regional and Global Contributions (1963-2005), *Environmental Science & Technology* 2013, 47 (15), p.8383-8390, 2013. [Doi: 10.1021/es401596z](https://doi.org/10.1021/es401596z) (査読あり)
44. Yagi, T., Kambe, J., Nakayama, E., Nagashima, U., and Aoyama, T. (2013) A Function of Residence Half-life of Radioisotope Substances, *Journal of Computer Chemistry, Japan*, Vol.12 (2013) No. 2, p.122-132, [Doi:10.2477/jccj.2012-0024](https://doi.org/10.2477/jccj.2012-0024) (査読あり)
45. 青山道夫, 五十嵐康人(2012) 1957年から始まる気象研究所における環境放射能研究の歴史, *放射線*, 38(3), 123-128. ISSN0285-3604 (査読あり)
46. 青山道夫, 五十嵐康人, 廣瀬勝己(2012) 月間降下物測定 660カ月が教えること— ^{90}Sr , ^{137}Cs および Pu 降下量 1957年4月~2012年3月, *科学* 82, p.442-457. (査読なし)
47. Danielache, S.O., Yoshikawa, C., Priyadarshi, A., Takemura, T., Ueno, Y., Thiemens, M. H., and Yoshida, N.(2012) An estimation of the radioactive ^{35}S emitted into the atmospheric from the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant by using a numerical simulation global transport, *Geochemical Journal*, 46, p.335-339. [Doi:10.2343/geochemj.2.0212](https://doi.org/10.2343/geochemj.2.0212) (also in A01-1) (査読あり)
48. Ebihara, M., Yoshida, N., and Takahashi, Y. (2012) Preface: Migration of radionuclides from the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident, *Geochemical Journal*, Vol. 46, p.267-270. [Doi:10.2343/geochemj.2.0223](https://doi.org/10.2343/geochemj.2.0223) (also in A04-7) (査読あり)
49. Hirose, K., Kikawada, Y., and Igarashi, Y. (2012) Temporal variation and provenance of thorium deposition observed at Tsukuba, *J. Environmental Radioactivity*, 108, p.24-28. [Doi:10.1016/j.jenvrad.2011.10.004](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2011.10.004) (査読あり)

50. Kikawada, Y., Oda, K., Nomura, M., Honda, T., Oi, T., Hirose, K., and Igarashi, Y. (2012) Origin of enriched uranium contained in Japanese atmospheric deposits, *Natural Science*, 4, p.936-942. [Doi:10.4236/ns.2012.431122](https://doi.org/10.4236/ns.2012.431122) (査読あり)
51. Yamazaki, H., and Satomura, T. (2012) Non-hydrostatic atmospheric cut cell model on a block-structured mesh, *Atmospheric Science Letters*, 13, p.29-35. [Doi:10.1002/asl.358](https://doi.org/10.1002/asl.358) (査読あり)
52. Toyama, C., Muramatsu, Y., Uchida, Y., Igarashi, Y., Aoyama, M., and Matsuzaki, H. (2012) Variations of ^{129}I in the atmospheric fallout of Tokyo Japan 1963-2003, *J. Environmental Radioactivity*, 113, p.116-122. [Doi:10.1016/j.jenvrad.2012.04.014](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2012.04.014) (査読あり)
53. Yoshida, N. and Kanda, J. (2012) Tracking the Fukushima Radionuclides, *Science*, 1 June 2012, Vol.336, No.6085, p.1115-1116. [Doi:10.1126/science.1219493](https://doi.org/10.1126/science.1219493) (also in A02-4) (査読あり)
54. Yoshida, N., and Takahashi, Y. (2012) Land-surface contamination by radionuclides from the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident, *Elements*, June 2012 v.8 no.3 p.201-206. [Doi: 10.2113/gselements.8.3.201](https://doi.org/10.2113/gselements.8.3.201) (also in A04-7) (査読あり)

A02-3 班

1. Aoyama, M. (2018) Long-term behavior of ^{137}Cs and ^3H activities from TEPCO Fukushima NPP1 accident in the coastal region off Fukushima, Japan, *Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry*. 1–10. [Doi:10.1007/s10967-018-5815-3](https://doi.org/10.1007/s10967-018-5815-3) (査読あり)
2. Kaizer, J., Aoyama, M., Kumamoto, Y., Molnar, M., Palcsu, L., Povinec, P.P. (2018) Tritium and radiocarbon in the western North Pacific waters: post-Fukushima situation, *Journal of Environmental Radioactivity*, Vol.184-185, P.83-94. [Doi: 10.1016/j.jenvrad.2018.01.015](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2018.01.015) (査読あり)
3. Takahata, N., Tomonaga, Y., Kumamoto, Y., Yamada, M., and Sano, Y. (2018) Direct tritium emissions to the ocean from the Fukushima Dai-ichi nuclear accident, *Geochemical Journal*, Vol.52. [Doi:10.2343/geochemj.2.0499](https://doi.org/10.2343/geochemj.2.0499). (査読あり)
4. Men, W., Zheng, J., Wang, H., Ni, Y., Aono, T., Maxwell, S.L., Tagami, K., Uchida, S., Yamada, M. (2018) Establishing rapid analysis of Pu isotopes in seawater to study the impact of Fukushima nuclear accident in the Northwest Pacific, *Scientific Reports* (Online Only) URL:<http://www.nature.com/srep/index.html>, 8, 1892-1 - 1892-11, 2018-01, [Doi:10.1038/s41598-018-20151-4](https://doi.org/10.1038/s41598-018-20151-4) (査読あり)
5. 猪股弥生, 青山道夫, 浜島靖典, 山田正俊 (2018) 日本沿岸域における福島第一原発事故由来放射性セシウムの再循環. *水産海洋研究*. (査読なし)
6. Yang, G. S., Tazoe, H., Yamada, M. (2018) Improved approach for routine monitoring of ^{129}I activity and $^{129}\text{I}/^{127}\text{I}$ atom ratio in environmental samples using TMAH extraction and ICP-

- MS/MS. *Analytica Chimica Acta*, Vol. 1008, 66-73. [Doi: 10.1016/j.aca.2017.12.049](https://doi.org/10.1016/j.aca.2017.12.049) (査読あり)
7. Kitamura, Y., Honda, M.C., Hamajima, Y., Kumamoto, Y., Aoyama, M., Kawakami, H., Aono, T., Fukuda, M., Mino, Y.(2017) Temporal changes in radiocesium contamination derived from the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident in oceanic zooplankton in the western North Pacific, *Journal of Environmental Radioactivity*, Vol.172, P.163-172. [Doi: 10.1016/j.jenvrad.2017.03.024](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2017.03.024) (査読あり)
 8. Aoyama, M., Hamajima, Y., Inomata, Y., Oka, E. (2017) Recirculation of FNPP1-derived radiocaesium observed in winter 2015/2016 in coastal regions of Japan, *Applied Radiation and Isotopes*, Vol.126, 83-87. [Doi: 10.1016/j.apradiso.2016.12.003](https://doi.org/10.1016/j.apradiso.2016.12.003) (査読あり)
 9. Inoue, M., Shirotani, Y., Furusawa, Y., Fujimoto, K., Kofuji, H., Yoshida, K., Nagao, S., Yamamoto, M., Hamajima, Y., Honda, N., Morimoto, A., Takikawa, T., Shiomoto, A., Isoda, Y., Minakawa, M. (2017) Migration area of the Tsushima Warm Current Branches within the Sea of Japan: Implications from transport of ²²⁸Ra, *Continental Shelf Research*, Vol.143, 167-174. <https://doi.org/10.1016/j.csr.2016.08.010> (査読あり)
 10. Buesseler, K., Dai, M., Aoyama, M., Benitez-Nelson, C., Charmasson, S., Higley, K., Maderich, V., Masque, P., Oughton, D. N., Smith J. (2017) Fukushima Daiichi-Derived Radionuclides in the Ocean: Transport, Fate, and Impacts, *Annual Review of Marine Science*, 9, 173-203. [Doi.org/10.1146/annurev-marine-010816-060733](https://doi.org/10.1146/annurev-marine-010816-060733) (査読なし)
 11. Bu, W., Zheng, J., Guo, Q., Xiao, D., Aono, T. (2017) Determination of Pu isotopes in sediment and soil samples by SF-ICP-MS: an improved anion-exchange procedure for Pu separation, *Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry*, Vol.314(3), 2417 - 2423, 2017-12. [Doi:10.1007/s10967-017-5618-y](https://doi.org/10.1007/s10967-017-5618-y) (査読あり)
 12. Kumamoto, Y., Aoyama, M., Hamajima, Y., Nagai, H., Yamagata, T., Kawai, Y., Oka, E., Yamaguchi, A., Imai, K., Murata, A. (2017) Fukushima-derived radiocesium in the western North Pacific in 2014, *Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry*, Vol.311, 1209-1217. [Doi:10.1007/s10967-016-5055-3](https://doi.org/10.1007/s10967-016-5055-3) (査読あり)
 13. Kumamoto, Y., Aoyama, M., Hamajima, Y., Nishino, S., Murata, A., Kikuchi, T. (2017) Radiocesium in the western subarctic area of the North Pacific Ocean, Bering Sea, and Arctic Ocean in 2013 and 2014, *Applied Radiation and Isotopes*, Vol.126, 88-92. [Doi:10.1016/j.apradiso.2017.02.036](https://doi.org/10.1016/j.apradiso.2017.02.036) (査読あり)
 14. 熊本雄一郎, 青山道夫, 浜島靖典, 永井尚生, 山形武靖, 村田昌彦(2017) 2014年未までの西部北太平洋における福島第一原子力発電所事故起源放射性セシウムの拡がり, *分析化学*, Vol. 66, No.3, 137-148. [Doi:10.2116/bunsekikagaku.66.137](https://doi.org/10.2116/bunsekikagaku.66.137) (査読あり)
 15. 工藤輝, 山形武靖, 永井尚生, 熊本雄一郎, 西野茂人, 松崎浩之(2017) チュクチ海 - 北極海における海水中 ¹²⁹I 濃度の分布, *Proceedings of the 19th Japanese Symposium on*

Accelerator Mass Spectrometry, 102-105. (査読なし)

16. Nagao, S., Ootosaka, S. and Kaeriyama, H. (2017) Preface; Radionuclides in coastal sediments after the accident of Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant: distribution, dynamics and fate, *Journal of Oceanography*, Vol. 73, 527. DOI: 10.1007/s10872-017-0444-y (査読あり)
17. Uchiyama, Y., Kanki, R., Takano, A., Yamazaki, H. and Miyazawa, Y. (2017) Mesoscale reproducibility in regional ocean modeling with a 3-D stratification estimate based on Aviso-Argo data, *Atmosphere-Ocean*, Vol. 55, 1-18. [Doi: 10.1080/07055900.2017.1399858](https://doi.org/10.1080/07055900.2017.1399858) (査読あり)
18. 内山雄介, 東晃平, 小谷瑳千花, 岩崎理樹, 津旨大輔, 上平雄基, 清水康行, 恩田裕一 (2017) 台風 201326 号出水に伴う新田川起源懸濁態放射性核種の沿岸域でのインベントリ解析, *土木学会論文集 B2 (海岸工学)*, Vol. 73, No. 2, I_685-I_690. [Doi:10.2208/kaigan.73.I_685](https://doi.org/10.2208/kaigan.73.I_685) (査読あり)
19. 内山雄介 (2017) マルチクラス懸濁質輸送モデルを用いた福島沿岸域における河川由来懸濁質および懸濁態放射性核種の海洋分散について, *沿岸海洋研究*, Vol. 54, No. 2, 159-172. (査読あり)
20. Yang, G. S., Tazoe, H., Hayano, K., Okamura, K., Yamada, M. (2017) Isotopic compositions of ^{236}U , ^{239}Pu , and ^{240}Pu in soil contaminated by the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident. *Scientific Reports*, 7, 13619. [Doi:10.1038/s41598-017-13998-6](https://doi.org/10.1038/s41598-017-13998-6) (査読あり)
21. Yang, G. S., Tazoe, H., Yamada, M. (2017) Can ^{129}I track ^{135}Cs , ^{236}U , ^{239}Pu , and ^{240}Pu apart from ^{131}I in soil samples from Fukushima Prefecture, *Japan Scientific Reports*, 7, 15369. [Doi:10.1038/s41598-017-15714-w](https://doi.org/10.1038/s41598-017-15714-w) (査読あり)
22. Kambayashi, S., Zhang, J., Narita, H. (2017) Spatial assessment of radiocaesium in the largest lagoon in Fukushima after the TEPCO Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Station accident. *Marine Pollution Bulletin*, Vol. 122, 344-352. <https://doi.org/10.1016/j.marpolbul.2017.06.071> (査読あり)
23. 神林翔太, 張勁, 成田尚史, 山田正俊. 汽水域における放射性セシウムの分布状況と輸送過程の把握: 福島県松川浦での事例. *月刊海洋号外* (査読なし)
24. Cao, L., Ishii, N., Zheng, J., Kagami, M., Pan, S. M., Tagami, K. and Uchida, S. (2017) Vertical distributions of Pu and radiocesium isotopes in sediments from Lake Inba after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident: Source identification and accumulation, *Appl. Geochem.*, 78, 287-294. [Doi:10.1016/j.apgeochem.2017.01.012](https://doi.org/10.1016/j.apgeochem.2017.01.012) (査読あり)
25. Hain, K., Faestermann, T., Fimiani, L., Golser, L., Gómez-Guzmán, J., Korschinek, G., Kortmann, F., von Gostomski, C. L., Ludwig, P., Steier, P., Tazoe, H. and Yamada, M. (2017) Plutonium Isotopes ($^{239-241}\text{Pu}$) Dissolved in Pacific Ocean Waters Detected by Accelerator Mass Spectrometry: No Effects of the Fukushima Accident Observed, *Environmental Science*

- and Technology*, 51 (4), 2031-2037. [Doi: 10.1021/acs.est.6b05605](https://doi.org/10.1021/acs.est.6b05605) (査読あり)
26. Kaeriyama, H. (2017) Oceanic dispersion of Fukushima-derived radioactive cesium: a review, *Fisheries Oceanography*, 26 (2), 99-113. [Doi: 10.1111/fog.12177](https://doi.org/10.1111/fog.12177) (査読あり)
 27. Kamidaira, Y., Uchiyama, Y. and Mitarai, S. (2017) Eddy-induced transport of the Kuroshio warm water around the Ryukyu Islands in the East China Sea, *Cont. Shelf Res.*(in press) [Doi:10.1016/j.csr.2016.07.004](https://doi.org/10.1016/j.csr.2016.07.004) (査読あり)
 28. 熊本雄一郎 (2017) 2011 年北太平洋東北地方沿岸・沖合域における福島第一原子力発電所事故に由来する放射性セシウムの動態, *沿岸海洋研究誌*, 54, 135-142. (査読あり)
 29. Hirose, K. and Aoyama, M. (2017) Temporal Variations of Global Fallout-Derived Plutonium and ^{137}Cs in River Water in Japan, *International Journal of Earth & Environmental Sciences*, 172, 163-172. [Doi: 10.15344/2456-351X/2017/125](https://doi.org/10.15344/2456-351X/2017/125) (査読あり)
 30. 升本順夫, 津旨大輔, 郭新宇, 内山雄介, 宮澤泰正 (2017) 放射性物質の分散シミュレーションに影響を及ぼす沿海域海況変動過程とその再現性, *沿岸海洋研究*, 54 (2), 151-157. (査読あり)
 31. Miki, S., Fujimoto, K., Shigenobu, Y., Ambe, D., Kaeriyama, H., Takagi, K., Ono, T., Watanabe, T., Sugisaki, H. and Morita, T. (2017) Concentrations of ^{90}Sr and $^{137}\text{Cs}/^{90}\text{Sr}$ activity ratios in marine fishes after the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident, *Fisheries Oceanography*, 26, 221-233. [Doi: 10.1111/fog.12182](https://doi.org/10.1111/fog.12182) (査読あり)
 32. Tateda, Y., Tsumune, D., Misumi, K., Aono, T., Kanda, J. and Ishimaru, T. (2017) Biokinetics of radiocesium depuration in marine fish inhabiting the vicinity of the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant, *Journal of Environmental Radioactivity*, 166, Part1, 67-73. [Doi: 10.1016/j.jenvrad.2016.02.028](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2016.02.028) (査読あり)
 33. Tazoe, H., Obata, H., Tomita, M., Namura, S., Nishioka, J., Yamagata, T., Karube, Z. and Yamada, M. (2017) Novel method for low level Sr-90 activity detection in seawater by combining oxalate precipitation and chelating resin extraction, *Geochemical Journal*, 51 (2), 193-197. [Doi:10.2343/geochemj.2.0441](https://doi.org/10.2343/geochemj.2.0441) (査読あり)
 34. Yang, G. S., Kato, Y., Tazoe, H. and Yamada, M. (2017) Applying an improved method to measure ^{134}Cs , ^{135}Cs , and ^{137}Cs activities and their atom ratios in marine sediments collected close to the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant, *Geochemical Journal*. 51. [Doi:10.2343/geochemj.2.0484](https://doi.org/10.2343/geochemj.2.0484) (査読あり)
 35. Aoyama, M., Hamajima, Y., Hult, M., Uematsu, M., Oka, E., Tsumune, D. and Kumamoto, Y. (2016) ^{134}Cs and ^{137}Cs in the North Pacific Ocean derived from the March 2011 TEPCO Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident, Japan. Part one: surface pathway and vertical distributions, *Journal of Oceanography*, 72 (1), 53-65. [Doi: 10.1007/s10872-015-0335-z](https://doi.org/10.1007/s10872-015-0335-z) (also in A01-2) (査読あり)
 36. Aoyama, M., Hult, M., Hamajima, Y., Lutter, G., Marissens, G., Stroh, H. and Tzika, F. (2016)

- Tracing radioactivity from Fukushima in the Northern Pacific Ocean, *Applied Radiation and Isotopes*, 109, p. 435-440. [Doi:10.1016/j.apradiso.2015.11.103](https://doi.org/10.1016/j.apradiso.2015.11.103) (査読あり)
37. Aoyama, M., Kajino, M., Tanaka, Y. T., Sekiyama, T. T., Tsumune, D., Tsubono, T., Hamajima, Y., Inomata, Y. and Gamo, T. (2016) ^{134}Cs and ^{137}Cs in the North Pacific Ocean derived from the March 2011 TEPCO Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident, Japan. Part two: estimation of ^{134}Cs and ^{137}Cs inventories in the North Pacific Ocean, *Journal of Oceanography*, 72 (1), 67-76. [Doi: 10.1007/s10872-015-0332-2](https://doi.org/10.1007/s10872-015-0332-2) (also in A01-2) (査読あり)
38. Bu, T., Zheng, J., Liu, X. M., Long, K., Hu, S. and Uchida, S. (2016) Mass spectrometry for the determination of fission products ^{135}Cs , ^{137}Cs and ^{90}Sr : A review of methodology and applications, *Spectrochimica Acta Part B*, 119, 65-75. [Doi: 10.1016/j.sab.2016.03.008](https://doi.org/10.1016/j.sab.2016.03.008) (査読あり)
39. Cao, L. G., Bu, W. T., Zheng, J., Pan, S. M., Wang, Z. T. and Uchida, S. (2016) Plutonium determination in seawater by inductively coupled plasma mass spectrometry: A review, *Talanta*, 151, 30-41. [Doi:10.1016/j.talanta.2016.01.010](https://doi.org/10.1016/j.talanta.2016.01.010) (査読あり)
40. Cao, L., Zheng, J., Tsukada, H., Pan, S. M., Wang, Z. T., Tagami, K. and Uchida, S. (2016) Simultaneous determination of radiocesium (^{135}Cs , ^{137}Cs) and plutonium (^{239}Pu , ^{240}Pu) isotopes in river suspended particles by ICP-MS/MS and SF-ICP-MS, *Talanta*, 159, 55-63. [Doi:10.1016/j.talanta.2016.06.008](https://doi.org/10.1016/j.talanta.2016.06.008) (査読あり)
41. 本多牧生, 乙坂重嘉 (2016) 福島原発事故由来の放射性物質が付着した海底堆積物の再懸濁と水平輸送過程, *日本原子力学会誌*, 58 (4), 225-228. (査読あり)
42. Ikenoue T., Takata, H., Kusakabe, M., Kudo, N., Hasegawa, K. and Ishimaru, T. (2016) Temporal variation of cesium isotope concentrations and atom ratios in zooplankton in the Pacific off the east coast of Japan, *Scientific Reports*, 7:39874. [Doi: 10.1038/srep39874](https://doi.org/10.1038/srep39874) (査読あり)
43. Inomata, Y., Aoyama, M., Tsubono, T., Tsumune, D. and Hirose, K. (2016) Spatial and temporal distributions of ^{134}Cs and ^{137}Cs derived from the TEPCO Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident in the North Pacific Ocean by using optimal interpolation analysis, *Environ. Sci.: Processes Impacts*, 18, 126-136. [Doi: 10.1039/C5EM00324E](https://doi.org/10.1039/C5EM00324E) (査読あり)
44. 帰山秀樹 (2016) 水圏生態系への人工放射性物質拡散の影響評価に関する研究, *日本水産学会誌*, 82 (4), 529-532. [Doi: 10.2331/suisan.WA2299](https://doi.org/10.2331/suisan.WA2299) (査読あり)
45. 帰山秀樹 (2016) 東京電力福島第一原発事故影響評価を中心とした海産動物プランクトンの人工放射性核種に関する研究(総説), *日本プランクトン学会報*, 63 (1), 8-15. (査読あり)
46. Kaeriyama, H., Shimizu, Y., Setou, T., Kumamoto, Y., Okazaki, M., Ambe, D. and Ono, T. (2016) Intrusion of Fukushima-derived radiocaesium into subsurface water due to formation of mode waters in the North Pacific, *Scientific Reports*, 6: 22010. [Doi: 10.1038/srep22010](https://doi.org/10.1038/srep22010) (査読あり)

あり)

47. Kakehi, S., Kaeriyama, H., Ambe, D., Ono, T., Ito, S., Shimizu, Y. and Watanabe, T. (2016) Radioactive cesium dynamics derived from hydrographic observations in the Abukuma River Estuary, Japan, *Journal of Environmental Radioactivity*, 153, 1-9. [Doi:10.1016/j.jenvrad.2015.11.015](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2015.11.015) (査読あり)
48. Kumamoto, Y., Aoyama, M., Hamajima, Y., Nishino, S., Murata, A., Kikuchi, T. (2016) Meridional distribution of Fukushima-derived radiocesium in surface seawater along a trans-Pacific line from the Arctic to Antarctic Oceans in summer 2012, *Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry*, 307 (3), 1703-1710. [Doi:10.1007/s10967-015-4439-0](https://doi.org/10.1007/s10967-015-4439-0) (査読あり)
49. Tazoe, H., Obata, H., Yamagata, T., Karube, Z., Nagai, H. and Yamada, M. (2016) Determination of strontium-90 from direct separation of yttrium-90 by solid phase extraction using DGA Resin for seawater monitoring. *Talanta*, 152, 219-227. [Doi:10.1016/j.talanta.2016.01.065](https://doi.org/10.1016/j.talanta.2016.01.065)(also in A04-8) (査読あり)
50. Romero, L., Siegel, D. A., McWilliams, J. C., Uchiyama, Y. and Jones, C. (2016) Characterizing Stormwater Dispersal and Dilution from Small Coastal Streams, *J. Geophys. Res.*, 121 (6), 3926-3943. [Doi:10.1002/2015JC011323](https://doi.org/10.1002/2015JC011323) (査読あり)
51. Takata, H., Kusakabe, M., Inatomi, N., Ikenoue, T. and Hasegawa, K. (2016) The Contribution of Sources to the Sustained Elevated Inventory of ¹³⁷Cs in Offshore Waters East of Japan after the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Station Accident, *Environ. Sci. Technol.*, 50 (13), 6957-6963. [Doi: 10.1021/acs.est.6b00613](https://doi.org/10.1021/acs.est.6b00613) (査読あり)
52. Tateda, Y., Tsumune, D., Tsubono, T., Misumi, K., Yamada, M., Kanda, J. and Ishimaru, T. (2016) Status of ¹³⁷Cs contamination in marine biota along the pacific coast of eastern Japan derived from a dynamic biological model two years simulation following the Fukushima accident, *Journal of Environmental Radioactivity*, 151, Part2, 495-501. [Doi: 10.1016/j.jenvrad.2015.05.013](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2015.05.013) (査読あり)
53. Tsubono, T., Misumi, K., Tsumune, D., Bryan, F. O., Hirose, K. and Aoyama, M. (2016) Evaluation of radioactive cesium impact from atmospheric deposition and direct release fluxes into the North Pacific from the Fukushima Daiichi nuclear power plant, *Deep Sea Research I*, 115, 10-21. [Doi:10.1016/j.dsr.2016.02.019](https://doi.org/10.1016/j.dsr.2016.02.019) (査読あり)
54. 内山雄介, 鈴江洋太, 小碓大地(2016) 瀬戸内海および遠州灘沿岸域における陸域起源物質分散の季節変動特性について, *土木学会論文集 B1 (水工学)*, 72 (4), I_949-I_954. [Doi:10.2208/jscejhe.72.I_949](https://doi.org/10.2208/jscejhe.72.I_949) (査読あり)
55. 山西琢文, 内山雄介, 岩崎理樹, 清水康行, 津旨大輔, 三角和弘, 恩田裕一(2016) 出水イベントに伴う福島新田川河口周辺海域における懸濁態放射性核種の海洋分散について, *土木学会論文集 B2(海岸工学)*, 72 (2), I_757-I_762. [Doi: 10.2208/kaigan.72.I_757](https://doi.org/10.2208/kaigan.72.I_757) (査読あり)

56. Yang, G., Tazoe, H. and Yamada, M. (2016) Determination of ^{236}U in environmental samples by single extraction chromatography coupled to triple-quadrupole inductively coupled plasma-mass spectrometry, *Analytica Chimica Acta*, 944, 44-50. [Doi:10.1016/j.aca.2016.09.033](https://doi.org/10.1016/j.aca.2016.09.033) (査読あり)
57. Yang, G., Tazoe, H. and Yamada, M. (2016) ^{135}Cs activity and $^{135}\text{Cs}/^{137}\text{Cs}$ atom ratio in environmental samples before and after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident, *Scientific Reports* 6, 24119. [Doi:10.1038/srep24119](https://doi.org/10.1038/srep24119) (査読あり)
58. Yang, G., Tazoe, H. and Yamada, M. (2016) Rapid determination of ^{135}Cs and precise $^{135}\text{Cs}/^{137}\text{Cs}$ atomic ratio in environmental samples by single-column chromatography coupled to triple-quadrupole inductively coupled plasma-mass spectrometry, *Analytica Chimica Acta*, 908, 177-184. [Doi:10.1016/j.aca.2015.12.041](https://doi.org/10.1016/j.aca.2015.12.041) (査読あり)
59. Yasutaka, T., Miyazu, S., Kondo, Y., Tsuji, H., Arita, K., Hayashi, S., Takahashi, A., Kawamoto, T. and Aoyama, M. (2016) Development of a copper-substituted, Prussian blue-impregnated, nonwoven cartridge filter to rapidly measure radiocesium concentration in seawater, *Journal of Nuclear Science and Technology*, 53 (9), 1243-1250. [Doi:10.1080/00223131.2015.1135302](https://doi.org/10.1080/00223131.2015.1135302) (査読あり)
60. Bu, W. T., Zheng, J., Aono, T., Wu, J. W., Tagami, K., Shigeo, S., Guo, Q. J. and Yamada, M. (2015) Pu Distribution in Seawater in the Near Coastal Area off Fukushima after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident, *Journal of Nuclear and Radiochemical Sciences*, 15 (1), 1-6. [Doi:10.14494/jnrs.15.1_1](https://doi.org/10.14494/jnrs.15.1_1) (査読あり)
61. Bu, W. T., Zheng, J., Guo, Q. J., Aono, T., Otsuka, S., Tagami, K. and Uchida, S. (2015) Temporal distribution of plutonium isotopes in marine sediments off Fukushima after the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident, *Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry*, 303 (2), 1151-1154. [Doi:10.1007/s10967-014-3437-y](https://doi.org/10.1007/s10967-014-3437-y) (査読あり)
62. Buesseler, K. O., German, C. R., Honda, M. C., Otsuka, S., Black, E. E., Kawakami, H., Manganini, S. J. and Pike, S. M. (2015) Tracking the fate of particle associated Fukushima cesium in the ocean off Japan, *Environ Science and Technology*, 49, 9807-9816. [Doi: 10.1021/acs.est.5b02635](https://doi.org/10.1021/acs.est.5b02635) (査読あり)
63. Fujimoto, K., Miki, S., Kaeriyama, H., Shigenobu, Y., Takagi, K., Ambe, D., Ono, T., Watanabe, T., Morinaga, K., Nakata, K. and Morita, T. (2015) Use of otolith for detecting strontium-90 in fish from the harbor of Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant, *Environ. Science. and Technology*, 49, 7294-7301. [Doi:10.1021/es5051315](https://doi.org/10.1021/es5051315) (査読あり)
64. 本多牧生 (2015) 時系列式セジメントトラップによる原子力発電所事故由来の粒状態放射性核種の挙動に関する観測研究, *地球化学*, 49 (4), 227-238. [Doi:10.14934/chikyukagaku.49.227](https://doi.org/10.14934/chikyukagaku.49.227) (査読あり)
65. Honda, M., Matsuzaki, H., Miyake, Y., Maejima, Y., Yamagata, T. and Nagai, H. (2015) Depth

- profile and mobility of ^{129}I and ^{137}Cs in soil originating from the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident, *J. Environ. Radioact.*, *146*, 35-43. [Doi:10.1016/j.jenvrad.2015.03.029](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2015.03.029) (査読あり)
66. Kaeriyama, H., Fujimoto, K., Ambe, D., Shigenobu, Y., Ono, T., Tadokoro, K., Okazaki, Y., Kakehi, S., Ito, S., Narimatsu, Y., Nakata, K., Morita, T. and Watanabe, T. (2015) Fukushima-derived ^{134}Cs and ^{137}Cs in zooplankton and seawater samples collected off the Joban-Sanriku coast, in Sendai Bay, and the Oyashio region, *Fisheries Science*, *81*, 139-153. [Doi: 10.1007/s12562-014-0827-6](https://doi.org/10.1007/s12562-014-0827-6) (査読あり)
67. Kumamoto, Y., Aoyama, M., Hamajima, Y., Murata, A. and Kawano, T. (2015) Impact of Fukushima-derived radiocesium in the western North Pacific Ocean about ten months after the Fukushima Dai-ichi nuclear power plant accident, *Journal of Environmental Radioactivity*, *140*, 114-122. [Doi:10.1016/j.jenvrad.2014.11.010](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2014.11.010) (査読あり)
68. Kumar, N., Feddersen, F., Uchiyama, Y., McWilliams, J. and O'Reilly, W. (2015) Mid-shelf to surf zone coupled ROMS-SWAN model-data comparison of waves, currents, and temperature: Diagnosis of subtidal forcings and response, *J. Phys. Oceanogr.*, *45*, 1464-1490. [Doi: 10.1175/JPO-D-14-0151.1](https://doi.org/10.1175/JPO-D-14-0151.1) (査読あり)
69. Lutter, G., Tzika, F., Hult, M., Aoyama, M., Hamajima, Y., Marissens, G. and Stroh H. (2015) Measurement of anthropogenic radionuclides in post-Fukushima Pacific sea water samples, *Nukleonika*, *60* (3), 545-550. [Doi:10.1515/nuka-2015-0112](https://doi.org/10.1515/nuka-2015-0112) (査読あり)
70. Marchesiello, P., Benschila, R., Almar, R., Uchiyama, Y., McWilliams, J. and Shchepetkin, A. (2015) On tridimensional rip current modeling, *Ocean Modell.*, *96*, Part1, 36-48. [Doi:10.1016/j.ocemod.2015.07.003](https://doi.org/10.1016/j.ocemod.2015.07.003) (査読あり)
71. Matsuda, K., Takagi, K., Tomiya, A., Enomoto, M., Tsuboi, J., Kaeriyama, H., Ambe, D., Fujimoto, K., Ono, T., Uchida, K. and Yamamoto, S. (2015) Comparison of radioactive cesium contamination of lake water, bottom sediment, plankton and freshwater fish among lakes of Fukushima prefecture, Japan, after the Fukushima fallout, *Fisheries Science*, *81*, 737-747. [Doi: 10.1007/s12562-015-0874-7](https://doi.org/10.1007/s12562-015-0874-7) (査読あり)
72. Nagai, H., Hasegawa, A., Yamagata, T., Kumamoto, Y., Nishino, S. and Matsuzaki, H. (2015) Anthropogenic ^{129}I in the North Pacific, Bering and Chukchi Seas, and Arctic Ocean in 2012-2013, *Nuclear Instruments and Methods in Physics Research Section B: Beam Interactions with Materials and Atoms*, *361*, 680-684. [Doi:10.1016/j.nimb.2015.07.119](https://doi.org/10.1016/j.nimb.2015.07.119) (査読あり)
73. Oikawa S., Watabe, T., Takata, H., Misonoo, J., Kusakabe, M. (2015) Plutonium isotopes and ^{241}Am in surface sediments off the coast of the Japanese islands before and soon after the Fukushima Dai-ichi nuclear power plant accident, *J. Radioanal. Nucl. Chem.*, *303* (2), 1513-1518. [Doi: 10.1007/s10967-014-3530-2](https://doi.org/10.1007/s10967-014-3530-2) (査読あり)
74. Ono, T., Ambe, D., Kaeriyama, H., Shigenobu, Y., Fujimoto, K., Sogame, K., Nishiura, N.,

- Fujikawa, T., Morita, T. and Watanabe, T. (2015) Concentration of ^{134}Cs + ^{137}Cs bonded to the organic fraction of sediment offshore from Fukushima, *Japan. Geochemical Journal*, 49 (2), 219-227. [Doi: 10.2343/geochemj.2.0351](https://doi.org/10.2343/geochemj.2.0351) (査読あり)
75. Takata, H., Hasegawa, K., Oikawa, S., Kudo, N., Ikenoue, T., Isono, R. S. and Kusakabe, M. (2015) Remobilization of radiocesium on riverine particles in seawater: The contribution of desorption to the export flux to the marine environment, *Marine Chemistry*, 176, 51-63. [Doi:10.1016/j.marchem.2015.07.004](https://doi.org/10.1016/j.marchem.2015.07.004) (査読あり)
76. Takata, H., Kusakabe, M. and Oikawa, S. (2015) Radiocesiums (^{134}Cs , ^{137}Cs) in zooplankton in the waters of Miyagi, Fukushima and Ibaraki Prefectures, *J. Radioanal. Nucl. Chem.*, 303 (2), 1265-1271. [Doi:10.1007/s10967-014-3504-4](https://doi.org/10.1007/s10967-014-3504-4) (査読あり)
77. Tateda, Y., Tsumune, D., Tsubono, T., Aono, T., Kanda, J. and Ishimaru, T. (2015) Radiocesium biokinetics in olive flounder inhabiting the Fukushima accident-affected Pacific coastal waters of eastern Japan, *J. Environ. Radioact.*, 147, 130-141. [Doi:10.1016/j.jenvrad.2015.05.025](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2015.05.025) (査読あり)
78. Tsuboi, J., Abe, S., Fujimoto, K., Kaeriyama, H., Ambe, D., Matsuda, K., Enomoto, M., Tomiya, A., Morita, T., Ono, T., Yamamoto, S. and Iguchi, K. (2015) Exposure of a herbivorous fish to ^{134}Cs and ^{137}Cs from the riverbed following the Fukushima disaster, *Journal of Environmental Radioactivity*, 141, 32-37 (2015) [Doi: 10.1016/j.jenvrad.2014.11.012](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2014.11.012) (査読あり)
79. 山西琢文, 内山雄介, 津旨大輔, 三角和弘 (2015) 統合型河川・浅海域土砂輸送モデルを用いた河川由来懸濁態放射性核種の海洋分散解析, *土木学会論文集 B2(海岸工学)*, 71, I_565-570. [Doi: 10.2208/kaigan.71.I_565](https://doi.org/10.2208/kaigan.71.I_565) (査読あり)
80. Ambe, D., Kaeriyama, H., Shigenobu, Y., Fujimoto, K., Ono, T., Sawada, H., Saito, H., Miki, S., Setou, T., Morita, T. and Watanabe, T. (2014) Five-minute resolved spatial distribution of radiocesium in sea sediment derived from the Fukushima Dai-ichi nuclear power plant, *Journal of Environmental Radioactivity*, 138, 264-275. [Doi: 10.1016/j.jenvrad.2014.09.007](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2014.09.007) (査読あり)
81. Black, E. and Buesseler, K. O. (2014) Spatial variability and the fate of cesium in coastal sediments near Fukushima Japan, *Biogeosciences Discussion*, 11, 7235-7271. [Doi:10.5194/bgd-11-7235-2014](https://doi.org/10.5194/bgd-11-7235-2014) (査読あり)
82. Bu, W. T., Fukuda, M., Zheng, J., Aono, T., Ishimaru, T., Kanda, J., Yang, G. S., Tagami, K., Uchida, S., Guo, Q. J. and Yamada, M. (2014) Release of Pu isotopes from the Fukushima DNPP accident to the marine environment was negligible, *Environmental Science and Technology*, 48 (16), 9070-9078. [Doi:10.1021/es502480y](https://doi.org/10.1021/es502480y) (査読あり)
83. Bu, W. T., Zheng, J., Guo, Q. J., Aono, T., Tagami, K., Uchida, S., Tazoe, H. and Yamada, M. (2014) Ultra-trace determination of plutonium in small volume seawater by sector-field

- inductively coupled plasma mass spectrometry with application to Fukushima seawater samples, *Journal of Chromatography A*, 1337, 171-178. [Doi:10.1016/j.chroma.2014.02.066](https://doi.org/10.1016/j.chroma.2014.02.066) (査読あり)
84. Bu, W. T., Zheng, J., Guo, Q. J., Aono, T., Tazoe, H., Tagami, K., Uchida, S. and Yamada, M. (2014) A method of measurement of ^{239}Pu , ^{240}Pu , ^{241}Pu in high U content marine sediments by sector field ICP-MS and its application to Fukushima sediment samples, *Environmental Science and Technology*, 48, 534-541. [Doi:10.1021/es403500e](https://doi.org/10.1021/es403500e) (査読あり)
85. Honda, M. C. and Kawakami, H. (2014) Sinking velocity of particulate radiocesium in the northwestern North Pacific, *Geophysical Research Letters*, 41 (11), 3959-3965. [Doi: 10.1002/2014GL060126](https://doi.org/10.1002/2014GL060126) (査読あり)
86. Inomata, Y., Aoyama, M., Hirose, K., Sanada, Y., Torii, T., Tsubono, T., Tsumune, D. and Yamada, M. (2014) Distribution of radionuclides in surface seawater obtained by an aerial radiological survey, *Journal of Nuclear Science and Technology*, 51 (9), 1059-1063. [Doi:10.1080/00223131.2014.914451](https://doi.org/10.1080/00223131.2014.914451) (査読あり)
87. 帰山秀樹, 安倍大介, 重信裕弥, 藤本賢, 小埜恒夫, 中田薫, 森田貴己, 渡邊朝生 (2014) 東京電力福島第一原子力発電所事故以降の日本周辺海域における海水の ^{134}Cs および ^{137}Cs 濃度, *海の研究*, 23 (4), 127-146. (査読あり)
88. Kaeriyama, H., Shimizu, Y., Ambe, D., Masujima, M., Shigenobu, Y., Fujimoto, K., Ono, T., Nishiuchi, K., Taneda, T., Kurogi, H., Setou, T., Sugisaki, H., Ichikawa, T., Hidaka, K., Hiroe, Y., Kusaka, A., Kodama, T., Kuriyama, M., Morita, H., Nakata, K., Morinaga, K., Morita, T. and Watanabe, T. (2014) Southwest intrusion of ^{134}Cs and ^{137}Cs derived from the Fukushima Dai-ichi nuclear power plant accident in the western North Pacific, *Environmental Science and Technology*, 48 (6), 3120-3127. [Doi: 10.1021/es403686v](https://doi.org/10.1021/es403686v) (査読あり)
89. Kumamoto, Y., Aoyama, M., Hamajima, Y., Aono, T., Kouketsu, S., Murata, A., and Kawano, T. (2014) Southward spreading of the Fukushima-derived radiocesium across the Kuroshio Extension in the North Pacific, *Scientific Reports*, 4:4276. [Doi:10.1038/srep04276](https://doi.org/10.1038/srep04276) (査読あり)
90. Misumi, K., Tsumune, D., Tsubono, T., Tateda, Y., Aoyama, M., Kobayashi, T. and Hirose, K. (2014) Factors controlling the spatiotemporal variation of ^{137}Cs in seabed sediment off the Fukushima coast: Implications from numerical simulations, *Journal of Environmental Radioactivity*, 136, 218-228. [Doi:10.1016/j.jenvrad.2014.06.004](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2014.06.004) (査読あり)
91. Otosaka, S. and Kato, Y. (2014) Radiocesium derived from the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident in seabed sediments: Initial deposition and inventories, *Journal of Nuclear Science and Technology*, 16 (5), 978-990. [Doi:10.1039/c4em00016a](https://doi.org/10.1039/c4em00016a) (査読あり)
92. Pham, M. K., Benmansour, M., Carvalho, F. P., Chamizo, E., Degering, D., Engeler, C., Gasco, C., Gwynn, J. P., Harms, A. W., Hrnccek, E., Ibanez, F. L., Ilchmann, C., Ikaheimonen, T., Kanisch, G., Kloster, M., Llaurodo, M., Mauring, A., Moller, B., Morimoto, T., Nielsen, S.

- P., Nies, H., Norrlid, L. D. R., Pettersson, H. B. L., Povinec, P. P., Rieth, U., Samuelsson, C., Schikowski, J., Silobritiene, B. V., Smedley, P. A., Suplinska, M., Vartti, V. P., Vasileva, E., Wong, J., Zalewska, T. and Zhou, W. (2014) Certified Reference Material IAEA-446 for radionuclides in Baltic Sea seaweed, *Applied radiation and isotopes*, 87, 468-474. [Doi:10.1016/j.apradiso.2013.11.013](https://doi.org/10.1016/j.apradiso.2013.11.013) (査読あり)
93. Shigenobu, Y., Fujimoto, K., Ambe, D., Kaeriyama, H., Ono, T., Morinaga, K., Nakata, K., Morita, T. and Watanabe, T. (2014) Radiocesium contamination of greenlings (*Hexagrammos otakii*) off the coast of Fukushima, *Scientific Reports* 4: 6851. [Doi: 10.1038/srep06851](https://doi.org/10.1038/srep06851) (査読あり)
94. 高木香織, 藤本賢, 渡邊朝生, 帰山秀樹, 重信裕弥, 三木志津帆, 小埜恒夫, 森永健司, 中田薫, 森田貴己(2014) 鹿島房総沖における小型浮魚類(マイワシ, カタクチイワシ)の放射性セシウム濃度, *日本水産学会誌*, 80, 786-791. [Doi: 10.2331/suisan.80.786](https://doi.org/10.2331/suisan.80.786) (査読あり)
95. Yamamoto, S., Mutou, K., Nakamura, H., Miyamoto, K., Uchida, K., Takagi, K., Fujimoto, K., Kaeriyama, H. and Ono, T. (2014) Assessment of radiocaesium accumulation by hatchery-reared salmonids after the Fukushima nuclear accident, *Canadian Journal of Fisheries and Aquatic Sciences*, 71 (12), 1772-1775. [Doi: 10.1139/cjfas-2014-0170](https://doi.org/10.1139/cjfas-2014-0170) (査読あり)
96. 内山雄介, 山西琢文, 津旨大輔, 宮澤泰正 (2014) 福島沿岸域における放射性核種の海域移行定量化を目的とした領域土砂輸送モデルの開発, *土木学会論文集 B2 (海岸工学)*, 70 (2), I_571-I_575. [Doi:10.2208/kaigan.70.I_571](https://doi.org/10.2208/kaigan.70.I_571) (査読あり)
97. Wu, J. W., Zheng, J., Dai, M. H., Huh, C. A., Chen, W. F., Tagami, K. and Uchida, S. (2014) Isotopic composition and distribution of plutonium in northern South China Sea sediments revealed continuous release and transport of Pu from the Marshall Islands, *Environmental Science and Technology*, 48 (6), 3136-3144. [Doi:10.1021/es405363q](https://doi.org/10.1021/es405363q) (査読あり)
98. Zheng, J., Tagami, K., Bu, W. T., Uchida, S., Watanabe, Y., Kubota, Y., Fuma, S. and Ihara, S. (2014) $^{135}\text{Cs}/^{137}\text{Cs}$ isotopic ratio as a new tracer of radiocesium released from the Fukushima nuclear accident, *Environmental Science and Technology*, 48 (10), 5433-5438. [Doi:10.1021/es500403h](https://doi.org/10.1021/es500403h) (査読あり)
99. Aoyama, M., Tsumune, D. and Hamajima, Y. (2013) Distribution of ^{137}Cs and ^{134}Cs in the North Pacific Ocean: impacts of the TEPCO Fukushima-Daiichi NPP accident, *Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry*, 296 (1), 535-539. [Doi:10.1007/s10967-012-2033-2](https://doi.org/10.1007/s10967-012-2033-2) (査読あり)
100. Aoyama, M., Uematsu, M., Tsumune, D. and Hamajima, Y. (2013) Surface pathway of radioactive plume of TEPCO Fukushima NPP1 released ^{134}Cs and ^{137}Cs , *Biogeosciences*, 10, 3067-3078. [Doi:10.5194/bg-10-3067-2013](https://doi.org/10.5194/bg-10-3067-2013) (査読あり)
101. Bu, W. T., Zheng, J., Aono, T., Tagami, K., Uchida, S., Zhang, J., Honda, M. C., Guo, Q. J. and Yamada, M. (2013) Determination of plutonium isotopes in marine sediments off the

- Fukushima coast following the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident, *Biogeosciences Discuss*, 10, 643-680. [Doi:10.5194/bgd-10-643-2013](https://doi.org/10.5194/bgd-10-643-2013) (also in A02-4) (査読あり)
102. Bu, W. T., Zheng, J., Aono, T., Tagami, K., Uchida, S., Zhang, J., Honda, M. C., Guo, Q. J. and Yamada, M. (2013) Vertical distributions of plutonium isotopes in marine sediment cores off the Fukushima coast after the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident, *Biogeosciences*, 10, 2497-2511. [Doi:10.5194/bg-10-2497-2013](https://doi.org/10.5194/bg-10-2497-2013) (査読あり)
103. Casacuberta, N., Masque, P., Garcia-Orellana, J., Garcia-Tenorio, R. and Buesseler, K. O. (2013) ^{90}Sr and ^{89}Sr in seawater off Japan as a consequence of the Fukushima Dai-ichi nuclear accident, *Biogeosciences*, 10, 3649-3659. [Doi:10.5194/bgd-10-2039-2013](https://doi.org/10.5194/bgd-10-2039-2013) (査読あり)
104. Charette, M. A., Breier, C. F., Henderson, P. D., Pike, S. M., Rypina, I. I., Jayne, S. R. and Buesseler, K. O. (2013) Radium-based estimates of cesium isotope transport and total direct ocean discharges from, *Biogeosciences*, 10, 2159-2167. [Doi:10.5194/bg-10-2159-2013](https://doi.org/10.5194/bg-10-2159-2013) (査読あり)
105. Guilderson, T. P., Tumey, S. J., Brown, T. A. and Buesseler, K. O. (2013) The ^{129}I content of subtropical Pacific waters: impact of Fukushima and other anthropogenic ^{129}I sources, *Biogeosciences Discuss*, [Doi:10.5194/bgd-10-19935-2013](https://doi.org/10.5194/bgd-10-19935-2013) (査読あり)
106. Honda, M. C., Kawakami, H., Watanabe, S. and Saino, T. (2013) Concentration and vertical flux of Fukushima-derived radiocesium in sinking particles from two sites in the Northwestern Pacific Ocean, *Biogeosciences*, 10, 3525-3534. [Doi:10.5194/bg-10-3525-2013](https://doi.org/10.5194/bg-10-3525-2013) (査読あり)
107. Hou, X., Povinec, P. P., Zhang, L., Shi, K., Biddulph, D., Chang, C. C., Fan, Y., Golser, R., Hou, Y., Jeskovsky, M., Jull, A. J., Liu, Q., Luo, M., Steier, P. and Zhou, W. (2013) Iodine-129 in seawater offshore Fukushima: distribution, inorganic speciation, sources, and budget, *Environmental Science and Technology*, 47, 3091-3098. [Doi:10.1021/es304460k](https://doi.org/10.1021/es304460k) (査読あり)
108. Iguchi, K., Fujimoto, K., Kaeriyama, H., Tomiya, A., Enomoto, M., Abe, S. and Ishida, T. (2013) Cesium-137 discharged into the freshwater fishery ground of grazing fish, ayu *Plecoglossus altivelis* after the March 2011 Fukushima nuclear accident, *Fisheries Science*, 79 (6), 983-988. [Doi: 10.1007/s12562-013-0666-x](https://doi.org/10.1007/s12562-013-0666-x) (査読あり)
109. Kaeriyama, H., Ambe, D., Shimizu, Y., Fujimoto, K., Ono, T., Yonezaki, S., Kato, Y., Matsunaga, H., Minami, H., Nakatsuka, S. and Watanabe, T. (2013) Direct observation of ^{134}Cs and ^{137}Cs in surface seawater in the western and central North Pacific after the Fukushima Dai-ichi nuclear power plant accident, *Biogeosciences*, 10, 4287-4295. [Doi:10.5194/bg-10-4287-2013](https://doi.org/10.5194/bg-10-4287-2013) (査読あり)
110. Kamenik, J., Dulaiova, H., Buesseler, K. O., Pike, S. M. and Stastna, K. (2013) Cesium-

- 134 and 137 activities in the central North Pacific Ocean after the Fukushima Dai-ichi nuclear power plant accident, *Biogeosciences*, 10, 6045-6052. [Doi:10.5194/bg-10-6045-2013](https://doi.org/10.5194/bg-10-6045-2013) (査読あり)
111. Kitamura, M., Kumamoto, Y., Kawakami, H., Cruz, E. C. and Fujikura, K. (2013) Horizontal distribution of Fukushima-derived radiocesium in zooplankton in the northwestern Pacific Ocean, *Biogeosciences*, 10, 5729-5738. [Doi:10.5194/bg-10-5729-2013](https://doi.org/10.5194/bg-10-5729-2013) (also in A02-4) (査読あり)
112. Kumamoto, Y., Murata, A., Kawano, T. and Aoyama, M. (2013) Fukushima-derived radiocesium in the northwestern Pacific Ocean in February 2012, *Applied Radiation and Isotopes*, 81, 335-339. [Doi:10.1016/j.apradiso.2013.03.085](https://doi.org/10.1016/j.apradiso.2013.03.085) (査読あり)
113. Kusakabe, M., Oikawa, S., Takata, H. and Misonoo, J. (2013) Spatiotemporal distributions of Fukushima-derived radionuclides in nearby marine surface sediments, *Biogeosciences*, 10, 5019-5030. [Doi:10.5194/bg-10-5019-2013](https://doi.org/10.5194/bg-10-5019-2013) (査読あり)
114. Liu, Z. Y., Zheng, J., Pan, S. M. and Gao, J. H. (2013) Anthropogenic plutonium in the North Jiangsu tidal flats of the Yellow Sea in China, *Environmental Monitoring and Assessment*, 185, 8, 6539-6551. [Doi:10.1007/s10661-012-3045-7](https://doi.org/10.1007/s10661-012-3045-7) (査読あり)
115. Lujanienė, G., Bycenkienė, S. and Povinec, P. P. (2013) Fukushima radionuclides in Vilnius/Lithuania aerosols: modelling of aerosol transport, *Applied Radiation and Isotopes*, 81, 330-334. [Doi:10.1016/j.apradiso.2013.03.072](https://doi.org/10.1016/j.apradiso.2013.03.072) (査読あり)
116. Miyazawa, Y., Masumoto, Y. M., Varlamov, S. M., Miyama, T., Takigawa, M., Honda, M. C. and Saino, T. (2013) Inverse estimation of source parameters of oceanic radioactivity dispersion models associated with the Fukushima accident, *Biogeosciences*, 10, 2349-2363. [Doi:10.5194/bg-10-2349-2013](https://doi.org/10.5194/bg-10-2349-2013) (査読あり)
117. Oikawa, S., Takata, H., Watabe, T., Misonoo, J. and Kusakabe, M. (2013) Distribution of the Fukushima-derived radionuclides in seawater in the Pacific off the coast of Miyagi, Fukushima and Ibaraki Prefectures, Japan, *Biogeosciences*, 10, 2349-2363. [Doi:10.5194/bg-10-4851-2013](https://doi.org/10.5194/bg-10-4851-2013) (査読あり)
118. Pham, M. K., Povinec, P. P., Nies, H. and Betti, M. (2013) Dry and wet deposition of ^7Be , ^{210}Pb and ^{137}Cs in Monaco air during 1998-2010: Seasonal variations of deposition fluxes, *Journal of Environmental Radioactivity*, 120, 45-57. [Doi:10.1016/j.jenvrad.2012.12.007](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2012.12.007) (査読あり)
119. Pike, S. M., Buesseler, K. O., Breier, C. F., Dulaiova, H., Stastna, K. and Sebesta, F. (2013) Extraction of cesium in seawater off Japan using AMP-PAN resin and quantification via gamma spectroscopy and inductively coupled mass spectrometry, *Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry*, 296 (1), 369-374. [Doi:10.1007/s10967-012-2014-5](https://doi.org/10.1007/s10967-012-2014-5) (査読あり)
120. Povinec, P. P., Aoyama, M., Biddulph, D., Breier, R., Buesseler, K., Chang, C. C., Golser,

- R., Hou, X. L., Jeskovsky, M., Jull, A. J. T., Kaizer, J., Nakano, M., Nies, H., Palcsu, L., Papp, L., Pham, M. K., Steier, P. and Zhang, L. Y. (2013) Cesium, iodine and tritium in NW Pacific waters - a comparison of the Fukushima impact with global fallout, *Biogeosciences*, *10*, 6377-6416. [Doi:10.5194/bg-10-5481-2013](https://doi.org/10.5194/bg-10-5481-2013) (査読あり)
121. Povinec, P. P., Gera, M., Holy, K., Hirose, K., Lujanienė, G., Nakano, M., Plastino, W., Sykora, I., Bartok, J. and Gazak, M. (2013) Dispersion of Fukushima radionuclides in the global atmosphere and the ocean, *Applied Radiation and Isotopes*, *81*, 383-392. [Doi:10.1016/j.apradiso.2013.03.058](https://doi.org/10.1016/j.apradiso.2013.03.058) (査読あり)
122. Povinec, P. P., Sykora, I., Holy, K., Gera, M., Kovacik, A. and Brestakova, L. (2013) Fukushima-derived radionuclides in ground-level air of Central Europe: a comparison with simulated forward and backward trajectories, *Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry*, *295* (2), 1171-1176. [Doi:10.1007/s10967-012-1943-3](https://doi.org/10.1007/s10967-012-1943-3) (査読あり)
123. Priyadarshi, Hill-Falkenthal, J., Thiemens, M. H., Yoshida, N., Toyoda, S., Yamada, K., Mukotaka, A., Fujii, A., Uematsu, M., A., Hatakeyama, S., Noguchi, I., Nojiri, Y. and Tanimoto, H. (2013) Detection of Radioactive ³⁵S at Fukushima and other Japanese sites, *Journal of Geophysical Research: Atmospheres*, *118*(2), 1020-1027. [Doi:10.1029/2012JD018485](https://doi.org/10.1029/2012JD018485) (査読あり)
124. Romero, L., Uchiyama, Y., Ohlmann, C., McWilliams, J. C. and Siegel, D. A. (2013) Simulations of Nearshore Particle-Pair Dispersion in Southern California, *JOURNAL OF PHYSICAL OCEANOGRAPHY*, *43*, 1862-1879. [Doi: 10.1175/JPO-D-13-011.1](https://doi.org/10.1175/JPO-D-13-011.1) (査読あり)
125. Rypina, I. I., Jayne, S. R., Yoshida, S. Y., Macdonald, A. M., Douglass, E. and Buesseler, K. O. (2013) Short-term dispersal of Fukushima-derived radionuclides off Japan: Modeling efforts and model-data intercomparison, *Biogeosciences*, *10*, 4973-4990. [Doi:10.5194/bg-10-4973-2013](https://doi.org/10.5194/bg-10-4973-2013) (査読あり)
126. Schoppner, M., Plastino, W., Povinec, P. P., Nikkinen, M., Ruggieri, F. and Bella, F. (2013) Estimation of the radioactive source dispersion from Fukushima nuclear power plant accident, *Applied Radiation and Isotopes*, *81*, 358-361. [Doi:10.1016/j.apradiso.2013.03.070](https://doi.org/10.1016/j.apradiso.2013.03.070) (査読あり)
127. Tagami, K., Uchida, S., Ishii, N. and Zheng, J. (2013) Estimation of Te-132 distribution in Fukushima Prefecture at the early stage of the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant reactor failures, *Environmental Science and Technology*, *47* (10), 5007-5012. [Doi:10.1021/es304730b](https://doi.org/10.1021/es304730b) (査読あり)
128. Tateda, Y., Tsumune, D. and Tsubono, T. (2013) Simulation of radioactive cesium transfer in the southern Fukushima coastal biota using a dynamic food chain transfer model, *J. Environmental Radioactivity*, *124*, 1-12. [Doi:10.1016/j.jenvrad.2013.03.007](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2013.03.007) (also in A02-4) (査読あり)

129. Toyama, C., Muramatsu, Y., Igarashi, Y. and Aoyama, M. (2013) Atmospheric fallout of ^{129}I in Japan before the Fukushima accident: Regional and global contributions (1963-2005), *Environmental science & technology*, 47 (15), 8383-8390. [Doi: 10.1021/es401596z](https://doi.org/10.1021/es401596z) (査読あり)
130. Tsumune, D., Tsubono, T., Aoyama, M., Uematsu, M., Misumi, K., Maeda, Y., Yoshida, Y., and Hayami, H. (2013) One-year, regional-scale simulation of ^{137}Cs radioactivity in the ocean following the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident, *Biogeosciences*, 10, 5601-5617. [Doi:10.5194/bg-10-5601-2013](https://doi.org/10.5194/bg-10-5601-2013) (査読あり)
131. 内山雄介, 山西琢文, 津旨大輔, 宮澤泰正, 石井倫生 (2013) 福島第一原発からの放射性核種の初期分散に及ぼす沿岸ジェットとメソスケール渦の影響, *土木学会論文集 B2 (海岸工学)*, 1051-1055. [Doi:10.2208/kaigan.69.I_1051](https://doi.org/10.2208/kaigan.69.I_1051) (査読あり)
132. Zheng, J., Tagami, K., Takeda, S. and Bu, W. T. (2013) The key role of atomic spectrometry in radiation protection, *Journal of Analytical Atomic Spectrometry*, 28, 1676-1699. [Doi:10.1039/C3JA50217A](https://doi.org/10.1039/C3JA50217A) (査読あり)
133. Zheng, J., Tagami, K. and Uchida, S. (2013) Release of plutonium isotopes into the environment from the Fukushima Daiichi nuclear power plant accident: what is known and what needs to be known, *Environmental Science & Technology*, 47, 9584-9595. [Doi:10.1021/es402212v](https://doi.org/10.1021/es402212v) (査読あり)
134. 青山道夫, 五十嵐康人, 廣瀬勝己(2012) 月間降下物測定 660 カ月が教えること— ^{90}Sr , ^{137}Cs および Pu 降下量 1957 年 4 月 ~ 2012 年 3 月, *科学*, 82, 442-457. (査読あり)
135. Aoyama, M., Tsumune, D., Uematsu, M., Kondo, F. and Hamajima, Y. (2012) Temporal variation of ^{134}Cs and ^{137}Cs activities in surface water at stations along the coastline near the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident site, Japan, *Geochemical Journal*, 46 (4), 321-325. [Doi:10.2343/geochemj.2.0211](https://doi.org/10.2343/geochemj.2.0211) (査読あり)
136. Buesseler, K. O. (2012) Fishing for Answers off Fukushima, *Science*, 338 (6106), 480-482. [Doi:10.1126/science.1228250](https://doi.org/10.1126/science.1228250) (査読あり)
137. Buesseler, K. O., Jayne, S. R., Fisher, N. S., Rypina, I. I., Baumann, H., Baumann, Z., Breier, C. F., Douglass, E. M., George, J., Macdonald, A. M., Miyamoto, H., Nishikawa, J., Pike, S. M. and Yoshida, S. (2012) Fukushima-derived radionuclides in the ocean and biota off Japan, *PNAS*, 109, 5984-5988. [Doi:10.1073/pnas.1120794109](https://doi.org/10.1073/pnas.1120794109) (査読あり)
138. Charette, M. A., Breier, C. F., Henderson, P. B., Pike, S. M., Rypina, I. I., Jayne, S. R. and Buesseler, K. O. (2012) Radium-based Estimates of Cesium Isotope Transport and Total Direct Ocean Discharges from the Fukushima Nuclear Power Plant Accident, *Biogeosciences Discuss*, 9, 16139-16160. [Doi:10.5194/bgd-9-16139-2012](https://doi.org/10.5194/bgd-9-16139-2012) (査読あり)
139. Honda, M. C., Aono, T., Aoyama, M., Hamajima, Y., Kawakami, H., Kitamura, M., Masumoto, Y., Miyazawa, Y., Takigawa, M. and Saino, T. (2012) Dispersion of artificial

- caesium-134 and -137 in the western North Pacific one month after the accident, *Geochemical Journal*, 46, e1-e9. [Doi:10.2343/geochemj.1.0152](https://doi.org/10.2343/geochemj.1.0152) (査読あり)
140. Hosoda, M., Tokonami, S., Tazoe, H., Sorimachi, A., Monzen, S., Osanai, M., Akata, N., Kakiuchi, H., Omori, Y., Ishikawa, T., Sahoo, S. K., Kovács, T., Yamada, M., Nakata, A., Yoshida, M., Yoshino, H., Mariya, Y. and Kashiwakura, I. (2012) Activity concentrations of environmental samples collected in Fukushima Prefecture immediately after the Fukushima nuclear accident, *Scientific Reports*, 3: 2283. [Doi:10.1038/srep02283](https://doi.org/10.1038/srep02283) (査読あり)
141. Inomata, Y., Aoyama, M., Tsumune, D., Motoi, T. and Nakano, H. (2012) Optimum interpolation analysis of basin-scale ^{137}Cs transport in surface seawater in the North Pacific Ocean, *Journal of Environmental Monitoring*, 14, 3146-3155. [Doi:10.1039/C2EM30707C](https://doi.org/10.1039/C2EM30707C) (査読あり)
142. Kakiuchi, H., Akata, N., Hasegawa, H., Ueda, S., Tokonami, S., Yamada, M., Hosoda, M., Sorimachi, A., Tazoe, H. and Noda, K. (2012) Concentration of ^3H in plants around Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Station, *Scientific Reports*, 2: 947. [Doi:10.1038/srep00947](https://doi.org/10.1038/srep00947) (査読あり)
143. Lujanienė, G., Bycenkienė, S., Povinec, P. P. and Gera, M. (2012) Radionuclides from the Fukushima accident in the air over Lithuania: measurement and modelling approaches, *J. Environmental Radioactivity*, 114, 71-80. [Doi:10.1016/j.jenvrad.2011.12.004](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2011.12.004) (査読あり)
144. Masumoto, Y., Miyazawa, Y., Tsumune, D., Tsubono, T., Kobayashi, T., Kawamura, H., Estournel, C., Marsaleix, P., Lanerolle, L., Mehra, A. and Garraffo, Z. D. (2012) Oceanic Dispersion Simulations of ^{137}Cs Released from the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant, *Elements*, 8, 207-212. [Doi:10.2113/gselements.8.3.207](https://doi.org/10.2113/gselements.8.3.207) (査読あり)
145. Michel, R., Daraoui, A., Gorny, M., Jakob, D., Sachse, R., Tosch, L., Nies, H., Goroncy, I., Herrmann, J., Synal, H. A., Stocker, M. and Alfimov, V. (2012) Iodine-129 and iodine-127 in European seawaters and in precipitation from Northern Germany, *Science of the Total Environment*, 419, 151-169. [Doi:10.1016/j.scitotenv.2012.01.009](https://doi.org/10.1016/j.scitotenv.2012.01.009) (査読あり)
146. Miyazawa, Y., Masumoto, Y., Varlamov, S. M. and Miyama, T. (2012) Transport simulation of the radionuclide from the shelf to open ocean around Fukushima, *Continental Shelf Research*, 50-51, 16-29. [Doi:10.1016/j.csr.2012.09.002](https://doi.org/10.1016/j.csr.2012.09.002) (査読あり)
147. Nakano, M. and Povinec, P. P. (2012) Long-term simulations of the ^{137}Cs dispersion from the Fukushima accident in the world ocean, *J. Environmental Radioactivity*, 111, 109-115. [Doi:10.1016/j.jenvrad.2011.12.001](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2011.12.001) (査読あり)
148. Pham, M. K., Eriksson, M., Levy, I., Nies, H., Osvath, I. and Betti, M. (2012) Detection of Fukushima Daiichi nuclear power plant accident radioactive traces in Monaco, *J. Environmental Radioactivity*, 114, 131-137. [Doi:10.1016/j.jenvrad.2012.01.010](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2012.01.010) (査読あり)
149. Povinec, P. P., Hirose, K. and Aoyama, M. (2012) Radiostrontium in the Western North Pacific: Characteristics, Behavior, and the Fukushima Impact, *Environmental Science and*

- Technology*, 46, 10356-10363. [Doi:10.1021/es301997c](https://doi.org/10.1021/es301997c) (査読あり)
150. Povinec, P. P., Sykora, I., Holy, K., Gera, M., Kovacik, A. and Brestakova, L. (2012) Aerosol radioactivity record in Bratislava/Slovakia following the Fukushima accident -A comparison with global fallout and the Chernobyl accident, *J. Environmental Radioactivity*, 114, 81-88. [Doi:10.1016/j.jenvrad.2012.05.008](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2012.05.008) (査読あり)
 151. Schoppner, M., Plastino, W., Povinec, P. P., Wotawa, G., Bella, F., Budano, A., De Vincenzi, M. and Ruggieri, F. (2012) Estimation of the time-dependent radioactive source-term from the Fukushima nuclear power plant accident using atmospheric transport modelling, *J. Environmental Radioactivity*, 114, 10-14. [Doi:10.1016/j.jenvrad.2011.11.008](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2011.11.008) (査読あり)
 152. Tazoe, H., Hosoda, M., Sorimachi, A., Nakata, A., Yoshida, M. A., Tokonami, S. and Yamada, M. (2012) Radioactive Pollution from Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant in the Terrestrial Environment, *Radiation Protection Dosimetry*, 152 (1-3), 198-203. [Doi:10.1093/rpd/ncs222](https://doi.org/10.1093/rpd/ncs222) (査読あり)
 153. Toyama, C., Muramatsu, Y., Uchida, Y., Igarashi, Y., Aoyama, M. and Matsuzaki, H. (2012) Variations of ^{129}I in the atmospheric fallout of Tokyo, Japan: 1963-2003, *Journal of environmental radioactivity*, 113, 116-122. [Doi: 10.1016/j.jenvrad.2012.04.014](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2012.04.014) (査読あり)
 154. Tsumune, D., Tsubono, T., Aoyama, M. and Hirose, K. (2012) Distribution of oceanic ^{137}Cs from the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant simulated numerically by a regional ocean model, *J. Environmental Radioactivity*, 111, 100-108. [Doi:10.1016/j.jenvrad.2011.10.007](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2011.10.007) (査読あり)
 155. Tumey, S. J., Guilderson, T. P., Brown, T. A., Broek, T. and Buesseler, K. O. (2012) Input of ^{129}I into the Western Pacific Ocean Resulting from the Fukushima Nuclear Event, *Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry*, 296, 957-962. [Doi:10.1007/s10967-012-2217-9](https://doi.org/10.1007/s10967-012-2217-9) (査読あり)
 156. 内山雄介, 石井倫生, 津旨大輔, 宮澤泰正 (2012) 福島第一原子力発電所を放出源とする放射性セシウム ^{137}Cs の沿岸域での分散特性, *土木学会論文集B2 (海岸工学)*, 6, 931-935. [Doi:10.2208/kaigan.68.I_931](https://doi.org/10.2208/kaigan.68.I_931) (査読あり)
 157. Zheng, J., Aono, T., Uchida, S., Zhang, J. and Honda, M. C. (2012) Distribution of Pu isotopes in marine sediments in the Pacific 30km off Fukushima after the Fukushima Daiichi nuclear power plant accident, *Geochemical Journal*, 46, 361-369. [Doi:10.2343/geochemj.2.0209](https://doi.org/10.2343/geochemj.2.0209) (also in A02-4) (査読あり)
 158. Zheng, J., Tagami, K., and Uchida, S. (2012) Rapid analysis of U isotopes in vegetables using ICP-MS: application to the emergency U monitoring after the nuclear accident at TEPCO's Fukushima Dai-ichi power station, *Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry*, 292 (1), 171-175. [Doi:10.1007/s10967-011-1387-1](https://doi.org/10.1007/s10967-011-1387-1) (査読あり)
 159. Zheng, J., Tagami, K., Watanabe, Y., Uchida, S., Aono, T., Ishii, N., Yoshida, S., Kubota,

- Y., Fuma, S. and Ihara, S. (2012) Isotopic evidence of plutonium release into the environment from the Fukushima DNPP accident, *Scientific Reports*, 2, 304. [Doi:10.1038/srep00304](https://doi.org/10.1038/srep00304) (査読あり)
160. Buesseler, K., Aoyama, M. and Fukasawa, M. (2011) Impacts of the Fukushima Nuclear Power Plants on Marine Radioactivity, *Environmental Science & Technology*, 45, 9931-9935. [Doi:10.1021/es202816c](https://doi.org/10.1021/es202816c) (査読あり)
161. Lujanienė, G., Bycenkienė, S., Sciglo, T., Povinec, P. P., Gera, M., Bartok, J. and Gazak, M. (2011) Radionuclides from the Fukushima accident in Europe-Modelling the air mass transport, *Fuzzy Systems and Knowledge Discovery (FSKD)*, 2011 Eighth International Conference (Volume:4), 2707-2709. [Doi:10.1109/FSKD.2011.6020078](https://doi.org/10.1109/FSKD.2011.6020078) (査読あり)
162. Plastino, W., Schoppner, M., Bella, F., De Vincenzi, M., Povinec, P. P., Wotawa, G., Budano, A. and Ruggieri, F. (2011) Atmospheric transport modeling based estimation of radioactive release from the Fukushima Dai-ichi nuclear power plant accident, *Natural Computation (ICNC)*, 2011 Seventh International Conference on Natural Computation (Volume:4), 2002-2005. [Doi:10.1109/ICNC.2011.6022577](https://doi.org/10.1109/ICNC.2011.6022577) (査読あり)

A02-4 班

1. Fukuda, M., Aono, T., Yamazaki, S., Ishimaru, T., Kanda, J., Nishikawa, J., Otsuka, S., (2018) Factors controlling ^{134}Cs activity concentrations in sediment collected off the coast of Fukushima Prefecture in 2013-2015, *Geochemical journal* 52. [Doi: 10.2343/geochemj.2.0504](https://doi.org/10.2343/geochemj.2.0504) (査読あり)
2. Vives i Batlle, J., Aoyama, M., Bradshaw, C., Brown, J., Buesseler, K. O., Casacuberta, N., Christl, M., Duffa, C., Impens, N. R. E. N., Iosjpe, M., Masque, P., Nishikawa, J. (2018) Marine radioecology after the Fukushima Dai-ichi nuclear accident: are we better positioned to understand the impact of radionuclides in marine ecosystems? , *Science of the Total Environment*, 618:80-92. [Doi: 10.1016/j.scitotenv.2017.11.005](https://doi.org/10.1016/j.scitotenv.2017.11.005) (査読あり)
3. Madigan, DJ., Baumann, Z., Snodgrass, OE., Dewar, H., Berman-Kowalewski, M., Weng, KC., Nishikawa, J., Dutton, PH., Fisher, NS (2017) Assessing Fukushima-derived radiocesium in migratory Pacific predators, *Environmental Science and Technology*, 51: 8962-8971. [Doi: 10.1021/acs.est.7b00680](https://doi.org/10.1021/acs.est.7b00680) (査読あり)
4. Fukuda, M., Aono, T., Yamazaki, S., Nishikawa, J., Otsuka, S., Ishimaru, T. and Kanda, J. (2017) Dissolved radiocaesium in seawater off the coast of Fukushima during 2013-2015, *J. Radioanal. Nucl. Chem.*, 311 (2), 1479-1484. [Doi: 10.1007/s10967-016-5009-9](https://doi.org/10.1007/s10967-016-5009-9) (査読あり)
5. Ikenoue, T., Takata, H., Kusakabe, M., Kudo, N., Hasegawa, K. and Ishimaru, T. (2017) Temporal variation of cesium isotope concentrations and atom ratios in zooplankton in the

- Pacific off the east coast of Japan, *Scientific Reports*, 7, 39874. [Doi: 10.1038/srep39874](https://doi.org/10.1038/srep39874) (査読あり)
6. 石丸 隆, 伊藤友加里, 神田穰太 (2017) 放射性物質と海洋生態系, *沿岸海洋研究*, 54 (2), 143-149. (査読あり)
 7. Ishimaru, T., Yamada, M., Tateda, Y., Aoyama, M., Hamajima, Y., Tsumune, D., Yoshimura, T., Matsumoto, T. T., Kasamatsu, N., Sato, T., Morioka, Y., Kanda, J. and Mizuno, T. (in preparation) Radioecological kinetics of radiocesium content in *Sebastes cheni* habituating southern coastal water of Fukushima, *Marine Ecology Progress Series* (査読あり)
 8. Kitamura, M., Honda, M. C., Hamajima, Y., Kumamoto, Y., Aoyama, M., Kawakami, H., Aono, T., Fukuda, M. and Mino, Y. (2017) Temporal changes in radiocesium contamination derived from the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident in oceanic zooplankton in the western North Pacific, *J. Environ. Radioact.*, 172, 163-172. [Doi: 10.1016/j.jenvrad.2017.03.024](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2017.03.024) (査読あり)
 9. 立田穰 (2017) 放射性セシウムの海洋生物への移行と浄化過程の解明, *Isotope News*, 749, 16-19. (査読あり)
 10. Tateda, Y., Tsumune, D. and Aono, T. (in preparation) Reconstruction of radiocesium levels in Fukushima coastal organisms: Best practice for planning emergency monitoring, *Environment. Radioact.* (査読あり)
 11. Tateda, Y., Tsumune, D., Misumi, K., Aono, T. and Kanda, J. (2017) Biokinetics of radiocesium depuration in marine fish inhabiting the vicinity of the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant, *J. Environ. Radioact.*, 166 (Pt1), 67-73. [Doi: 10.1016/j.jenvrad.2016.02.028](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2016.02.028) (査読あり)
 12. Yamaguchi, A., Matsuno, K., Abe, Y., Arima, D. and Imai, I. (2017) Latitudinal variations in the abundance, biomass, taxonomic composition and estimated production of epipelagic mesozooplankton along the 155°E longitude in the western North Pacific during spring, *Progress in Oceanography*, 150, 13-19. [Doi: 10.1016/j.pocean.2015.04.011](https://doi.org/10.1016/j.pocean.2015.04.011) (査読あり)
 13. Abe, Y., Miyamoto, H., Saito, R., Matsuno, K., Yamaguchi, A. and Imai, I. (2016) Comparative ecology of three dominant pelagic chaetognaths (*Eukrohnia hamata*, *Parasagitta elegans*, *Pseudosagitta scrippsae*) in the Oyashio region during the spring phytoplankton bloom, *Regional Studies in Marine Science*, 8, Part1, 122-132. [Doi: 10.1016/j.rsma.2016.08.006](https://doi.org/10.1016/j.rsma.2016.08.006) (査読あり)
 14. Abe, Y., Yamada, Y., Saito, R., Matsuno, K., Yamaguchi, A., Komatsu, K. and Imai, I. (2016) Short-term changes in abundance and population structure of dominant pelagic amphipod species in the Oyashio region during the spring phytoplankton bloom, *Regional Studies in Marine Science*, 3, 154-162. [Doi: 10.1016/j.rsma.2015.07.005](https://doi.org/10.1016/j.rsma.2015.07.005) (査読あり)

15. Arima, D., Yamaguchi, A., Nobetsu, T. and Imai, I. (2016) Seasonal abundance, population structure, sex ratio and gonad maturation of *Metridia okhotensis* Brodsky, 1950 in the Okhotsk Sea: Analysis of samples collected by pumping up from deep water, *Crustaceana*, 89 (2), 151-161. [Doi: 10.1163/15685403-00003516](https://doi.org/10.1163/15685403-00003516) (査読あり)
16. Arima, D., Yamaguchi, A., Nobetsu, T. and Imai, I. (2016) Usefulness of deep-ocean water pumping for the seasonal monitoring of mesozooplankton, *Regional Studies in Marine Science*, 3, 18-24. [Doi: 10.1016/j.rsma.2015.10.005](https://doi.org/10.1016/j.rsma.2015.10.005) (査読あり)
17. 松本健太郎, 有馬大地, 松野孝平, 山崎康裕, 大西広二, 大木淳之, 平譚享, 山口 篤, 今井一郎(2016) 西部北太平洋 155°E 線に沿った春季植物プランクトン群集の水平および鉛直分布:多波長励起蛍光光度計による解析, *北大水産彙報* 66 (1), 29-38. [Doi: 10.14943/bull.fish.66.1.29](https://doi.org/10.14943/bull.fish.66.1.29) (査読あり)
18. Matsuno, K., Abe, Y., Yamaguchi, A. and Kikuchi, T. (2016) Regional patterns and controlling factors on summer population structure of *Calanus glacialis* in the western Arctic Ocean, *Polar Science*, 10 (4), 503-510. [Doi: 10.1016/j.polar.2016.09.001](https://doi.org/10.1016/j.polar.2016.09.001) (査読あり)
19. Matsuno, K., Landeira Sanchez, J. M., Yamaguchi, A., Hirawake, T. and Kikuchi, T. (2016) Spatial and geographical changes in the mesozooplankton community in the Bering and Chukchi Seas during the summers of 2007 and 2008, *Polar Science*, 10 (3), 335-345. [Doi: 10.1016/j.polar.2016.04.006](https://doi.org/10.1016/j.polar.2016.04.006) (査読あり)
20. Matsuno, K., Yamaguchi, A., Fujiwara, A., Onodera, J., Watanabe, E., Harada, N. and Kikuchi, T. (2016) Seasonal changes in mesozooplankton swimmer community and fecal pellets collected by sediment trap moored at the Northwind Abyssal Plain in the western Arctic Ocean, *Bulletin of Fisheries Sciences Hokkaido University*, 66 (2), 77-85. [Doi: 10.14943/bull.fish.66.2.77](https://doi.org/10.14943/bull.fish.66.2.77) (査読あり)
21. Tateda, Y., Tsumune, D., Tsubono, K., Misumi, M., Yamada, T., Kanda, J. and Ishimaru, T. (2016) Status of ¹³⁷Cs contamination in marine biota along the Pacific coast of eastern Japan derived from a dynamic biological model two years simulation following the Fukushima accident, *J. Environ. Radioactivity*, 151, Part2, 495-501. [Doi: 10.1016/j.jenvrad.2015.05.013](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2015.05.013) (査読あり)
22. Wang, C., Baumann, Z., Madigan, D. J. and Fisher, N. S. (2016) Contaminated marine sediments as a source of cesium radioisotopes for benthic fauna near Fukushima, *Environmental Science and Technology*, 50 (19), 10448-10455. [Doi: 10.1021/acs.est.6b02984](https://doi.org/10.1021/acs.est.6b02984) (査読あり)
23. Yokoi, N., Matsuno, K., Ichinomiya, M., Yamaguchi, A., Nishino, S., Onodera, J., Inoue, J. and Kikuchi, T. (2016) Short-term changes in a microplankton community in the Chukchi Sea during autumn: consequences of a strong wind event, *Biogeosciences*, 13, 913-923. [Doi: 10.5194/bg-13-913-2016](https://doi.org/10.5194/bg-13-913-2016) (査読あり)

24. Arima, D., Matsuno, K., Yamaguchi, A., Nobetsu, T. and Imai, I. (2015) Seasonal and inter-species comparison of asymmetry in the genital system of some species of the oceanic copepod genus *Metridia* (Copepoda, Calanoida), *Crustaceana*, 88 (12-14), 1307-1321. [Doi:10.1163/15685403-00003485](https://doi.org/10.1163/15685403-00003485) (査読あり)
25. Baumann, Z., Fisher, N. S., Gobler, C. J., Buesseler, K. O., George, J. A., Breier, C. F. and Nishikawa, J. (2015) Fukushima ¹³⁷Cs at the base of planktonic food webs off Japan, *Deep-Sea Research Part I*, 106, 9-16. [Doi:10.1016/j.dsr.2015.09.006](https://doi.org/10.1016/j.dsr.2015.09.006) (査読あり)
26. 今井圭理, 渡辺 豊 (2015)「おしよる丸」を利用した北太平洋表層における東京電力福島第一原子力発電所事故後の放射性セシウム濃度の継続的調査. *北海道大学水産科学研究彙報*, 65 (2), 111-116. [Doi: 10.14943/bull.fish.65.2.111](https://doi.org/10.14943/bull.fish.65.2.111) (査読あり)
27. Matsuno, K., Yamaguchi, A., Fujiwara, A., Onodera, J., Watanabe, E., Harada, N. and Kikuchi, T. (2015) Seasonal changes in the population structure of dominant planktonic copepods collected using a sediment trap moored in the western Arctic Ocean, *Journal of Natural History*, 49 (45-48), 2711-2726. [Doi: 10.1080/00222933.2015.1022613](https://doi.org/10.1080/00222933.2015.1022613) (査読あり)
28. Matsuno, K., Yamaguchi, A., Hirawake, T., Nishino, S., Inoue, J. and Kikuchi, T. (2015) Reproductive success of Pacific copepods in the Arctic Ocean and the possibility of changes in the Arctic ecosystem, *Polar Biology*, 38 (7), 1075-1079. [Doi: 10.1007/s00300-015-1658-3](https://doi.org/10.1007/s00300-015-1658-3) (査読あり)
29. Matsuno, K., Yamaguchi, A., Nishino, S., Inoue, J. and Kikuchi, T. (2015) Short-term changes in the mesozooplankton community and copepod gut pigment in the Chukchi Sea in autumn: reflections of a strong wind event, *Biogeosciences*, 12, 4005-4015. [Doi: 10.5194/bg-12-4005-2015](https://doi.org/10.5194/bg-12-4005-2015) (査読あり)
30. Sato, K., Matsuno, K., Arima, D., Abe, Y. and Yamaguchi, A. (2015) Spatial and temporal changes in zooplankton abundance, biovolume, and size spectra in the neighboring waters of Japan: analyses using an optical plankton counter. *Zoological Studies* 54, 18. [Doi:10.1186/s40555-014-0098-z](https://doi.org/10.1186/s40555-014-0098-z) (査読あり)
31. Tateda, Y., Tsumune, D., Tsubono, T., Aono, T., Kanda, J., Ishimaru, T. (2015) Radiocesium biokinetics in olive flounder inhabiting the Fukushima accident-affected Pacific coastal waters of eastern Japan. *J. Environ. Radioactivity*, 147, 130-141. [Doi: 10.1016/j.jenvrad.2015.05.025](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2015.05.025) (査読あり)
32. Yamaguchi, A. (2015) Inter-oceanic comparison of planktonic copepod ecology (vertical distribution, abundance, community structure, population structure and body size) between the Okhotsk Sea and Oyashio region in autumn, *Journal of Natural History*, 49 (45-48), 2743-2757. [Doi: 10.1080/00222933.2015.1022616](https://doi.org/10.1080/00222933.2015.1022616) (査読あり)
33. Yamaguchi, A., Matsuno, K. and Homma, T. (2015) Spatial changes in the vertical distribution of calanoid copepods down to great depths in the North Pacific, *Zoological*

- Studies*, 54, 13. [Doi:10.1186/s40555-014-0091-6](https://doi.org/10.1186/s40555-014-0091-6) (査読あり)
34. Arima, D., Yamaguchi, A., Abe, Y., Matsuno, K., Saito, R., Asami, H., Shimada, H. and Imai, I. (2014) Seasonal changes in body size and oil sac volume of three planktonic copepods, *Paracalanus parvus* (Claus, 1863), *Pseudocalanus newmani* Frost, 1989 and *Oithona similis* Claus, 1866, in a temperate embayment: what controls their seasonality?, *Crustaceana*, 87 (3), 364-375. [Doi: 10.1163/15685403-00003287](https://doi.org/10.1163/15685403-00003287) (査読あり)
35. Aono, T., Ito, Y., Sotome, T., Mizuno, T., Igarashi, S., Kanda, J. and Ishimaru, T. (2014) Observation of Radionuclides in Marine Biota off the Coast of Fukushima Prefecture After TEPCO's Fukushima Daiichi Nuclear Power Station Accident, *In: Radiation Monitoring and Dose Estimation of the Fukushima Nuclear Accident*, 115-123. [Doi: 10.1007/978-4-431-54583-5_11](https://doi.org/10.1007/978-4-431-54583-5_11) (査読あり)
36. Arima, D., Yamaguchi, A., Abe, Y., Matsuno, K., Saito, R., Asami, H., Shimada, H. and Imai, I. (2014) Seasonal changes in zooplankton community structure in Ishikari Bay, Japan Sea, *Bulletin of Fisheries Sciences Hokkaido University*, 64 (1), 17-23. <http://hdl.handle.net/2115/54866> (査読あり)
37. Batlle, J., Aono, T., Brown, J., Hosseini, A., Garnier Laplace, J., Sazykina, T., Steenhuisen, F. and Strand, P. (2014) The impact of the Fukushima nuclear accident on marine biota: Retrospective assessment of the first year and perspectives, *Science of the Total Environment*, 487, 143-153. [Doi:10.1016/j.scitotenv.2014.03.137](https://doi.org/10.1016/j.scitotenv.2014.03.137) (査読あり)
38. Bu, W., Fukuda, M., Aono, T., Ishimaru, T., Kanda, J., Yang, G., Tagami, K., Uchida, S., Guo, Q. and Yamada, M. (2014) Release of plutonium isotopes from the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident to the marine environment was negligible, *Environmental Science and Technology*, 48 (16), 9070-9078. [Doi:10.1021/es502480y](https://doi.org/10.1021/es502480y) (also in A02-3) (査読あり)
39. Bu, W., Zheng, J., Guo, Q. J., Aono, T., Tazoe, H., Tagami, K., Uchida, S. and Yamada, M. (2014) A method of measurement of ^{239}Pu , ^{240}Pu , ^{241}Pu in high U content marine sediments by sector field ICP-MS and its application to Fukushima sediment samples, *Environmental Science and Technology*, 48, 534-541. [Doi:10.1021/es403500e](https://doi.org/10.1021/es403500e) (also in A02-3) (査読あり)
40. Bu, W., Zheng, J., Guo, Q. J., Aono, T., Tagami, K., Uchida, S., Tazoe, H. and Yamada, M. (2014) Ultra-trace determination of plutonium in small volume seawater by sector-field inductively coupled plasma mass spectrometry with application to Fukushima seawater samples, *Journal of Chromatography A*, 1337 (11), 171-178, [Doi:10.1016/j.chroma.2014.02.066](https://doi.org/10.1016/j.chroma.2014.02.066) (also in A02-3) (査読あり)
41. Kumamoto, Y., Aoyama, M., Hamajima, Y., Aono, T., Kouketsu, S., Murata, A., and Kawano, T. (2014) Southward spreading of the Fukushima-derived radiocesium across the Kuroshio Extension in the North Pacific, *Scientific Reports*, 4, Article

- number:4276. [Doi:10.1038/srep04276](https://doi.org/10.1038/srep04276) (also in A02-3) (査読あり)
42. Matsuno, K., Ichinomiya, M., Yamaguchi, A., Imai I. and Kikuchi, T. (2014) Horizontal distribution of microprotist community structure in the western Arctic Ocean during late summer and early fall of 2010, *Polar Biology*, 37 (8), 1185-1195. [Doi: 10.1007/s00300-014-1512-z](https://doi.org/10.1007/s00300-014-1512-z) (査読あり)
 43. Matsuno, K., Yamaguchi, A., Fujiwara, A., Onodera, J., Watanabe, E., Imai, I., Chiba, S., Harada, N. and Kikuchi, T. (2014) Seasonal changes in mesozooplankton swimmers collected by sediment trap moored at a single station on the Northwind Abyssal Plain in the western Arctic Ocean, *Journal of Plankton Research*, 36 (2), 490-502. [Doi: 10.1093/plankt/fbt092](https://doi.org/10.1093/plankt/fbt092) (査読あり)
 44. Sohtome, T., Wada, T., Mizuno, T., Nemoto, Y., Igarashi, S., Nishimune, A., Aono, T., Ito, Y., Kanda, J. and Ishimaru, T. (2014) Radiological impact of TEPCO's Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident on invertebrates in the coastal benthic food web, *Journal of Environmental Radioactivity*, 138, 106-115. [Doi:10.1016/j.jenvrad.2014.08.008](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2014.08.008) (査読あり)
 45. 立田穰 (2014) 海産生物への放射性セシウム移行に関するモデル解析について, *Isotope News*, 719, 32-36. (査読あり)
 46. Yamaguchi, A., Matsuno, K., Abe, Y., Arima, D. and Ohgi, K. (2014) Seasonal changes in zooplankton abundance, biomass, size structure and dominant copepods in the Oyashio region analysed by an optical plankton counter, *Deep Sea Research Part I: Oceanographic Research Papers*, 91, 115-124. [Doi: 10.1016/j.dsr.2014.06.003](https://doi.org/10.1016/j.dsr.2014.06.003) (査読あり)
 47. Abe, Y., Natsuike, M., Matsuno, K., Terui, T., Yamaguchi, A. and Imai, I. (2013) Variation in assimilation efficiencies of dominant Neocalanus and Eucalanus copepods in the subarctic Pacific: Consequences for population structure models, *Journal of Experimental Marine Biology and Ecology*, 449, 321-329. [Doi: 10.1016/j.jembe.2013.10.023](https://doi.org/10.1016/j.jembe.2013.10.023) (査読あり)
 48. Bu, W. T., Zheng, J., Aono, T., Tagami, K., Uchida, S., Zhang, J., Honda, M. C., Guo, Q. J. and Yamada, M. (2013) Vertical distributions of plutonium isotopes in marine sediment cores off the Fukushima coast after the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident, *Biogeosciences*, 10, 2497-2511. [Doi:10.5194/bg-10-2497-2013](https://doi.org/10.5194/bg-10-2497-2013) (also in A02-3) (査読あり)
 49. Chikugo, K., Yamaguchi, A., Matsuno, K., Saito, R. and Imai, I. (2013) Life history and production of pelagic mysids and decapods in the Oyashio region, Japan. *Crustaceana*, 86 (4), 449-474. [Doi: 10.1163/15685403-00003170](https://doi.org/10.1163/15685403-00003170) (査読あり)
 50. Kanda, J. (2013) Continuing ¹³⁷Cs release to the sea from the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant through 2012, *Biogeosciences*, 10, 6107-6113, [Doi:10.5194/bg-10-6107-2013](https://doi.org/10.5194/bg-10-6107-2013) (査読あり)
 51. 神田穰太 (2013) 福島第一原子力発電所から海に流れ続ける放射性セシウム, *科学*,

- 83 (6), 634-638. (査読あり)
52. 神田穰太(2013)福島第一原子力発電所から海洋への放射能流出の現状, *科学*, 83 (11), 1284-1286. (査読あり)
53. Kitamura, M., Kumamoto, Y., Kawakami, H., Cruz, E. C. and Fujikura, K. (2013) Horizontal distribution of Fukushima-derived radiocesium in zooplankton in the northwestern Pacific Ocean, *Biogeosciences*, 10, 5729-5738, [Doi:10.5194/bg-10-5729-2013](https://doi.org/10.5194/bg-10-5729-2013) (also in A02-3) (査読あり)
54. Ohashi, R., Yamaguchi, A., Matsuno, K., Saito, R., Yamada, N., Iijima, A., Shiga, N. and Imai, I. (2013) Interannual changes in the zooplankton community structure on the southeastern Bering Sea shelf during summers of 1994-2009, *Deep-Sea Research II*, 94, 44-56. [10.1016/j.dsr2.2013.03.018](https://doi.org/10.1016/j.dsr2.2013.03.018) (査読なし)
55. 塩田知也, 阿部義之, 齋藤類, 松野孝平, 山口篤, 今井一郎 (2013) 光学式プランクトンカウンターによる北太平洋外洋域における動物プランクトン群集の空間変動解析, *北大水産彙報*, 63 (3), 13-22. <http://hdl.handle.net/2115/53985> (査読あり)
56. Tateda, Y., Tsumune, D. and Tsubono, T. (2013) Simulation of radioactive cesium transfer in the southern Fukushima coastal biota using a dynamic food chain transfer model, *J. Environmental Radioactivity*, 124, 1-12. [Doi:10.1016/j.jenvrad.2013.03.007](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2013.03.007) (also in A02-3) (査読あり)
57. Wada, T., Nemoto, Y., Shimamura, S., Fujita, T., Mizuno, T., Sohtome, T., Kamiyama, K., Morita, T. and Igarashi, S. (2013) Effects of the nuclear disaster on marine products in Fukushima, *J. Environmental Radioactivity*, 124, 246-254. [Doi: 10.1016/j.jenvrad.2013.05.008](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2013.05.008) (査読あり)
58. Yamaguchi, A., Homma, T., Saito, R., Matsuno, K., Ueno, H., Hirawake, T. and Imai, I. (2013) East-west differences in population structure and vertical distribution of copepods along 47°N in the subarctic Pacific in June 2009., *Plankton and Benthos Research*, 8 (3), 116-123. [Doi: 10.3800/pbr.8.116](https://doi.org/10.3800/pbr.8.116) (査読あり)
59. Honda, M. C., Aono, T., Aoyama, M., Hamajima, Y., Kawakami, H., Kitamura, M., Masumoto, Y., Miyazawa, Y., Takigawa, M. and Saino, T. (2012) Dispersion of artificial caesium-134 and -137 in the western North Pacific one month after the Fukushima accident, *Geochemical Journal*, 46 (1), e1-e9, 2012. [Doi: 10.2343/geochemj.1.0152](https://doi.org/10.2343/geochemj.1.0152) (also in A02-3) (査読あり)
60. Shiota, T., Yamaguchi, A., Saito, R. and Imai, I. (2012) Geographical variations in abundance and body size of the hydromedusa *Aglantha digitale* in the northern North Pacific and its adjacent seas. *Bulletin of Fisheries Sciences Hokkaido University*, 62 (3), 63-69. <http://hdl.handle.net/2115/51114> (査読あり)
61. 神田穰太 (2012) 福島第一原子力発電所事故による放射性物質の海洋環境への影響,

- 環境情報科学, 41(2), 21-28. (査読あり)
62. Zheng, J., Aono, T., Uchida, S., Zhang, J., Honda, M. C. (2012) Distribution of Pu isotopes in marine sediments in the Pacific 30 km off Fukushima after the Fukushima Daiichi nuclear power plant accident, *Geochemical Journal*, 46, 361-369. Doi: 10.2343/geochemj.2.0209 (also in A02-3) (査読あり)
 63. Zheng, J., Tagami, K., Watanabe, Y., Uchida, S., Aono, T., Ishii, N., Yoshida, S., Kubota, Y., Fuma, S. and Ihara, S. (2012) Isotopic evidence of plutonium release into the environment from the Fukushima DNPP accident, *Scientific Reports*, 2, Article No:304, Doi:10.1038/srep00304 (also in A02-3) (査読あり)
 64. Yoshida, N. and Kanda, J. (2012) Tracking the Fukushima Radionuclides, *Science*, 336 (6085), 1115-1116. Doi:10.1126/science.1219493 (also in A01-2) (査読あり)

A03-5 班

1. Kato, H., Onda, Y. (2018) Determining the initial Fukushima reactor accident-derived cesium-137 fallout in forested areas of municipalities in Fukushima Prefecture, *Journal of Forest Research*, Doi: 10.1080/13416979.2018.1448566 (査読あり)
2. 荒居博之, 福島武彦, 恩田裕一 (2017) 湖沼における底質コア採取に係る評価方法 : 福島原発事故起源の放射性セシウムを指標として, *陸水学雑誌*, 78 (1), 67-74. (査読あり)
3. Chartin, C., Evrard, O., Lacey, J. P., Onda, Y., Otle, C., Lefevre, I., Cerdan, O. (2017) The impact of typhoons on sediment connectivity: lessons learnt from contaminated coastal catchments of the Fukushima Prefecture (Japan), *Earth Surface Processes and Landforms*, 42 (2), 306-317. Doi: 10.1002/esp.4056 (査読あり)
4. Delmas, M., Garcia-Sanchez, L., Nicoulaud-Gouin, V., Onda, Y. (2017) Improving transfer functions to describe radiocesium wash-off fluxes for the Niida River by a Bayesian approach, *Journal of Environmental Radioactivity*, 167, 100-109. Doi: 10.1016/j.jenvrad.2016.11.002 (査読あり)
5. Fukushima, T., Komatsu, E., Arai, H., Kamiya, K., Onda, Y. (2017) Shifts of radiocesium vertical profiles in sediments and their modelling in Japanese lakes, *Science of Total Environment*, 615, 741-750. Doi:10.1016/j.scitotenv.2017.09.286 (査読あり)
6. 保高徹生, 申文浩, 恩田裕一, 信濃卓郎, 林誠二, 他 20 名 (2017) 陸水中における微量溶存態放射性セシウムの濃縮法の比較, *分析化学*, 66 (4), 299-307. Doi: 10.2116/bunsekikagaku.66.299 (査読あり)
7. Honda, M., Matsuzaki, H., Nagai, H., Sueki, K. (2017) Depth profiles and mobility of 129I originating from the Fukushima Dai-ichi nuclear power plant disaster under different land uses, *Applied Geochem.* (inpress) Doi: 10.1016/j.apgeochem.2017.01.023 (査読あり)

8. Kato, H., Onda, Y., Hisadome, K., Loffredo, N. and Kawamori, A. (2017) Temporal changes in radiocesium deposition in various forest stands following the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident, *Journal of Environmental Radioactivity*, 166, Part 3, 449-457. Doi: 10.1016/j.jenvrad.2015.04.016 (査読あり)
9. Iwagami, S., Onda, Y., Tsujimura, M. and Abe, Y. (2017) Contribution of Radioactive ¹³⁷Cs discharge by Suspended Sediment, Coarse Organic Matter, and Dissolved Fraction from a Headwater Catchment in Fukushima after the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant Accident, *Journal of Environmental Radioactivity*, 166, Part 3, 466-474. Doi: 10.1016/j.jenvrad.2016.07.025 (査読あり)
10. Iwagami, S., Tsujimura, M., Onda, Y., Nishino, M., Konuma, R., Abe, Y., Hada, M., Pun, I., Sakaguchi, A., Kondo, H., Yamamoto, M., Miyata, Y. and Igarashi, Y. (2017) Temporal changes in dissolved ¹³⁷Cs concentrations in groundwater and stream water in Fukushima after the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident, *Journal of Environmental Radioactivity*, 166, Part 3, 458-465. Doi: 10.1016/j.jenvrad.2015.03.025 (査読あり)
11. Konoplev, A., Golosov, V., Wakiyama, Y., Takase, T., Yoschenko, V., Yoshihara, T., Parenyuk, O., Cresswell, A., Ivanov, M., Carradine, M., Nanba, K., Onda, Y. (2017) Natural attenuation of Fukushima-derived radiocesium in soils due to its vertical and lateral migration, *Journal of Environmental Radioactivity*, 186, 23-33. Doi: 10.1016/j.jenvrad.2017.06.019 (査読あり)
12. Naulier, M., Eyrolle-Boyer, F., Boyer, P., Metivier, J. M., Onda, Y. and Thiry, Y. (2017) Particulate organic matter in rivers of Fukushima: An unexpected carrier phase for radiocesiums, *Science of the Total Environment*, 579, 1560-1571. Doi: 10.1016/j.scitotenv.2016.11.165 (査読あり)
13. 小野貴大, 飯澤勇信, 阿部善也, 中井 泉, 寺田靖子, 佐藤志彦, 末木啓介, 足立光司, 五十嵐康人 (2017) 福島第一原子力発電所事故により1号機から放出された放射性粒子の放射光マイクロビーム X 線分析を用いる化学性状の解明, *分析化学*, 66 (4), 251-261. Doi: 10.2116/bunsekikagaku.66.251 (査読あり)
14. Yang, B., Onda, Y., Ohmori, Y., Sekimoto, H., Fujiwara, T., Wakiyama, Y., Yoshimura, K., Takahashi, J., Sun, X. (2017) Effect of topsoil removal and selective countermeasures on radiocesium accumulation in rice plants in Fukushima paddy field, *Science of the Total Environment*, 603-604, 49-56. Doi: 10.1016/j.scitotenv (Also in A03-6) (査読あり)
15. Yoschenko, V., Takase, T., Hinton, T., Nanba, K., Onda, Y., Konoplev, A., Goto, A., Yokoyama, A., Keitoku, K. (2017) Radioactive and stable cesium isotope distributions and dynamics in Japanese cedar forests, *Journal of Environmental Radioactivity*, 186, 34-44. Doi:10.1016/j.jenvrad.2017.09.026 (査読あり)
16. Yoschenko, V., Takase, T., Konoplev, A., Nanba, K., Onda, Y., Kivva, S., Zheleznyak, M.,

- Sato, N., Keitoku, K. (2017) Radiocesium distribution and fluxes in the typical *Cryptomeria japonica* forest at the late stage after the accident at Fukushima Dai-Ichi Nuclear Power Plant, *Journal of Environmental Radioactivity*, 166, Part 1, 45-55. Doi: 10.1016/j.jenvrad.2016.02.017 (査読あり)
17. Evrard, O., Laceby, J. P., Onda, Y., Wakiyama, Y., Jaegler, H. and Lefevre, I. (2016) Quantifying the dilution of the radiocesium contamination in Fukushima coastal river sediment (2011-2015), *Scientific Reports*, 6, Article number: 34828, DOI:10.1038/srep34828 (査読あり)
18. Coppin, F., Hurtevent, P., Loffredo, N., Simonucci, C., Julien, A., Gonze, M. A., Nanba, K., Onda, Y. and Thiry, Y. (2016) Radiocaesium partitioning in Japanese cedar forests following the “early” phase of Fukushima fallout redistribution, *Scientific Reports* 6, Article number: 37618, DOI:10.1038/srep37618 (査読あり)
19. Laceby, J. P., Huon, S., Onda, Y., Vaury, V., Evrard, O. (2016) Do forests represent a long-term source of contaminated particulate matter in the Fukushima Prefecture?, *Journal of Environmental Management*, 183, Part3, 742-753. DOI: 10.1016/j.jenvman.2016.09.020 (査読あり)
20. Nanba, K., Zheleznyak, M., Kivva, S., Konoplev, A., Maderich, V., Koshebutsky, V., Gallego, E., Papush, L. and Mikhalskyi, O. (2016) Implementation of Hydrological Dispersion Module of JRODOS for the assessment of ¹³⁷Cs transport and fate in rivers, reservoirs and ponds of the Fukushima Prefecture, *Radioprotection*, 1-4, DOI: 10.1051/radiopro/2016052 (査読あり)
21. Matsunaka, T., Sasa, K., Sueki, K., Takahashi, T., Matsumura, M., Satou, Y., Kitagawa, J., Kinoshita, N. and Matsuzaki, H. (2016) Post-accident response of near-surface ¹²⁹I levels and ¹²⁹I/¹²⁷I ratios in areas close to the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant, Japan, *Nuclear Instruments and Methods in Physics Research Section B*, Vol.361, p.569-573, Doi:10.1016/j.nimb.2015.03.056 (査読あり)
22. 荒居博之, 福島武彦, 恩田裕一 (2016) 湖沼における底質コア採取に係る評価方法 : 福島原発事故起源の放射性セシウムを指標として, *陸水学雑誌*. (査読あり)
23. Cresswell, A. J., Kato, H., Onda, Y., Nanba, K. (2016) Evaluation of forest decontamination using radiometric measurements, *Journal of Environmental Radioactivity*, 164, 133-144. DOI: 10.1016/j.jenvrad.2016.07.024 (査読あり)
24. Eyrolle-Boyer, F., Boyer, P., Garcia-Sanchez, L., Metivier, J. M., Onda, Y., De Vismes, A., Cagnat, X., and Boulet, B. (2016) Behaviour of radiocaesium in coastal rivers of the Fukushima Prefecture (Japan) during conditions of low flow and low turbidity - Insight on the possible role of small particles and detrital organic compounds-, *Journal of Environmental Radioactivity*, 151, Part 1, p. 328-340. Doi:10.1016/j.jenvrad.2015.10.028

- (査読あり)
25. Konoplev, A., Golosov, V., Laptev, G., Nanba, K., Onda, Y., Takase, T., Wakiyama, Y., and Yoshimura, K. (2016) Behavior of accidentally released radiocesium in soil-water environment: looking at Fukushima from a Chernobyl perspective, *Journal of Environmental Radioactivity*, 151, Part3, p. 568-578. [Doi: 10.1016/j.jenvrad.2015.06.019](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2015.06.019) (査読あり)
 26. Konoplev, A., Golosov, V., Yoschenko, V., Nanba, K., Onda, Y., Takase, T., Wakiyama, Y. (2016) Vertical distribution of radiocesium in soils of Fukushima Dai-ichi NPP zone, *Eurasian Soil Sci.*, 49 (5), p. 570-580. [DOI: 10.1134/S1064229316050082](https://doi.org/10.1134/S1064229316050082) (査読あり)
 27. Lacey, J. P., Chartin, C., Evrard, O., Onda, Y., Garcia-Sanchez, L. and Cerdan, O. (2016) Rainfall erosivity in catchments contaminated with fallout from the Fukushima Daiichi nuclear power plant accident, *Hydrol. Earth Syst. Sci.*, 20, 2467-2482. [DOI: 10.5194/hess-20-2467-2016](https://doi.org/10.5194/hess-20-2467-2016) (査読あり)
 28. Loffredo, N., Sun, X., Onda, Y. (2016) DHPT 1.0: NEW SOFTWARE FOR AUTOMATIC ANALYSIS OF CANOPY CLOSURE FROM UNDER-EXPOSED AND OVER-EXPOSED DIGITAL HEMISPHERICAL PHOTOGRAPHS, *Computers and Electronics in Agriculture*, 125, 39-47. [DOI:10.1016/j.compag.2016.04.028](https://doi.org/10.1016/j.compag.2016.04.028) (査読あり)
 29. Martin, P. G., Griffiths, I., Jones, C. P., Stitt, C. A., Davies-Milner, M., Mosselmans, J. F. W., Yamashiki, Y., Richards, D. A., Scott, T. B. (2016) In-situ removal and characterisation of uranium-containing particles from sediments surrounding the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant. *Spectrochimica Acta Part B: Atomic Spectroscopy*, 117, p. 1-7. [Doi: 10.1016/j.sab.2015.12.010](https://doi.org/10.1016/j.sab.2015.12.010) (査読あり)
 30. Martin, P. G., Payton, O. D., Fardoulis, J. S., Richards, D. A., Yamashiki, Y., Scott, T. B. (2016) Low altitude unmanned aerial vehicle for characterising remediation effectiveness following the FDNPP accident. *Journal of Environmental Radioactivity*, 151, Part 1, p.58-63. [Doi: 10.1016/j.jenvrad.2015.09.007](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2015.09.007) (査読あり)
 31. Martin, P. G., Payton, O. D., Yamashiki, Y., Richards, D. A., Scott, T. B. (2016) High-resolution radiation mapping to investigate FDNPP derived contaminant migration, *Journal of Environmental Radioactivity*, 164, 26-35. [DOI: 10.1016/j.jenvrad.2016.06.025](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2016.06.025) (査読あり)
 32. Martin, P. G., Kwong, S., Smith, N. T., Yamashiki, Y., Payton, O. D., Russell-Pavier, F. S., Fardoulis, J. S., Richards, D. A., Scott, T. B. (2016) 3D unmanned aerial vehicle radiation mapping for assessing contaminant distribution and mobility, *International Journal of Applied Earth Observation and Geoinformation*, 52 (1), 12-19. [DOI:10.1016/j.jag.2016.05.007](https://doi.org/10.1016/j.jag.2016.05.007) (査読あり)
 33. Matsunaka, T., Sasa, K., Sueki, K., Takahashi, T., Satou, Y., Matsumura, M., Kinoshita, N.,

- Kitagawa, J. and Matsuzaki, H. (2016) Pre- and post-accident ^{129}I and ^{137}Cs levels, and $^{129}\text{I} / ^{137}\text{Cs}$ ratios in soil near the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant, Japan, *Journal of Environmental Radioactivity*, 151, p.209-217, [Doi:10.1016/j.jenvrad.2015.10.010](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2015.10.010) (査読あり)
34. Mengistu T. Teramage, Onda, Y., Kato, H. (2016) Small scale temporal distribution of radiocesium in undisturbed coniferous forest soil: Radiocesium depth distribution profiles. *Journal of Environmental Management*, 170, 97-104. [Doi: 10.1016/j.jenvman.2016.01.014](https://doi.org/10.1016/j.jenvman.2016.01.014) (査読あり)
35. Nam, S., Hiraoka, M., Gomi, T., Dung, B. X., Onda, Y., Kato, H. (2016) Suspended-sediment responses after strip thinning in headwater catchments. *Landscape and Ecological Engineering*, 12 (2), pp.198-208. [Doi: 10.1007/s11355-015-0284-0](https://doi.org/10.1007/s11355-015-0284-0) (査読あり)
36. Satou, Y., Sueki, K., Sasa, K., Adachi, K., Igarashi, Y. (2016) First successful isolation of radioactive particles from soil near the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant, *Anthropocene*, 14, p.71-76. [Doi: 10.1016/j.ancene.2016.05.001](https://doi.org/10.1016/j.ancene.2016.05.001) (also in A01-2) (査読あり)
37. Yang, B., Onda, Y., Wakiyama, Y., Yoshimura, K., Sekimoto, H., Ha, Y. (2016) Temporal changes of radiocesium in irrigated paddy fields and its accumulation in rice plants in Fukushima, *Environmental Pollution*, 208, Part B, p.562-570. [Doi: 10.1016/j.envpol.2015.10.030](https://doi.org/10.1016/j.envpol.2015.10.030) (査読あり)
38. Yoshimura, K., Onda, Y., Wakahara, T. (2016) Time dependence of the ^{137}Cs concentration in particles discharged from rice paddies to freshwater bodies after the Fukushima Daiichi NPP accident, *Environmental Science & Technology*, 50 (8), p. 4186-4193. [Doi: 10.1021/acs.est.5b05513](https://doi.org/10.1021/acs.est.5b05513) (査読あり)
39. Evrard, O., Laceby, J. P., Lepage, H., Onda, Y., Cerdan, O., and Ayrault, S. (2015) Radiocesium transfer from hillslopes to the Pacific Ocean after the Fukushima Nuclear Power Plant accident: A review, *Journal of Environmental Radioactivity*, 148, p.92-110. [Doi: 10.1016/j.jenvrad.2015.06.018](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2015.06.018) (査読あり)
40. Loffredo, N., Onda, Y., Hurtevent, P., and Coppin F. (2015) Equation to predict the ^{137}Cs leaching dynamic from evergreen canopies after a radio-caesium deposit, *Journal of Environmental Radioactivity*, 147, p.100-107, [Doi: 10.1016/j.jenvrad.2015.05.018](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2015.05.018) (査読あり)
41. Lepage, H., Evrard, O., Onda, Y., Lefevre, I., Laceby, P., and Ayrault, S. (2015) Depth distribution of cesium-137 in paddy fields across the Fukushima pollution plume in 2013, *Journal of Environmental Radioactivity*, 147, p.157-164, [Doi: 10.1016/j.jenvrad.2015.05.003](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2015.05.003) (査読あり)
42. Koibuchi, Y., Murakami, M., Sueki, K., and Onda, Y. (2015) Sediment-associated

- radiocesium originated from Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant flowing from Ohori River to Lake Teganuma , *Journal of Water and Environment Technology*, 13(3), pp.249-261, [Doi: 10.2965/jwet.2015.249](https://doi.org/10.2965/jwet.2015.249) (査読あり)
43. Saito, K., Onda, Y. (2015) Outline of the national mapping projects implemented after the Fukushima accident , *Journal of Environmental Radioactivity*, 139, p.240-249, [Doi: 10.1016/j.jenvrad.2014.10.009](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2014.10.009) (査読あり)
 44. Sasa, K., Takahashi, T., Matsumura, M., Matsunaka, T., Satou, Y., Izumi, D., and Sueki, K. (2015) The 6 MV multi-nuclide AMS facility at the University of Tsukuba, *Nuclear Instruments and Methods in Physics Research, Section B*, Vol.361, p.124-128, [Doi:10.1016/j.nimb.2015.04.028](https://doi.org/10.1016/j.nimb.2015.04.028) (査読あり)
 45. Satou, Y., Sueki, K., Sasa, K., Matsunaka, T., Takahashi, T., Shibayama, N., Izumi, D., Kinoshita, N. and Matsuzaki, H. (2015) Technological developments for 90Sr determination using AMS, *Nuclear Instruments and Methods in Physics Research, Section B*, Vol.361, p.124-128, [Doi:10.1016/j.nimb.2015.04.032](https://doi.org/10.1016/j.nimb.2015.04.032) (査読あり)
 46. Miyake, Y., Matsuzaki, H., Sasa, K. and Takahashi, T. (2015) Measurement of long-lived radionuclides in surface soil around F1NPP accident site by Accelerator Mass Spectrometry. *Nuclear Instruments and Methods in Physics Research, Section B*, Vol.361, p.627-631, [Doi:10.1016/j.nimb.2015.05.017](https://doi.org/10.1016/j.nimb.2015.05.017) (査読あり)
 47. Honda, M., Matsuzaki, H., Miyake, Y., Maejima, Y., Yamagata, T. and Nagai, H. (2015) Depth profile and mobility of 129I and 137Cs in soil originating from the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident, *Journal of Environmental Radioactivity*, Vol.146, p.35-43, [Doi:10.1016/j.jenvrad.2015.03.029](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2015.03.029) (査読あり)
 48. Iwasaki, T., Nabi, M., Shimizu, Y. and Kimura, I. (2015) Computational modeling of ¹³⁷Cs contaminant transfer associated with sediment transport in Abukuma River, *Journal of Environmental Radioactivity*, 139, p.416-426. [Doi:10.1016/j.jenvrad.2014.05.012](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2014.05.012) (査読あり)
 49. Matsuda, N., Mikami, S., Shimoura, S., Takahashi, J., Nakano, M., Shimada, K., Uno, K., Hagiwara, S., and Saito, K. (2015) Depth profiles of radioactive cesium in soil using a scraper plate over a wide area surrounding the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant, Japan, *Journal of Environmental Radioactivity*, 139, p.427-434. [Doi: 10.1016/j.jenvrad.2014.10.001](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2014.10.001) (査読あり)
 50. Mikami, S., Maeyama, T., Hoshide, Y., Kato, H. (2015) Spatial distributions of radionuclides deposited onto ground soil around the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant and their temporal change until December 2012, *Journal of Environmental Radioactivity*, 139, p.320-343. [Doi: 10.1016/j.jenvrad.2014.09.010](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2014.09.010) (査読あり)
 51. Onda, Y., Kato, H., Hoshi, M., Takahashi, K., Saito, K., and Ngyuen, L.M. (2015) Soil

- sampling and analytical strategies for mapping fallout in nuclear emergencies, *Journal of Environmental Radioactivity*, Vol.139, P.300-307 [Doi : 10.1016/j.jenvrad.2014.06.002](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2014.06.002) (査読あり)
52. Pratama, M., Yoneda, M., Shimada, Y., Matsui Y., and Yamashiki, Y. (2015) Future projection of radiocesium flux to the ocean from the largest river impacted by Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant, *Scientific Reports* 5, Article number 8408, [Doi:10.1038/srep08408](https://doi.org/10.1038/srep08408) (査読あり)
 53. Saito, K., Tanihata, I., Fujiwara, M., Saito, T., Shimoura, S., Otsuka, T., Onda, Y., Hoshi, M., Ikeuchi, Y., Takahashi, F., Kinouchi, N., Saegusa, J., Seki, A., Takemiya, H., and Shibata, T. (2015) Detailed deposition density maps constructed by large-scale soil sampling for gamma-ray emitting radioactive nuclides from the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident, *Journal of Environmental Radioactivity*, Vol.139, P.308-319, [Doi : 10.1016/j.jenvrad.2014.02.014](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2014.02.014) (査読あり)
 54. Saito, K., and Onda, Y. (2015) Outline of the national mapping projects implemented after the Fukushima accident, *Journal of Environmental Radioactivity*, 139, p.240-249. [Doi:10.1016/j.jenvrad.2014.10.009](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2014.10.009) (査読あり)
 55. Sakaguchi, A., Tanaka, K., Iwatani, H., Chiga, H., Fan, Q., Onda, Y., and Takahashi, Y. (2015) Size distribution studies of ^{137}Cs in river water in the Abukuma riverine system following the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident, *Journal of Environmental Radioactivity*, 139, p.379-389. [Doi:10.1016/j.jenvrad.2014.05.011](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2014.05.011) (also in A04-7) (査読あり)
 56. Satou, Y., Sueki, K., Sasa, K., Kitagawa, J., Ikarashi, S., and Kinoshita, N. (2015) Vertical distribution and formation analysis of the ^{131}I , ^{137}Cs , $^{129\text{m}}\text{Te}$, and $^{110\text{m}}\text{Ag}$ from the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant in the beach soil, *Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry*, 303(2), p.1197-1200. [Doi : 10.1007/s10967-014-3562-7](https://doi.org/10.1007/s10967-014-3562-7) (査読あり)
 57. Sun, X., Onda, Y., Otsuki, K., Kato, H., Gomi, T. (2015) The effect of strip thinning on forest floor evaporation in a Japanese cypress plantation. *Agriculture and Forest Meteorology*, 216, 48-57. [Doi: 10.1016/j.agrformet.2015.10.006](https://doi.org/10.1016/j.agrformet.2015.10.006) (査読あり)
 58. Takahashi, J., Tamura, K., Suda, T., Matsumura, R., and Onda, Y. (2015) Vertical distribution and temporal changes of ^{137}Cs in soil profiles under various land uses after Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant Accident, *Journal of Environmental Radioactivity*, 139, p.351-361. [Doi : 10.1016/j.jenvrad.2014.07.004](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2014.07.004) (査読あり)
 59. Yoshimura, K., Onda, Y. and Kato, H. (2015) Evaluation of radiocesium wash-off by soil erosion from various land uses using USLE plots, *Journal of Environmental Radioactivity*, 139, p.362-369. [Doi:10.1016/j.jenvrad.2014.07.019](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2014.07.019) (査読あり)
 60. Yoshimura, K., Onda, Y., Sakaguchi, A., Yamamoto, M., and Matsuura, Y. (2015) An

- extensive study of the concentrations of particulate/dissolved radiocaesium derived from the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident in various river systems and their relationship with catchment inventory, *Journal of Environmental Radioactivity*, Vol.139, P.370-378, [Doi:10.1016/j.jenvrad.2014.08.021](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2014.08.021) (査読あり)
61. Evrard, O., Chartin, C., Onda, Y., Lepage, H., Cerdan, O., Lefevre, I., and Ayrault, S.(2014) Reed soil erosion and remobilisation of radioactive sediment in Fukushima coastal rivers after the 2013 typhoons, *Scientific Reports*, 4, 4574, [Doi:10.1038/srep04574](https://doi.org/10.1038/srep04574) (査読あり)
 62. Evrard, O., Pointurier, F., Onda, Y., Chartin, C., Hubert, A., Lepage, H., Pottin, A., Lefevre, I., Bonte, P., Laceby, J.P., and Ayrault, S. (2014) Novel insights into Fukushima nuclear accident from isotopic evidence of plutonium spread along coastal rivers, *Environmental Science & Technology*, 48(16), p.9334-9340. [Doi:10.1021/es501890n](https://doi.org/10.1021/es501890n) (査読あり)
 63. 岩崎理樹, 清水康行, 木村一郎 (2014) 土砂輸送に基づく河川の放射性物質輸送モデル, *土木学会論文集 B1(水工学)* 70(4), p.1267-1272. [Doi: 10.2208/jscejhe.70.I_1267](https://doi.org/10.2208/jscejhe.70.I_1267) (査読あり)
 64. Fukushima, T. and Arai, H. (2014) Radiocesium contamination of lake sediments and fish following the Fukushima nuclear accident and their partition coefficient, *Inland Waters*, 4, p. 204-214, [Doi : 10.5268/IW-4.2.689](https://doi.org/10.5268/IW-4.2.689) (査読あり)
 65. Gonze, M.A., Renaud, P., Korsakissok, I., Kato, H., Hinton, T.G., Murlon, C., and Simon, C.M. (2014) Assessment of Dry and Wet Atmospheric Deposits of Radioactive Aerosols: Application to Fukushima Radiocaesium Fallout, *Environ. Sci. Technol*, 48(19), p. 11268-11276, [Doi : 10.1021/es502590s](https://doi.org/10.1021/es502590s) (査読あり)
 66. Kato, H., and Onda, Y. (2014) Temporal changes in the transfer of accidentally released ¹³⁷Cs from tree crown to the forest floor after the Fukushima Daiichi nuclear power plant accident, *Progress in Nuclear Science and Technology*, 4, p.18-22. [Doi:10.15669/pnst.4.18](https://doi.org/10.15669/pnst.4.18) (査読あり)
 67. Lepage, H., Evrard, O., Onda, Y., Patin, J., Chartin, C., Lefevre, I., Bonte, P., and Ayrault, S. (2014) Environmental mobility of ^{110m}Ag: lessons learnt from Fukushima accident (Japan) and potential use for tracking the dispersion of contamination along rivers, *Journal of Environmental Radioactivity*, Vol.130, April 2014, p.44-55, [Doi : 10.1016/j.jenvrad.2013.12.011](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2013.12.011) (査読あり)
 68. Loffredo, N., Onda, Y., Kawamori, A., and Kato, H. (2014) Modeling of leachable ¹³⁷Cs in throughfall and stemflow for Japanese forest canopies after Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident, *Science of Total Environment*, Vol.493, p.701-707, [Doi: 10.1016/j.scitotenv.2014.06.059](https://doi.org/10.1016/j.scitotenv.2014.06.059) (査読あり)
 69. Sakai, M., Gomi, T., Nunokawa, M., Wakahara, T., and Onda Y. (2014) Soil removal as a decontamination practice and radiocesium accumulation in tadpoles in rice paddies at

- Fukushima. Environmental Pollution, *Environmental Pollution*, Vol.187, April 2014, p.112-115, [Doi : 10.1016/j.envpol.2014.01.002](https://doi.org/10.1016/j.envpol.2014.01.002) (査読あり)
70. Tanaka, K., Iwatani, H., Sakaguchi, A., Takahashi, Y., and Onda, Y. (2014) Relationship between particle size and radiocesium in fluvial suspended sediment related to the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident, *Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry*, 301(2), p.607-613. [Doi : 10.1007/s10967-014-3159-1](https://doi.org/10.1007/s10967-014-3159-1) (also in A04-7) (査読あり)
 71. Teramagame M. T, Onda, Y., Patin, J., Kato, H., and Gomi, T. (2014) The role of litterfall in transferring Fukushima-derived radiocesium to a coniferous forest floor, *Science of the Total Environment*, p.435-439, [Doi : 10.1016/j.scitotenv.2014.05.034](https://doi.org/10.1016/j.scitotenv.2014.05.034) (査読あり)
 72. Teramagame M.T., Onda, Y., Patin, J., Kato, H., Gomi, T., and Nam, S. (2014) Vertical distribution of radiocesium in coniferous forest soil after the Fukushima Nuclear Power Plant accident, *Journal of Environmental Radioactivity*, p.37-45, [Doi:10.1016/j.jenvrad.2014.06.017](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2014.06.017) (査読あり)
 73. Yamashiki, Y., Onda, Y., Smith, H., Blake, W., Wakahara, T., Igarashi, Y., Matsuura, Y., Yoshimura, K. (2014) Initial flux of sediment-associated radiocaesium to the ocean from the largest river impacted by Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant, *Scientific Reports*, 4, 3714, [Doi : 10.1038/srep03714](https://doi.org/10.1038/srep03714) (査読あり)
 74. Yoshimura, K., Onda, Y., Fukushima, T. (2014) Sediment particle size and initial radiocesium accumulation in ponds following the Fukushima DNPP accident, *Scientific Reports*, 4, Article number: 4514. [Doi : 10.1038/srep04514](https://doi.org/10.1038/srep04514) (査読あり)
 75. Wakahara, T., Onda, Y., Kato, H., Sakaguchi, A., and Yoshimura, K. (2014) Radiocesium discharge from paddy fields with different initial scrapings for decontamination after the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident, *Environmental Science: Processes & Impacts*, 16, 2580-2591. [Doi:10.1039/c4em00262h](https://doi.org/10.1039/c4em00262h) (査読あり)
 76. Chartin, C., Evrard, O., Onda, Y., Patin J., Lefevre, I., Otle, C., Ayrault, S., Lepage, H., and Bonte, P. (2013) Tracking the early dispersion of contaminated sediment along rivers draining the Fukushima radioactive pollution plume, *Anthropocene*, Volume 1, September 2013, p.23-34, [Doi:10.1016/j.ancene.2013.07.001](https://doi.org/10.1016/j.ancene.2013.07.001) (査読あり)
 77. Evrard, O., Chartin, C., Onda, Y., Patin, J., Lepage, H., Lefevre, I., Ayrault, S., Otle, C., and Bonte, P. (2013) Evolution of radioactive dose rates in fresh sediment deposits along rivers draining Fukushima contamination plume, *Scientific Reports*, 3, [Doi:10.1038/srep03079](https://doi.org/10.1038/srep03079) (査読あり)
 78. Hisadome, K., Onda, Y., Kawamori, A., Kato, H. (2013) Migration of Radiocesium with Litterfall in Hardwood-Japanese Red Pine Mixed Forest and Sugi Plantation, *Journal of the Japanese Forest Society*, Vol. 95 (2013) No. 5, p. 267-274, [Doi:10.4005/jjfs.95.267](https://doi.org/10.4005/jjfs.95.267), [Joi :](https://doi.org/10.4005/jjfs.95.267)

- DN/JST.JSTAGE/jjfs/95.267 (査読あり)
79. Kato, H., Onda, Y., Nanko, K., Gomi, T., Yamanaka, T., and Kawaguchi, S. (2013) Effect of canopy interception on spatial variability and isotopic composition of throughfall in Japanese Cypress plantations. *Journal of Hydrology*, 504, 1-11. [Doi:10.1016/j.jhydrol.2013.09.028](https://doi.org/10.1016/j.jhydrol.2013.09.028) (査読あり)
 80. Tanaka, K., Iwatani, H., Sakaguchi, A., Takahashi, Y., and Onda, Y. (2013) Investigation of spatial distribution of radiocesium in a paddy field as a potential sink, *PLoS ONE*, November 15, 2013, [Doi : 10.1371/journal.pone.0080794](https://doi.org/10.1371/journal.pone.0080794) (査読あり)
 81. Yamaguchi, N., and Sekiguchi, T. (2013) Ripples under partially standing waves for different reflection coefficients: a laboratory, *Journal of the Sedimentological Society of Japan*, 72, p.125-134, [Doi : 10.4096/jssj.72.125](https://doi.org/10.4096/jssj.72.125) (査読あり)
 82. Cooper, J. R., Wainwright, J., Parsons, A. J., Onda, Y., Fukuwara, T., Obana, E., Kitchener, B., Long, E.J., and Hargrave, G.H. (2012) A new approach for Simulating the Redistribution of Soil Particles by Water Erosion: a Marker-in-Cell Model, *Journal of Geophysical Research*, 117, [Doi : 10.1029/2012JF002499](https://doi.org/10.1029/2012JF002499) (査読あり)
 83. Dercon G., 他 24 名 (2012) Fallout radionuclide-based techniques for assessing the impact of soil conservation measures on erosion control and soil quality: an overview of the main lessons learnt under an FAO/IAEA Coordinated Research Project, *J. Environmental Radioactivity*, 107, p.78-85, [Doi : 10.1016/j.jenvrad.2012.01.008](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2012.01.008) (査読あり)
 84. Kato, H., Onda, Y., Gomi, T. (2012) Interception of the Fukushima reactor accident-derived ^{137}Cs , ^{134}Cs , and ^{131}I by coniferous forest canopies, *Geophysical Research Letters*, Vol.39, Issue 20, [Doi : 10.1029/2012GL052928](https://doi.org/10.1029/2012GL052928) (査読あり)
 85. Kato, H., Onda, Y., Teramaga, M.T. (2012) Depth distribution of ^{137}Cs , ^{134}Cs , and ^{131}I in soil profile after Fukushima Nuclear Power Plant Accident, *Journal of Environmental Radioactivity*, Vol.111 (2012) p. 59-64, [Doi : 10.1016/j.jenvrad.2011.10.003](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2011.10.003) (査読あり)
 86. Qin, H., Yokoyama, Y., Fan, Q., Iwatani, H., Tanaka, K., Sakaguchi, A., Kanai, Y., Zhu, J., Onda, Y., and Takahashi, Y. (2012) Investigation of cesium adsorption on soil and sediment samples from Fukushima Prefecture by sequential extraction and EXAFS technique, *Geochemical Journal*, Vol. 46, p. 297-302. [Doi:10.2343/geochemj.2.0214](https://doi.org/10.2343/geochemj.2.0214) (査読あり)
 87. Sakaguchi, A., Kadokura, A., Steier, P., Tanaka, K., Takahashi, Y., Chiga, H., Matsushima, A., Nakashima, S., and Onda, Y. (2012) Isotopic determination of U, Pu and Cs in environmental waters following the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident, *Geochemical Journal*, 46 (4), p. 355-360. [Doi:10.2343/geochemj.2.0216](https://doi.org/10.2343/geochemj.2.0216) (査読あり)
 88. Tanaka, K., Iwatani, H., Sakaguchi, A., Takahashi, Y., and Onda, Y. (2012) Local

distribution of radioactivity in tree leaves contaminated by fallout of the radionuclides emitted from the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant, *Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry*, Mar 2013, Vol 295, Issue 3, p. 2007-2014, [Doi : 10.1007/s10967-012-2192-1](https://doi.org/10.1007/s10967-012-2192-1) (査読あり)

89. Teramage, M. T., Onda, Y., Kato, H., Wakiyama, Y., Mizugaki, S., and Hiramatsu, S. (2012) The relationship of soil organic carbon to ²¹⁰Pbex and ¹³⁷Cs during surface soil erosion in a hillslope forested environment, *Geoderma*, 192, p.59-67. [Doi : 10.1016/j.geoderma.2012.08.030](https://doi.org/10.1016/j.geoderma.2012.08.030) (査読あり)
90. Kinoshita, N., Sueki, K., Sasa, K., Kitagawa, J., Ikarashi, S., Nishimura, T., Wong, Y. S., Satou, Y., Handa, K., Takahashi, T., Sato, M., and Yamagata, T. (2011) Assessment of individual radionuclide distributions from the Fukushima nuclear accident covering central-east Japan, *Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America*, 108, 19526-19529, [Doi : 10.1073/pnas.1111724108](https://doi.org/10.1073/pnas.1111724108) (査読あり)

A03-6 班

1. Iizuka, K., Toya, N., Ohsima, J., Ishiguri, F., Miyamoto, N., Aizawa, M., Ohkubo, T., Takenaka, C., and Yokota, S. (2018) Relationship between ¹³⁷Cs concentration and potassium content in stem wood of Japanese cedar (*Cryptomeria japonica*), *Journal of Wood Science*, Vol.64, P.59-64 [Doi: 10.1007/s10086-017-1673-9](https://doi.org/10.1007/s10086-017-1673-9) (査読あり)
2. 金子信博 (2018) 菌糸を用いた放射性セシウムの森林からの除染. *水利科学* 62. 査読あり) (印刷中) (査読なし)
3. Wei Wang, Chisato Takenaka, Rie Tomioka and Tsutomu Kanasashi. (2018) Absorption and translocation of cesium through Konara oak (*Quercus serrata*) bark . *Journal of Forest Research*. [Doi:10.1080/13416979.2018.1426898](https://doi.org/10.1080/13416979.2018.1426898) (査読あり)
4. 野田祐作, 古川純 (2018) 陸上植物のセシウム吸収・輸送を制御する分子機構, *RADIOISOTOPES* (査読あり)
5. B. Yang, Y. Onda, Y. Ohmori, H. Sekimoto, T. Fujiwara, Y. Wakiyama, K. Yoshimura, J. Takahashi and X. Sun. (2017) Effect of topsoil removal and selective countermeasures on radiocesium accumulation in rice plants in Fukushima paddy field. *Science of the Total Environment*, 603-604, 49-56. [Doi: 10.1016/j.scitotenv](https://doi.org/10.1016/j.scitotenv) (Also in A03-5) (査読あり)
6. Rai, H., Yokoyama, S., Satoh-Nagasawa, N., Furukawa, J., Nomi, T., Ito, Y., Fujimura, S., Takahashi, H., Suzuki, R., Yousra, E., Goto, A., Fuji, S., Nakamura, S., Shinano, T., Nagasawa, N., Wabiko, H., Hattori, H. (2017) Caesium uptake by rice roots largely depends upon a single gene, HAK1, which encodes a potassium transporter, *Plant and Cell Physiology*, Vol.58, P.1486-1493, [Doi: 10.1093/pcp/pcx094](https://doi.org/10.1093/pcp/pcx094) (査読あり)
7. Matsushita, A., Yoshida, T., Hijii, N., and Takenaka, C. (2017) Changes in the chemical

- compositions of leaf litter in the canopy of a Japanese cedar plantation, *Journal of Forest Research*, Vol.22, P.256-260. [Doi: 10.1080/13416979.2017.1339941](https://doi.org/10.1080/13416979.2017.1339941) (査読あり)
8. Deguchi S., Matsuda Y., Takenaka C., Sugiura Y., Ozawa H., Ogata Y. (2017) A new estimation method on colonization rate of arbuscular mycorrhizal fungi in the root of *Chengiopanax sciadophylloides*. *Mycobiology* 45(1):15-19
[Doi:10.5941/MYCO.2017.45.1.15](https://doi.org/10.5941/MYCO.2017.45.1.15) (査読あり)
 9. Wang Wei, Matsushita, Y., Aoki, D., Fukushima, K., Tomioka, R., Iizuka, K., Takenaka C., (2017) Decontamination of Cs from Japanese cedar (*Cryptomeria japonica*) via kraft cooking. *Journal of Wood Science* 63:388-395. [Doi:10.1007/s10086-017-1628-1](https://doi.org/10.1007/s10086-017-1628-1) (査読あり)
 10. Ayabe, Y., Hijii, N. and Takenaka, C. (2017) Effects of local-scale decontamination in a secondary forest contaminated after the Fukushima nuclear power plant accident. *Environmental Pollution* 228:344-353 (査読あり)
 11. 飯塚 和也, 大島 潤一 (2017) 宇都宮大学演習林のスギ材における Cs-137 濃度に関するモニタリング, *水利科学*, No.355, P.13-25 (査読なし)
 12. 福山文子, 竹中千里, 金指努, 綾部慈子, 福士彰久 (2017) 苗畑と林地に植栽した樹木の放射性セシウムの移行について, *KEK proceedings*, 151-156 (査読あり)
 13. Huang, Y., Kaneko, N., Nakamori, T., Miura, T., Tanaka, Y., Nonaka, M., Takenaka, C. (2016) Radiocesium immobilization to leaf litter by fungi during first-year decomposition in a deciduous forest in Fukushima. *Journal of Environmental Radioactivity*, 152: 28-34. [Doi:10.1016/j.jenvrad.2015.11.002](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2015.11.002) (査読あり)
 14. Kanasashi, T., Takenaka, C., Sugiura, Y. (2016) Inferring the chemical form of ¹³⁷Cs deposited by the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident by measuring ¹³⁷Cs incorporated into needle leaves and male cones of Japanese cedar trees. *Science of The Total Environment*, 553, 643-649. [Doi:10.1016/j.scitotenv.2016.02.118](https://doi.org/10.1016/j.scitotenv.2016.02.118) (査読あり)
 15. Noda Y., Furukawa J., Aohara T., Nihei N., Hirose A., Tanoi K., Nakanishi T.M. and Satoh S. (2016) Short day length-induced decrease of cesium uptake without altering potassium uptake manner in poplar. *Scientific Reports*, 6, article number: 38360. [Doi: 10.1038/srep38360](https://doi.org/10.1038/srep38360) (査読あり)
 16. Sugiura, Y., Kanasashi, T., Ogata, Y., Ozawa, H., Takenaka, C. (2016) Radiocesium accumulation properties of *Chengiopanax sciadophylloides*, *Journal of Environmental Radioactivity*, 151, Part 1, 250-257. [Doi:10.1016/j.jenvrad.2015.10.021](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2015.10.021) (査読あり)
 17. Sugiura, Y., Shibata, M., Ogata, Y., Ozawa, H., Kanasashi, T., Takenaka, C. (2016) Evaluation of radiocesium concentrations in new leaves of wild plants two years after the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident, *Journal of Environmental Radioactivity*, 160, 8-24. [Doi:10.1016/j.jenvrad.2016.04.015](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2016.04.015) (査読あり)
 18. Tamaoki M., Yabe T., Furukawa J., Watanabe M., Ikeda K., Yasutani I. and Nishizawa T.

- (2016) Comparison of potentials of higher plants for phytoremediation of radioactive cesium from contaminated soil. *Environmental Control in Biology*, Vol. 54, 1, 65-69. [Doi:10.2525/ecb.54.65](https://doi.org/10.2525/ecb.54.65) (査読あり)
19. Wang Wei, Hanai Y., Takenaka C., Tomioka R., Iizuka K., and Ozawa H. (2016) Cesium adsorption and absorption through bark of Japanese cedar (*Cryptomeria japonica*). *Journal of Forest Research*, 21, 251-258. [Doi: 10.1007/s10310-016-0534-5](https://doi.org/10.1007/s10310-016-0534-5) (査読あり)
 20. Yang B., Onda Y., Wakiyama Y., Yoshimura K., Sekimoto H. and Ha Y. (2016) Temporal changes of radiocesium in irrigated paddy fields and its accumulation in rice plants in Fukushima. *Environmental Pollution*, 208: 562-570. [Doi: 10.1016/j.envpol.2015.10.030](https://doi.org/10.1016/j.envpol.2015.10.030) (査読あり)
 21. Ayabe, Y., Kanasashi, T., Hijii, N., Takenaka, C. (2015) Relationship between radiocesium contamination and the contents of various elements in the web spider *Nephila clavata* (Nephilidae: Arachnida). *Journal of Environmental Radioactivity*, 150, 228-235. [Doi:10.1016/j.jenvrad.2015.09.002](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2015.09.002) (査読あり)
 22. 綾部慈子, 金指努, 肘井直樹, 竹中千里 (2015) 福島県北東部森林域に生息するジョロウグモの放射性セシウム濃度モニタリング, *日本森林学会誌*, 97 (1), 70-74. [Doi:10.4005/jjfs.97.70](https://doi.org/10.4005/jjfs.97.70) (査読あり)
 23. 市川貴大, 逢沢峰昭, 大久保達弘 (2015) 落葉広葉樹林で構成される里山における分解にともなう落葉中の放射性セシウム濃度および量の変化, *日本森林学会誌*, 97(5), 251-256. [Doi:10.4005/jjfs.97.251](https://doi.org/10.4005/jjfs.97.251) (査読あり)
 24. Kanasashi, T., Sugiura, Y., Takenaka, C., Hijii, N., Umemura, M. (2015) Radiocesium distribution in sugi (*Cryptomeria japonica*) in Eastern Japan: translocation from needles to pollen, *Journal of Environmental Radioactivity*, 139, p. 398-406. [Doi : 10.1016/j.jenvrad.2014.06.018](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2014.06.018) (査読あり)
 25. 金子信博, 中森泰三, 黄よう (2015) 土壌の生物多様性と機能を活用した森林土壌の放射性セシウム除染, *日本森林学会誌* 97, 75-80. [Doi: 10.4005/jjfs.97.75](https://doi.org/10.4005/jjfs.97.75) (査読あり)
 26. 梅村 光俊, 金指 努, 杉浦 佑樹, 竹中 千里 (2015) 福島県内のモウソウチク林における放射性セシウムの分布, *日本森林学会誌*, 1, 44-50. [Doi:10.4005/jjfs.97.44](https://doi.org/10.4005/jjfs.97.44) (査読あり)
 27. Ayabe, Y., Kanasashi, T., Hijii, N., and Takenaka, C. (2014) Radiocesium contamination of the web spider *Nephila clavata* (Nephilidae: Arachnida) 1.5 years after the Fukushima Dai-ichi nuclear power plant accident, *Journal of Environmental Radioactivity*, Vol.127, p105-110, January 2014, [Doi : 10.1016/j.jenvrad.2013.10.010](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2013.10.010) (査読あり)
 28. 金子信博 (2014) 森林土壌の汚染対策と森林利用ーウッドチップによる除染の試みと里山再生ー, *森林科学* 72, 9-12. (査読あり)
 29. Kobayashi, D., Okouchi, T., Yamagami, M., and Shinano, T. (2014) Verification of radiocesium decontamination from farmlands by plants in Fukushima, *Journal of Plant*

- Research*, Vol.127(1), 51-6. [Doi : 10.1007/s10265-013-0607-x](https://doi.org/10.1007/s10265-013-0607-x) (査読あり)
30. Mimura, T., Mimura, M., Kobayashi, D., Komiyama, C., Sekimoto, H., Miyamoto, M., and Kitamura, A. (2014) Radioactive pollution and accumulation of radionuclides in wild plants in Fukushima, *Journal of Plant Research*, Vol.127, Issue 1, p.5-10, [Doi : 10.1007/s10265-013-0599-6](https://doi.org/10.1007/s10265-013-0599-6) (査読あり)
 31. Mimura, T., Mimura, M., Komiyama, C., Miyamoto, M., and Kitamura, A. (2014) Measurements of gamma (γ)-emitting radionuclides with a high purity germanium detector: the methods and reliability of our environmental assessments on the Fukushima 1 Nuclear Power Plant accident, *Journal of Plant Research*, Vol.127, Issue 1, p.91-97. [Doi : 10.1007/s10265-013-0594-y](https://doi.org/10.1007/s10265-013-0594-y) (査読あり)
 32. Ohmori, Y., 他 40 名(2014) Difference in cesium accumulation in rice grown in the paddy field in the Fukushima-city in the years of 2011 and 2012, *Journal of Plant Research* 127(1), p. 57-66, [Doi : 10.1007/s10265-013-0616-9](https://doi.org/10.1007/s10265-013-0616-9) (査読あり)
 33. Ohmori, Y., Kajikawa, M., Nishida, S., Tanaka, N., Kobayashi, N. I., Tanoi, K., Furukawa, J., and Fujiwara, T.(2014) Effect of fertilization on cesium concentration of rice grown in a paddy field in Fukushima prefecture at 2011 and 2012, *Journal of Plant Research*,127(1), p.67-71. [Doi : 10.1007/s10265-013-0618-7](https://doi.org/10.1007/s10265-013-0618-7) (査読あり)
 34. Sekimoto, H., Yamada, T., Hotsuki, T., Fujiwara, T., Mimura, T., and Matsuzaki, A. (2014) Evaluation of the radioactive Cs concentration in brown rice based on the K nutritional status of shoots, *Journal of Plant Research*, Vol.127(1), p.73-78, [Doi : 10.1007/s10265-013-0614-y](https://doi.org/10.1007/s10265-013-0614-y) (査読あり)
 35. 関本 均, 山田 孝, 宝槻朋恵, 松崎昭夫, 三村徹郎 (2014) イネの放射性セシウム吸収抑制のための交換性および土壌溶液のカリウム、カルシウムレベルと土づくりに関する一考察, *土肥誌*, 85, pp.148 - 159.(査読あり)
 36. Terashima, I., Shiyomi, M., Fukuda, H., (2014) ^{134}Cs and ^{137}Cs levels in a meadow, 32 km northwest of the Fukushima 1 Nuclear Power Plant, measured for two seasons after the fallout, *Journal of Plant Research*, Vol.127(1), p.43-50. [Doi : 10.1007/s10265-013-0608-9](https://doi.org/10.1007/s10265-013-0608-9) (査読あり)
 37. Zaitsev, A.S., Gongalsky, K.B., Nakamori, T., Kaneko, N. (2014) Ionizing radiation effects on soil biota: Application of lessons learned from Chernobyl accident for radioecological monitoring, *Pedobiologia*, 57, pp.5-14. [Doi : 10.1016/j.pedobi.2013.09.005](https://doi.org/10.1016/j.pedobi.2013.09.005) (査読あり)
 38. 市川貴大, 逢沢峰昭, 大久保達弘 (2013) 環境放射線モニタを用いた堆積有機物層および表層土壌中の放射性物質濃度の簡易測定, *森林立地*, 55(1), p.43-49. <http://ci.nii.ac.jp/naid/110009625249> (査読あり)
 39. 岩瀬香, 富岡利恵, 杉浦祐樹, 金指努, 竹中千里(2013) スギとコナラ樹皮におけるセシウム吸着特性について, *森林立地*, 55(2), p.69-73. <http://ci.nii.ac.jp/naid/110009804559>

- (査読あり)
40. 金指努, 杉浦佑樹, 竹中千里 (2013) 樹木における放射性セシウム汚染の現状と課題, *森林遺伝育種*, 2, p.117-121. (査読あり)
 41. Kawai, H., Kitamura, A., Mimura, M., Mimura, T., Tahara, T., Aida, D., Sato, K., and Sasaki, H. (2013) Radioactive cesium accumulation in seaweeds by the Fukushima 1 Nuclear Power Plant accident-two years' monitoring at Iwaki and its vicinity. *J Plant Res*, 127(1), p.23-42. [Doi : 10.1007/s10265-013-0603-1](https://doi.org/10.1007/s10265-013-0603-1) (査読あり)
 42. 小金澤 正昭, 田村宜格, 奥田圭, 福井えみ子 (2013) 栃木県奥日光および足尾地域のニホンジカにおける放射性セシウムの体内蓄積, 2012 年, *森林立地*, 55(2), p.99-104. <http://ci.nii.ac.jp/naid/110009804562> (査読あり)
 43. Oi, T., Hirunagi, K., Taniguchi, M., and Miyake, H. (2013) Salt excretion from the salt glands in Rhodes grass (*Chloris gayana* Kunth) as evidenced by low-vacuum scanning electron microscopy. *Flora*, 208, p.52-57. [Doi : 10.1016/j.flora.2012.12.006](https://doi.org/10.1016/j.flora.2012.12.006) (査読あり)
 44. 逢沢峰昭, 乾友恵, 平井英明, 大澤和敏, 池田純子, 大久保達弘 (2013) 北関東の中山間地域の農用林における落葉および落葉堆肥生産と水田施用の有効性, *森林立地*, 55(2), p.119-126. <http://ci.nii.ac.jp/naid/110009804565> (査読あり)
 45. 大久保達弘, 金子真司, 金子信博, 田中浩 (2012) 第2特集 福島原発事故の森林生態系への放射能汚染影響を考える (第123回日本森林学会関連研究会, *森林科学*, 65, p.26-44. (査読あり)

A04-7 班

1. Tsuruta, H., Oura, Y., Ebihara, M., Moriguchi, Y., Ohara, T., Nakajima, T. (2018) Time-series analysis of atmospheric radiocesium at two SPM monitoring sites near the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant just after the Fukushima accident on March 11, 2011. *Geochemical Journal*, Vol. 52. [Doi:10.2343/geochemj.2.0520](https://doi.org/10.2343/geochemj.2.0520) (査読有).
2. Miura, H., Kurihara, Y., Sakaguchi, A., Tanaka, K., Yamaguchi, N., Higaki, S. and Takahashi, Y. (2018) Discovery of radiocesium-bearing microparticles in river water and their influence on the solid-water distribution coefficient (Kd) of radiocesium in the Kuchibuto River in Fukushima. *Geochemical Journal*, Vol. 52. [Doi:10.2343/geochemj.2.0517](https://doi.org/10.2343/geochemj.2.0517) (査読有).
3. Tanaka, K., Watanabe, N., Yamasaki, S., Sakaguchi, A., Fan, Q., and Takahashi, Y. (2018) Mineralogical control of the size distribution of stable Cs and radiocesium in riverbed sediments. *Geochemical Journal*, Vol. 52. [Doi:10.2343/geochemj.2.0501](https://doi.org/10.2343/geochemj.2.0501) (査読有)
4. Sakaguchi, A., Chiga, H., Tanaka, K., Tsuruta, H., and Takahashi, Y. (2018) Estimation of desorption ratios of radio/stable caesium from environmental samples (aerosols and soils) leached with seawater, diluted seawater and ultrapure water. *Geochemical Journal*, Vol. 52,

- [Doi:10.2343/geochemj.2.0496](https://doi.org/10.2343/geochemj.2.0496) (査読有)
5. Ochiai A., Imoto J., Suetake M., Komiya T., Furuki G., Ikehara R., Yamasaki S., Law TW G., Ohnuki T., Grambow B., Ewing C R., Utsunomiya S. (2018) Uranium dioxides and debris fragments released to the environment with cesium-rich microparticles from the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant. *Environmental science & technology*, Vol. 52, 2586–2594. [Doi: 10.1021/acs.est.7b06309](https://doi.org/10.1021/acs.est.7b06309) (査読有)
 6. Suzuki, K., Watanabe, S., Yuasa, Y., Yamashita, Y., Arai, H., Tanaka, H., Kuge, T., Mori, M., Tsunoda, K., Nohara, S., Iwasaki, Y., Minai, Y., Okada, Y., Nagao, S. (2018) Radiocesium dynamics in the aquatic ecosystem of Lake Onuma on Mt. Akagi following the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident. *Science of the Total Environment*. Vol. 622, 1153-1164. [Doi: 10.1016/j.scitotenv.2017.12.017](https://doi.org/10.1016/j.scitotenv.2017.12.017) (査読有).
 7. Inoue, M., Shirotani, Y., Yamashita, S., Takata, H., Kofuji, H., Ambe, D., Honda, N., Yagi, Y., Nagao, S. (2018) Temporal and spatial variations of Cs-134 and Cs-137 levels in the Sea of Japan and Pacific coastal region: Implications for dispersion of FDNPP-derived radiocesium. *Journal of Environmental Radioactivity*, Vol. 182, 142-150, [Doi: 10.1016/j.jenvrad.2017.11.032](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2017.11.032) (査読有).
 8. Takahashi, Y., Fan, Q., Suga, H., Tanaka, K., Sakaguchi, A., Takeichi, Y., Ono, K., Mase, K., Kato, K. and Kanivets, V.V. (2017) Comparison of Solid-Water Partitions of Radiocesium in River Waters in Fukushima and Chernobyl Areas. *Scientific Reports* 7, 12407. [Doi:10.1038/s41598-017-12391-7](https://doi.org/10.1038/s41598-017-12391-7). (査読有)
 9. Iwagami, S., Tsujimura, M., Onda, Y., Nishino, M., Konuma, R., Abe, Y., Hada, M., Pun, I., Sakaguchi, A., Kondo, H., Yamamoto, M., Miyata, Y., Igarashi, Y. (2017) Temporal changes in dissolved ¹³⁷Cs concentrations in groundwater and stream water in Fukushima after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident, *Journal of Environmental Radioactivity*, vol. 166, 458-465. [Doi: 10.1016/j.jenvrad.2015.03.025](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2015.03.025) (査読有)
 10. Eigl, R., Steier, P., Sakata, K., Sakaguchi, A. (2017) Vertical distribution of ²³⁶U in the North Pacific Ocean. *Journal of Environmental Radioactivity*, vol. 169-170:70-78. [Doi: 10.1016/j.jenvrad.2016.12.010](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2016.12.010) (査読有)
 11. Nomura, T., Sakaguchi, A., Steier, P., Eigl, R., Yamakawa, A., Watanabe, T., Sasaki, K., Watanabe, T., Golser, R., Takahashi, Y., Yamano, H. (2017) Reconstruction of the temporal distribution of ²³⁶U/²³⁸U in the Northwest Pacific Ocean using a coral core sample from the Kuroshio Current area, *Marine Chemistry*, vol. 190, 28-34, [Doi: 10.1016/j.marchem.2016.12.008](https://doi.org/10.1016/j.marchem.2016.12.008). (査読有)
 12. Imoto J., Ochiai A., Furuki G., Suetake M, Ikehara R., Horie K., Takehara M., Yamasaki S., Nanba K., Ohnuki T., Law TW G., Grambow B., Ewing C R., Utsunomiya S. (2017) Isotopic signature and nano-texture of cesium-rich micro-particles: Release of uranium and

- fission products from the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant. *Scientific Reports Vol. 7*, 5409. [Doi:10.1038/s41598-017-05910-z](https://doi.org/10.1038/s41598-017-05910-z) (査読有)
13. Sanial, V., Buessler, K. O., Charette, M. A., Nagao, S. (2017). Unexpected source of Fukushima-derived radiocesium to the coastal ocean of Japan. *Proceedings of the National Academy of Sciences, Vol. 114*, 11092-11096. [Doi: 10.1073/pnas.1708659114](https://doi.org/10.1073/pnas.1708659114) (査読有).
 14. Nagao, S., Ootosaka, S., Kaeriyama, H. (2017). Radionuclides in coastal sediments after the accident of Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant: distribution, dynamics and fate. *Journal of Oceanography, Vol. 73*, 527-527. [Doi: 10.1007/s10872-017-0444-y](https://doi.org/10.1007/s10872-017-0444-y) (査読有).
 15. Higaki, S., Kurihara, Y., Yoshida, H., Takahashi, Y., Shinohara, N. (2017) Discovery of non-spherical heterogeneous radiocesium-bearing particles not derived from Unit 1 of the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant, in residences five years after the accident. *Journal of environmental radioactivity, Vol. 177*, 65-70. [Doi: 10.1016/j.jenvrad.2017.06.006](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2017.06.006) (査読有).
 16. Onodera, M., Kirishima, A., Nagao, S., Takamiya, K., Ohtsuki, T., Akiyama, D., Sato, N. (2017) Desorption of radioactive cesium by seawater from the suspended particles in river water. *Chemosphere, 185*, 806-815. [Doi: 10.1016/j.chemosphere.2017.07.078](https://doi.org/10.1016/j.chemosphere.2017.07.078) (査読有).
 17. Inoue, M., Yoneoka, S., Ochiai, S., Morokado, T., Uemura, H., Nagao, S. (2017) Low levels of ^{134}Cs in suspended solids in rivers discharging into the Sea of Japan. *Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry*. [Doi:10.1007/s10967-018-5783-7](https://doi.org/10.1007/s10967-018-5783-7) (査読有).
 18. 長尾誠也, 金森正樹, 鈴木究真, 落合伸也, 井上睦夫(2017) 利根川上流における河川水中の ^{134}Cs 及び ^{137}Cs の放射能濃度. *分析化学, Vol. 66*, 243-249. [Doi: 10.2116/bunsekikagaku.66.243](https://doi.org/10.2116/bunsekikagaku.66.243) (査読有)
 19. 山本政儀, 坂口綾 (2017) 新たな研究分野を目指して:新規トレーサー ^{236}U に着目した地球・環境科学研究. *地球化学, Vol. 51*, 221-237 (査読有).
 20. 山本政儀 (2017) 極微量 放射性核種の測定法開発及び地球化学研究への応用 (日本放射化学会賞学会賞受賞記念論文). *放射化学, 35*, 9-29.
 21. Fan, Q. and Takahashi, Y. (2017) Employment of the generalized adsorption model for the prediction of the solid-water distribution of radiocesium in the river-estuary-ocean system, *Applied Geochem., 79*, 75-84. [Doi:10.1016/j.apgeochem.2017.01.020](https://doi.org/10.1016/j.apgeochem.2017.01.020)(査読あり)
 22. Inoue, M., Yamashita, S., Fujimoto, K., Kofuji, H., Miki, S. and Nagao, S., (2017) Simple ^{40}K removal by acidified water leaching for estimating low levels of radiocesium in fishery products following Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident, *APPLIED RADIATION AND ISOTOPES, 120*, 17-21. [Doi:10.1016/j.apradiso.2016.11.008](https://doi.org/10.1016/j.apradiso.2016.11.008) (査読あり)
 23. Mori, M., Tsunoda, K., Aizawa, S., Saito, Y., Koike, Y., Gonda, T., Abe, S., Suzuki, K., Yuasa, Y., Kuge, T., Tanaka, H., Arai, H., Watanabe, S., Nohara, S., Minai, Y., Okada, Y. and Nagao, S. (2017) Fractionation of radiocesium in soil, sediments, and aquatic organisms

- in Lake Onuma of Mt. Akagi, Gunma Prefecture using sequential extraction, *SCIENCE OF THE TOTAL ENVIRONMENT*, 575, 1247-1254. [Doi:10.1016/j.scitotenv.2016.09.205](https://doi.org/10.1016/j.scitotenv.2016.09.205) (査読あり)
24. Nakajima, T., Misawa, S., Morino, Y., Tsuruta, H., Goto, D., Uchida, J., Takemura, T., Ohara, T., Oura, Y., Ebihara, M. and Satoh, M. (2017) Model depiction of the atmospheric flows of radioactive cesium emitted from the Fukushima Daiichi Nuclear Power Station accident, *PROGRESS IN EARTH AND PLANETARY SCIENCE*, 4:2. [Doi:10.1186/s40645-017-0117-x](https://doi.org/10.1186/s40645-017-0117-x) (査読あり)
25. Qin, H.-B., Takeichi, Y., Nitani, H., Terada, Y. and Takahashi, Y. (2017) Tellurium Distribution and Speciation in Contaminated Soils from Abandoned Mine Tailings: Comparison with Selenium, *Environ. Sci. Technol.*, in press. [Doi:10.1021/acs.est.7b00955](https://doi.org/10.1021/acs.est.7b00955) (査読あり)
26. Yumimoto, K., Morino, Y., Ohara, T., Oura, Y., Ebihara, M., Tsuruta, H., Nakajima, T. (2017) Inverse modeling of the ¹³⁷Cs source term of the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident constrained by a deposition map monitored by aircraft, *JOURNAL OF ENVIRONMENTAL RADIOACTIVITY*, 164, 1-12. [Doi:10.1016/j.jenvrad.2016.06.018](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2016.06.018) (査読あり)
27. Eigl, R., Steier, P., Winkler, S., Sakata, K. and Sakaguchi, A. (2016) First study on ²³⁶U in the Northeast Pacific Ocean using a new target preparation procedure for AMS measurements, *Journal of Environmental Radioactivity*, 162-163, 244-250. [Doi:10.1016/j.jenvrad.2016.05.025](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2016.05.025) (査読あり)
28. Fujimoto, J., Tanaka, K., Watanabe, N. and Takahashi, Y. (2016) Simultaneous recovery and separation of rare earth elements in ferromanganese nodules by using *Shewanella putrefaciens*, *Hydrometallurgy*, 166, 80-86. [Doi:10.1016/j.hydromet.2016.09.005](https://doi.org/10.1016/j.hydromet.2016.09.005) (査読あり)
29. Kurisu, M., Takahashi, Y., Iizuka, T. and Uematsu, M. (2016) Very Low Isotope Ratio of Iron in Fine Aerosols Related to Its Contribution to the Surface Ocean, *J. Geophys. Res. Atmospheres.*, 121 (18), 11, 119-11,136. [Doi:10.1002/2016JD024957](https://doi.org/10.1002/2016JD024957) (査読あり)
30. Matsunaga, T., Nakanishi, T., Atarashi-Andoh, M., Takeuchi, E., Muto, K., Tsuduki, K., Nishimura, S., Koarashi, J., Otsuka, S., Sato, T., Miyata, Y. and Nagao, S. (2016) Year-round variations in the fluvial transport load of particulate Cs-137 in a forested catchment affected by the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident, *JOURNAL OF RADIOANALYTICAL AND NUCLEAR CHEMISTRY*, 310 (2), 679-693. [Doi:10.1007/s10967-016-4840-3](https://doi.org/10.1007/s10967-016-4840-3) (査読あり)
31. Sakaguchi, A., Nomura, T., Steier, P., Golser, R., Sasaki, K., Watanabe, T., Nakakuki, T., Takahashi, Y. and Yamano, H. (2016) Temporal and vertical distributions of

- anthropogenic ^{236}U in the Japan Sea using a coral core and seawater samples, *J. Geophys. Res. Oceans*, *121* (1), 4-13. [Doi:10.1002/2015JC011109](https://doi.org/10.1002/2015JC011109) (査読あり)
32. Togo, Y. S., Takahashi, Y., Amano, Y., Matsuzaki, H., Suzuki, Y., Terada, Y., Muramatsu, Y., Ito, K., Iwatsuki, T. (2016) Age and speciation of iodine in groundwater and mudstones of the Horonobe area, Hokkaido, Japan: Implications for the origin and migration of iodine during basin evolution, *Geochim. Cosmochim. Acta*, *191*, 165-186. [Doi:10.1016/j.gca.2016.07.012](https://doi.org/10.1016/j.gca.2016.07.012) (査読あり)
 33. Fukushi, K. and Fukiage, T. (2015) Prediction of Intrinsic Cesium Desorption from Na-Smectite in Mixed Cation Solutions, *Environ Sci Technol*, *49* (17), 10398-10405. [Doi:10.1021/acs.est.5b01884](https://doi.org/10.1021/acs.est.5b01884) (査読あり)
 34. Inoue, M., Minakawa, M., Yoshida, K., Nakano, Y., Kofuji, H., Nagao, S., Hamajima, Y., Yamamoto, M. (2015) Vertical profiles of ^{228}Ra and ^{226}Ra activities in the Sea of Japan and their implications on water circulation, *JOURNAL OF RADIOANALYTICAL AND NUCLEAR CHEMISTRY*, *303* (2), 1309-1312. [Doi:10.1007/s10967-014-3492-4](https://doi.org/10.1007/s10967-014-3492-4) (査読あり)
 35. Inoue, M., Yoneoka, S., Ochiai, S., Oikawa, S., Fujimoto, K., Yagi, Y., Honda, N., Nagao, S., Yamamoto, M., Hamajima, Y., Murakami, T., Kofuji, H. and Misonoo, J. (2015) Lateral and temporal variations in Fukushima Dai-ichi NPP-derived ^{134}Cs and ^{137}Cs in marine sediments in/around the Sado Basin, Sea of Japan, *Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry*, *303* (2), 1313-1316. [Doi:10.1007/s10967-014-3518-y](https://doi.org/10.1007/s10967-014-3518-y) (査読あり)
 36. Marsac, R., Davranche, M., Briant, N., Morin, G., Takahashi, Y., Gruau, G. and Dia A. (2015) Effect of loading on the nature of the REE-humate complexes as determined by Yb^{3+} and Sm^{3+} L_{III} edge EXAFS analysis, *Chem. Geol.*, *396*, 218-227. [Doi:10.1016/j.chemgeo.2014.12.024](https://doi.org/10.1016/j.chemgeo.2014.12.024) (査読あり)
 37. Nagao, S., Kanamori, M., Ochiai, S., Inoue, M. and Yamamoto, M. (2015) Migration behavior of ^{134}Cs and ^{137}Cs in the Niida River water in Fukushima Prefecture, Japan, *J. Radioanal. Nucl. Chem.*, *303*, 1617-1621. [Doi:10.1007/s10967-014-3686-9](https://doi.org/10.1007/s10967-014-3686-9) (査読あり)
 38. Ochiai, S., Miyata, Y., Nagao, S., Yamamoto, M., Murakami, T., Nishimura, S., Itono, S., Suzuki, T., Hamataka, K., Kawano, Y., Hamajima, Y. and Kashiwaya, K. (2015) Accumulation of accident-derived radiocesium in lake and coastal sediments at 300-700 km distance from Fukushima area, *Radat. Prot. Dosimetry*, *167* (1-3), 365-369. [Doi:10.1093/rpd/ncv280](https://doi.org/10.1093/rpd/ncv280) (査読あり)
 39. Ochiai, S., Nagao, S., Yamamoto, M., Itono, T. and Kashiwaya, K. (2015) Sediment transport processes in a reservoir-catchment system inferred from sediment trap observations and fallout radionuclides, *J. Radioanal. Nucl. Chem.*, *303*, 1497-1501. [Doi:10.1007/s10967-014-3577-0](https://doi.org/10.1007/s10967-014-3577-0) (査読あり)
 40. Onda, Y., Kato, H., Hoshi, M., Takahashi, Y. and Nguyend, Minh-Long. (2015) Soil

- sampling and analytical strategies for mapping fallout in nuclear emergencies based on the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident, *J. Environ. Radioactivity*, 139, 300-307. [Doi:10.1016/j.jenvrad.2014.06.002](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2014.06.002) (査読あり)
41. Oura, Y., Ebihara, M., Tsuruta, H., Nakajima, T., Ohara, T., Ishimoto, M., Sawahata, H., Katsumura, Y. and Nitta, W. (2015) A Database of Hourly Atmospheric Concentrations of Radiocesium (^{134}Cs and ^{137}Cs) in Suspended Particulate Matter Collected in March 2011 at 99 Air Pollution Monitoring Stations in Eastern Japan, *Journal of Nuclear and Radiochemical Sciences*, 15 (2), 2_1-2_12. [Doi:10.14494/jnrs.15.2_1](https://doi.org/10.14494/jnrs.15.2_1) (also in A04-8 and A01-1) (査読あり)
 42. Oura, Y., Ebihara, M., Tsuruta, H., Nakajima, T., Ohara, T., Mitsunori, I. and Katsumura, K. (2015) Determination of atmospheric radiocesium on filter tapes used at automated SPM monitoring stations for estimation of transport pathways of radionuclides from Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant, *J. Radioanal. Nucl. Chem.*, 303 (2), 1555-1559. [Doi:10.1007/s10967-014-3662-4](https://doi.org/10.1007/s10967-014-3662-4) (also in A01-1 and A04-8) (査読あり)
 43. Sakaguchi, A., Tanaka, K., Iwatani, H., Chiga, H., Fan, Q., Onda, Y. and Takahashi, Y. (2015) Size distribution studies of ^{137}Cs in river water in the Abukuma riverine system following the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident, *J. Environ. Radioactivity*, 139, 379-389. [Doi:10.1016/j.jenvrad.2014.05.011](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2014.05.011) (also in A03-5) (査読あり)
 44. Suga, H., Fan, Q., Takeichi, Y., Tanaka, K., Kondo, H., Kanivets, V. V., Sakaguchi, A., Kato, K., Inami, N., Mase, K., Ono, K. and Takahashi, Y. (2014) Characterization of Particulate Matters in the Pripyat River in Chernobyl related to Its Adsorption of Radiocesium with Inhibition Effect by Natural Organic Matter, *Chemistry Letters*, 43 (7), 1128-1130. [Doi:10.1246/cl.140222](https://doi.org/10.1246/cl.140222) (査読あり)
 45. Tanaka, K., Iwatani, H., Sakaguchi, A., Takahashi, Y. and Fan, Q. (2015) Size-dependent distribution of radiocesium in riverbed sediments and its relevance to the migration of radiocesium in river systems after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident, *J. Environ. Radioactivity*, 139, 390-397. [Doi:10.1016/j.jenvrad.2014.05.002](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2014.05.002) (also in A03-5) (査読あり)
 46. Tomita, J., Yamamoto, M., Nozaki, T., Tanimura, Y. and Oishi, T. (2015) Determination of low-level radiostromtium, with emphasis on *in situ* pre-concentration of Sr from large volume of freshwater sample using Powdex resin, *JOURNAL OF ENVIRONMENTAL RADIOACTIVITY*, 146, 88-93. [Doi: 10.1016/j.jenvrad.2015.04.011](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2015.04.011) (査読あり)
 47. Yamamoto, M. (2015) Overview of the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant (FDNPP) accident, with amounts and isotopic composition of the released radionuclides, *J. Radioanal. Nucl. Chem.*, 303 (2), 1227-1231. [Doi:10.1007/s10967-014-3639-3](https://doi.org/10.1007/s10967-014-3639-3) (査読あり)
 48. 山本政儀・坂口 綾 (2015) 福島第一原子力発電所事故に絡む環境アクチニド元素諸核

- 種, *地球化学*, 49, 173-184. [Doi:10.14934/chikyukagaku.49.173](https://doi.org/10.14934/chikyukagaku.49.173) (査読あり)
49. Yoshimura, K., Onda, Y., Sakaguchi, A., Yamamoto, M. and Matsuura, Y. (2015) An extensive study of the concentrations of particulate/dissolved radiocaesium derived from the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident in various river systems and their relationship with catchment inventory, *Journal of Environmental Radioactivity*, 139, 370-378. [Doi:10.1016/j.jenvrad.2014.08.021](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2014.08.021) (査読あり)
50. Endo, S., Tanaka, K., Kajimoto, T., Thanh, N. T., Otaki, J. M. and Imanaka, T. (2014) Estimation of β -ray dose in air and soil from Fukushima Daiichi Power Plant accident, *J. Radiat. Res.*, 55, 476-483. [Doi:10.1093/jrr/rrt209](https://doi.org/10.1093/jrr/rrt209) (査読あり)
51. Fan, Q. H., Tanaka, K., Sakaguchi, A., Kondo, H., Watanabe, N. and Takahashi, Y. (2014) Factors controlling radiocesium distribution in river sediments: Field and laboratory studies after the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident, *Appl. Geochem.*, 48, 93-103. [Doi:10.1016/j.apgeochem.2014.07.012](https://doi.org/10.1016/j.apgeochem.2014.07.012) (査読あり)
52. Fan, Q. H., Tanaka, M., Tanaka, K., Sakaguchi, A. and Takahashi, Y. (2014) An EXAFS study on the effects of natural organic matter and the expandability of clay minerals on cesium adsorption and mobility, *Geochim. Cosmochim. Acta.*, 135, 49-65. [Doi:10.1016/j.gca.2014.02.049](https://doi.org/10.1016/j.gca.2014.02.049) (査読あり)
53. Fan, Q., Yamaguchi, N., Tanaka, M., Tsukada, H. and Takahashi, Y. (2014) Relationship between the adsorption species of cesium and radiocesium interception potential in soils and minerals: An EXAFS study, *J. Environ. Radioactivity*, 138, 92-100. [Doi:10.1016/j.jenvrad.2014.08.009](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2014.08.009) (査読あり)
54. Inoue, M., Kofuji, H., Fujimoto, K., Furusawa, Y., Yoshida, K., Nagao, S., Yamamoto, M., Hamajima, Y. and Minakawa, M. (2014) Delivery mechanism of ^{134}Cs and ^{137}Cs in seawater off the Sanriku Coast, Japan, following the Fukushima Dai-ichi NPP accident, *J. Environ. Radioactivity*, 137, 113-118. [Doi:10.1016/j.jenvrad.2014.07.001](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2014.07.001) (査読あり)
55. Nagao, S., Kanamori, M., Ochiai, S., Suzuki, K. and Yamamoto, M. (2014) Dispersion of ^{134}Cs and ^{137}Cs in river waters from Fukushima and Gunma prefectures at nine months after the Fukushima Dai-ichi NPP accident, *Progress in Nucl. Sci.*, 4, 9-13. [Doi:10.15669/pnst.4.9](https://doi.org/10.15669/pnst.4.9) (査読あり)
56. Sakaguchi, A., Steier, P., Takahashi, Y. and Yamamoto, M. (2014) Isotopic compositions of ^{236}U and Pu isotopes in “Black Substances” collected from roadsides in Fukushima Prefecture: fallout from the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident, *Environmental Science and Technology*, 48 (7), 3691-3697. [Doi:10.1021/es405294s](https://doi.org/10.1021/es405294s) (査読あり)
57. Shinonaga, T., Steier, P., Lagos, M. and Ohkura, T. (2014) Airborne Plutonium and Non-Natural Uranium from the Fukushima DNPP Found at 120 km Distance a Few Days after

- Reactor Hydrogen Explosions, *Environ. Sci. Technol.*, 48, 3808-3814. [Doi:10.1021/es404961w](https://doi.org/10.1021/es404961w) (査読あり)
58. 高橋嘉夫, ファンチャオ, フイ, 東郷 洋子, 坂口 綾, 田中万也 (2014) X線分光法による放射性セシウムおよび放射性ヨウ素の陸域表層での移行過程の解明, *放射光*, 27, 20-28. (査読あり)
59. Takahashi, Y., Kondo, K., Miyaji, A., Watanabe, Y., Fan, Q. H., Honma, T. and Tanaka, K. (2014) Recovery and separation of rare earth elements using salmon milt, *PLoS One*, 9 (12):e114858. [Doi:10.1371/journal.pone.0114858](https://doi.org/10.1371/journal.pone.0114858) (査読あり)
60. Takeichi, Y., Inami, N., Suga, H., Ono, K. and Takahashi, Y. (2014) Development of a Compact Scanning Transmission X-ray Microscope (STXM) at the Photon Factory, *Chemistry Letters*, 43, 373-375. [Doi:10.1246/cl.130948](https://doi.org/10.1246/cl.130948) (査読あり)
61. Tanaka, K., Iwatani, H., Sakaguchi, A., Takahashi, Y. and Onda, Y. (2014) Relationship between particle size and radiocesium in fluvial suspended sediment related to the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident, *Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry*, 301 (2), 607-613. [Doi:10.1007/s10967-014-3159-1](https://doi.org/10.1007/s10967-014-3159-1) (also in A03-5) (査読あり)
62. Tsuruta, H., Oura, Y., Ebihara, M., Ohara, T. and Nakajima, T. (2014) First retrieval of hourly atmospheric radionuclides just after the Fukushima accident by analyzing filter-tapes of operational air pollution monitoring stations, *Scientific Reports*, 4, 6717. [Doi:10.1038/srep06717](https://doi.org/10.1038/srep06717) (also in A01-1 and A04-8) (査読あり)
63. Wakahara, T., Onda, Y., Kato, H., Sakaguchi, A. and Yoshimura, K. (2014) Radiocesium discharge from paddy fields with different initial scrapings for decontamination after the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident, *Environmental Science: Processes & Impacts*, 16, 2580-2591. [Doi:10.1039/C4EM00262H](https://doi.org/10.1039/C4EM00262H) (査読あり)
64. Yamamoto, M., Sakaguchi, A., Ochiai, S. and Imanaka, T. (2014) Isotopic composition of transuranic nuclides released by the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident: with emphasis of Cm isotopes, *Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry*, 300 (3), 1045-1052. [Doi:10.1007/s10967-014-3003-7](https://doi.org/10.1007/s10967-014-3003-7) (査読あり)
65. Yamamoto, M., Sakaguchi, A., Ochiai, S., Takada, T., Hamataka, K., Murakami, T. and Nagao, S. (2014) Isotopic Pu, Am and Cm signatures in environmental samples contaminated by the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident, *J. Environ. Radioactivity*, 132, 31-46. [Doi:10.1016/j.jenvrad.2014.01.013](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2014.01.013) (査読あり)
66. Endo, S., Kajimoto, T. and Shizuma, K. (2013) Paddy-field contamination with ^{134}Cs and ^{137}Cs due to Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident and soil-to-rice transfer coefficients, *J. Environ. Radioactivity*, 116, 59-64. [Doi:10.1016/j.jenvrad.2012.08.018](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2012.08.018) (査読あり)
67. Inoue, M., Furusawa, Y., Fujimoto, K., Minakawa, M., Kofuji, H., Nagao, S., Yamamoto,

- M., Hamajima, Y., Yoshida, K., Hayakawa, K., Oikawa, S., Misonoo, J. and Isoda, Y. (2013) $^{228}\text{Ra}/^{226}\text{Ra}$ ratio and ^7Be concentrations in the Sea of Japan as indicators for water transport: comparison with migration pattern of Fukushima Dai-ichi NPP-derived ^{134}Cs and ^{137}Cs , *J. Environ. Radioactivity*, 126, 176-187. [Doi:10.1016/j.jenvrad.2013.08.001](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2013.08.001) (査読あり)
68. Inoue, M., Kofuji, H., Oikawa, S., Murakami, T., Yamamoto, M., Nagao, S., Hamajima, Y. and Misonoo, J. (2013) Spatial variations of low levels of ^{134}Cs and ^{137}Cs in seawaters within the Sea of Japan after the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident, *Applied Radiation and Isotopes*, 81, 340-343. [Doi:10.1016/j.apradiso.2013.03.084](https://doi.org/10.1016/j.apradiso.2013.03.084) (査読あり)
69. Matsunaga, T., Koarashi, J., Atarashi, A. M., Nagao, S., Sato, T. and Nagai, H. (2013) Comparison of the vertical distributions of Fukushima nuclear accident radiocesium in soil before and after the first rainy season, with physicochemical and mineralogical interpretations, *Science of The Total Environment*, 447, 301-314. [Doi:10.1016/j.scitotenv.2012.12.087](https://doi.org/10.1016/j.scitotenv.2012.12.087) (査読あり)
70. Nagao, S., Kanamori, M., Ochiai, S., Tomihara, S., Fukushi, K. and Yamamoto, M. (2013) Export of ^{134}Cs and ^{137}Cs in the Fukushima river systems at heavy rains by Typhoon Roke in September 2011, *Biogeosciences*, 10, 6215-6223. [Doi:10.5194/bg-10-6215-2013](https://doi.org/10.5194/bg-10-6215-2013) (査読あり)
71. Ochiai, S., Nagao, S., Yamamoto, M., Itono, T., Kashiwaya, K., Fukui, K. and Iida, H. (2013) Deposition records in lake sediments in western Japan of radioactive Cs from the Fukushima Dai-ichi nuclear power plant accident, *Applied Radiation and Isotopes*, 81, 366-370. [Doi:10.1016/j.apradiso.2013.03.073](https://doi.org/10.1016/j.apradiso.2013.03.073) (査読あり)
72. Ohno, T., Muramatsu, Y., Shikamori, Y., Toyama, C., Okabe, N. and Matsuzaki, H. (2013) Determination of ultratrace ^{129}I in soil samples by Triple Quadrupole ICP-MS and its application to Fukushima soil samples, *Journal of Analytical Atomic Spectrometry*, 28, 1283-1287. [Doi:10.1039/C3JA50121C](https://doi.org/10.1039/C3JA50121C) (査読あり)
73. 坂口 綾, 角倉彰伸, Steier, P., 山本政儀, 坂田昂平, 富田純平, 高橋嘉夫 (2013) 環境中のウラン同位体 U-236 を利用した研究-海洋循環トレーサーとしての確立を目指して, *分析化学*, 62 (11), 1001-1012. [Doi:10.2116/bunsekikagaku.62.1001](https://doi.org/10.2116/bunsekikagaku.62.1001) (査読あり)
74. 高橋嘉夫, 東郷洋子, 田中万也, 坂口 綾 (2013) 化学種解析に基づく放射性セシウムおよび放射性ヨウ素の移行挙動の理解, *表面科学*, 34, 119-124. [Doi:10.1380/jsssj.34.119](https://doi.org/10.1380/jsssj.34.119) (査読あり)
75. Tanaka, K., Iwatani, H., Sakaguchi, A., Takahashi, Y. and Onda, Y. (2013) Local distribution of radioactivity in tree leaves contaminated by fallout of the radionuclides emitted from the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant, *Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry*, 295 (3), 2007-2014. [Doi:10.1007/s10967-012-2192-1](https://doi.org/10.1007/s10967-012-2192-1) (査読あり)
76. Tanaka, K., Iwatani, H., Takahashi, Y., Sakaguchi, A., Ysoshimura, K. and Onda, Y. (2013)

- Investigation of spatial distribution of radiocesium in a paddy field as a potential sink, *PLoS ONE*, 8 (11), 80794. [Doi:10.1371/journal.pone.0080794](https://doi.org/10.1371/journal.pone.0080794)(also in A03-5)(査読あり)
77. 田中万也・坂口 綾・岩谷北斗・高橋嘉夫 (2013) 福島第一原子力発電所事故由来の放射性セシウム の環境中での移行挙動とマイクロスケールでの不均質性, *放射化学*, 27, 12-19. (査読あり)
78. Tanaka, K., Sakaguchi, A., Kanai, Y., Tsuruta, H., Shinohara, A. and Takahashi, Y. (2013) Heterogeneous distribution of radiocesium in aerosols, soil and particulate matters emitted by the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident: retention of micro-scale heterogeneity during the migration of radiocesium from the air into ground and river systems, *Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry*, 295 (3), 1927-1937. [Doi:10.1007/s10967-012-2160-9](https://doi.org/10.1007/s10967-012-2160-9) (also in A01-1 A04-8)(査読あり)
79. Tanaka, M. and Takahashi, Y. (2013) The difference of diffusion coefficients in water for arsenic compounds at various pH and its dominant factors implied by molecular simulations, *Geochim. Cosmochim. Acta.*, 105, 360-371. [Doi:10.1016/j.gca.2012.12.004](https://doi.org/10.1016/j.gca.2012.12.004) (査読あり)
80. Asaoka, S. and Takahashi, Y. (2012) Comparison of antimony and arsenic behavior in an Ichinokawa River water-sediment system, *Chemical Geology*, 334, 1-8. [Doi:10.1016/j.chemgeo.2012.09.047](https://doi.org/10.1016/j.chemgeo.2012.09.047) (査読あり)
81. Ebihara, M., Yoshida, N. and Takahashi, Y. (2012) Preface: Migration of radionuclides from the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident, *Geochemical Journal*, 46, 267-270. [Doi:10.2343/geochemj.2.0223](https://doi.org/10.2343/geochemj.2.0223) (査読あり)
82. Endo, S., Kimura, S., Takatsuji, T., Nanasawa, K., Imanaka, T. and Shizuma, K. (2012) Measurement of soil contamination by radionuclides due to the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident and associated estimated cumulative external dose estimation, *Journal of Environmental Radioactivity*, 111, 18-27. [Doi:10.1016/j.jenvrad.2011.11.006](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2011.11.006) (査読あり)
83. Imanaka, T., Endo, S., Sugai, M., Ozawa, S., Shizuma, K. and Yamamoto, M. (2012) Early radiation survey of Iitate village, which was heavily contaminated by the Fukushima Daiichi accident, conducted on 28 and 29 March 2011, *Health Phys*, 102 (6), 680-6. [Doi:10.1097/HP.0b013e31824cfe18](https://doi.org/10.1097/HP.0b013e31824cfe18) (査読あり)
84. Inoue, M., Kofuji, H., Hamajima, Y., Nagao, S., Yoshida, K. and Yamamoto, M. (2012) ^{134}Cs and ^{137}Cs activities in coastal seawater along Northern Sanriku and Tsugaru Strait, northeastern Japan, after Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident, *Journal of Environmental Radioactivity*, 111, 116-119. [Doi:10.1016/j.jenvrad.2011.09.012](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2011.09.012) (査読あり)
85. Inoue, M., Kofuji, H., Nagao, S., Yamamoto, M., Hamajima, Y., Fujimoto, K., Yoshida, K., Suzuki, A., Takashiro, H., Hayakawa, K., Hamataka, K., Yoshida, S., Kunugi, M. and

- Minakawa, M. (2012) Low levels of ^{134}Cs and ^{137}Cs in surface seawaters around the Japanese Archipelago after the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident in 2011, *Geochemical Journal*, 46, 311-320. [Doi:10.2343/geochemj.2.0218](https://doi.org/10.2343/geochemj.2.0218) (査読あり)
86. Inoue, M., Kofuji, H., Nagao, S., Yamamoto, M., Hamajima, Y., Yoshida, K., Fujimoto, K., Takada, T. and Isoda, Y. (2012) Lateral variation of ^{134}Cs and ^{137}Cs concentrations in surface seawater in and around the Japan Sea after the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident, *Journal of Environmental Radioactivity*, 109, 45-51. [Doi:10.1016/j.jenvrad.2012.01.004](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2012.01.004) (査読あり)
87. Kamada, N., Saito, O., Endo, S., Kimura, A. and Shizuma, K. (2012) Radiation doses among residents living 37 km northwest of the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant, *J. Environm. Radioact.*, 110, 84-89. [Doi: 10.1016/j.jenvrad.2012.02.007](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2012.02.007) (査読あり)
88. Koarashi, J., Atarashi-Andoh, M., Matsunaga, T., Sato, T., Nagao, S. and Nagai, H. (2012) Factors affecting vertical distribution of Fukushima accident-derived radiocesium in soil under different land-use conditions, *Science of The Total Environment*, 431, 392-401. [Doi:10.1016/j.scitotenv.2012.05.041](https://doi.org/10.1016/j.scitotenv.2012.05.041) (査読あり)
89. Nakada, R. and Takahashi, Y. (2012) Isotopic and speciation study on cerium during its solid-water distribution with implication for Ce stable isotope as a paleo-redox proxy, *Journal of Environmental Radioactivity*, 103, 49-62. [Doi:10.1016/j.gca.2012.10.045](https://doi.org/10.1016/j.gca.2012.10.045) (査読あり)
90. Oura, Y. and Ebihara, M. (2012) Radioactivity concentrations of ^{131}I , ^{134}Cs and ^{137}Cs in river water in the Greater Tokyo Metropolitan area after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident, *Geochemical Journal*, 46 (4), 303-309. [Doi:10.2343/geochemj.2.0220](https://doi.org/10.2343/geochemj.2.0220) (査読あり)
91. Qin, H., Yokoyama, Y., Fan, Q., Iwatani, H., Tanaka, K., Sakaguchi, A., Kanai, Y., Zhu, J., Onda, Y. and Takahashi, Y. (2012) Investigation of cesium adsorption on soil and sediment samples from Fukushima Prefecture by sequential extraction and EXAFS technique, *Geochemical Journal*, 46, 297-302. [Doi:10.2343/geochemj.2.0214](https://doi.org/10.2343/geochemj.2.0214) (査読あり)
92. Sakaguchi, A., Kadokura, A., Steier, P., Takahashi, Y., Shizuma, K., Hoshi, M., Nakakuki, T. and Yamamoto, M. (2012) Uranium-236 as a new oceanic tracer: a first depth profile in the Japan Sea and comparison with caesium-137, *Earth and Planetary Science Letters*, 333-334, 165-170. [Doi:10.1016/j.epsl.2012.04.004](https://doi.org/10.1016/j.epsl.2012.04.004) (査読あり)
93. Sakaguchi, A., Kadokura, A., Steier, P., Tanaka, K., Takahashi, Y., Chiga, H., Matsushima, A., Nakashima, S. and Onda, Y. (2012) Isotopic determination of U, Pu and Cs in environmental waters following the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident, *Geochemical Journal*, 46, 355-360. [Doi:10.2343/geochemj.2.0216](https://doi.org/10.2343/geochemj.2.0216) (査読あり)
94. Tanaka, K., Takahashi, Y., Sakaguchi, A., Umeo, M., Hayakawa, S., Tanida, H., Saito, T. and

- Kanai, Y. (2012) Vertical profiles of ^{131}I and ^{137}Cs in soils Fukushima Prefecture related to the Fukushima Daiichi Nuclear Power Station Accident, *Geochemical Journal*, 46, 73-76. [Doi:10.2343/geochemj.1.0137](https://doi.org/10.2343/geochemj.1.0137) (査読あり)
95. Yamamoto, M., Takada, T., Nagao, S., Koike, T., Shimada, K., Hoshi, M., Zhumadilov, K., Shima, T., Fukuoka, M., Imanaka, T., Endo, S., Sakaguchi, A. and Kimura, S. (2012) An early survey of the radioactive contamination of soil due to the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident, with emphasis on plutonium analysis, *Geochemical Journal*, 46, 341-353. [Doi:10.2343/geochemj.2.0215](https://doi.org/10.2343/geochemj.2.0215) (査読あり)
96. Yoshida, N. and Takahashi, Y. (2012) Land-surface contamination by radionuclides from the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident, *Elements*, 8 (3), 201-206. [Doi:10.2113/gselements.8.3.201](https://doi.org/10.2113/gselements.8.3.201) (査読あり)
97. Watanabe, T., Tsuchiya, N., Oura, Y., Ebihara, M., Inoue, C., Hirano, N., Yamada, R., Yamasaki, S., Okamoto, A., Nara, F. W. and Nunohara, K. (2012) Distribution of artificial radionuclides ($^{110\text{m}}\text{Ag}$, $^{129\text{m}}\text{Te}$, ^{134}Cs , ^{137}Cs) in surface soils from Miyagi Prefecture, northeast Japan, following the 2011 Fukushima Dai-ichi nuclear power plant accident, *Geochemical Journal*, 46 (4), 279-285. [Doi:10.2343/geochemj.2.0205](https://doi.org/10.2343/geochemj.2.0205) (査読あり)

A04-8 班

1. Kinase, T., Kita, K., Igarashi, Y., Adachi, K., Ninomiya, K., Shinohara, A., Okochi, H., Ogata, H., Ishizuka, M., Toyoda, S., Yamada, K., Yoshida, N., Zaizen, Y., Mikami, M., Demizu, H., Onda, Y. (2018) The seasonal variations of atmospheric 134 , ^{137}Cs activity and possible host particles for their resuspension in the contaminated areas of Tsushima and Yamakiya, Fukushima, Japan. *Prog. Earth Planet. Sci.*, 5, 12
<https://doi.org/10.1186/s40645-018-0171-z> (査読あり)
2. Ishizuka, M., Mikami, M., Tanaka, T. Y., Igarashi, Y., Kita, K., Yamada, Y., Yoshida, N., Toyoda, S., Satou, Y., Kinase, T., Ninomiya, K. and Shinohara, A. (2017) Use of a size-resolved 1-D resuspension scheme to evaluate resuspended radioactive material associated with mineral dust particles from the ground surface, *Journal of Environmental Radioactivity*, 166, Part 3, 436-448. [Doi:10.1016/j.jenvrad.2015.12.023](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2015.12.023) (査読あり)
3. Nakajima, T., Misawa, S., Morino, Y., Tsuruta, H., Goto, D., Uchida, J., Takemura, T., Ohara, T., Oura, Y., Ebihara, M. and Satoh, M. (2017) Model depiction of the atmospheric flows of radioactive cesium emitted from the Fukushima Daiichi Nuclear Power Station accident, *Progress in Earth and Planetary Science*, 4:2, 1-18. [Doi:10.1186/s40645-017-0117-x](https://doi.org/10.1186/s40645-017-0117-x) (査読あり)
4. Yoshimura, T., Nakaguchi, M. and Morimoto, K. (2017) Synthesis, Structures, and Proton

- Self-Exchange Reaction of μ_3 Oxido/Hydroxido Bridged Trinuclear Uranyl(VI) Complexes with Tridentate Schiff-Base Ligands, *Inorg. Chem.*, 56 (7), 4057-4064. [Doi: 10.1021/acs.inorgchem.6b03175](https://doi.org/10.1021/acs.inorgchem.6b03175) (査読あり)
5. 木下哲一, 大石晃嗣, 鳥居和敬, 末木啓介, 横山明彦 (2016) 様々な核種が浸透したコンクリートにおける各元素の深度分布の推定, *日本放射線安全管理学会誌*, 15, 46-51. [Doi:10.11269/jjrsm.15.46](https://doi.org/10.11269/jjrsm.15.46) (査読あり)
 6. Ogata, Y., Miyahara, H., Ishihara, M., Ishigure, N., Yamamoto, S. and Kojima, S. (2016) Development of the modified sum-peak method and its application, *Applied Radiation and Isotopes*, 109, 354-357. [Doi:10.1016/j.apradiso.2015.12.005](https://doi.org/10.1016/j.apradiso.2015.12.005) (査読あり)
 7. Oki, Y., Tanaka, T., Takamiya, K., Osada, N., Nitta, S., Ishi, Y., Uesugi, T., Kuriyama, Y., Sakamoto, M. and Ohtsuki, T. (2016) Size Measurement of Radioactive Aerosol Particles in Intense Radiation Fields Using Wire Screens and Imaging Plates, *Journal of Radiation Protection and Research*, 41 (3), 216-221. [Doi:10.14407/jrpr.2016.41.3.216](https://doi.org/10.14407/jrpr.2016.41.3.216) (査読あり)
 8. Takamiya, K., Tanaka, T., Nitta, S., Itosu, S., Sekimoto, S., Oki, Y. and Ohtsuki, T. (2016) Observation of attachment ratio of fission products on solution aerosol, *Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry*, 307 (3), 2227-2230. [Doi:10.1007/s10967-015-4574-7](https://doi.org/10.1007/s10967-015-4574-7) (査読あり)
 9. Takamiya, K., Tanaka, T., Nitta, S., Itosu, S., Sekimoto, S., Oki, Y. and Ohtsuki, T. (2016) Attachment Behavior of Fission Products to Solution Aerosol, *J Radiat Prot Res*, 41 (1), 350-353. [Doi:10.14407/jrpr.2016.41.4.350](https://doi.org/10.14407/jrpr.2016.41.4.350) (査読あり)
 10. Tazoe, H., Obata, H., Yamagata, T., Karube, Z., Nagai, H. and Yamada, M. (2016) Determination of strontium-90 from direct separation of yttrium-90 by solid phase extraction using DGA Resin for seawater monitoring. *Talanta*, 152, 219-227. [Doi:10.1016/j.talanta.2016.01.065](https://doi.org/10.1016/j.talanta.2016.01.065) (also in A02-3) (査読あり)
 11. Yumimoto, K., Morino, Y., Ohara, T., Oura, Y., Ebihara, M., Tsuruta, H. and Nakajima, T. (2016) Inverse modeling of the ^{137}Cs source term of the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident constrained by a deposition map monitored by aircraft, *Journal of Environmental Radioactivity*, 164, 1-12. [Doi:10.1016/j.jenvrad.2016.06.018](https://doi.org/10.1016/j.jenvrad.2016.06.018) (査読あり)
 12. Kimura, H., Uesugi, M., Muneda, A., Watanabe, R., Yokoyama, A. and Nakanishi, T. (2015) The situation of Ag and Pu radioisotopes in soil released from Fukushima Daiichi nuclear power plants, *J. Radioanal. Nucl. Chem.*, 303 (2), 1469-1471. [Doi:10.1007/s10967-014-3587-y](https://doi.org/10.1007/s10967-014-3587-y) (査読あり)
 13. Muramatsu, H., Kawasumi, K., Kondo, T., Matsuo, K. and Itoh, S. (2015) Size-distribution of airborne radioactive particles from the Fukushima Accident, *J. Radioanal. Nucl. Chem.*, 303 (2), 1459-1463. [Doi:10.1007/s10967-014-3690-0](https://doi.org/10.1007/s10967-014-3690-0) (査読あり)
 14. Oura, Y., Ebihara, M., Tsuruta, H., Nakajima, T., Ohara, T., Ishimoto, M., Sawahata, H.,

- Katsumura, Y. and Nitta, W. (2015) A Database of Hourly Atmospheric Concentrations of Radiocesium (^{134}Cs and ^{137}Cs) in Suspended Particulate Matter Collected in March 2011 at 99 Air Pollution Monitoring Stations in Eastern Japan, *Journal of Nuclear and Radiochemical Sciences*, 15 (2), 1-12. (also in A04-7 and A01-1) [Doi:10.14494/jnrs.15.2_1](https://doi.org/10.14494/jnrs.15.2_1) (査読あり)
15. Oura, Y., Ebihara, M., Tsuruta, H., Nakajima, T., Ohara, T., Ishimoto, M. and Katsumura, Y. (2015) Determination of atmospheric radiocesium on filter tapes used at automated SPM monitoring stations for estimation of transport pathways of radionuclides from Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant, *J. Radioanal. Nucl. Chem.*, 303 (2), 1555-1559. [Doi:10.1007/s10967-014-3662-4](https://doi.org/10.1007/s10967-014-3662-4) (also in A01-1 and A04-7) (査読あり)
 16. Saito, T., Kurihara, Y., Koike, Y., Tanihata, I., Fujiwara, M., Sakaguchi, H., Shinohara, A. and Yamamoto, H. (2015) Altitude Distribution of Radioactive Cesium at Fuji Volcano Caused by Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident, *J. Radioanal. Nucl. Chem.*, 303 (2), 1613-1615. [Doi:10.1007/s10967-014-3753-2](https://doi.org/10.1007/s10967-014-3753-2) (査読あり)
 17. Sato, M., Abe, K., Kikunaga, H., Takata, D., Tanoi, K., Ohtsuki, T. and Muramatsu, Y. (2015) Decontamination Effects of Bark Washing with a High-pressure Washer on Peach [*Prunus persica* (L.) Batsch] and Japanese Persimmon (*Diospyros kaki* Thunb.) Contaminated with Radiocaesium during Dormancy, *The Horticulture Journal Preview*, 84 (4), 295-304. [Doi:10.2503/hortj.MI-054](https://doi.org/10.2503/hortj.MI-054) (査読あり)
 18. Sato, M., Takata, D., Tanoi, K., Ohtsuki, T. and Muramatsu, Y. (2015) Radiocesium transfer into the fruit of deciduous fruit trees contaminated during dormancy contaminated during dormancy, *Soil Science and Plant Nutrition*, 61 (1), 156-164. [Doi:10.1080/00380768.2014.975103](https://doi.org/10.1080/00380768.2014.975103) (査読あり)
 19. Seike, M., Eguchi, M., Shinohara, A. and Yoshimura, T. (2015) Solvent Extraction Behaviors of Americium (III) and Europium (III) Using 2-Hydroxy-2-methyloctanoic Acid and 2-Hydroxy-2-trifluoromethyloctanoic Acid, *J. Radioanal. Nucl. Chem.*, 303 (2), 1413-1416. [Doi: 10.1007/s10967-014-3482-6](https://doi.org/10.1007/s10967-014-3482-6) (査読あり)
 20. Zhang, Z., Ninomiya, K., Takahashi, N. and Shinohara, A. (2015) Daily variation of I-131, Cs-134 and Cs-137 activity concentrations in the atmosphere in Osaka during the early phase after the FDNPP accident, *J Radioanal Nucl Chem.*, 303 (2), 1527-1531. [Doi:10.1007/s10967-014-3752-3](https://doi.org/10.1007/s10967-014-3752-3) (査読あり)
 21. Tsuruta, H., Oura, Y., Ebihara, M., Ohara, T. and Nakajima, T. (2014) First retrieval of hourly atmospheric radionuclides just after the Fukushima accident by analyzing filter-tapes of operational air pollution monitoring stations, *Scientific Reports*, 4, 6717. [Doi:10.1038/srep06717](https://doi.org/10.1038/srep06717) (also in A01-1 and A04-7) (査読あり)
 22. 吉村 崇 (2014) 放射性核種の放射化学的分離, *Isotope News*, 718, 82-85. (査読なし)

23. 大塚孝治, 下浦 亨, 恩田裕一, 篠原 厚, 柴田徳思 (2013) パイロット調査による ^{131}I の土壌放射線測定, *RADIOISOTOPES*, 62 (10), 752-760. [Doi:10.3769/radioisotopes.62.752](https://doi.org/10.3769/radioisotopes.62.752) (査読あり)
24. 高瀬つぎ子, 高貝慶隆, 内田守譜, 難波謙二, 大槻 勤, 村松康行 (2013) ウシの体内での放射性セシウムの分布—コンパートメントモデルによる解析—, *RADIOISOTOPES*, 62 (5), 281-290. [Doi:10.3769/radioisotopes.62.281](https://doi.org/10.3769/radioisotopes.62.281) (査読あり)
25. 齊藤 敬 (2013) 二本松の調査実施本部の設営とそこでの作業, *RADIOISOTOPES*, 62 (10), 709-710. [Doi:10.3769/radioisotopes.62.709](https://doi.org/10.3769/radioisotopes.62.709) (査読あり)
26. Tanaka, K., Sakaguchi, A., Kanai, Y., Tsuruta, H., Shinohara, A. and Takahashi, Y. (2013) Heterogeneous distribution of radiocesium in aerosols, soil and particulate matters emitted by the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident: retention of micro-scale heterogeneity during the migration of radiocesium from the air into ground and river systems, *J. Radioanal. Nucl. Chem.*, 295 (3), 1927-1937. [Doi:10.1007/s10967-012-2160-9](https://doi.org/10.1007/s10967-012-2160-9) (also in A01-1 A04-7) (査読あり)
27. Kikawada, Y., Oda, K., Nomura, M., Honda, T., Oi, T., Hirose, K. and Igarashi, Y. (2012) Origin of enriched uranium contained in Japanese atmospheric deposits, *Natural Science*, 4, 936-942. [Doi:10.4236/ns.2012.431122](https://doi.org/10.4236/ns.2012.431122) (査読あり)
28. 小島貞男 (2012) 新たに検出された放射性核種, *月刊『化学』 / 別冊化学『検証! 福島第一原発事故』*, 2012年4月号, 84-87, 2012 (査読なし)
29. Oura, Y. and Ebihara, M. (2012) Radioactivity concentrations of ^{131}I , ^{134}Cs and ^{137}Cs in river water in the Greater Tokyo Metropolitan area after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident, *Geochemical Journal*, 46 (4), 303-309. (also in A01-1 A04-7) [Doi:10.2343/geochemj.2.0220](https://doi.org/10.2343/geochemj.2.0220) (査読あり)
30. 篠原 厚, 齊藤 敬 (2012) 福島土壌調査プロジェクト, *月刊『化学』 / 別冊化学『検証! 福島第一原発事故』*, 2012年4月号, 80-83. (査読なし)
31. Watanabe, T., Tsuchiya, N., Oura, Y., Ebihara, M., Inoue, C., Hirano, N., Yamada, R., Yamasaki, S., Okamoto, A., Watanabe, N. F. and Nunohara, K. (2012) Distribution of Artificial Radionuclides ($^{110\text{m}}\text{Ag}$, $^{129\text{m}}\text{Te}$, ^{134}Cs , ^{137}Cs) in Surface Soils from Miyagi Prefecture, Northeast Japan, following the 2011 Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant Accident, *Geochemical Journal*, 46 (4), 279-285. [Doi:10.2343/geochemj.2.0205](https://doi.org/10.2343/geochemj.2.0205) (査読あり)

(2) 学会発表

北 和之、田中 美佐子、佐藤 ゆかり、出水 宏幸、渡邊 明、鶴田 治雄、
植松 光夫、桧垣 正吾、吉田 尚弘、豊田 栄、山田 桂大、篠原 厚、三上 正
五十嵐 康人、恩田 裕一他

“日本地球化学会=日本地球惑星科学連合=日本放射化学会連携緊急放射性物質サンプリングチーム大気班および分析班、福島第一原発事故後の大気放射性物質の変動と土壌からの再飛散の影響”

第 53 回大気環境学会年会

2012 年 09 月 12 日 ~ 2012 年 09 月 14 日

横浜市 神奈川大学工学部

北 和之、田中 美佐子、佐藤 ゆかり、出水 宏幸、渡邊 明、鶴田 治雄、植松 光夫、桧垣 正吾、吉田 尚弘、豊田 栄、山田 桂大、篠原 厚、三上 正男、五十嵐 康人、恩田 裕一他

“福島第一原発事故後の大気放射能濃度の変動と大気再浮遊の影響”

大気化学討論会

2012 年 11 月 06 日 ~ 2012 年 11 月 08 日

福岡県朝倉市ホテル パーレンス小野屋

五十嵐 康人

“福島事故による大気中の人工放射性核種 of 長期変動への影響”

第 29 回エアロゾル科学・技術研究討論会 (招待講演)

2012 年 08 月 28 日 ~ 2012 年 08 月 30 日

北九州市北九州学術研究都市会議場

Igarashi, Y., Y. Zaizen, K. Adachi and M. Kajino

“Aerosol research activity at the MRI”

第 1 回日中エアロゾルシンポジウム

2012 年 09 月 28 日 ~ 2012 年 09 月 29 日

金沢市 金沢大学サテライト・プラザ

Igarashi, Y., M. Kajino, Y. Zaizen, and M. Mikami

“Observations of Atmospheric Radionuclides from the Fukushima Nuclear Accident in Tsukuba, Japan”

American Meteorological Society 93rd Annual Meeting

2013 年 01 月 05 日 ~ 2013 年 01 月 10 日

Austin, Texas, USA.

Masahiro Hosoda, Shinji Tokonami, Atsuyuki Sorimachi, Hirofumi Tazoe, Masatoshi Yamada, Satoru Monzen, Minoru Osanai, Hironori Yoshino, Ikuo Kashiwakura

“Examination of the environmental radiation measurement technique in nuclear disaster.”
The 4th International Symposium on Radiation Emergency Medicine in Hirosaki University.
2012年09月30日
弘前大学（青森県）

Masatoshi Yamada, Michio Aoyama, 他
“Interdisciplinary study on environmental transfer of radionuclides from the Fukushima Daiichi
Nuclear Power Plant accident: Theme 3, Fate of radionuclides in the ocean.”
Fukushima Ocean Impacts Symposium: Exploring the impacts of the Fukushima Dai-ichi
Nuclear Power Plants on the Ocean
2012年11月12日
東京大学（東京都）

W. Bu, J. Zheng, T. Aono, K. Tagami, S. Uchida, J. Zhang, Q. Guo and M. Yamada
“Investigating plutonium contamination in marine sediments off Fukushima coast following the
Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident.”
International Symposium on environmental monitoring and dose estimation of residents after
accident of TEPCO’s Fukushima Daiichi Nuclear Power Stations
2012年12月14日
京都大学（京都市）

田副 博文、山形 武靖、山田 正俊
“海水中の放射性ストロンチウム分析法の開発”
2013年度日本海洋学会春季大会
2013年03月22日
東京海洋大学（東京都）

W. Bu, 鄭 建、青野 辰雄、田上 恵子、内田 滋夫、張 勁、本多 牧夫、Q. Guo、
山田 正俊
“Vertical distribution of Pu isotopes in marine sediments off the Fukushima coast after the
FDNPP accident.”
2013年度日本海洋学会春季大会
2013年03月24日
東京海洋大学（東京都）

Z. Zhang, K. Ninomiya, Y. Igarashi, T. Saito, Y. Yamaguchi, T. Yoshimura, H. Tsuruta, A.

Watanabe, K. Kita, S. Higaki, A. Shinohara, N. Takahashi, S. Kakitani, S. Kojima
“Radioactivity measurement for air-dust and soil collected in eastern Japan area after the nuclear
accident at the Fukushima Daiichi Nuclear Power Station”
8th International Conference on Nuclear and Radiochemistry
2012年09月19日
Como, Italy

柿谷 俊輔、張 子見、二宮 和彦、高橋 成人、齊藤 敬、鶴田 治雄、渡邊 明、
北 和之、桧垣 正吾、篠原 厚
“福島周辺におけるエアダスト試料の放射能測定”
第56回放射化学討論会
2012年10月04日
東京工業大学

金指 努・杉浦 佑樹・梅村 光俊・竹中 千里
“竹林における放射性セシウムの動態”
日本土壌肥料学会
2012年09月04日～2012年09月06日
鳥取大学

金指 努・杉浦 佑樹・梅村 光俊・竹中 千里
“竹林における放射性セシウムの動態－タケ表面に存在する放射性セシウムが タケ全
体の放射能濃度に及ぼす影響”
第2回 中部森林学会大会日本土壌肥料学会
2012年10月13日
信州大学

富岡 利恵、岩瀬 香、金指 努、杉浦 祐樹、竹中 千里
“スギとコナラ樹皮におけるセシウムの存在形態について”
第2回 中部森林学会大会日本土壌肥料学会
2012年10月13日
信州大学

金指 努・杉浦 佑樹・小澤 創・竹中 千里
“スギにおける放射性セシウムの動態”
第14回環境放射能研究会

2013年02月26日～2013年02月28日
高エネルギー加速器研究機構放射線科学センター

杉浦 佑樹・竹中 千里・金指 努・緒方 良至・小澤 創
“福島県に自生する野生植物中の放射性セシウムの経年変化”
第14回環境放射能研究会

2013年02月26日～2013年02月28日
高エネルギー加速器研究機構放射線科学センター

梅村 光俊・金指 努・杉浦 佑樹・竹中 千里・小澤 創
“モウソウチク林における放射性セシウム除染方法の提案-K 動態から考える”
第60回日本生態学会

2013年03月06日～2013年03月08日
静岡県静岡市コンベンションアーツセンター

杉浦 佑樹・竹中 千里・金指 努・緒方 良至・小澤 創
“福島県に自生する植物の放射性セシウム集積特性—事故後2年目の特徴—”
第60回日本生態学会

2013年03月06日～2013年03月08日
静岡県静岡市コンベンションアーツセンター

富岡 利恵、岩瀬 香、金指 努、杉浦 祐樹、青木 弾、福島 和彦、竹中 千里
“スギとコナラ樹皮におけるセシウムの存在形態”
第124回日本森林学会大会

2013年03月25日～2013年03月28日
岩手大学

竹中 千里・金指 努・杉浦 佑樹・小澤 創
“樹木による放射性セシウムの経根吸収の実態”
第124回日本森林学会大会

2013年03月25日～2013年03月28日
岩手大学

綾部 慈子・金指 努・肘 井直樹・竹中 千里
“福島原発事故2年目における捕食性拙速動物への放射性物質の移行—ジョロウグモの事例—”

第 124 回日本森林学会大会
2013 年 03 月 25 日 ~ 2013 年 03 月 28 日
岩手大学

金指 努・杉浦 佑樹・梅村 光俊・竹中 千里
“スギの葉、雄花及び花粉における放射性セシウム(Cs)の移行”
第 124 回日本森林学会大会
2013 年 03 月 25 日 ~ 2013 年 03 月 28 日
岩手大学

Nakajima, T
“Relevant issues of the aerosol and cloud studies using active and passive sensing.”
International Radiation Symposium 2012
2012 年 08 月 06 日 ~ 2012 年 08 月 10 日
Berlin, Germany

中島 映至、五藤 大輔、Tie Dai、Nick Schtgens、SALSA プロジェクトチーム
“アジア域の大気環境物質のデータ同化について”
日本気象学会 2012 年度秋季大会
2012 年 10 月 03 日 ~ 2012 年 10 月 05 日
北海道大学 学術交流会館

Nakajima, T
“Climate impacts of atmospheric aerosols and clouds.”
European Research Course on Atmospheres 2013
2013 年 01 月 07 日 ~ 2013 年 02 月 08 日
Grenoble, France

Nakajima, T
“What we learn from the Fukushima nuclear power plant accident?”
European Research Course on Atmospheres 2013
2013 年 01 月 07 日 ~ 2013 年 02 月 08 日
Grenoble, France

Goto D., S. Kanazawa, T. Nakajima, T. Takemura
“Evaluation of a relationship between aerosols and surface downward shortwave flux through an

integrative analysis of modeling and observation.”

International Radiation Symposium

2012年08月06日～2012年08月10日

Berlin, Germany

五藤 大輔, 中島 映至, 竹村 俊彦

“Evaluation of spatial distribution of Asian aerosol simulated by a global climate model.”

日本エアロゾル学会 30周年記念シンポジウム

2012年09月28日～2012年09月29日

金沢大学サテライト・プラザ

五藤 大輔, 中島 映至, Tie Dai, 他 20名

“SALSA プロジェクトにおける夏季関東領域での大気微量物質シミュレーション”

日本気象学会 2012年秋季大会

2012年10月03日

北海道大学 学術交流会館

五藤 大輔, 中島 映至, Tie Dai, 他 23名

“全球から領域スケールに対応した大気化学モデル実験とその応用”

第18回大気化学討論会

2012年11月07日

福岡県朝倉市ホテル パーレンス小野屋

Goto D., T. Dai, K. Suzuki, T. Nakajima and SALSA project team

“Simulation of atmospheric aerosols around Tokyo in summer using a new-type seamless model from global to regional scales.”

2012 AGU Fall Meeting

2012年12月05日

San Francisco, USA

Tsuruta, H., M. Takigawa, and T. Nakajima

“Summary of atmospheric measurements and transport pathways of radioactive materials released by the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident, The 1st NIRS Symposium on Reconstruction of Early Internal Dose in the TEPCO Fukushima Daiichi Nuclear Power Station Accident.”

National Institute of Radiological Sciences

2012年07月10日～2012年07月11日

放射線医学総合研究所

鶴田 治雄、司馬 薫、谷畑 勇夫、藤原 守、下浦 享、篠原 厚、恩田 裕一、
大塚 孝治、滝川 雅之、中島 映至

“福島原発事故によるヨウ素 131 とセシウム 137 の土壌への沈着量比”

第 49 回アイソトープ・放射線研究発表会

2012年07月11日

東京大学弥生講堂

鶴田 治雄、中島 映至、滝川 雅之

“福島原発事故による放射性エアロゾルの輸送・沈着過程、シンポジウム「放射性エア
ロゾルの動向とその生体影響”

第 29 回エアロゾル科学・技術研究討論会

2012年08月28日～2012年08月30日

北九州市北九州学術研究都市会議場

鶴田 治雄、司馬 薫、谷畑 勇夫、藤原 守、下浦 享、篠原 厚、恩田 裕一、
大塚 孝治、滝川 雅之、中島 映至

“文科省等の土壌マップ調査結果とその要因解析”

第 53 回大気環境学会年会

2012年09月12日～2012年09月14日

横浜

Tsuruta, H., Oikawa, E., Inoue, T., Goto,

D., Takemura, T., Sudo, S., Yonemura, S., Sera, K., Chotpitayasunon, J., Thana, B., Shirasuna, Y.,
Hirano, K., Hayasaka, T., and Nakajima, T.

“Long-range transport of polluted and dust aerosols at Phimai, Thailand by surface measurements
and CALIOP data analysis.”

12th IGAC Open Science Conferenc

2012年09月17日～2012年09月21日

Beijing, China

Tsuruta, H., M. Takigawa, and T. Nakajima

“Summary of atmospheric measurements of radioactive materials released after the Fukushima
Daiichi Nuclear Power Plant accident and their transport pathways, the Special Symposium

on the Transport and Diffusion of Contaminants from the Fukushima Dai-Ichi Nuclear Power Plant: Present Status and Future Directions.”

the 93rd Annual Meeting of American Meteorological Society

2013年01月06日

Austin, USA

鶴田 治雄、司馬 薫、荒井 俊昭、山田 裕子、草間 優子、中島 映至

“福島原発事故後の2011年3月における放射性物質(I-131とCs-137)の大気中での動態-福島及び関東地方の多機関で独自に実施された測定結果の総合解析でわかったこと”

第14回環境放射能研究会

2013年02月26日～2013年02月28日

高エネルギー加速器研究機構放射線科学センター

鶴田 治雄・中島 映至、大浦 泰嗣、海老原 充、大原 利眞

“β線吸収式大気浮遊粒子状物質自動測定機の使用済みテープ状紙の放射性核種分析(その1)--福島市内と茨城県南西部での大気中Cs-134とCs-137濃度の2011年3月15-23日の時空間変化”

第14回環境放射能研究会

2013年02月26日～2013年02月28日

高エネルギー加速器研究機構放射線科学センター

J. Kanda

“Cesium-137 dispersion and biological transfer in coastal waters off Fukushima”

Seminar on Radioecological Studies after the Fukushima Accident

2013年01月10日

The Royal Swedish Academy of Sciences, Sweden

A. Sakaguchi, H. Chiga, P. Steier, K. Shizuma, M. Hoshi, Y. Takahashi, M. Yamamoto

“Preliminary Results of Uranium-236, Plutonium-239, 240 and Cesium-137 Measurements in Samples Related With ‘Black Rain’ after the Hiroshima Atomic Bomb, Health Physics Society 58th annual meeting”

Health Physics 2013

2012年07月07日

サクラメント アメリカ

M. Inoue, H. Kofuji, S. Oikawa, T. Murakami, K. Fujimoto, M. Yamamoto, S. Nagao, Y. Hamajima, J. Misonoo

“Vertical profiles of low ^{134}Cs and ^{137}Cs concentrations in seawaters of the Japan Sea after the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident.”

6th international Conference on Radionuclide Metrology Low-Level Radioactivity Measurement Techniques

2012年09月20日～2012年09月20日

チェジュ島 韓国

S. Nagao, M. Kanamori, S. Ochiai, M. Iwata, S. Tomihara, M. Yamamoto

“Export of Cs-134 and Cs-137 in the Fukushima river systems at the heavy rain event in September 2011”

ASLO Aquatic Sciences

2012年07月12日

琵琶湖ホール 大津市

S. Nagao, M. Kanamori, S. Ochiai, K. Suzuki, M. Yamamoto

“Dispersion of Cs-134 and Cs-137 in river waters from Fukushima and Gunma Prefecture at nine months after the Fukushima Daiichi NPP accident”

ICRS-12 & RSPD 2012

2012年09月04日～2012年09月04日

奈良新公会堂 奈良市

古澤 佑一、井上 睦夫、長尾 誠也、山本 政儀、浜島 靖典、藤本 賢、磯田 豊
“ $^{228}\text{Ra}/^{226}\text{Ra}$ 比からみた日本海表層の水塊流動の検討”

第56回放射化学討論会

2012年10月03日

東工大、東京

長尾 誠也、濱高 一仁、井上 睦夫、田中 潔、張 劉、本多 牧生、濱島 靖典、山本 政儀

“日本周辺海洋環境における放射性セシウムの動態”

第61回分析化学年会

2012年09月19日

金沢大学 金沢市

長尾 誠也、金森 正樹、富原 聖一、鈴木 究真、落合 伸也、山本 政儀
“福島・茨城・群馬県における河川水の放射性セシウムの放射能濃度”
第 56 回放射化学討論会
2012 年 10 月 04 日
東京工業大学 東京

金森 正樹、長尾 誠也、落合 伸也、山本 政儀
“降雨時における阿武隈川河川水の放射性セシウムの移行挙動”
第 56 回放射化学討論会
2012 年 10 月 05 日
東京工業大学 東京

J. Kanda
“Long-term Sources: To what extent are marine sediments, coastal groundwater, and rivers a
source of ongoing contamination?”
Fukushima Ocean Impacts Symposium
2012 年 11 月 13 日
東京大学

近藤 昭彦・小林 達明・鈴木 弘行・山口 英俊・早川 敏雄・松下 龍之介
“空間線量率の空間分布から推定される放射性物質沈着時のブルーームの動態”
日本地理学会春季学術大会
2013 年 03 月 29 日
立正大学熊谷キャンパス

荒居 博之、福島 武彦、恩田 裕一
“東北・関東における湖沼底質中の放射性セシウム堆積量の分布と動態”
第 14 回「環境放射能」研究会
2013 年 02 月 26 日～2013 年 02 月 27 日
つくば高エネルギー加速器研究機構放射線科学センター

山本 理恵、木村 絵里、飯塚 和裕、小林 達明、鈴木 弘行、近藤 昭彦
“福島第一原発事故被災地の里山における放射の宇動態に関する研究 1 - 空間線量と
放射能の空間分布”
日本緑化工学会・日本景観整体学会・応用生態工学会 3 学会合同大会(ELR2012)
2012 年 09 月 09 日

東京農業大学

近藤 昭彦

“里山流域単位の除染を目指した GIS 整備、研究集会「原子力災害被災地の生態再生
(I) - 里山ランドスケープの放射能と除染 - 」”

日本緑化工学会・日本景観生態学会・応用生態工学会 3 学会合同大会(ELR2012)

2012 年 09 月 08 日

東京農業大学

笹 公和

“福島県東部地域における福島第一原発事故由来のヨウ素 129 の表層土壌分布”

2012 年日本放射化学学会年会・第 56 回放射化学討論会

2012 年 10 月 03 日

東京工業大学 東工大蔵前ホール

笹 公和

“福島第一原発事故により放出されたヨウ素 129 の陸域環境における輸送と沈着”

第 15 回 AMS シンポジウム

2013 年 03 月 10 日

名古屋大学環境総合館レクチャーホール

笹 公和

“福島第一原発事故により放出されたヨウ素 129 の環境中での分布 -ヨウ素 131 との相
関と炉内の放射能比との比較-”

日本原子力学会「2013 年春の年会」

2013 年 03 月 26 日

近畿大学東大阪キャンパス

難波 謙二

“阿武隈川水系の放射性物質の挙動”

日本生態学会東北地区会第 57 回大会（福島大会）

2012 年 10 月 20 日～2012 年 10 月 21 日

福島大学

難波 謙二

“福島県における放射線災害関連の各種活動の現状紹介”

日本工学アカデミー北海道東北地区講演会

2012年10月18日

福島市福島テルサ

難波 謙二

“Decntamination activity in Fukushima”

The 5th International Symposium on Environmental Economy and Technology

2012年08月02日～2012年08月03日

福岡工業大学

Yosuke, Yamashiki

“NUMERICAL SIMULATION OF RADIONUCLIDES TRANSPORT THROUGH
SUSPENDED MATERIAL INTO THE TOKYO BAY”

2012 ASLO Aquatic Sciences Meeting

2012年07月08日～2012年07月13日

Lake Biwa Shiga Japan

Kenji Nanba

“Fukushima- 2 years after the NPP accident measurements and decontamination activities”

Strahlenschutz und Gesundheit Seminar

2013年02月11日

Bundesamt fur Strahlenschutz Munchen,Germany

Masatoshi Yamada, Jian Zheng, Tatsuo Aono

“Pu-239 and Pu-240 inventories and Pu-240/ Pu-239 atom ratios in the water column off
Sanriku, Japan.”

European Geosciences Union General Assembly 2013

2013年04月07日～2013年04月12日

Vienna(Austria)

Masatoshi Yamada, Jian Zheng, Tatsuo Aono

“Distribution of Pu-240/ Pu-239 Atom Ratios in the Surface Seawaters of the North Pacific
Ocean and Its Adjacent Seas.”

The 10th Annual Meeting of Asia Oceania Geoscience Society

2013年06月24日～2013年06月28日

Brisbane (Australia)

山田 正俊

“福島原発事故起源放射性核種の海洋での動態：科研費新学術領域研究 I S E T - R の研究成果”

2013 年度日本海洋学会秋季大会ナイトセッション

2013 年 09 月 17 日～2013 年 09 月 21 日

北海道大学（北海道札幌市）

山田 正俊

“福島第一原子力発電所事故起源放射性物質の海洋への影響：最新の研究動向”

日本放射線影響学会第 5 6 回大会市民公開講座（招待講演）

2013 年 10 月 18 日～2013 年 10 月 20 日

ホテルクラウンパレス青森（青森県青森市）

山田 正俊

“プルトニウム同位体の海洋循環と PFOS 類との比較”

2014 年度日本海洋学会春季大会シンポジウム

2014 年 03 月 26 日～2014 年 03 月 30 日

東京海洋大学（東京港区）

Jota Kanda

“Radioisotopes in Marine Life”

Woods Hole Oceanographic Institution Morss Colloquium: Fukushima and the Ocean

2013 年 05 月 09 日～2013 年 05 月 09 日

Woods Hole Oceanographic Institution（America）

神田 穰太

“福島沿岸海域におけるセシウム 137 収支と生態系移行”

海の放射能ワークショップ

2013 年 08 月 07 日～2013 年 08 月 07 日

東京大学生産技術研究所（東京都目黒区）

神田 穰太

“福島第一原子力発電所から海洋へのセシウム 137 の継続流出推定”

日本地球化学会第 60 回年会

2013 年 09 月 13 日～2013 年 09 月 13 日

筑波大学（茨城県つくば市）

神田 穰太

“東日本大震災と福島原発事故の環境影響：多分野間の情報交換”

2013 年度日本海洋学会秋季大会

2013 年 09 月 18 日～2013 年 09 月 18 日

北海道大学（北海道札幌市）

Jota Kanda

“Pollution of Coastal Marine Environment by Radionuclides from the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant”

An International Workshop on Treatment of Seawater Contaminated by Radioactive Substances

2013 年 11 月 25 日～2013 年 11 月 25 日

Kuwait Institute for Scientific Research (Kuwait)

神田 穰太

“福島第一原子力発電所事故に伴う沿岸環境汚染”

日本学術会議主催学術フォーラム

2013 年 11 月 29 日～2013 年 11 月 29 日

日本学術会議講堂（東京都港区）

Kazuyuki Kita, Yasuhiro Igarashi, Naohiro Yoshida, Teruyuki Nakajima

“Emission, transport, deposition, and re-suspension of radionuclides from Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant in the atmosphere - 2-year investigations in Japan”

European Geoscience Union General Assembly 2013

2013 年 04 月 09 日～2013 年 04 月 12 日

Austria Center Vienna (Austria)

Kazuyuki Kita, Rie Kasahara, Misako Tanaka, Kaori Sato, Hiroyuki Demizu, Yasuhito Igarashi, Masao Mikami, Naohiro Yoshida, Sakae Toyoda, Haruo Tsuruta, Mitsuo Uematsu, Shogo Hgaki, Atsushi Shinohara, Akira Watanabe, Hisao Nagabayashi, Akihiro Yokoyama, Masayuki Takigawa, Satoshi Sugawara, Kiesuke Sueki, Yuichi Onda

“Variation of atmospheric concentrations of I-131, Cs-134 and Cs-137 observed over eastern Japan: contribution of leakage from Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant and secondary emission from soil and vegetation”

European Geoscience Union General Assembly 2013

2013年04月09日～2013年04月12日

Austria Center Vienna (Austria)

Yasuhito Igarashi, Mizuo Kajino, Yuji Zaizen, Koji Adach, Masao Mikami, Kazuyuki

Kita, Yuko Hatano

“Atmospheric Radionuclides from the Fukushima Nuclear Accident - Two years observations
in Tsukuba, Japan”

European Geosciences Union General Assembly 2013

2013年04月07日～2013年04月12日

Vienna (Austria)

北 和之, 田中 美佐子, 佐藤 かおり, 木名瀬 健, 出水 宏幸, 五十嵐 康人,
三上正男, 吉田 尚弘, 豊田 栄, 山田 桂大, 篠原 厚, 川島 洋人, 大河内
博,

恩田裕一

“福島第一原子力発電所事故により放出された放射性セシウムの大気再飛散メカニズム
と飛散係数推定”

日本気象学会 2013 年度春季大会

2013年05月15日～2013年05月18日

日本オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）

石塚 正秀, 三上 正男, 田中 泰宙, 五十嵐 康人

“鉛直一次元モデルを用いた地表面から飛散したダスト粒子による放射性物質の再浮遊
の推定”

日本地球惑星科学連合 2013 年大会

2013年05月19日～2013年05月24日

幕張メッセ国際会議場（千葉県千葉市）

Kazuyuki Kita, Misako Tanaka, Takeshi Kinase, Hiroyuki Demizu, Yasuhito Igarashi, Masao

Mikami, Naohiro Yoshida, Sakae Toyoda, Keita Yamada, Atsushi Shinohara, Hiroto

Kawashima, Yuichi Onda

“Re-suspension processes of radioactive cesium emitted by the FNDPP accident”

Japan Geoscience Union Meeting 2013

2013年05月19日～2013年05月24日

Makuhari Messe (Chiba)

Yosuke Yamashiki, Yuichi Onda, Yasuhito Igarashi, Taeko Wakahara, Yasuto Tachikawa,
Michiharu Shiiba, Yuki Matsuura

“Release of Radionuclides from Natural River, Abukuma as Suspended Particulate Matter into
Pacific Ocean”

Japan Geoscience Union Meeting 2013

2013年05月19日～2013年05月24日

Makuhari Messe (Chiba)

Igarashi.Y, Kazuyuki Kita, Naohiro Yoshida, Keita Yamada, Masao Mikami, Kouji Adachi,

Thomas Sekiyama, Takashi Maki, Taichu Tanaka, Yuji Zaizen, Masahide Ishizuka,

Takehiko Satomura, Izumi Nakai, Yoshiya Abe, Kohei Nishiguchi, Keisuke Utani, Hiroto

Kawashima, Yutaka Yamada, Yuko Hatano, Hiroshi Okochi

“Atmospheric-Terrestrial Interactions in Radioactive Pollution by the Fukushima Accident”

Japan Geoscience Union Meeting 2013

2013年05月19日～2013年05月24日

Makuhari (Chiba)

Takashi Maki, Taichu Tanaka, Mizuo Kajino, Thomas Sekiyama, Yasuhito Igarashi, Masao
Mikami

“The time series analysis of the radionuclide emissions from Fukushima Daiichi nuclear power
plant by inverse model”

Japan Geoscience Union Meeting 2013

2013年05月19日～2013年05月24日

Makuhari Messe (Chiba)

五十嵐 康人

“大気環境における中長半減期核種の挙動”

第9回エアロゾルシンポジウム

2013年06月07日～2013年06月07日

大宮ソニックシティ (埼玉県大宮市)

五十嵐 康人, 足立 光司, 財前 祐二, 梶野 瑞王, 田中 泰宙, 眞木 貴史, 関山剛,
三上 正男

“福島第一原発事故による大気環境影響:気象研究所での研究成果”

環境放射能除染学会 第2回研究発表会

2013年06月05日～2013年06月07日

タワーホール船堀（東京都江戸川区）

五十嵐 康人

“第一原子力発電所事故による大気環境影響”

NIFS 一般共同研究 研究会「核融合炉システムにおけるトリチウムの取り扱いと安全性」

2013年08月07日～2013年08月12日

核融合科学研究所（岐阜県土岐市）

末木 啓介，半田 晃士，佐藤 志彦，足立 光司，五十嵐 康人

“福島原発事故で輸送された放射性物質の化学状態”

2013年度日本地球化学会年会

2013年09月16日～2013年09月18日

筑波大学（茨城県つくば市）

Igarashi.Y, Koji Adachi , Taichu Tanaka, Mizuo Kajino, Tsuyoshi Sekiyama, Takashi Maki, Yuji Zaizen, Masao Mikami,

“Research on Atmospheric Radionuclides from the Fukushima Nuclear Accident at the MRI, Japan”

APSORC13

2013年09月22日～2014年09月27日

金沢市文化ホール（石川県金沢市）

Igarashi.Y , Mizuo KAJINO , Kouji ADACHI , Takashi MAKI , Thomas SEKIYAMA , Taichu TANAKA , Yuji ZAIZEN , Masao MIKAMI

“CTM Applications with Aerosol Modeling and Observations to Radioactive Contamination”

Sixth China-Korea-Japan Joint Conference on Meteorology

2013年10月24日～2013年10月25日

Nanging（China）

小松 慎吾、吉田 尚弘、五十嵐 康人、北 和之、大河内 博、緒方 裕子、山田 桂太、豊田 栄、山之越 理恵

“福島県内における放射性エアロゾル中の炭化水素類の分析”

第19回大気化学討論会

2013年11月06日～2013年11月06日

ホテル能登倶楽部（石川七尾市）

北 和之、田中美佐子、木名瀬健、山口隆亮、木野日美子、藤澤 遥、川島洋人、五十嵐康人、三上正男、吉田尚弘、豊田 栄、山田桂大、大河内洋、篠原厚、二宮和彦、恩田裕一

“福島県浪江町で観測された大気放射能濃度と、各種エアロゾル組成との関係”

第 19 回大気化学討論会

2013 年 11 月 08 日～2013 年 11 月 08 日

ホテル能登倶楽部（石川七尾市）

石塚 正秀、三上 正男、田中 泰宙、五十嵐 康人、北 和之、吉田 尚弘、豊田 栄、篠原 厚

“地表面から飛散したダスト粒子による再浮遊放射性物質の一次元推定”

日本気象学会 2013 年度秋季大会

2013 年 11 月 19 日～2013 年 11 月 21 日

仙台国際センター（宮城仙台市）

阿部 善也、飯澤 勇信、中井 泉、寺田 靖子、五十嵐 康人

“福島原発事故で放出された大気粉塵の放射光マイクロビーム X 線分析”

第 27 回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム

2014 年 01 月 13 日～2014 年 01 月 13 日

広島国際会議場（広島県広島市）

Maki.T., Tanaka.T, Kajino.M, Sekiyama.T, Igarashi.Y, Mikami.M

“Radionuclide deposition estimation from Fukushima Daiichi nuclear power plant by inverse model”

AMS 94rd Annual Meeting

2014 年 02 月 02 日～2014 年 02 月 06 日

Atlanta (America)

Igarashi.Y, Adachi.K, Kajino.M and Zaizen.Y

“Characteristics of spherical Cs-bearing particles collected during the early stage of FDNPP accident”

International Experts' Meeting on Radiation Protection after the Fukushima Daiichi Accident: Promoting Confidence and Understanding,

2014 年 02 月 17 日～2014 年 02 月 21 日

Vienna (Austria)

五十嵐 康人, 財前 祐二, 足立 光司, 梶野 瑞王
“福島第一原発事故後のつくばにおける大気中放射能の推移 2013”
第15回「環境放射能」研究会
2014年03月06日～2014年03月08日
高エネルギー加速器研究機構（茨城県つくば市）

足立 光司, 梶野 瑞王, 財前 祐二, 五十嵐 康人
“福島第一原子力発電所事故初期に放出された球形放射性物質”
第15回「環境放射能」研究会
2014年03月10日～2014年03月11日
高エネルギー加速器研究機構（茨城県つくば市）

金指 努, 杉浦 佑樹, 竹中 千里, 小澤 創
“スギ葉から雄花への放射性セシウムの動態”
日本地球惑星科学連合 2013 年大会
2013年05月19日～2013年05月24日
幕張メッセ国際会議場（千葉県千葉市）

杉浦 佑樹, 竹中 千里, 金指 努, 緒方 良至
“福島県における土壌中放射性セシウムの化学形態の経年変化”
日本土壌肥料学会
2013年09月11日～2013年09月11日
名古屋大学（愛知県名古屋市）

金指 努, 梅村 光俊, 杉浦 佑樹, 竹中 千里
“Dynamics of radiocesium in bamboo forests after the accident of Fukushima Daiichi nuclear power plant”
The fifth international symposium in the series of Asia-Pacific Symposium on Radiochemistry
2013年09月27日～2013年09月27日
金沢大学（石川県金沢市）

森部 真子・富岡 利恵・竹中 千里
“腐葉土と粘土鉱物の混合培地からの植物による”
第3回中部森林学会
2013年10月19日～2013年10月19日

岐阜大学（岐阜県岐阜市）

花井 勇一・富岡 利恵・竹中 千里・小澤 創

“安定セシウムの樹皮からの吸収とその輸送”

第3回中部森林学会

2013年10月19日～2013年10月19日

岐阜大学（岐阜県岐阜市）

Y. Sugiura, C. Takenaka and T. Kanasashi

“Possibility of Phytoremediation for Radiocesium Using Soil Amendments”

International Symposium on EcoTopia Science 2013

2013年12月11日～2013年12月11日

名古屋大学（愛知県名古屋市）

Tsutomu Kanasashi, Yuki Sugiura, Chisato Takenaka and Hajime Ozawa

“Possibility of Phytoremediation for Radiocesium Using Soil Amendment”

International Symposium on EcoTopia Science 2013

2013年12月11日～2013年12月11日

名古屋大学（愛知県名古屋市）

T. Kanasashi, Y. Ayabe, Y. Sugiura, N. Hijii and C. Takenaka

“¹³⁷Cs transfer from leaves to aquatic insects in a headwater stream of eastern Fukushima.”

International Symposium on Radionuclide dynamics and biological transfers in watershed ecosystems

Toward watershed management in the post nuclear accident period

2014年02月22日～2014年02月22日

東京農工大（東京都府中市）

杉浦 佑樹, 竹中 千里, 金指 努

“土壌改良材が放射性セシウムの生物利用可能性に及ぼす影響”

第61回日本生態学会大会

2014年03月14日～2014年03月18日

広島国際会議場（広島県広島市）

綾部 慈子, 金指 努, 杉浦 佑樹, 肘井 直樹, 竹中 千里

“森林生態系における食物連鎖経路を通じたジョロウグモへの放射性セシウムの移行”

第 61 回日本生態学会大会

2014 年 03 月 14 日 ~ 2014 年 03 月 18 日

広島国際会議場 (広島県広島市)

綾部 慈子, 金指 努, 肘井 直樹, 竹中 千里

“ジョロウグモ *Nephila clavata* への放射性セシウムの集積 -微量元素との関係”

第 125 回日本森林学会大会

2014 年 03 月 26 日 ~ 2014 年 03 月 30 日

大宮ソニックシティ (埼玉県大宮市)

金指 努, 杉浦 佑樹, 竹中 千里, 小澤 創

“福島県内のスギ雄花・花粉に含まれるセシウム 137 濃度の経年変化”

第 125 回日本森林学会大会

2014 年 03 月 26 日 ~ 2014 年 03 月 30 日

大宮ソニックシティ (埼玉県大宮市)

花井 勇一・金指 努・肘井 直樹・竹中 千里・小澤 創

“スギにおけるセシウムの表面吸収と移動”

第 125 回日本森林学会大会

2014 年 03 月 26 日 ~ 2014 年 03 月 30 日

大宮ソニックシティ (埼玉県大宮市)

北 和之、田中美佐子、佐藤かおり、木名瀬 健、出水宏幸、五十嵐康人、三上正男、吉田尚弘、豊田 栄、山田桂大、篠原 厚、川 島洋人、大河内 博、恩田裕一

“福島第一原子力発電所事故により放出された放射性セシウムの大気再飛散に関わる要因と飛散係数の推定”

日本地球惑星連合大会

2013 年 05 月 20 日 ~ 2013 年 05 月 20 日

幕張メッセ国際会議場 (千葉県千葉市)

Zijian Zhang, Kakitani Shunsuke, Ninomiya Kazuhiko, Takahashi Naruto, Yamaguchi Yoshiaki, Yoshimura Takashi, Saito Takashi, Kita Kazuyuki, Tsuruta Haruo, Higaki Shogo, Shinohara Atsushi

“Radioactive strontium measurement in air dusts using solid-phase extraction”

日本地球惑星科学連合大会年会

2013年05月19日～2013年05月24日
幕張メッセ国際会議場（千葉県千葉市）

二宮 和彦、柿谷 俊輔、張 子見、高橋 成人、篠原 厚、齊藤 敬、鶴田 治
雄、渡邊 明、北 和之、桧垣 正吾

“福島市、日立市、丸森町における ^{134}Cs , ^{137}Cs , ^7Be の大気中放射能の測定”

日本地球惑星科学連合大会年会

2013年05月19日～2013年05月24日
幕張メッセ国際会議場（千葉県千葉市）

T. Saito, Y. Kurihara, Y. Koike, I. Tanihata, M. Fujiwara, H. Sakaguchi, A. Shinohara, H.
Yamamoto

“Altitude distribution of radioactive cesium at Mt. Fuji due to Fukushima No.1 nuclear power
plant accident”

APSORC'13 - 5th Asia-Pacific Symposium on Radiochemistry

2013年09月22日～2013年09月27日
金沢市文化ホール（石川県金沢市）

Zijian Zhang, Kakitani Shunsuke, Ninomiya Kazuhiko, Takahashi Naruto, Yamaguchi Yoshiaki,
Yoshimura Takashi, Saito Takashi, Kita Kazuyuki, Tsuruta Haruo, Higaki Shogo,
Shinohara Atsushi

“Strontium-90 determination in air dust filter using solid phase extraction after the accident of
FD-NPS”

APSORC'13 - 5th Asia-Pacific Symposium on Radiochemistry

2013年09月22日～2013年09月27日
金沢市文化ホール（石川県金沢市）

Zijian Zhang, Shunsuke Kakitani, Kazuhiko Ninomiya, Naruto Takahashi, Yoshiaki Yamaguchi,
Takashi Yoshimura, Kazuyuki Kita, Akira Watanabe, Atsushi Shinohara

“Secular distribution of radioactive concentration in the atmosphere at Fukushima, Hitachi and
Marumori”

APSORC'13 - 5th Asia-Pacific Symposium on Radiochemistry

2013年09月22日～2013年09月27日
金沢市文化ホール（石川県金沢市）

二宮 和彦、張子 見、大隅 悠史、松永 静、柿谷 俊輔、山口 喜朗、鶴田 治
雄、渡邊 明、北 和之、篠原 厚

“福島市、日立市、丸森町で採取された大気エアロゾルの放射能濃度の長期変化”

第 15 回「環境放射能」研究会

2014 年 03 月 06 日～2014 年 03 月 08 日

高エネルギー加速器研究機構（茨城県つくば市）

大隅 悠史、張 子見、二宮 和彦、福本 敬夫、山口 喜朗、篠原 厚

“浪江町で採取された土壌における Sr-90 の深度分布”

第 15 回「環境放射能」研究会

2014 年 03 月 06 日～2014 年 03 月 08 日

高エネルギー加速器研究機構（茨城県つくば市）

鶴田 治雄、荒井 俊昭、司馬 薫、山田 裕子、草間 優子、中島 映至、渡邊
明、長林 久夫、北 和之、篠原 厚、二宮 和彦、横山 明彦、梶野 瑞王

“福島およびその周辺 3 地点における大気エアロゾル中の放射性物質濃度の 3 年間の長
期変化”

第 15 回「環境放射能」研究会

2014 年 03 月 06 日～2014 年 03 月 08 日

高エネルギー加速器研究機構（茨城県つくば市）

加藤 弘亮、恩田 裕一、ロフレド・ニコラ、久留 景吾、河守 歩

“森林内の放射性セシウム分布と空間線量率の経時変化”

第 125 回日本森林学会大会

2014 年 03 月 26 日～2014 年 03 月 30 日

大宮ソニックシティ（埼玉県大宮市）

恩田 裕一ほか

“森林からの放射性核種の水循環に伴う移行”

第 125 回日本森林学会大会

2014 年 03 月 26 日～2014 年 03 月 30 日

大宮ソニックシティ（埼玉県大宮市）

恩田 裕一、加藤 弘亮、吉村 和也、安部 豊、ジェレミー パティン、辻村 真
貴、田村 憲司

“川俣町山木屋地区における放射性セシウムの移行状況集中モニタリング”

日本地球惑星科学連合 2013 大会
2013 年 05 月 19 日～2013 年 05 月 24 日
幕張メッセ国際会議場（千葉県千葉市）

加藤 弘亮，恩田 裕一，河守 歩，久留 景吾
“森林環境中の福島第一原子力発電所由来の放射性セシウムの移行状況”
日本地球惑星科学連合 2013 大会
2013 年 05 月 19 日～2013 年 05 月 24 日
幕張メッセ国際会議場（千葉県千葉市）

堀内 宣栄，辻村 真貴，恩田 裕一，川口 晋平
“堆積岩からなる山地源流域における地形的流域を越えた地下水流動”
日本地球惑星科学連合 2013 大会
2013 年 05 月 19 日～2013 年 05 月 24 日
幕張メッセ国際会議場（千葉県千葉市）

Hugh Smith、Will Blake、Yuichi Onda ほか
“Regional-scale transfer of fallout radiocaesium in river networks impacted by the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant”
日本地球惑星科学連合 2013 大会
2013 年 05 月 19 日～2013 年 05 月 24 日
幕張メッセ国際会議場（千葉県千葉市）

吉村 和也、恩田 裕一
“福島県川俣町の試験水田における放射性セシウムのフラックスと流出特性の観測”
日本地球惑星科学連合 2013 大会
2013 年 05 月 19 日～2013 年 05 月 24 日
幕張メッセ国際会議場（千葉県千葉市）

北 和之、田中 美佐子、五十嵐 康人、三上 正男、吉田 尚弘、豊田 栄、山田 桂大、恩田 裕一
“広葉樹林およびスギ林内および樹冠部での放射性セシウムの大気浮遊濃度の変化”
日本地球惑星科学連合 2013 大会
2014 年 05 月 19 日～2014 年 05 月 24 日
幕張メッセ国際会議場（千葉県千葉市）

Will Blake, Hugh Smith, Yuichi Onda ほか

“Transfer of fallout radiocaesium from catchment to coast in the region impacted by the Fukushima nuclear accident”

日本地球惑星科学連合 2013 大会

2013 年 05 月 19 日 ~ 2013 年 05 月 24 日

幕張メッセ国際会議場（千葉県千葉市）

Jeremy Patin, Yuichi Onda, Hiroki Yoda

“Detailed monitoring of transfer of ^{137}Cs at the hillslope scale by in situ HPGe spectrometry and landsurvey”

日本地球惑星科学連合 2013 大会

2013 年 05 月 19 日 ~ 2013 年 05 月 24 日

幕張メッセ国際会議場（千葉千葉市）

辻村 真貴、恩田 裕一、安部 豊ほか

“源流域における放射性セシウムの水系への移行状況”

日本地球惑星科学連合 2013 大会

2013 年 05 月 19 日 ~ 2013 年 05 月 24 日

幕張メッセ国際会議場（千葉県千葉市）

山敷 庸亮、恩田 裕一、五十嵐 康人ほか

“阿武隈川における放射性物質流出調査について”

日本地球惑星科学連合 2013 大会

2013 年 05 月 19 日 ~ 2013 年 05 月 24 日

幕張メッセ国際会議場（千葉県千葉市）

Bui Xuan Dung, Takashi Gomi, Yuichi Onda, Hiroaki Kato, Mario Hiraoka

“Hydrological responses to strip thinning and catchment scales in Japanese”

International symposium on sediment disasters under the influence of climate change and tectonic activity (3rd)

2013 年 09 月 26 日 ~ 2013 年 09 月 26 日

京都大学（京都府宇治市）

Bui Xuan Dung, Takashi Gomi, Yuichi Onda, Hiroaki Kato, and Marino Hiraoka

“Examining the effects of forest thinning on hydrological processes at different catchment scales in forested headwater”

European Geosciences Union General Assembly 2013

2013 年 04 月 07 日 ~ 2013 年 04 月 12 日

Vienna (Austria)

Nanko, K., Onda, Y., Ito, A., and Moriwaki, H.

“Spatial variability of throughfall and raindrops under a single canopy with different canopy structure”

European Geosciences Union General Assembly 2013

2013 年 04 月 07 日 ~ 2013 年 04 月 12 日

Vienna (Austria)

Olivier Evrard, Vladimir Belyaev, Yuichi Onda, Caroline Chartin, Jeremy Patin, Irene Lefevre, Sophie Ayrault, Nadezda Ivanova, Philippe Bonte;, and Valentin Golosov

“Post-accidental riverine dispersion of sediments contaminated by radionuclides: confrontation of lessons learnt from Chernobyl and Fukushima case studies in catchments from Russia (1986-2009) and Japan”

(2011-2012)

European Geosciences Union General Assembly 2013

2013 年 04 月 07 日 ~ 2013 年 04 月 12 日

Vienna (Austria)

Jeremy Patin, Yuichi Onda, and Hiroki Yoda

“Two year monitoring of soil and radiocesium redistribution at the hillslope scale after the 2011 Fukushima nuclear accident fallout”

European Geosciences Union General Assembly 2013

2013 年 04 月 07 日 ~ 2013 年 04 月 12 日

Vienna (Austria)

Maki Tsujimura, Yuichi Onda, Manami Hada, Pun Ishwar, and Yutaka Abe

“Monitoring Cs-134 and 137 released by Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident in ground, soil, and stream waters”

European Geosciences Union General Assembly 2013

2013 年 04 月 07 日 ~ 2013 年 04 月 12 日

Vienna (Austria)

加藤 弘亮, 恩田 裕一, 河守 歩, 久留 景吾

“森林環境中の放射性セシウムの移行と林床の空間線量率の経時変化”

第 15 回「環境放射能」研究会

2014 年 03 月 06 日～2014 年 03 月 08 日

高エネルギー加速器研究機構（茨城県つくば市）

谷口 圭輔、吉村 和也、ヒュー・スミス、ウィリアム・ブレイク、山本 政儀、横
山 明彦、高橋 嘉夫、坂口 綾、恩田 裕一

“福島県内の河川における放射性セシウムの移行状況”

第 15 回「環境放射能」研究会

2014 年 03 月 06 日～2014 年 03 月 08 日

高エネルギー加速器研究機構（茨城県つくば市）

脇山 義史、恩田 裕一、吉村 和也、加藤 弘亮

“様々な土地利用からの土壌侵食による放射性セシウムの移行”

第 15 回「環境放射能」研究会

2014 年 03 月 06 日～2014 年 03 月 08 日

高エネルギー加速器研究機構（茨城県つくば市）

加藤 弘亮、恩田 裕一、ニコラ・ロフレド、久留 景吾、河守 歩

“森林環境中の放射性セシウムの移行と空間線量率の時間変化”

第 15 回「環境放射能」研究会

2014 年 03 月 06 日～2014 年 03 月 08 日

高エネルギー加速器研究機構（茨城県つくば市）

西野 正高、辻村 真貴、恩田 裕一、岩上 翔、小沼 亮平

“源流域における降雨流出にともなう放射性セシウムの流出機構”

第 15 回「環境放射能」研究会

2014 年 03 月 06 日～2014 年 03 月 08 日

高エネルギー加速器研究機構（茨城県つくば市）

荒居 博之、福島 武彦、恩田 裕一

“霞ヶ浦における福島第一原子力発電所事故後の放射性セシウム汚染の実態”

第 15 回「環境放射能」研究会

2014 年 03 月 06 日～2014 年 03 月 08 日

高エネルギー加速器研究機構（茨城県つくば市）

Teramage Tesfaye, Yuichi Onda, Hiroaka Kato, Takashi Gomi

“The role of litterfall in transferring Fukushima-derived radiocesium in a coniferous forest”

第 15 回「環境放射能」研究会

2014 年 03 月 06 日～2014 年 03 月 08 日

高エネルギー加速器研究機構（茨城県つくば市）

岩上 翔、辻村 真貴、恩田 裕一、西野 正高、小沼 亮平

“福島県川俣町の森林小流域における溶存態セシウム 137 の動態”

第 15 回「環境放射能」研究会

2014 年 03 月 06 日～2014 年 03 月 08 日

高エネルギー加速器研究機構（茨城県つくば市）

田中 万也、岩谷 北斗、坂口 綾、高橋 嘉夫、恩田 裕一

“河床堆積物中の放射性セシウムの粒径別分布”

2013 年度日本地球化学会年会

2013 年 09 月 10 日～2013 年 09 月 14 日

高エネルギー加速器研究機構（茨城県つくば市）

恩田 裕一

“福島起源の放射性物質の森林・陸域から水域への移行量の把握”

CREST 水循環モデリング合同国際シンポジウム「持続可能な水利用の実現に資する水循環モデリング」

2014 年 03 月 10 日～2014 年 03 月 11 日

東京大学生産技術研究所（東京都目黒区）

M. Yamamoto

“Overview of the Fukushima Dai-ichi nuclear power plant (FDNPP) accident, with amounts and nuclear compositions of the released radionuclides”

5th-Pacific Symposium on Radiochemistry, APSORC13

2013 年 09 月 22 日～2013 年 09 月 27 日

Kanazawa (Ishikawa)

A. Sakaguchi, A. Kadokura, P. Steier, Y. Takahashi, K. Shizuma, T. Nakakuki, M. Yamamoto

“Depth distribution of U-236 and Cs-137 in the Japan Sea: toward the potential use as a new oceanic circulation tracer”

5th-Pacific Symposium on Radiochemistry, APSORC13

2013年09月22日～2013年09月27日

Kanazawa (Ishikawa)

M. Inoue, S. Ochiai, T. Murakami, S. Oikawa, M. Yamamoto, S. Nagao, Y. Hamajima, H.
Kofuji, J. Misonoo

“Low Levels of Cs-134 and Cs-137 in bottom sediments along the Japanese Archipelago side of
the Japan Sea of Japan after the Fukushima Dai-ichi NPP accident”

5th-Pacific Symposium on Radiochemistry, APSORC13

2013年09月22日～2013年09月27日

Kanazawa (Ishikawa)

M. Yamamoto, A. Sakaguchi, S. Ochiai, T. Takada, S. Nagao, P. Steier

“Isotopic U, Pu, Am and Cm signatures in environmental samples from the Fukushima Dai-ichi
Nuclear Power Plant accident”

5th-Pacific Symposium on Radiochemistry, APSORC13

2013年09月22日～2013年09月27日

Kanazawa (Ishikawa)

S. Ochiai, S. Nagao, M. Yamamoto, T. Itono, k. Kashiwaya

“Sediment transport processes in reservoir-catchment system inferred from sediment trap
observation and fallout radionuclides”

5th-Pacific Symposium on Radiochemistry, APSORC13

2013年09月22日～2013年09月27日

Kanazawa (Ishikawa)

S. Nagao, M. Kanamori, S. Ochiai, M. Yamamoto

“Migration behavior of ^{134}Cs and ^{137}Cs in the Niida River water in Fukushima Prefecture, Japan
during 2011-2012”

5th-Pacific Symposium on Radiochemistry, APSORC13

2013年09月22日～2013年09月27日

Kanazawa (Ishikawa)

長尾 誠也、金森 正樹、桐島 陽、落合 伸也、山本 政儀

“阿武隈川における放射性セシウムの移行に及ぼす降雨の影響評価”

日本地球惑星科学連合 2013年大会(福島セッション)

2013年05月03日～2013年05月03日

幕張メッセ国際会議場（千葉県千葉市）

S. Nagao, M. Kanamori, S. Ochiai, S. Tomihara, A. Kirishima, M. Yamamoto

“Transport of ^{134}Cs and ^{137}Cs in river waters from Fukushima Prefecture in Japan during 2011-2012”

Joint Assembly of IAHS-IAPSO-IASPEI

2013年07月23日～2013年07月23日

Gothenburg (Sweden)

S. Nagao, M. Kanamori, S. Ochiai, S. Tomihara, M. Yamamoto

“Transport of dissolved and particulate forms of ^{134}Cs and ^{137}Cs in river waters from Fukushima Prefecture after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident”

Second Russian-Japanese seminar “Behaviors of Polycyclic Aromatic Hydrocarbons and Radioactive Compounds in atmosphere and marine environment at East Asia

2013年08月02日～2013年08月02日

Vladivostok (Russia)

坂口 綾、高橋 嘉夫、Peter Steier、山本 政儀

“環境中ウラン、超ウラン元素同位体測定に関する最近の動向”

アクチニド元素の化学と工学専門研究会 アクチニドおよびFP核種の分析化学研究

2014年03月12日～2014年03月12日

京都大学原子炉実験所（大阪府泉南群）

K. Tanaka, H. Iwatani, A. Sakaguchi, Y. Takahashi, and Y. Onda

“Particle-size dependent distribution of radiocesium in river sediments after the FDNPP accident.”

Goldschmidt2013

2013年08月29日～2013年08月29日

Florence (Italy)

K. Tanaka, H. Iwatani, A. Sakaguchi, Y. Takahashi, and Y. Onda

“Retention of radiocesium incorporated in tree leaves contaminated by fallout of the radionuclides emitted from the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant.””

The 5th Asia-Pacific symposium on radiochemistry (APSORC'13)

2013年09月24日～2013年09月24日

金沢市民文化ホール（石川金沢市）

田中 万也、岩谷 北斗、坂口 綾、高橋 嘉夫、恩田 裕一

“河床堆積物中の放射性セシウムの粒径別分布”

2013 年度地球化学会年会

2013 年 09 月 13 日 ~ 2013 年 09 月 13 日

筑波大学 (茨城つくば市)

恩田 裕一、脇山 義史、Hugh Smith、Will Blake、吉村 和也

“陸上のさまざまな土地利用地域かたの放射性物質の河川・海洋への移行”

2013 年日本海洋学会秋期大会

2013 年 09 月 17 日 ~ 2013 年 09 月 21 日

北海道大学 (北海道札幌市)

恩田 裕一

“特別セッション・東日本震災と福島原発事故の環境影響：他分野間の情報交換に関する総合討論”

2013 年日本海洋学会秋期大会 (ナイトセッション)

2013 年 09 月 18 日 ~ 2013 年 09 月 18 日

北海道大学 (北海道札幌市)

恩田 裕一

“福島原発事故により放出された放射能核種の環境動態に関する学術調査”

第 3 回 CSJ 科学フェスタ

2013 年 10 月 21 日 ~ 2013 年 10 月 23 日

タワーホール船堀 (東京都江戸川区)

恩田 裕一

“水循環系における福島原発事故由来の放射性物質の移行”

水文・水資源学会創立 25 周年記念シンポジウム

2013 年 09 月 27 日 ~ 2013 年 09 月 27 日

神戸大学 (兵庫県神戸市)

Yuichi Onda

“Terrestrial Trasfer of fallout radionuclides by geomorphological process by Fukushima NPP accident”

Joint Assembly of IAHS-IAPSO-IASPEI

2013年07月23日～2013年07月23日

Gothenburg (Sweden)

芳賀 弘和、佐野 貴洋、遠藤 祐子、斎藤 隆実、恩田 祐一、加藤 弘亮、Sun
Haotian、立石 真紀子、笠原 玉青、大槻 恭一

“強度間伐が森林流域からの栄養塩流出特性に与える影響”

第125回日本森林学会大会

2014年03月26日～2014年03月30日

大宮ソニックシティ (埼玉県大宮市)

小松 義隆、恩田 裕一、Xianfang Song

“中国河北省および四川省における異なる表面被覆および勾配の表面流プロットを用いた浸透能の測定”

日本地球惑星科学連合2013大会

2013年05月19日～2013年05月24日

幕張メッセ国際会議場 (千葉県千葉市)

平田 晶子、恩田 裕一、加藤 弘亮

“ヒノキ人工林における列状間伐前後の降雨遮断と樹冠通過雨の安定同位体比の変化”

日本地球惑星科学連合2013大会

2013年05月19日～2013年05月24日

幕張メッセ国際会議場 (千葉県千葉市)

Yuichi Onda, Hiroaki Kato, Jeremy Patin, Kazuya Yoshimura, Maki Tsujimura, Taeko
Wakahara, and Takehiko Fukushima

“Transfer of fallout radionuclides derived from Fukushima NPP accident: 1 year study on
transfer of radionuclides through hydrological processes”

European Geosciences Union General Assembly 2013

2013年04月07日～2013年04月12日

Vienna (Austria)

Kazuyuki Kita, Rie Kasahara, Misako Tanaka, Kaori Sato, Hiroyuki Demizu, Yasuhito Igarashi,
Masao Mikami, Naohiro Yoshida, Sakae Toyoda, Haruo Tsuruta, Mitsuo Uematsu, Shogo
Hgaki, Atsushi Shinohara, Akira Watanabe, Hisao Nagabayashi, Akihiro Yokoyama,
Masayuki Takigawa, Satoshi Sugawara, Kiesuke Sueki, and Yuichi Onda

“Variation of atmospheric concentrations of I-131, Cs-134 and Cs-137 observed over eastern Japan: contribution of leakage from Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant and secondary emission from soil and vegetation.”

European Geosciences Union General Assembly 2013

2013年04月07日～2013年04月12日

Vienna (Austria)

Yuichi Onda, Hiroaki Kato, Kazuya Yoshimura, Takehiko Fukushima, and Jeremy Patin

“The Project on the distribution of fallout radionuclide and their transfer through environment by Fukushima Daiichi NPP accident”

European Geosciences Union General Assembly 2013

2013年04月07日～2013年04月12日

Vienna (Austria)

Hiroaki Kato, Yuichi Onda, Ayumi Kawamori, and Keigo Hisadome

“Transfer of the Fukushima Daiichi reactor accident-derived radionuclides in forest environments”

European Geosciences Union General Assembly 2013

2013年04月07日～2013年04月12日

Vienna (Austria)

福島 武彦、荒居 博之

“湖沼底質から見た放射性セシウム汚染。”

第2回環境放射能除染研究発表会

2013年06月05日～2013年06月07日

タワーホール船堀(東京都江戸川区)

T. Fukushima, H. Arai, K. Yoshimura and Y. Onda

“Radiocesium contamination of lake sediments and fish following the Fukushima nuclear accident. 34th Congress of the International Society of Limnology”

34th Congress of the International Society of Limnology

2013年08月08日～2013年08月14日

Hungary

山口 直文・関口 智寛

“陸上に遡上した津波の堆積過程：水槽実験による予察的検討”

日本堆積学会

2014年03月14日～2014年03月17日

山口大学（山口県山口市）

Sekiguchi, T.

“Bedforms under polydirectional flow: a preliminary experiment using pure oscillatory flow.
International Workshop Stratodynamics”

2013年08月28日～2013年08月30日

長崎大学（長崎県長崎市）

Numata, S. and Sekiguchi, T

“Migration rate of combined-flow bedform: an analogue experiment.”

International Workshop Stratodynamics

2013年08月28日～2013年08月30日

長崎大学（長崎県長崎市）

Satou, Y., Sueki, K., Sasa, K., Takahashi, T., Shibayama, N., Izumi, D., Kinoshita, N. and
Matsuzaki

“Production of Strontium (Sr) negative molecule ions for ^{90}Sr -AMS”

5th East Asia AMS Symposium

2013年10月15日～2013年10月18日

KIGAM (Korea)

Shibayama, N., Sueki, K., Sasa K., Satou, Y., Takahashi, T., Matsumura, M., Matsuzaki, H.,
Murakami, M., Yamashita, R., Saha, M., Takada, H., Koibuchi, Y., Lamxay, S. and Oki, T.

“Time Variation of Concentration of Radioactive Cesium-134, 137 and Iodine-129 in the Ohori
River, Chiba Prefecture, Japan.”

5th Asia-Pacific Symposium on Radiochemistry

2013年09月22日～2013年09月27日

金沢大学（石川県金沢市）

Satou, Y., Sueki, K., Sasa, K., Kitagawa, J. and Ikarashi, S.

“States of existence of the cesium and silver radionuclides at the sandy beach in Iwaki city,
Fukushima.”

5th Asia-Pacific Symposium on Radiochemistry

2013年09月22日～2013年09月27日

金沢大学（石川県金沢市）

Satou, Y. Sueki, K.

“The existence state in the soils of radioactive cesium from the Fukushima Dai-ichi nuclear power plant accident by imaging plate photograph.”

EGU General Assembly

2013年04月07日～2013年04月12日

Vienna（Austria）

Yamashita, R., Murakami, M., Sueki, K., Saha, M., Mouri, G., Lamxay, S., Haechong, O., Koibuchi, Y., Takada, H.

“Long-term variation and source analysis of radioactive cesium in the Ohorigawa River, J”
Joint Conference of 11th AsiaFlux International Workshop, 3rd HESSS (Hydrology delivers Earth System Science to Society), and 14th Annual Meeting of Korean Society of Agricultural Forest Meteorology

2013年08月21日～2013年08月24日

Seoul（Korea）

松中 哲也，笹 公和，末木 啓介，高橋 努，松村 万寿美，佐藤 志彦，柴山 尚大，北川 潤一，木下 哲一，松崎 浩之

“帰還困難区域における福島第一原子力発電所事故前後の土壌中の¹²⁹I深度分布”

第16回AMSシンポジウム

2014年03月19日～2014年03月20日

東京大学（千葉県柏市）

末木 啓介，柴山 尚大，佐藤 志彦，笹 公和，高橋 努，松中 哲也，松村 万寿美，松崎 浩之，村上 道夫，山下 麗，Mahua Saha，高田 秀重，鯉淵 幸生，Soulichan Lamxay，呉 海鍾，守利 悟朗，沖 大幹

“河川中のヨウ素¹²⁹と放射性セシウムの挙動”

第16回AMSシンポジウム

2014年03月19日～2014年03月20日

東京大学（千葉県柏市）

佐藤 志彦，末木 啓介，笹 公和，大竹 良徳，国分 宏城

“連続化学抽出や重力沈降法を用いた土壌に含まれる粒子状放射性セシウムの検索”

第15回「環境放射能」研究会

2014年03月06日～2014年03月08日
高エネルギー加速器研究機構（茨城県つくば市）

佐藤 志彦，末木 啓介，笹 公和，大竹 良徳，国分 宏城
“連続化学抽出による土壤中放射性セシウムの存在状態評価”
放射線安全管理学会第12回学術大会
2013年11月27日～2013年11月29日
北海道大学（北海道札幌市）

末木 啓介，半田 晃士，佐藤 志彦，足立 光司，五十嵐 康
“筑波大学へ飛来した放射性セシウムの化学状態”
放射線安全管理学会第12回学術大会
2013年11月27日～2013年11月29日
北海道大学（北海道札幌市）

佐藤 志彦，末木 啓介，笹 公和，大竹 良徳，国分 宏城
“化学抽出による土壤中放射性セシウムの吸着状態の検証”
2013年度日本地球化学会第60回年会
2013年09月11日～2013年09月13日
筑波大学（茨城県つくば市）

柴山 尚大，末木 啓介，笹 公和，佐藤 志彦，高橋 努，松村 万寿美，松崎 浩之，
村上 道夫，沖 大幹，山下 麗，Saha, M.，高田 秀重，鯉淵 幸生，Lamxay, S.
“千葉県大堀川における ^{137}Cs 及び ^{129}I の濃度の経時変化”
2013年度日本地球化学会第60回年会
2013年09月11日～2013年09月13日
筑波大学（茨城県つくば市）

末木 啓介，半田 晃士，佐藤 志彦，足立 光司，五十嵐 康
“福島第一原発事故により放出された ^{129}I の陸域環境での分布状況と ^{131}I 降下量の復元”
2013年度日本地球化学会第60回年会
2013年09月11日～2013年09月13日
つくば、茨城

笹 公和, 末木 啓介, 高橋 努, 松村 万寿美, 松中 哲也, 佐藤 志彦, 柴山 尚大,
木下 哲一, 西原 健司, 松崎 浩之

“福島第一原発事故により放出された ^{129}I の陸域環境での分布状況と ^{131}I 降下量の復元”

2013 年度日本地球化学会第 60 回年会

2013 年 09 月 11 日 ~ 2013 年 09 月 13 日

筑波大学 (茨城県つくば市)

佐藤 志彦, 末木 啓介, 笹 公和, 高橋 努, 柴山 尚大, 泉 大希, 木下 哲一, 松崎 浩之

“ ^{90}Sr -AMS の為のストロンチウム負分子イオンビーム生成試験”

第 26 回タンデム加速器及びその周辺技術の研究会

2013 年 07 月 05 日 ~ 2013 年 07 月 06 日

山形大学 (山形県山形市)

村上 道夫, 柴山 尚大, 末木 啓介, 守利 悟朗, 呉 海鍾, 野村 実広, 鯉淵 幸生, 沖 大幹

“雨天時における大堀川の放射性セシウムの実態調査”

第 48 回日本水環境学会年会講演集

2014 年 03 月 17 日 ~ 2014 年 03 月 19 日

東北大学 (宮城県仙台市)

山下 麗, 村上 道夫, 柴山 尚大, 末木 啓介, Mahua Saha, 守利 悟朗, Soulichan Lamxay, 呉 海鍾, 鯉淵 幸生, 高田 秀重

“大堀川における放射性セシウムの固液分配と長期変動”

第 16 回日本水環境学会シンポジウム講演集

2013 年 11 月 09 日 ~ 2013 年 11 月 10 日

琉球大学 (沖縄県西原町)

山下 麗, 村上 道夫, 末木 啓介, Mahua Saha, 守利 悟朗, Soulichan Lamxay, 呉 海鍾, 鯉淵 幸生, 高田 秀重

“大堀川における放射性セシウムの長期変動と起源解析”

第 22 回環境化学討論会

2013 年 07 月 31 日 ~ 2013 年 08 月 02 日

東京農工大学 (東京都府中市)

西野 正高・辻村 真貴・恩田 裕一・岩上 翔・小沼 亮平

“源流域における降雨流出に伴う放射性セシウムの流出機構”

第 15 回「環境放射能」研究会

2014 年 03 月 06 日～2014 年 03 月 08 日

高エネルギー加速器研究機構（茨城県つくば市）

五十嵐 康人

“福島第一原子力発電所事故による大気環境影響”

大阪大学平成 26 年度放射性同位元素等取扱者継続登録者教育訓練

2014 年 04 月 01 日～2014 年 04 月 02 日

大阪大学ラジオアイソトープ総合センター（大阪府・吹田市）

Hiroaki KATO, Yuichi Onda, Nicolas Loffredo, Keigo Hisadome, Ayumi Kawamori

“Effect of radiocesium transfer on ambient dose rate in forest environment”

European Geoscience Union (EGU) General Assembly 2014

2014 年 04 月 27 日～2014 年 05 月 02 日

Vienna (Austria)

Inomata, Y., Aoyama, M., Hirose, K., Sanada, Y., Torii, T., Tsubono, T., Tsumune, D., and Yamada, M.

“Distribution of radionuclides in the surface sea water developed by aerial radiological survey”

European Geoscience Union (EGU) General Assembly 2014

2014 年 04 月 27 日～2014 年 05 月 02 日

Vienna (Austria)

Nakajima, T.

“Environmental pollution by the Fukushima Daiichi nuclear power plant accident and role of the atmospheric science”

日本地球惑星科学連合 2014 年大会

2014 年 04 月 28 日～2014 年 05 月 02 日

パシフィコ横浜（神奈川県・横浜市）

猪股 弥生、青山 道夫、廣瀬 勝巳、眞田 幸尚、鳥居 建男、坪野 考樹、津旨 大輔、山田 正俊

“航空機モニタリングによる福島沿岸域における放射性核種の分布”

日本地球惑星科学連合 2014 年大会

2014年04月28日～2014年05月02日

パシフィコ横浜（神奈川県・横浜市）

田副 博文、山形 武靖、小畑 元、山田 正俊

“キレート樹脂 DGA レジンを用いたイットリウム迅速分離と海水中 Sr-90 定量への適用”

日本地球惑星科学連合 2014 年大会

2014年04月28日～2014年05月02日

パシフィコ横浜（神奈川県・横浜市）

恩田 裕一

“福島事故起源の放射性物質の陸域から水域への移行”

日本地球惑星科学連合 2014

2014年05月02日～2014年05月02日

パシフィコ横浜（神奈川県・横浜市）

北 和之

“福島原発事故により放出された放射性核種の環境動態”

日本地球惑星科学連合 2014

2014年05月02日～2014年05月02日

パシフィコ横浜（神奈川県・横浜市）

石塚 正秀、三上 正男、田中 泰宙、五十嵐 康人、北 和之、山田 豊、
吉田 尚弘、豊田 栄、佐藤 志彦、高橋 嘉夫、二宮 和彦、篠原 厚

“Evaluation of radioactivity resuspension by dust emission using a size-resolved 1-D vertical model in Namie, Fukushima”

日本地球惑星科学連合 2014

2014年05月02日～2014年05月02日

パシフィコ横浜（神奈川県・横浜市）

飯澤 勇信、阿部 善也、中井 泉、寺田 靖子、足立 光司、五十嵐 康人

“Synchrotron radiation X-ray analyses of the radioactive single airborne particle emitted by the Fukushima nuclear accident”

日本地球惑星科学連合 2014

2014年05月02日～2014年05月02日

パシフィコ横浜（神奈川県・横浜市）

近藤 昭彦、恩田 裕一

“侵食に伴う放射性セシウム移行の経験モデルと沈着量および河川への流出量の将来予測”

日本地球惑星科学連合大会 2014

2014年05月02日～2014年05月02日

パシフィコ横浜（神奈川県・横浜市）

木野日 美子、北 和之、田中 美佐子、木名 瀬健、出水 宏幸、五十嵐 康人、三上 正男、梶野 瑞王、足立 光司、木村 徹、石塚 正秀、川島 洋人、吉田 尚弘、豊田 栄、山田 桂大、大河内 博、篠原 厚、二宮 和彦、恩田 裕一

“Correlation between Atmospheric Re-entrainment of Radioactive Cs and Meteorological Phenomena”

日本地球惑星科学連合 2014

2014年05月02日～2014年05月02日

パシフィコ横浜（神奈川県・横浜市）

北 和之、他 20 名

“Resuspension of radioactive cesium from soil and forest”

日本地球惑星科学連合 2014

2014年05月02日～2014年05月02日

パシフィコ横浜（神奈川県・横浜市）

田中 美佐子他、20 名

“Estimate of relationship between composition of aerosol and radioactive cesium observed in Namie”

日本地球惑星科学連合 2014

2014年05月02日～2014年05月02日

パシフィコ横浜（神奈川県・横浜市）

足立 光司、梶野 瑞王、財前 祐二、五十嵐 康人

“Cs-bearing spherical particles emitted from an early stage of the FDNPP accident”

日本地球惑星科学連合 2014

2014年05月02日～2014年05月02日

パシフィコ横浜（神奈川県・横浜市）

足立 光司、梶野 瑞王、財前 祐二、五十嵐 康人
“原発事故で大気中に放出された放射性粒子を電子顕微鏡で見る”
日本顕微鏡学会第 70 回記念学術講演会
2014 年 05 月 13 日～2014 年 05 月 13 日
幕張メッセ（千葉県・千葉市）

恩田 裕一
“放射性物質の陸域からの移行”
第 74 回分析化学討論会
2014 年 05 月 24 日～2014 年 05 月 24 日
日本大学工学部 70 号館（福島県・郡山市）

飯澤 勇信・阿部 善也・中井 泉・寺田 靖子・足立 光司・五十嵐 康人
“福島原発事故で放出された強放射性大気粉塵粒子の放射光 X 線分析”
第 74 回分析化学討論会
2014 年 05 月 25 日～2014 年 05 月 25 日
日本大学工学部 70 号館（福島県・郡山市）

五十嵐 康人、足立 光司、梶野 瑞王、財前 祐二、阿部 善也、飯澤 勇信、
中井泉、佐藤 志彦、末木 啓介
“2011 年 3 月つくば市で観測された放射性 Cs の物理・化学性状”
環境放射能除染学会 第 3 回研究発表会
2014 年 07 月 14 日～2014 年 07 月 14 日
郡山市民文化センター（福島県・郡山市）

Ishizuka, M., M. Mikami, T. Y. Tanaka, Y. Igarashi, K. Kita, Y. Yamada, Y. Satou, N. Yoshida, S.
Toyoda, K. Ninomiya, and A. Shinohara
“A Size-resolved 1-D Resuspension Scheme for Evaluating Radioactivity Resuspension by
Mineral Dust Particles from Ground Surface”
The Eighth International Conference on Aeolian Research (ICAR VIII)
2014 年 07 月 25 日～2014 年 07 月 25 日
Lanzhou University (中国・蘭州市)

Misawa, S., Dai, T., Schutgens, N. Nakajima, T.
“A study of regional-scale aerosol assimilation with the Stretch-NICAM atmospheric model”

Asia Oceania Geosciences Society 11th Annual Meeting

2014年07月28日～2014年08月01日

ロイトン札幌ホテル（北海道・札幌市）

Tsuruta, H., Oura, Y., Ebihara, M., Ohara, T., Nakajima, T..

“Reconstruction of Atmospheric transport of Cs-137 just after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident by a new measured dataset”

Asia Oceania Geosciences Society 11th Annual Meeting

2014年07月28日～2014年08月01日

ロイトン札幌ホテル（北海道・札幌市）

Yasuhito IGARASHI, Kouji ADACHI, Mizuo KAJINO, Taichu TANAKA, Takashi

MAKI, Tsuyoshi T SEKIYAMA, Yuji ZAIZEN, Masao MIKAMI

“On atmospheric radioactive pollution by the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident: Researches at MRI, Japan”

Asia Oceania Geosciences Society 11th Annual Meeting

2014年07月29日～2014年07月29日

ロイトン札幌ホテル（北海道・札幌市）

Masahide ISHIZUKA, Masao MIKAMI, Taichu TANAKA, Yasuhito IGARASHI,

Kazuyuki KITA, Yutaka YAMADA, Naohiro YOSHIDA, Sakae TOYODA, Yukihiro SATOU, Yoshio TAKAHASHI, Kazuhiko NINOMIYA, Atsushi SHINOHARA

“Radioactivity Resuspension by Dust Emission using a Size-resolved 1-D Vertical Model in Namie, Fukushima”

Asia Oceania Geosciences Society 11th Annual Meeting

2014年07月31日～2014年07月31日

ロイトン札幌ホテル（北海道・札幌市）

五十嵐 康人、足立 光司、梶野 瑞王、財前 祐二、阿部 善也、飯澤 勇信、中井泉、佐藤 志彦、末木 啓介

“2011年3月つくば市で観測された放射性Csの物理・化学性状”

第31回エアロゾル科学・技術研究討論会

2014年08月08日～2014年08月08日

筑波大学（茨城県・つくば市）

Yasuhito Igarashi, Kouji Adachi, Mizuo Kajino, Yuji Zaizen, Izumi Nakai, Yoshinari Abe,
Yushin Iizawa, Yukihiro Satou, Keisuke Sueki

“Characteristics of radio-Cs particles collected during the early stage of FDNPP accident”

IAC2014

2014年08月30日～2014年08月30日

韓国・釜山

Taichu Y. Tanaka, M. Kajino, Y. Igarashi, T. Takemura, T., T.Nakajima, and T. Shibata

“Deposition over marine area: Multi-model simulation of the trans-Pacific transport of
radionuclides from Fukushima Dai-ichi nuclear power plant accident”

IAC2014

2014年08月31日～2014年08月31日

韓国・釜山

Yuichi Onda

“Time changes in radiocesium wash-off from various land uses after the Fukushima Daiichi
NPP accident”

IAEA/UNESCO Technical Meeting on Surface Water and Groundwater Contamination
Following the Accident at the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant

2014年09月08日～2014年09月08日

Vienna (Austria)

岩上 翔，辻村 真貴，恩田 裕一，西野 正高，小沼 亮平，坂口 綾，横山 明
彦，山本 政儀，五十嵐 康人

“福島の森林小流域からの放射性セシウム”

日本原子力学会「2014年秋の大会」

2014年09月08日～2014年09月08日

京都大学吉田キャンパス（京都府・京都市）

Tateda, Y., Tsumune, D., Tsubono, T., Yoshimura, T., Misumi, K., Yamada, M., Kanda, J.,
Ishimaru, T.

“A state and problem in ^{137}Cs contamination in the marine biota along the Pacific coast of
eastern Japan derived from the dynamic biological model simulation after the Fukushima
accident”

International Conference on Radioecology and Environmental Radioactivity 2014

2014年09月07日～2014年09月12日

Barcelona (Spain)

Sugiura Y., Takenaka C., Kanasashi T., Deguchi S., Matuda Y., Ozawa H.

“Accumulation of Radiocesium in *Eleutherococcus sciadophylloides*”

International Conference on Radioecology and Environmental Radioactivity 2014

2014年09月07日～2014年09月12日

Barcelona (Spain)

Seitaro Deguchi, Yuki Sugiura, Yosuke Matsuda, Chitato Takenaka

“DISTRIBUTION OF ARBUSCULAR MYCORRHIZAS WITHIN *CHENGIO PANAX*

SCIADOPHYLLOIDES ROOT SYSTEM CONTAMINATED WITH RADIOCESIUM”

国際樹木根学会

2014年09月09日～2014年09月12日

名古屋大学（愛知県・名古屋市）

山田 孝・吉田 英晴・逢沢 峰昭・大久保 達弘・竹中 千里・関本 均

“落葉の腐熟に伴う放射性Csの化学形態変化と森林土壌における挙動について”

日本土壌肥料学会

2014年09月10日～2014年09月10日

東京農工大学（東京都・小金井市）

恩田 裕一

“福島事故後の放射性セシウムの陸域から河川への移行”

日本陸水学会第79回大会

2014年09月12日～2014年09月12日

筑波大学（茨城県・つくば市）

荒居 博之・福島 武彦・恩田 裕一

“霞ヶ浦における放射性セシウムの分布と動態”

日本陸水学会第79回大会

2014年09月12日～2014年09月12日

筑波大学（茨城県・つくば市）

五十嵐 康人、足立 光司、梶野 瑞王、財前 祐二、中井 泉、阿部 善也、飯

澤 勇信、佐藤 志彦、末木 啓介

“福島第一原発事故の初期に放出された放射性Csの物理・化学性状について”

第 58 回放射化学討論会

2014 年 09 月 12 日 ~ 2014 年 09 月 12 日

名古屋大学 (愛知県・名古屋市)

張 子見、二宮 和彦、北 和之、鶴田 治雄、五十嵐 康人、篠原 厚
“福島第一原子力事故初期に採取された大気試料中の ^{140}Ba の分析”

第 58 回放射化学討論会

2014 年 09 月 12 日 ~ 2014 年 09 月 12 日

名古屋大学 (愛知県・名古屋市)

王 ウェイ、金指 努、杉浦 佑樹、竹中 千里

“樹体内における放射性セシウムの分布と他の元素との関係”

第 58 回放射化学討論会

2014 年 09 月 13 日 ~ 2014 年 09 月 13 日

名古屋大学 (愛知県・名古屋市)

山田 正俊

“福島第一原子力発電所事故により放出された放射性核種の海水・沈降粒子・海底堆積物における分布の実態”

2014 年度日本地球化学会第 61 回年会

2014 年 09 月 16 日 ~ 2014 年 09 月 18 日

富山大学 (富山県・富山市)

田副 博文、山形 武靖、増田 雄基、永井 尚生、山田 正俊

“福島第一原子力発電所近海における表層海水中の ^{90}Sr 濃度分布”

2014 年度日本地球化学会第 61 回年会

2014 年 09 月 16 日 ~ 2014 年 09 月 18 日

富山大学 (富山県・富山市)

阿部 善也、飯澤 勇信、中井 泉、寺田 靖子、足立 光司、五十嵐 康人

“大気粉塵中の強放射性物質の放射光 X 線分析”

日本分析化学会第 63 年会

2014 年 09 月 19 日 ~ 2014 年 09 月 19 日

広島大学東広島キャンパス (広島県・東広島市)

Yuichi Onda

“Status of Cs migration studies at University of Tsukuba”

JAEA fukushima workshop(第2回 セシウムワークショップ)

2014年10月06日～2014年10月06日

ユニックスビル(福島県・福島市)

Tsutomu Kanasashi, Yuki Sugiura, Chisato Takenaka and Hajime Ozawa

“Seasonal change of cesium 137 in different age needles and male flowers of Japanese cedar
(Cryptomeria japonica) in Fukushima”

International Union of Forest Research Organizations 2014 World Congress (IUFRO2014)

2014年10月06日～2014年10月09日

Salt Lake City (USA)

Chisato Takenaka, Yuki Sugiura, Mitsutoshi Umemura, Tsutomu Kanasashi

“Transport of cesium in Japanese bamboo: perspective on decontamination of radiocaesium
from bamboo forests”

International Union of Forest Research Organizations 2014 World Congress (IUFRO2014)

2014年10月06日～2014年10月09日

Salt Lake City (USA)

原 竜弥、富岡 利恵、竹中 千里、青木 弾、福島 和彦

“樹木におけるセシウムの存在形態について —有機物との関係—”

第4回中部森林学会大会

2014年10月25日～2014年10月25日

名古屋大学(愛知県・名古屋市)

出口 世太郎、松田 陽介、杉浦 佑樹、竹中 千里、小澤 創

“放射性セシウムで汚染されたコシアブラの根系におけるアーバスキュラー菌根菌の分
布”

第4回中部森林学会大会

2014年10月25日～2014年10月25日

名古屋大学(愛知県・名古屋市)

北 和之他 22名

“福島において観測された大気放射性セシウムの再飛散と季節変動”

第20回大気化学討論会

2014年10月29日～2014年10月29日

東京農工大学（東京都・府中市）

佐藤 志彦、末木 啓介、笹 公和、足立 光司、五十嵐 康人

“土壤中のセシウム含有粒子の分析”

日本放射線安全管理学会，第 13 回学術大会

2014 年 12 月 04 日～2014 年 12 月 04 日

徳島大学大塚講堂（徳島県・徳島市）

石塚 正秀、三上 正男、田中 泰宙、五十嵐 康人、北和 之、山田 豊、吉田

尚弘、豊田 栄、佐藤 志彦、高橋 嘉夫、二宮 和彦、篠原 厚

“福島県浪江町における放射性物質の地表面からの再飛散に関する研究”

風送ダストに関する現状と今後の展開に関する研究集会

2014 年 12 月 12 日～2014 年 12 月 12 日

九州大学応用力学研究所（福岡県・春日市）

阿部 善也、飯澤 勇信、中井 泉、足立 光司、五十嵐 康人、寺田 靖子

“福島第一原発事故由来の放射性大気粉塵の放射光 X 線分析”

東北大学金属材料研究所 共同利用ワークショップ

2014 年 12 月 16 日～2014 年 12 月 16 日

東北大学金属材料研究所（宮城県・仙台市）

Nakajima, T.

“Understanding of atmospheric transport modeling of fallout radionuclides and migration processes”

International Symposium on Interdisciplinary Study on Environmental Transfer of Radionuclides from the Fukushima Daiichi NPP Accident

2015 年 01 月 09 日～2015 年 01 月 10 日

筑波大学（茨城県・つくば市）

Yasuhito Igarashi

“Understanding of deposition, diffusion processes and land atmospheric interaction of radioactive”

International Symposium on Interdisciplinary Study on Environmental Transfer of Radionuclides from the Fukushima Daiichi NPP Accident

2015 年 01 月 09 日～2015 年 01 月 10 日

筑波大学（茨城県・つくば市）

Yuichi Onda

“Understanding the migration process of radionuclides associated with water and sediment movement”

International Symposium on Interdisciplinary Study on Environmental Transfer of Radionuclides from the Fukushima Daiichi NPP Accident

2015年01月09日～2015年01月10日

筑波大学（茨城県・つくば市）

Masatoshi Yamada

“Understanding of the distribution of radioactive materials in sea and seafloor sediment”

International Symposium on Interdisciplinary Study on Environmental Transfer of Radionuclides from the Fukushima Daiichi NPP Accident

2015年01月09日～2015年01月10日

筑波大学（茨城県・つくば市）

飯澤 勇信、小野 貴大、阿部 善也、中井 泉、寺田 靖子、佐藤 志彦、二宮 和彦、
足立 光司、五十嵐 康人

“放射光 X 線分析による福島第一原発事故由来の放射性粒子の物理・化学性状の解明”
第 26 回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム

2015年01月12日～2015年01月12日

立命館大学びわこ・くさつキャンパス（滋賀県・草津市）

Tsuruta, H., Oura, Y., Ebihara, M., Ohara, T., Nakajima, T.

“First Retrieval of Hourly Atmospheric Radionuclides Concentrations just after the Fukushima Accident by Analyzing Filter-tapes of Operational Air Pollution Monitoring Stations in Eastern Japan”

International workshop on dispersion and deposition modeling for nuclear accident releases -
Transfer of science from academic to operational models

2015年03月02日～2015年03月04日

福島大学（福島県・福島市）

松中 哲也、笹 公和、末木 啓介、恩田 裕一、石丸 隆、谷口 圭輔、
脇山義史、本多 真紀、高橋 努、松村 万寿美、佐藤 志彦、松崎 浩之

“福島原発事故起源ヨウ素 129 の陸域から海洋環境への移行研究”

第 16 回「環境放射能」研究会

2015年03月09日～2015年03月09日
高エネルギー加速器研究機構（茨城県・つくば市）

鶴田 治雄、大浦 泰嗣、海老原 充、大原 利眞、中島 映至
“大気浮遊粒子状物質(SPM)自動測定器の使用済みテープ状フィルターの放射性核種測定”

第16回「環境放射能」研究会
2015年03月10日～2015年03月10日
高エネルギー加速器研究機構（茨城県・つくば市）

山本 政儀
“放射能と歩んだ40年 - 低レベル放射能実験施設と共に - ”
第16回「環境放射能」研究会
2015年03月11日～2015年03月11日
高エネルギー加速器研究機構（茨城県・つくば市）

古谷 真人、羽田野 祐子、五十嵐 康人
“空間線量率の変動と気象条件の相関に関する研究”
第16回「環境放射能」研究会
2015年03月10日～2015年03月11日
高エネルギー加速器研究機構（茨城県・つくば市）

出口 世太郎、松田 陽介、杉浦 佑樹、竹中 千里、小澤 創、緒方 良至
“放射性セシウムで汚染されたコシアブラの根系における根内共生菌の分布”
日本生態学会
2015年03月19日～2015年03月22日
鹿児島大学（鹿児島県・鹿児島市）

綾部 慈子、金指 努、吉田 智弘、肘井 直樹、竹中 千里
“節足動物における放射性セシウム集積と他元素との関係”
日本生態学会
2015年03月19日～2015年03月22日
鹿児島大学（鹿児島県・鹿児島市）

加藤 弘亮、恩田 裕一、Loffredo, Nicolas、久留 景吾、河守 歩
“森林環境中の放射性セシウムの移行が林内空間線量率に及ぼす影響”

第 126 回日本森林学会大会

2015 年 03 月 26 日～2015 年 03 月 29 日

北海道大学（北海道・札幌市）

渡邊 菜月、黄 よう、逢沢 峰昭、飯塚 和也、関本 均、大久保 達弘、竹中
千里、金子 信博

“森林の落葉分解過程における放射性セシウムの移行—異なる植生間の比較—”

第 126 回日本森林学会大会

2015 年 03 月 27 日～2015 年 03 月 29 日

北海道大学（北海道・札幌市）

梅村 光俊、金指 努、杉浦 佑樹、竹中 千里

“モウソウ竹林における放射性セシウムの分布と挙動”

第 126 回日本森林学会大会

2015 年 03 月 27 日～2015 年 03 月 29 日

北海道大学（北海道・札幌市）

原 竜弥、富岡 利恵、松下 泰幸、青木 弾、福島 和彦、竹中 千里

“樹木構成成分の Cs 保持特性”

第 126 回日本森林学会大会

2015 年 03 月 27 日～2015 年 03 月 29 日

北海道大学（北海道・札幌市）

近藤 昭彦

“旧計画的避難区域における環境回復と生業復活の試み：川俣町山木屋地区における地
域と大学の協働”

農村計画学会 2014 年度春期大会シンポジウム「東日本大震災と農村計画学会—震災後
3 年の復興・生活再建の課題・成果・深化の展望—」

2014 年 04 月 12 日～2014 年 04 月 12 日

東京大学弥生講堂（東京都・文京区）

Yukihiko Satou, Keisuke Sueki, Kimikazu, Sasa, Tetsuya Matsunaka, Nao Shibayama,
Tsutom Takahashi, Norikazu Kinoshita

“Activity ratios in soil contaminated by the source of different reactor condition in the FDNPP
accident”

European Geoscience Union (EGU) General Assembly 2014

2014年04月27日～2014年05月02日

Vienna (Austria)

末木 啓介、北川 潤一、笹 公和、高橋 努、松村 万寿美、木下 哲一、戸崎 裕貴、
松四 雄騎、松崎 浩之

“福島事故以前における表層土壌中の放射性核種塩素-36 とヨウ素-129 の分布”

日本地球惑星科学連合 2014 年大会

2014年04月28日～2014年05月02日

パシフィコ横浜（神奈川県・横浜市）

佐藤 志彦、末木 啓介、笹 公和、松中 哲也、柴山 尚大、高橋 努、木下 哲一

“福島第一原発の北西地域における表層土壌の放射能比による3つの区分”

日本地球惑星科学連合 2014 年大会

2014年04月28日～2014年05月02日

パシフィコ横浜（神奈川県・横浜市）

松中 哲也、笹 公和、末木 啓介、高橋 努、松村 万寿美、佐藤 志彦、柴山 尚大、
北川 潤一、木下 哲一、松崎 浩之

“福島第一原子力発電所事故前後における土壌中の¹²⁹I と¹³⁷Cs の深度分布”

日本地球惑星科学連合 2014 年大会

2014年04月28日～2014年05月02日

パシフィコ横浜（神奈川県・横浜市）

笹 公和、松村 万寿美、末木 啓介、高橋 努、松中 哲也、佐藤 志彦、柴山 尚大、
木下 哲一、西原 健司、松崎 浩之

“福島第一原発事故により放出された¹²⁹I の分布と¹³¹I/¹²⁹I 比の評価”

日本地球惑星科学連合 2014 年大会

2014年04月28日～2014年05月02日

パシフィコ横浜（神奈川県・横浜市）

小林 達明、山本 理恵、高橋 輝昌、近藤 昭彦、鈴木 弘明、保高 徹生

“福島第一原子力発電所事故後の里山の放射性環境モニタリング”

日本景観生態学会第24回大会

2014年06月27日～2014年06月27日

金沢市地場産業振興センター(石川県・金沢市)

Yukihiko Satou, Keisuke Sueki, Kimikazu, Sasa, Tetsuya Matsunaka, Nao Shibayama,
Tsutom Takahashi, Norikazu Kinoshita

“Source estimation of radioactive materials on the ground at the northwestern area from the
Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant”

Asia Oceania Geosciences Society 2014

2014年07月28日～2014年08月01日

ロイトン札幌ホテル（北海道・札幌市）

Kimikazu Sasa, Keisuke Sueki, Tsutom Takahashi, Masumi Matsumura, Tetsuya Matasunaka,
Yukihiko Satou, Nao Shibayama, Norikazu Kinoshita, Junichi Kitagawa, Kenji Nishihara,
Hiroyuki Matsuzaki

“Distribution of ^{129}I in terrestrial environment released from the Fukushima Dai-ichi Nuclear
Power Plant accident”

The 13th International Conference on Accelerator Mass Spectrometry

2014年08月24日～2014年08月29日

Provence（France）

Keisuke Sueki, Nao Shibayama, Yukihiko Satou, Kimikazu Sasa, Tsutom Takahashi, Tetsuya
Matsunaka, Masumi Matsumura, Hiroyuki Matsuzaki, Michio Murakami, Rei Yamashita,
Sara Mahua, Hideshige Takada., Yukio Koibuchi, Lamxay Soulichan, O Haecong, Goro
Mouri, Taikan Oki

“Behavior of Iodine-129 and Radioactive Cesium in Japanese River”

The 13th International Conference on Accelerator Mass Spectrometry

2014年08月24日～2014年08月29日

Provence（France）

Keisuke Sueki, Jun-ichi Kitagawa, Kimikazu Sasa, Tsutom Takahashi, Masumi Matsumura,
Yasuo Ngashima, Norikazu Kinoshita, Yuki Tosak, Hiroyuki Matsuzaki

“Background levels of radionuclides ^{36}Cl and ^{129}I in surface soils at East Japan before
Fukushima accident”

The 13th International Conference on Accelerator Mass Spectrometry

2014年08月24日～2014年08月29日

Provence（France）

Yukihiko Satou, Keisuke Sueki, Kimikazu Sasa, Tetsuya Matsunaka, Tsutom Takahashi, Nao
Sbayama, Daiki Izumi, Norikazu Kinoshita, Hiroyuki Matsuzaki

“Development of Strontium-90 AMS in Japan: Progress report”

The 13th International Conference on Accelerator Mass Spectrometry

2014年08月24日～2014年08月29日

Provence (France)

Tetsuya Matsunaka, Kimikazu Sasa, Keisuke Sueki, Tsutomu Takahashi, Masumi Matsumura,
Ykihiko Satou, Nao Shibayama, Jun-ichi Kitagawa, Norikazu Kinoshita, Hiroyuki
Matsuzaki

“Depth profiles of ^{129}I and $^{129}\text{I} / ^{127}\text{I}$ ratio in soil at the near-field site of the Fukushima Dai-ichi
Nuclear Power Plant”

The 13th International Conference on Accelerator Mass Spectrometry

2014年08月24日～2014年08月29日

Provence (France)

Matsumura, M., Sasa, K., Sueki, K., Shibayama, N., Matsunaka, T., Takahashi, T., Satou, Y.,
and Matsuzaki, H.

“Successive comparison of the extent of ^{129}I contamination in the sample preparation room”

The 13th International Conference on Accelerator Mass Spectrometry

2014年08月24日～2014年08月29日

Provence (France)

近藤 昭彦

“山村の広域放射能汚染と暮らしの回復・復興”

日本学術会議公開シンポジウム「東日本大震災を教訓とした安全安心で持続可能な社
会の形成に向けて」

2014年09月07日～2014年09月07日

日本学術会議講堂(東京都・港区)

笹 公和、中 哲也、松村 万寿美、高橋 努、末木 啓介、佐藤 志彦、木下 哲一、松
崎 浩之

“福島第一原子力発電所事故起源 I-129 の陸域環境での移行と分布”

日本原子力学会「2014年秋の大会」

2014年09月08日～2014年09月10日

京都大学吉田キャンパス(京都府・京都市)

末木 啓介、柴山 尚大、佐藤 志彦、笹 公和、高橋 努、松中 哲也、松村 万寿美、
松崎 浩之、村上 道夫、山下 麗、Saha M.、高田 秀重、鯉淵 幸生、Lamxay S.、
呉 海鍾、守利 悟朗、沖 大幹

“河川中のセシウム 134、137 とヨウ素 129 の挙動”

2014 日本放射化学会年会・第 58 回放射化学討論会

2014 年 09 月 11 日～2014 年 09 月 13 日

名古屋大学（愛知県・名古屋市）

佐藤 志彦、末 啓介、笹 公和、松中 哲也、柴山 尚大、高橋 努、木下 哲一

“福島原発から北西部における 110mAg : ¹³⁷Cs 比を用いた汚染地域の分類”

2014 日本放射化学会年会・第 58 回放射化学討論会

2014 年 09 月 11 日～2014 年 09 月 13 日

名古屋大学（愛知県・名古屋市）

本多 真紀、松崎 浩之、斉藤 拓巳、永井 尚生、末木 啓介

“逐次抽出法を利用した土壌中の I-127 と I-129 のエージング効果の調査”

2014 日本放射化学会年会・第 58 回放射化学討論会

2014 年 09 月 11 日～2014 年 09 月 13 日

名古屋大学（愛知県・名古屋市）

田中 伴樹、濱 侃、佐藤 周、早崎 有香、布和 宝音、近藤 昭彦

“里山流域における放射能汚染の実態と移行過程の地理学的認識”

日本地理学会秋期 学術大会

2014 年 09 月 20 日～2014 年 09 月 20 日

富山大学（富山県・富山市）

佐藤 周、濱 侃、田中 伴樹、早崎 有香、近藤 昭彦

“福島県川俣町山木屋地区における里山の変遷と原発事故による人と自然の分断”

日本地理学会秋期 学術大会

2014 年 09 月 20 日～2014 年 09 月 20 日

富山大学（富山県・富山市）

早崎 有香、濱 侃、田中 圭、近藤 昭彦

“ラジコン電動マルチコプターによる空間線量率の三次元計測”

日本地理学会秋期 学術大会

2014 年 09 月 20 日～2014 年 09 月 20 日

富山大学（富山県・富山市）

本多 真紀、末木 啓介、坂口 綾、松中 哲也、笹 公和、大槻 勤、関本 俊

“質量分析法を用いた難測定人工放射性核種の定量 - 測定法の検討 - ”

日本質量分析学会 2014 年度同位体比部会

2014 年 11 月 26 日～2014 年 11 月 28 日

筑波山温泉旅館（茨城県・つくば市）

末木 啓介、笹 公和、松中 哲也、松村 万寿美、高橋 努、佐藤 志彦、木下 哲一、
松崎 浩之

“福島第一原発事故起源の I-129 の分布と陸域での I-131 の汚染影響推定”

日本放射線安全管理学会，第 13 回学術大会

2014 年 12 月 03 日～2014 年 12 月 05 日

徳島大学（徳島県・徳島市）

渡邊 雅也、末木 啓介、笹 公和、松村 万寿美、松中 哲也、本多 真紀、高橋努、松
崎 浩之

“つくば地域における ^{129}I 降下量の変動”

第 17 回 AMS シンポジウム

2015 年 03 月 02 日～2015 年 03 月 03 日

筑波大学（茨城県・つくば市）

富田 涼平、末木 啓介、笹 公和、松中 哲也、本多 真紀、佐藤 志彦、松村 万寿
美、高橋 努、坂口 綾、松崎 浩之

“原発事故以降の河川における放射性核種と溶存イオンの挙動”

第 17 回 AMS シンポジウム

2015 年 03 月 02 日～2015 年 03 月 03 日

筑波大学（茨城県・つくば市）

本多 真紀、末木 啓介、坂口 綾、松中 哲也、笹 公和

“トリプル四重極型 ICP-MS/MS による土壤中の難測定人工放射性核種 ^{129}I , ^{99}Tc の定量”

第 17 回 AMS シンポジウム

2015 年 03 月 02 日～2015 年 03 月 03 日

筑波大学（茨城県・つくば市）

佐藤 志彦、末木 啓介、笹 公和、松中 哲也、柴山 尚大、泉 大希、高橋 努、木下
哲一、松崎 浩之

“⁹⁰Sr-AMS のための固相抽出を用いた試料調製の検討”

第 17 回 AMS シンポジウム

2015 年 03 月 02 日 ~ 2015 年 03 月 03 日

筑波大学 (茨城県・つくば市)

荒居 博之、福島 武彦、恩田 裕一

“湖沼底質中の放射性セシウム鉛直分布の経年変化とその要因”

第 16 回環境放射能研究会

2015 年 03 月 09 日 ~ 2015 年 03 月 11 日

高エネルギー加速器研究機構 (茨城県・つくば市)

Yuichi Onda

“Time changes in radiocesium transfer to river systems affected by the Fukushima Daiichi
NPP”

IV International Conference "Modern problems of genetics, radiobiology, radioecology and
evolution

2015 年 06 月 03 日

St Petersburg

Yuichi Onda

“Radiocesium transfer by water and sediment discharge through river networks after the
Fukushima NPP accident”

13th International Conference on the Biogeochemistry of Trace Elements

2015 年 07 月 08 日

Fukuoka International Congress Center (Fukuoka, Hakata)

Yuichi Onda

“Time Changes in radiocesium wash-off from various land uses and transport through river
networks after the Fukushima Daiichi accident”

Fukushima/COMET workshop

2015 年 07 月 18 日

Yoshikawaya inn (Fukushima, Iizaka)

Yuichi Onda

“Importance and Remaining Issues in Studies of Secondary Migration of Radionuclides and Waste”

ISTC comittie

2015年11月05日～2015年11月06日

一橋大学（東京都・千代田区）

恩田 裕一

“放射性物質の移行に関する研究の現状と課題”

「東京電力福島第一原子力発電所事故による周辺水環境への影響 - 現状と課題 - 」

2015年11月24日

日本大学（東京都・世田谷区）

恩田 裕一

“陸域における放射性物質の移動と河川を通じた移行”

日本放射線安全管路学会 第14回学術大会 つくば

2015年12月02日

筑波大学（茨城県・つくば市）

AGU Fall Meeting

2015年12月14日

San Francisco

Hugo Lepage, J. Patrick Laceby, Olivier Evrard, Yuichi Onda, Chartin Caroline, Irene Lefevre, Philippe Bonte;, and Sophie Ayrault

“Using geochemical fingerprinting to track the dispersion of radioactive contamination along coastal catchments of the Fukushima Prefecture”

EGU (European Geosciences Union) General Assembly

2015年04月13日

ウィーン

Yuichi Onda, Keisuke Taniguchi, Hiroaki Kato, Kazuya Yoshimura, Yoshifumi Wakiyama, Sho Iwagami, Maki Tsujimura, Aya Sakaguchi, and Masatoshi Yamamoto

“Time changes in radiocesium concentration in aquatic systems affected by the Fukushima Daiichi NPP accident”

EGU (European Geosciences Union) General Assembly

2015年04月17日

Vienna, Austria

Mark Zheleznyak, Sergei Kivva,, Alexei Konoplev, Kenji Nanba, and Yuichi Onda
“Role of Reservoirs in Radionuclide Transport in the River Systems: Comparative Analyses for
the Rivers of the Chernobyl and Fukushima Fallout Zones”
EGU (European Geosciences Union) General Assembly
2015 年 04 月 17 日
Vienna, Austria

Olivier Evrard, Fabien Pointurier, Yuichi Onda, Caroline Chartin, Amelie Hubert, Hugo Lepage,
Anne-Claire Pottin, Irene Lefevre, Philippe Bonte, J. Patrick Laceby, and Sophie Ayrault
“Tracing the dispersion of contaminated sediment with plutonium isotope measurements in
coastal catchments of Fukushima Prefecture”
EGU (European Geosciences Union) General Assembly
2015 年 04 月 17 日
Vienna, Austria

Michio Aoyama, Daisuke Tsumune, Takaki Tsubono, Yasunori Hamajima, and Yuichiro
Kumamoto
“Long term behavior of radioactive plume of TEPCO FNPP1 released ^{134}Cs and ^{137}Cs in the
North Pacific Ocean through the end of 2014”
EGU (European Geosciences Union) General Assembly
2015 年 04 月 17 日
Vienna, Austria

Hugo Lepage, J. Patrick Laceby, Olivier Evrard, Yuichi Onda, Irene Lefevre, and Sophie
Ayrault
“Depth distribution of radiocesium in Fukushima paddy fields three years after the accident”
EGU (European Geosciences Union) General Assembly
2015 年 04 月 17 日
Vienna, Austria

J. Patrick Laceby, Caroline Chartin, Francesca Degan, Yuichi Onda, Olivier Evrard, Olivier
Cerdan, and Sophie Ayrault
“Rainfall erosivity in the Fukushima Prefecture: implications for radiocesium mobilization and
migration”
EGU (European Geosciences Union) General Assembly

2015 年 04 月 17 日

Vienna, Austria

Yukihiko Satou, Keisuke Sueki, Kimikazu Sasa, Kouji Adachi, and Yasuhito Igarashi

“Characterization study of cesium concentrated particles in the soils near the Fukushima Daiichi nuclear power plant”

EGU (European Geosciences Union) General Assembly

2015 年 04 月 17 日

Vienna, Austria

Hiroaki Kato, Yuichi Onda, Nicolas Loffredo, Ayumi Kawamori, and Keigo Hisadome

“Three-year monitoring study of radiocesium transfer and ambient dose rate in forest environments affected by the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident”

EGU (European Geosciences Union) General Assembly

2015 年 04 月 17 日

Vienna, Austria

Sergei Kivva, Mark Zheleznyak, Alexei Konoplev, Kenji Nanba, Yuichi Onda, and Yoshifumi Wakiyama

“Distributed modeling of radiocesium washoff from the experimental watershed plots of the Fukushima fallout zone”

EGU (European Geosciences Union) General Assembly

2015 年 04 月 17 日

Vienna, Austria

Vasyl Yoschenko, Kenji Nanba, Alexei Konoplev, Tsugiko Takase, Valery Kashparov, and Mark Zheleznyak

“Radiocesium distributions and fluxes in the forest ecosystems of Chernobyl and Fukushima”

EGU (European Geosciences Union) General Assembly

2015 年 04 月 17 日

Vienna, Austria

Yuichi Onda

“Center for Research in Isotopes and Environmental Dynamics, Japan”

IAEA(International Experts' Meeting

2015 年 04 月 22 日

Vienna, Austria

北 和之, 田村 匠, 田中 美佐子, 木野 日美子, 木名瀬 健, 出水 宏幸, 足立 光司,
財前 祐二, 五十嵐 康人, 豊田 栄, 山田 桂大, 吉田 尚弘, 二宮 和彦, 阿部 善也,
中井 泉, 大河内 博, 石塚 正秀, 恩田 裕一

“放射性セシウムの大気再飛散担体粒子の解明”

日本地球惑星科学連合

2015 年 05 月 26 日

幕張メッセ (千葉県・千葉市)

木名瀬 健, 北 和之, 田中 美佐子, 出水 宏之, 五十嵐 康人, 足立 光司, 三上 正男,
山田 桂太, 豊田 栄, 吉田 尚弘, 篠原 厚, 二宮 和彦, 大河内 博, 石塚 正秀, 川島 洋
人, 中井 泉, 阿部 善也, 恩田 裕一

“ ^{137}Cs 及び ^{134}Cs の大気中放射能濃度と粒径分布の季節変動”

日本地球惑星科学連合

2015 年 05 月 26 日

幕張メッセ (千葉県・千葉市)

鶴田 治雄, 大浦 泰嗣, 海老原 充, 大原 利真, 中島 映至

“SPM 計使用済みテープろ紙の分析による福島第一原子力発電所事故直後の大気中放
射性核種の時空間分布の復元”

日本地球惑星科学連合

2015 年 05 月 26 日

幕張メッセ (千葉県・千葉市)

恩田 裕一

“福島第一原子力発電所事故後の河川ネットワークを通じた水・土砂流出に伴う放射性
セシウム移行”

日本地球惑星科学連合

2015 年 05 月 26 日

幕張メッセ (千葉県・千葉市)

加藤 弘亮, 恩田 裕一, ロフレドニコラ, 河守 歩, 久留 景吾

“福島第一原子力発電所事故から 3 年間の森林環境中における放射性セシウム移行と
空間線量率変化”

日本地球惑星科学連合

2015年05月26日

幕張メッセ（千葉県・千葉市）

岩上 翔, 恩田 裕一, 辻村 真貴, 小沼亮 平, 榊原 厚一

“福島県山木屋町の山地源流域における溶存態・浮遊砂・粗大有機物によるセシウム
137 流出”

日本地球惑星科学連合

2015年05月26日

幕張メッセ（千葉県・千葉市）

長尾 誠也, 田堂 修, 上村 宙, 金森 正樹, 桐島 陽, 宮田 佳樹, 落合 伸也, 山 政儀

“2011-2014 年の福島県内の新田川における放射性セシウムの移行挙動”

日本地球惑星科学連合

2015年05月26日

幕張メッセ（千葉県・千葉市）

脇山 義史, 恩田 裕一, Golosov Valentin, Konoplev Alexei, 高瀬 つぎ子, 難波 謙二

“福島第一原発事故後の新田川流域からの放射性セシウムの流出”

日本地球惑星科学連合

2015年05月26日

幕張メッセ（千葉県・千葉市）

佐藤 志彦, 末木 啓介, 笹 公和, 足立 光司, 五十嵐 康人

“福島第一原発周辺で採取した土壌から分離した放射性微粒子の同定”

日本地球惑星科学連合

2015年05月26日

幕張メッセ（千葉県・千葉市）

熊本 雄一郎, 山田 正俊, 青山 道夫, 浜島 靖典, 村田 昌彦, 河野 健

“2011年の海域モニタリングで採取された予備海水試料中に含まれる放射性セシウム
濃度の測定”

日本地球惑星科学連合

2015年05月26日

幕張メッセ（千葉県・千葉市）

山西 琢文, 内山 雄介, 恩田 裕一, 津旨 大輔, 三角 和弘

“河川由来懸濁態放射性核種の福島県沿岸域での分散について”

日本地球惑星科学連合

2015年05月26日

幕張メッセ（千葉県・千葉市）

青山 道夫, 浜島 靖典, Hult Mikael, 植松 光夫, 岡 英太郎, 津旨 大輔, 熊本 雄一郎

“福島第一原発事故により放出された ^{134}Cs と ^{137}Cs の北太平洋における表層輸送経路および鉛直分布”

日本地球惑星科学連合

2015年05月26日

幕張メッセ（千葉県・千葉市）

猪股 弥生, 青山 道夫, 坪野 孝樹, 津旨 大輔, 廣瀬 勝己

“最適内挿法による福島原発事故により放出された ^{134}Cs 及び ^{137}Cs の分布及びインベントリ見積もり”

日本地球惑星科学連合

2015年05月26日

幕張メッセ（千葉県・千葉市）

張 子見, 二宮 和彦, 篠原 厚

“噴霧乾燥法による放射性エアロゾル発生システムの開発”

日本地球惑星科学連合

2015年05月26日

幕張メッセ（千葉県・千葉市）

五十嵐 康人, 財前 祐二, 足立 光司, 梶野 瑞王

“榛名山における放射性ストロンチウムとセシウムの降下量”

日本地球惑星科学連合

2015年05月26日

幕張メッセ（千葉県・千葉市）

青井 裕介, 福士 圭介, 富原 聖一, 吉田 光輔, 糸野 妙子, 柏谷 健二, 長尾 誠也

“福島県いわき市ため池における放射性セシウム汚染土壌の堆積過程”

日本地球惑星科学連合

2015年05月26日

幕張メッセ（千葉県・千葉市）

神林 翔太, 張 勁, 廣上 清一, 成田 尚史, 柴沼 成一郎

“福島県松川浦における放射性セシウムの堆積状況及び移行過程の詳細解明”

日本地球惑星科学連合

2015年05月26日

幕張メッセ(千葉県・千葉市)

小野 貴大, 飯澤 勇信, 阿部 善也, 中井 泉, 寺田 靖子, 佐藤 志彦, 二宮 和彦, 足立
光司, 五十嵐 康人

“福島県内の堆積物中から分離された原発事故由来の強放射性粒子の放射光 X 線分析”

日本地球惑星科学連合

2015年05月26日

幕張メッセ(千葉県・千葉市)

中村 典子, 恩田 裕一, 近藤 昭彦, 脇山 義史

“USLE モデルに基づく放射性セシウム分布および移行量の広域評価”

日本地球惑星科学連合

2015年05月26日

幕張メッセ(千葉県・千葉市)

恩田 裕一

“荒廃人工林のお管理による流量増加と河川の環境の改善を図る革新的な技術の開発”

C R E S T 「第4回シンポジウム」

2015年06月12日

東京大学(東京都、文京区)

Tsujimura1, M., Onda, Y., Iwagami, S., Nishino, M., Abe, Y. and Konuma, R.

“Dynamics of radio cesium released by Fukushima NPP accident in groundwater, surface water
and spring water in the headwater catchments”

IUGG (International Union of Geodesy and Geophysics) General Assembly, Oral Session,

HW15-3483

2015年06月24日

チェコ

Yuichi Onda

“Increasing in watershed runoff by the management practice of devastated forest plantation in Japan”

4th International conference Forests and Water in a Changing Environment

2015年07月07日

Kelowna, BC (Canada)

加藤 弘亮, 恩田 裕一, Nicolas Loffredo, 河守 歩, 久留 景吾

“福島第一原子力発電事故から3年間の森林環境中における放射性セシウム移行と空間線量率変化”

日本原子力学会 2015年秋の大会

2015年09月09日

静岡大学 (静岡県・静岡市)

脇山 義史, Valentin Golosov, Alexei Konoplev, 高瀬 つぎ子, 難波 謙二, 恩田 裕一

“福島第一原発事故後の新田川流域からの放射性セシウムの流出”

日本原子力学会 2015年秋の大会

2015年09月09日

静岡大学 (静岡県・静岡市)

恩田 裕一

“福島第一原子力発電所事故後の河川ネットワークを通じた水・土砂流出に伴う放射性セシウム移行”

日本原子力学会 2015年秋の大会

2015年09月09日

静岡大学 (静岡県・静岡市)

岩上 翔, 恩田 裕一, 辻村 真貴, 榊原 厚一, 小沼 亮平

“福島県山木屋地区の山地源流域におけるセシウム 137 流出”

日本原子力学会 2015年秋の大会

2015年09月09日

静岡大学 (静岡県・静岡市)

谷口 圭輔

“阿武隈川河川敷における放射性セシウムの分布状況調査”

日本原子力学会 2015年秋の大会

2015年09月09日

静岡大学（静岡県・静岡市）

中村 典子

“USLE モデルに基づく放射性セシウム分布および移行量の広域評価”

日本原子力学会 2015 年秋の大会

2015 年 09 月 09 日

静岡大学（静岡県・静岡市）

高橋 嘉夫

“河川浮遊砂の RIP と陽イオン交換容量・有機物濃度・鉱物組成などの因子との関係”

日本原子力学会 2015 年秋の大会

2015 年 09 月 09 日

静岡大学（静岡県・静岡市）

加藤 弘亮， 恩田 裕一

“福島第一原子力発電所事故から 3 年間の森林環境中における放射性セシウム移行状況
について”

2015 年度日本地球科学学会第 62 回年会

2015 年 09 月 17 日

横浜国立大学（神奈川県・横浜市）

恩田 裕一、谷口 圭輔

“福島事故起源の放射性物質の陸域から海洋への移行”

2015 年度日本地球科学学会第 62 回年会

2015 年 09 月 17 日

横浜国立大学（神奈川県・横浜市）

松中 哲也、笹 公和、末木 啓介、恩田 裕一、石丸 隆、谷口 圭輔、脇山 義史、
高橋 努、松村 万寿美、松崎 浩之

“福島原発起源ヨウ素 129 の陸域から海洋への移行研究”

2015 年度日本地球科学学会第 62 回年会

2015 年 09 月 17 日

横浜国立大学（神奈川県・横浜市）

Hiroaki KATO

“Radiocesium transfer and ambient dose rate in Japanese forest environment following the Fukushima accident”

Tsukuba Global Science Week 2015

2015年09月29日

つくば国際会議場

Iwagami, S., Onda, Y., Tsujimura, M., Sakakibara, K. and Konuma, R.

“Radioactive Cs-137 discharge from Headwater Forested Catchment in Fukushima after Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant Accident”

Tsukuba Global Science Week 2015

2015年09月29日

つくば国際会議場

Yuichi Onda

“Time changes in suspended sediment radiocesium concentration in rivers in Fukushima affected by the Fukushima Daiichi NPP accident”

American Geophysical Union Fall Meeting 2015

2015年12月14日

サンフランシスコ

Sophie Ayrault, Olivier Evrard, Fabien Pointurier, Yuichi Onda, J. Patrick Lacey, Hugo Lepage, Caroline Chartin, Maeva Cirella, Anne-Claire Pottin, Amelie Hubert, Irene Lefevre

“Using radiocesium and plutonium isotopes to trace the dispersion of contaminated sediment in Fukushima coastal catchments”

American Geophysical Union Fall Meeting 2015

2015年12月14日

サンフランシスコ

Hiroaki KATO, Yuichi ONDA

“Effect of radiocesium transfer on ambient dose rate in forest environments affected by the Fukushima Nuclear Power Plant accident”

American Geophysical Union Fall Meeting 2015

2015年12月14日

サンフランシスコ

Sho Iwagami, Yuichi Onda, Maki Tsujimura, Koichi Sakakibara, and Ryohei Konuma
“Radioactive Cs-137 discharge from Headwater Forested Catchment in Fukushima after
Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant Accident”

Americal Geophysical Union Fall Meeting 2015

2015 年 12 月 14 日

サンフランシスコ

Mark Zheleznyak, Sergii Kivva, Kenji Nanba, Yoshifumi Wakiyama, Alexei Konoplev, Yuichi
Onda, Eduardo Gallego, Liana Papush, Volodymyr Maderych

“Multiscale Modeling of Radioisotope Transfers in Watersheds, Rivers, Reservoirs and Ponds
of Fukushima Prefecture”

Americal Geophysical Union Fall Meeting 2015

2015 年 12 月 14 日

サンフランシスコ

Yoshifumi Wakiyama, Yuichi Onda, Kazuya Yoshimura, Junko Takahashi, Noriko Nakamura,
Ryo Manome

“Long-term Trends of Plot-scale Cs-137 Wash-off on Various Land Uses in the Area Affected
by the Accident of Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant”

Americal Geophysical Union Fall Meeting 2015

2015 年 12 月 14 日

サンフランシスコ

J. Patrick Laceby, Hugo Lepage, Phillippe Bonte, Jean-Louis Joron, Yuichi Onda, Irene
Lefevre, Sophie Ayrault, Olivier Evrard

“Examining Sediment-bound Radiocesium Dynamics in Two Fukushima Coastal Catchments
with Sediment Fingerprinting Techniques”

Americal Geophysical Union Fall Meeting 2015

2015 年 12 月 14 日

サンフランシスコ

Sergii Kivva, Mark Zheleznyak, Yuichi Onda, Kenji Nanba, Yoshifumi Wakiyama, Alexei
Konoplev

“Developing of Watershed Radionuclide Transport Model DHSVM-R as Modification and
Extension of Distributed Hydrological and Sediment Dynamics Model DHSVM”

Americal Geophysical Union Fall Meeting 2015

2015年12月14日
サンフランシスコ

Kimika Sano, Takashi Gomi, Marino Hiraoka, Takanori Sato, Yuichi Onda
“Hydrological responses in water loss due to thinning of forested watersheds in Japan using the
short-term water balance method”

American Geophysical Union Fall Meeting 2015

2015年12月14日
サンフランシスコ

恩田 裕一

“IAEAの環境研究所（サイバースドルフ研究所，モナコ海洋環境研究所）の将来計画
についての助言”

Experts Meeting Future of the IAEA Environment Laboratories

2016年04月19日～2016年04月21日
モナコ

Olivier Saunier, Anne Mathieu, Thomas Sekiyama, Mizuo Kajino, Kouji Adachi, Marc
Bocquet, Yasuhito Igarashi, and Damien Didier

“A new perspective on the Fukushima releases brought by newly available air concentration
observations (Tsuruta et al, 2014) and reliable meteorological fields”

European Geosciences Union Assembly 2016

2016年04月22日
Vienna, Austria

Yusuke Uchiyama, Takafumi Yamanishi, Daisuke Tsumune, Kazuhiro Misumi, and Yuichi Onda

“Three-dimensional modeling of oceanic dispersal of land-derived multi-class suspended
radionuclides after the Fukushima Dai-ichi accident”

European Geosciences Union Assembly 2016

2016年04月22日
Vienna, Austria

Vasyl Yoschenko, Alexei Konoplev, Tsugiko Takase, Kenji Nanba, Yuichi Onda, Mark
Zheleznyak, and Sergii Kivva

“Study of the radiocesium dynamics in the Fukushima forest ecosystems”

European Geosciences Union Assembly 2016

2016年04月22日

Vienna, Austria

Alexei Konoplev, Kenji Nanba, Yuichi Onda, Valentin Golosov, Yoshifumi Wakiyama, Tsugiko Takase, Vasyl Yoschenko, and Mark Zheleznyak

“Differences and similarities between behavior of Fukushima-derived and Chernobyl-derived radiocesium in the environment”

European Geosciences Union Assembly 2016

2016年04月22日

Vienna, Austria

Yuichi Onda, Keisuke Taniguchi, Hugh Smith, William Blake, and Kazuya Yoshimura

“Radiocesium fluxes in rivers across the Fukushima fallout region to 2015 and their controlling factors”

European Geosciences Union Assembly 2016

2016年04月22日

Vienna, Austria

Sho Iwagami, Maki Tsujimura, Yuichi Onda, Koichi Sakakibara, Ryohei Konuma, and Yutaro Sato

“Measurement of dissolved Cs-137 in stream water, soil water and groundwater at Headwater Forested Catchment in Fukushima after Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant Accident”

European Geosciences Union Assembly 2016

2016年04月22日

Vienna, Austria

Haruo Tsuruta, Yasuji Oura, Mitsuru Ebihara, Toshimasa Ohara, Yuichi Moriguchi, and Teruyuki Nakajima

“Comprehensive Retrieval of Spatio-temporal Variations in Atmospheric Radionuclides just after the Fukushima Accident by Analyzing Filter-tapes of Operational Air Pollution Monitoring Stations in Eastern Japan”

European Geosciences Union Assembly 2016

2016年04月22日

Vienna, Austria

Masato Furuya, Yuko Hatano, Tomoo Aoyama, Yasuhito Igarashi, Kazuyuki Kita, and
Masahide Ishizuka

“Correlation-study about the ambient dose rate and the weather conditions”

European Geosciences Union Assembly 2016

2016年04月22日

Vienna, Austria

Mizuo Kajino, Masahide Ishizuka, Yasuhito Igarashi, Kazuyuki Kita, Chisato Yoshikawa, and
Masaru Inatsu

“Long-term assessment of airborne radio-caesium after the Fukushima nuclear accident: re-
suspension from soil and vegetation (solicited)”

European Geosciences Union Assembly 2016

2016年04月22日

Vienna, Austria

Raphael Perillat, Irene Korsakissok, Vivien Mallet, Anne Mathieu, Thomas Sekiyama, Damien
Didier, Mizuo Kajino, Yasuhito Igarashi, and Kouji Adachi

“Using meteorological ensembles for atmospheric dispersion modelling of the Fukushima
nuclear accident”

European Geosciences Union Assembly 2016

2016年04月22日

Vienna, Austria

Arnaud Querel, Denis Quelo, Yelva Roustan, Anne Mathieu, Mizuo Kajino, Thomas Sekiyama,
Kouji Adachi, Damien Didier, and Yasuhito Igarashi

“Sensitivity study of the wet deposition schemes in the modelling of the Fukushima accident.”

European Geosciences Union Assembly 2016

2016年04月22日

Vienna, Austria

Akiyo Yatagai, Masatoshi Yamauchi, Masahito Ishihara, Akira Watanabe, and Ken T. Murata

“Cloud conditions for low atmospheric electricity during disturbed period after the Fukushima
nuclear accident”

European Geosciences Union Assembly 2016

2016年04月22日

Vienna, Austria

Michio Aoyama, Daisuke Tsumune, Takaki Tsubono, Yasunori Hamajima, Yayoi Inomata, and
Yuichiro Kumamoto

“Trans Pacific Ocean in surface layer and subduction and re-circulation in the ocean interior of
radiocaesium released from TEPCO FNPP1 accident through the end of 2015 (solicited)”

European Geosciences Union Assembly 2016

2016年04月22日

Vienna, Austria

Hiroaki Kato and Yuichi Onda

“Influence of radiocaesium transfer and decontamination on ambient dose in Japanese forest
environment”

European Geosciences Union Assembly 2016

2016年04月22日

Vienna, Austria

Manuel Lepez-Vicente, Yuichi Onda, Junko Takahashi, Hiroaki Kato, and Keigo Hisadome

“Effect of tree thinning and litter removal on the radiocaesium (Cs-134, 137) discharge rates in
the Kawauchi forest plantation (Fukushima Prefecture, northern Japan)”

European Geosciences Union Assembly 2016

2016年04月22日

Vienna, Austria

Yoshifumi Wakiyama, Yuichi Onda, Kazuya Yoshimura, Noriko Nakamura, and Ryo Manome

“Long-term trends of plot-scale Cs-137 wash-off from various land uses in Fukushima”

European Geosciences Union Assembly 2016

2016年04月22日

Vienna, Austria

J. Patrick Laceby, Sylvain Huon Huon, Yuichi Onda, and Olivier Evrard

“Quantifying sediment source contributions in coastal catchments impacted by the Fukushima
nuclear accident with carbon and nitrogen elemental concentrations and stable isotope
ratios”

European Geosciences Union Assembly 2016

2016年04月22日

Vienna, Austria

Hiroki Oka and Yuko Hatano

“Stochastic modeling of the migration of Cs-137 in the soil considering a power law tailing in space”

European Geosciences Union Assembly 2016

2016年04月22日

Vienna, Austria

谷口 圭輔、倉元 隆之、恩田 裕一

“福島県を流れる河川における放射性セシウムの動態調査”

地球惑星科学連合 2016年大会

2016年05月23日

幕張メッセ国際会議場（千葉県・千葉市）

栗原 雄一、高橋 嘉夫、チャオフィ ファン、谷口 圭輔、三浦 輝、恩田 裕一

“福島原発事故により放出された放射性核種の環境動態”

地球惑星科学連合 2016年大会

2016年05月23日

幕張メッセ国際会議場（千葉県・千葉市）

北 和之、恩田 裕一、中島 映至、五十嵐 康人、山田 正俊、竹中 千里、山本 政儀、神田 穰太、篠原 厚、佐藤 志彦

“福島原発事故により放出された放射性核種の環境動態”

地球惑星科学連合 2016年大会

2016年05月23日

幕張メッセ国際会議場（千葉県・千葉市）

北 和之、他 21名

“夏/秋季における大気中の放射性セシウムの再飛散過程～生物—大気循環の可能性”

地球惑星科学連合 2016年大会

2016年05月23日

幕張メッセ国際会議場（千葉県・千葉市）

加藤 弘亮、恩田 裕一、河守 歩、久留 景吾

“森林樹冠から林床への放射性セシウムの移行がリター層及び土層中の放射性セシウム
存在量に及ぼす影響”

地球惑星科学連合 2016 年大会

2016 年 05 月 23 日

幕張メッセ国際会議場（千葉県・千葉市）

岩上 翔、辻村 真貴、恩田 裕一、坂口 綾、榊原 厚一、小沼亮平、佐藤 雄太
郎

“福島県山木屋地区の森林源流域、小斜面における溶存態セシウム 137 濃度の空間分
布”

地球惑星科学連合 2016 年大会

2016 年 05 月 23 日

幕張メッセ国際会議場（千葉県・千葉市）

脇山 義史、馬目 凌、恩田 裕一、吉村 和也

“侵食プロット観測およびレーザースキャン測量により推定した斜面スケールの Cs-
 137 流出プロセス”

日本地球惑星科学連合 2016 年大会

2016 年 05 月 23 日

幕張メッセ国際会議場（千葉県・千葉市）

恩田 裕一、谷口 圭輔、吉村 和也、脇山 義史

“河川に流出する放射性物質の濃度とフラックスと土地利用の関係 :チェルノブイリ調
査との比較”

日本地球惑星科学連合 2016 年大会

2016 年 05 月 23 日

幕張メッセ国際会議場（千葉県・千葉市）

脇山 義史、恩田 裕一

“さまざまな土地利用における土砂および放射性セシウムの流出プロセス”

日本原子学会 2016 年秋の大会

2016 年 09 月 09 日

久留米シティプラザ（福岡県・久留米市）

恩田 裕一、加藤 弘亮、ロフレド ニコラ、久留 景吾

“森林環境における福島第一原発事故から五年間の放射性セシウムの移行状況”

日本原子学会 2016 年秋の大会
2016 年 09 月 09 日
久留米シティプラザ (福岡県・久留米市)

谷口 圭輔、倉元 隆之、恩田 裕一、吉村 和也
“事故後 5 年間の河川を介した放射性セシウムの移行状況”
日本原子学会 2016 年秋の大会
2016 年 09 月 09 日
久留米シティプラザ (福岡県・久留米市)

岩上 翔、恩田 裕一、辻村 真貴、榊原 厚一、佐藤 雄太郎
“森林小流域における渓流水の溶存態セシウム ^{137}Cs 濃度低下傾向”
日本原子学会 2016 年秋の大会
2016 年 09 月 09 日
久留米シティプラザ (福岡県・久留米市)

Onda et al.
“Landuse, fate and transport of radionuclides in Fukushima in the terrestrial environment”
SECOND INTERNATIONAL CONFERENCE ON RADIOECOLOGICAL
CONCENTRATION PROCESSES
2016 年 11 月 06 日
Seville, Spain

S. Iwagami, M. Hada, I. Pun, M. Tsujimura, Y. Onda, H. Kato, A. Kawamori
“Vertical Profile of Dissolved ^{137}Cs Concentrations of Soil Water in Fukushima after
Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant Accident”
SECOND INTERNATIONAL CONFERENCE ON RADIOECOLOGICAL
CONCENTRATION PROCESSES
2016 年 11 月 06 日
Seville, Spain

J. Takahashi, T. Suda, R. Matsumura, K. Tamura, Y. Onda
“Downward Migration of Radiocesium in a Paddy Soil after the FDNPP Accident”
SECOND INTERNATIONAL CONFERENCE ON RADIOECOLOGICAL
CONCENTRATION PROCESSES
2016 年 11 月 06 日

Seville, Spain

Y. Wakiyama, Y. Onda, T. Takase, K. Yoshimura

“Cesium-137 Wash-off Associated with Soil Erosion on Various Land Uses in Fukushima”

SECOND INTERNATIONAL CONFERENCE ON RADIOECOLOGICAL
CONCENTRATION PROCESSES

2016年11月06日

Seville, Spain

M. Naulier, F. Eyrolle-Boyer, P. Boyer, L. Carasco, J-M. Metivier, Y. Onda

“Role of Organic Matter on Radiocaesium Transfers from Soils to Rivers near Fukushima”

SECOND INTERNATIONAL CONFERENCE ON RADIOECOLOGICAL
CONCENTRATION PROCESSES

2016年11月06日

Seville, Spain

Yuichi Onda, Kazuya Yoshimura, Keisuke Taniguchi, Takaaki Kubo, Hugh Smith, William
Brake, Takayuki Kuramoto and Takayuki Sato

“Change of Rainfall-runoff event hysteresis in suspended sediments due to surface
decontamination in the area affected by the Fukushima Daiichi nuclear power plant
accident”

AGU FALL MEETING 2016

2016年12月12日～2016年12月16日

San Francisco, the U.S

Yuichi Onda

“IAEAの環境研究所（サイバースドルフ研究所，モナコ海洋環境研究所）の将来計
画”

Third Research Co-ordination Meeting of Co-ordinated Research Project on “Response to
Nuclear Emergencies affecting Food and Agriculture

2017年02月20日～2017年02月24日

Vienna, Austria

栗原 雄一、高橋 嘉夫、チャオフィ ファン、谷口 圭輔、三浦輝、恩田 裕一

“河川浮遊砂の放射性セシウム捕捉ポテンシャル（RIP）と陽イオン交換容量・有機物
濃度・粒径・鉱物組成などの因子との関係”

日本地球惑星科学連合 2016 年大会
2016 年 05 月 23 日
幕張メッセ国際会議場（千葉県・千葉市）

恩田裕一
“流域から水・土砂移動に伴う放射性物質の移行過程”
第 18 回 「環境放射能」研究会
2017 年 03 月 14 日
高エネルギー加速器研究機構（茨城県・つくば市）

近藤裕昭
“Comparison of Dispersion of ^{137}Cs from F1NPP: Numerical Analysis and Record on Filter-Tape of Operational Air Pollution Monitoring “
ASAAQ2017
2017 年 5 月 29 日～2017 年 5 月 31 日
ストラスブル大学（フランスストラスブル市）

近藤裕昭、梶野瑞王、関山剛、滝川雅之、中島映至
“放射性物質の拡散解析に MSM と高時空間分解能の NHM-LETKF を使用した場合の差について、-AIST-MM の場合-“
第 58 回大気環境学会年会
2017 年 9 月 6 日～2017 年 9 月 8 日
兵庫医科大学（兵庫県神戸市）

鶴田治雄・大浦泰嗣・海老原充・大原利眞・森口祐一、中島映至
“福島第一原発近傍の 2 地点における SPM 計使用済みテーブろ紙の分析による放射性核種の動態”
日本地球惑星科学連合 連合大会(JpGU)2017 年大会
平成 29 年 5 月 25 日
幕張メッセ

小野崎晴佳・小野貴大・飯澤勇信・阿部善也・中井泉・足立光司・五十嵐康人・大浦泰嗣・海老原充・宮坂貴文・中村尚・鶴田治雄・森口祐一
“SPM テーブろ紙より分離された放射性エアロゾルの放射光 X 線複合分析による化学・物理的性状解明”
日本地球惑星科学連合 連合大会(JpGU)2017 年大会

平成 29 年 5 月 25 日

幕張メッセ

鶴田治雄・大浦泰嗣・海老原充・大原利眞・森口祐一・司馬 薫・草間優子・荒井俊
昭・松本伸弘・山田裕子・中島映至

“福島原発事故直後における大気環境測定局のテープろ紙中の放射性核種分析データか
ら明らかになったこと”

日本気象学会 2017 年度春季大会 講演予稿集、318

平成 29 年 5 月 28 日

国立オリンピック記念青少年総合センター

大浦泰嗣・鶴田治雄・海老原充・大原利眞・中島映至・森口祐一

“福島第一原発事故直後に採取された大気浮遊粒子中の放射性核種の測定方法の開発と
総合解析:(その 1) 放射性セシウムの定量”

第 54 回アイソトープ・放射線研究発表会要旨集、1

平成 29 年 7 月 5 日

東京大学弥生講堂

海老原充・大浦泰嗣・白井直樹・鶴田治雄・森口祐一・永川栄泰・櫻井昇・羽場宏
光・松崎浩之

“福島第一原発事故直後に採取された大気浮遊粒子中の放射性核種の測定方法の開発と
総合解析:(その 2) 放射性ヨウ素 (I-129) の定量”

第 54 回アイソトープ・放射線研究発表会要旨集、2

平成 29 年 7 月 5 日

東京大学弥生講堂

鶴田治雄・大浦泰嗣・海老原充・白井直樹・松崎浩之・森口祐一・大原利眞・中島映
至

“福島第一原発事故直後に採取された大気浮遊粒子中の放射性核種の測定方法の開発と
総合解析:(その 3) 放射性セシウムと放射性ヨウ素の大気中での動態”

第 54 回アイソトープ・放射線研究発表会要旨集、3

平成 29 年 7 月 5 日

東京大学弥生講堂

鶴田治雄・大浦泰嗣・海老原充・大原利眞・森口祐一・司馬 薫・草間優子・荒井俊
昭・山田裕子・中島映至

“福島原発事故直後の大気中放射性核種の動態”

第 57 回大気環境学会年会 講演要旨集、152

平成 29 年 9 月 8 日

兵庫医療大学

森口祐一・鶴田治雄・海老原充・大浦泰嗣・白井直樹・大原利眞・高木麻衣・森野
悠・五藤大輔・中山祥嗣・中島映至

“初期内部被ばく線量評価のための実測値・推計値の総合解析”

第 19 回環境放射能研究会講演要旨集、34

平成 30 年 3 月 15 日

高エネルギー加速器研究機構

海老原充・大浦泰嗣・白井直樹・永川栄泰・桜井昇・羽場宏光・松崎裕之・鶴田治
雄・森口祐一

“大気浮遊粒子試料中の I-129/I-131 比”

第 19 回環境放射能研究会講演要旨集、35

平成 30 年 3 月 15 日

高エネルギー加速器研究機構

大浦泰嗣・海老原充・白井直樹・松崎浩之・鶴田治雄・森口祐一

“自動 SPM 計でのテープろ紙の分析による大気中の福島原発事故由来 129I 濃度”

第 19 回環境放射能研究会講演要旨集、36

平成 30 年 3 月 15 日

高エネルギー加速器研究機構

鶴田治雄・海老原充・大浦泰嗣・白井直樹・松崎浩之・森口祐一・大原利眞・中島映
至

“福島第一原子力発電所事故初期の大気汚染監視網 SPM 測定地点における大気中 I-131
濃度の推定”

第 19 回環境放射能研究会講演要旨集、37

平成 30 年 3 月 15 日

高エネルギー加速器研究機構

大原利眞・高木麻衣・森野悠・五藤大輔・中山祥嗣・森口祐一・鶴田治雄

“大気拡散・ばく露評価統合モデルを用いた事故初期の経気道ばく露推計”

第 19 回環境放射能研究会講演要旨集、38

平成 30 年 3 月 15 日
高エネルギー加速器研究機構

Nakajima, T., D. Goto, Y. Morino, S. Misawa, H. Tsuruta, J. Uchida, T. Takemura, T. Ohara, Y. Oura, M. Ebihara, and M. Satoh, 2017

“Model simulations of the radioactive material plumes in the Fukushima nuclear power station accident.”

European Geophysical Union General Assembly

23-28 April, 2017

Vienna, Austria.

Tsuruta, H., Y. Oura, M. Ebihara, T. Ohara, Y. Moriguchi, and T. Nakajima

“2017: Comprehensive Analysis of Atmospheric Radionuclides just after the Fukushima Accident”

European Geophysical Union General Assembly

28 April, 2017

Vienna, Austria.

五十嵐康人

“放射性プルームは何からできていたか？”

シンポジウム「原発事故から 7 年、放射能汚染の状況はどこまで改善したのか」

2018 年 3 月 10 日

未来科学館（東京都江東区）

北和之、林奈穂、南光太郎、木村茉央、五十嵐康人、足立光司、財前祐二、牧輝弥、保坂健太郎、古川純、大河内博、石塚正秀、反町篤行

“福島山間部におけるバイオエアロゾルの放射性セシウム飛散における役割の推定”

第 11 回大気バイオエアロゾルシンポジウム

2018 年 2 月 20-21 日

信州大学長野キャンパス（長野県長野市）

牧輝弥、古本翔吾、朝日祐也、Kevin C. Lee、渡辺幸一、青木一真、村上正隆、田尻拓也、岩坂泰信

“立山積雪中に保存される黄砂バイオエアロゾル：微生物群集構造と氷核活性粒子との関係”

第 11 回大気バイオエアロゾルシンポジウム

2018年2月20日-21日

信州大学長野キャンパス（長野県長野市）

Yasuhito Igarashi, Naho Hayashi, Kazuyuki Kita, Teruya Maki, Yasunori Saito, Hiroshi Okochi,
Kentaro Hosaka, Kouichi Shiraishi, Takayuki Tomida, Kouji Adachi, Yuji Zaizen,
Masahide Ishizuka, Atsuyuki Sorimachi

“Aerosol Emission from Forest by Precipitation: New Perspective for Atmosphere-Forest
Interaction”

第11回大気バイオエアロゾルシンポジウム

2018年2月20-21日

信州大学長野キャンパス（長野県長野市）

K. Kita

“Bioecological resuspension of radiocesium found for the Fukushima nuclear accident
Ibaraki Univ.-IRSN international workshop on atmospheric radio-caesium and bio-aerosol
emission”

2018年2月19日

Library hall in Ibaraki University (Mito, Ibaraki)

T. Maki

“Bioaerosol observations in forested area”

Ibaraki Univ.-IRSN international workshop on atmospheric radio-caesium and bio-aerosol
emission

2018年2月19日

Library hall in Ibaraki University (Mito, Ibaraki)

小野崎 晴佳、鈴木 慧花、小野 貴大、阿部 善也、中井 泉、足立 光司、五十嵐 康
人、末木 啓介

“放射光マイクロビーム複合 X 線分析を用いた福島第一原発 1 号機由来の放射性粒子
の化学性状分析”

第31回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム

2018年1月10日

つくば国際会議場（茨城県つくば市）

K.Kita, N.Hayashi, K.Minami, Y.Igarashi, K.Adachi, T.Maki, M.Ishiduka, H.Ohkochi,
J.Furukawa, K.Ninomiya, and A.Shinohara

“Atmospheric re-suspension mechanism of radio-caesium - possibility of circulation between atmosphere and biosphere”

2nd International Symposium of Quantum Beam Science at Ibaraki University

2017年12月10日

Library hall in Ibaraki University (Mito, Ibaraki)

五十嵐康人

“夏季の放射性セシウム再飛散と森林起源バイオエアロゾル”

第14回放射能の農畜水産物等への影響についての研究報告会 - 東日本大震災に関する救援・復興に係る農学生命科学研究科の取組み -

2017年11月25日

東京大学弥生講堂(東京都文京区)(招待講演)

Y. Igarashi, K. Kita, T. Maki, T. Kinase, N. Hayashi, K. Adachi, C. Takenaka, M. Kajino, M. Ishizuka, T. T. Sekiyama, Y. Zaizen, K. Ninomiya, H. Okochi, A. Sorimachi

“Temperate forest as big bioaerosol sources?: Implication from atmospheric Fukushima radiocesium studies”

2017 Symposium on Atmospheric Chemistry and Physics at Mountain Sites (ACPM2017)

2017年11月7日-10日

Tokinsumika(Gotemba-City, Shizuoka)

K. Kita, N. Hayashi, K. Minami, M. Kimura, Y. Igarashi, K. Adachi, T. Maki, M. Ishiduka H. Ohkochi, J. Furukawa, K. Ninomiya, and A. Shinohara,

“Bioaerosols sampled in Fukushima mountainous region and contribution to the radio-caesium resuspension”

2017 Symposium on atmospheric chemistry and physics at mountain sites (ACPM2017)

2017年11月7日-10日

Tokinsumika(Gotemba-City, Shizuoka)

小野崎 晴佳、小野 貴大、飯澤 勇信、阿部 善也、中井 泉、足立 光司、五十嵐 康人、大浦 泰嗣、海老原 充、宮坂 貴文、中村 尚、鶴田 治雄、森口 祐一

“放射光 X 線分析により明らかになった福島第一原発事故由来の放射性粒子の性状および飛散状況”

第53回 X 線分析討論会

2017年10月26日

徳島大学常三島キャンパス(徳島県徳島市)

五十嵐康人

“放射性核種の環境動態研究の展望—大気環境への影響”

2017年度日本地球化学会第64回年会

2017年9月13日-15日

東京工業大学大岡山キャンパス(東京都目黒区)(招待講演)

五十嵐 康人

“不溶性セシウム粒子—その発見と最近の研究展開”

第58回大気環境学会年会

2017年9月6日-8日

兵庫医療大学(兵庫県神戸市)(招待講演)

林 奈穂、北 和之、五十嵐 康人、足立 光司、木村 徹、牧 輝弥、二宮 和彦、
篠原 厚、豊田 栄、石塚 正秀

“福島森林域でのバイオエアロゾルの観察-放射性セシウムの大気再飛散担体の可能性”

第34回エアロゾル科学・技術研究討論会

2017年8月3日-4日

芝浦工業大学豊洲キャンパス(東京都江東区)(ポスター賞受賞)

Yasuhito Igarashi, Mizuo Kajino, Masamitsu Hayasaki, Kouji Adachi, Yuji Zaizen, Thomas
Sekiyama

“Atmospheric radioCs in case of the local dust event”

JpGU-AGU joint meeting2017

2017年5月20日-25日

Makuhari Messe (Makuhari, Chiba)

小野崎 晴佳、小野 貴大、飯澤 勇信、阿部 善也、中井 泉、足立 光司、五十嵐 康
人、大浦 泰嗣、海老原 充、宮坂 貴文、中村 尚、鶴田 治雄、森口 祐一

“SPM テープ濾紙より分離された放射性エアロゾルの放射光 X 線複合分析による化
学・物理的性状解明”

日本地球惑星科学連合-アメリカ地球物理学連合 ジョイントミーティング 2017

2017年5月20日-25日

幕張メッセ(千葉県千葉市)

西岡 拓哉、他20名

“夏季-秋季における放射性セシウム大気再飛散のメカニズム”

日本地球惑星科学連合-アメリカ地球物理学連合 ジョイントミーティング 2017

2017年5月20日-25日

幕張メッセ(千葉県千葉市)

北 和之ほか 41名

“日本地球惑星科学連合—放射化学会連携による福島第一原子力発電所近傍における事故5年後の土壤中放射性物質の調査概要”

日本地球惑星科学連合-アメリカ地球物理学連合 ジョイントミーティング 2017

2017年5月20日-25日

幕張メッセ(千葉県千葉市)

足立光司

“電子顕微鏡がとらえた原発事故で放出された放射性粒子”

環境放射能除染学会

2017年7月19日

福島文化センター(福島県福島市)

牧輝弥

“空飛ぶ菌から生まれた『そらなっとう』”

南砺市民大学 人と自然・健康

2017年5月23日

福光福祉会館(富山県南砺市)(招待講演).

津旨大輔、青山道夫、坪野考樹、三角和弘、立田穰

“Estimations of direct release rate of ^{137}Cs and ^{90}Sr to the ocean from the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant for five-and-a-half years. EGU General Assembly 2017. “

2017年04月27日

Austria Center Vienna (ACV). (Austria)

津旨大輔、坪野考樹、三角和弘、立田穰、青山道夫、廣瀬勝巳

“福島第一原子力発電所事故時に海洋へ直接漏洩した ^{137}Cs , ^{90}Sr and ^3H の領域海洋シミュレーション”

JpGU-AGU Joint Meeting 2017

2017年05月25日

幕張メッセ

津旨大輔、青山道夫、廣瀬勝巳、坪野考樹、三角和弘、立田穰

“Estimations of direct release rate of ^{137}Cs , ^{90}Sr and ^3H from the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant for four-and-a-half years”

ENVIRA2017

2017年05月30日

BEST WESTERN Vilnius Hotel, Vilnius (Lithuania)

津旨大輔、坪野考樹、芳村毅、三角和弘、立田穰、青山道夫

“福島第一原子力発電所事故によって海洋へ直接漏洩した放射性物質の領域海洋における長期挙動”

アイソトープ・放射線研究発表会

2017年7月5日

東京大学弥生講堂

津旨大輔、坪野考樹、三角和弘、立田穰、豊田康嗣、青山道夫

“福島第一原子力発電所事故によって海洋へ直接漏洩した Cs-137 , Sr-90 , H-3 の領域海洋における長期挙動”

土木学会地球環境シンポジウム

2017年9月9日

神戸大学

津旨大輔、坪野考樹、三角和弘、立田穰、豊田康嗣、恩田裕一、青山道夫

“Impact of river discharge on distribution of oceanic ^{137}Cs released from the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident “

Ocean Science Meeting

2018年2月13日

Oregon Convention Center (アメリカ)

Y. Hamajima

“Low-Level Gamma-ray Counting in Ogoya Underground Laboratory”

4th International Conference on Environmental Radioactivity: Radionuclides as Tracers of Environmental Processes

2017年5月29日-6月2日

Vilnius, Lithuania

Michio Aoyama, Yasunori Hamajima, Yayoi Inomata, Yuichiro Kumamoto, Eitarou Oka, Takaki Tsubono and Daisuke Tsumune

“Radiocaesium in surface water observed in winter 2015/2016 in both coastal regions of Japan and the western North Pacific Ocean”

6th Asia-Pacific Symposium on Radiochemistry

2017年9月17日-22日

Jeju Island, Korea

Michio Aoyama

“Radiocaesium derived from TEPCO Fukushima accident in the North Pacific Ocean: past, present and future”

ENVIRA 2017

2017年5月29日-6月2日

Vilnius, Lithuania

Aoyama, M., Hamajima, Y., Inomata, Y., Kumamoto, Y., Oka, E., Tsubono, T., Tsumune, D.

“Long term behavior of TEPCO FNPP1 derived radiocaesium in the North Pacific Ocean through the end of 2016: A review”

The EGU General Assembly 2017

2017年4月23日

Austria Center Vienna (Vienna, Austria).

Aoyama, M., Hamajima, Y., Inomata, Y., Kumamoto, Y., Oka, E., Tsubono, T., Tsumune, D.,

“Radiocaesium derived FNPP1 accident in the ocean interior of the western North Pacific Ocean through 2016”

The EGU General Assembly 2017

2017年4月23日

Austria Center Vienna (Vienna, Austria).

Aoyama, M., Hamajima, Y., Inomata, Y., Kumamoto, Y., Oka, E., Tsubono, T., Tsumune, D.

“Long term behavior of TEPCO Fukushima NPP1 accident derived radiocaesium in the coastal region of Japan and the North Pacific Ocean through the end of 2016: A review”

Coordination and implementation of a pan-European instrument for radioecology Final Event

2017年4月25日

Belgium's nuclear research center (Bruges, Belgium).

熊本 雄一郎、青山 道夫、浜島 靖典、岡 英太郎、村田 昌彦
“2015 年および 2016 年の北太平洋西部亜熱帯循環域における福島第一原子力発電所事
故由来の放射性セシウムの分布”
日本地球惑星科学連合 2017 年大会
2017 年 5 月 25 日
幕張メッセ (千葉県千葉市)

Kaizer, J., Povinec, P.P., Kumamoto, Y., Molnar, M., Palcsu L.
“Distribution of radiocarbon in the western North Pacific Ocean after the Fukushima accident,
the International Conference on Environmental Radioactivity”
2017 年 5 月 29 日
Best Western Vilnius Hotel (Vilnius, Lithuania).

青山 道夫、濱島 靖典、猪股 弥生、坪野 考樹、津旨 大輔、熊本 雄一郎、岡
英太郎
“東電福島第一原発事故により放出された放射性セシウム等の海洋環境での長期挙動”
第 54 回アイソトープ・放射線研究発表会
2017 年 7 月 5 日
東京大学 弥生キャンパス (東京都東京特別区)

Aoyama, M., Hamajima, Y., Inomata, Y., Kumamoto, Y., Oka, E., Tsubono, T., Tsumune, D.
“Radiocaesium derived from FNPP1 accident in the North Pacific Ocean as tracer of transfer
processes in layers of surface, STMW, and CMW”
Goldschmidt Conference 2017
2017 年 8 月 14 日
Le Palais des Congres de Paris (Paris, France).

Kumamoto, Y., Aoyama, M., Hamajima, Y., Murata, A.
“Fukushima-derived radiocesium in the subarctic region of North Pacific in summer 2014”
6th Asia-Pacific Symposium on Radiochemistry
2017 年 9 月 22 日
International Convention Center Jeju (Jeju, South Korea).

Aoyama, M., Hamajima, Y., Inomata, Y., Kumamoto, Y., Oka, E., Tsubono, T., Tsumune, D.
“Radiocaesium in surface water observed in winter 2015/2016 in both coastal regions of Japan
and the western North Pacific Ocean 6th Asia-Pacific Symposium on Radiochemistry”

2017年9月22日

International Convention Center Jeju (Jeju, South Korea).

Kumamoto, Y., Aoyama, M., Hamajima, Y., Nishino, S., Murata, A., Kikuchi, T.,

“Radiocesium in the Arctic Ocean after Fukushima Dai-ichi nuclear power plant accident”

ISAR-5 / Fifth International Symposium on Arctic Research

2018年1月18日

Hitotsubashi Hall (Tokyo, Japan).

鄭 建

“福島事故より放出された Pu の環境動態研究”

第4回福島大学環境放射能研究所成果発表会

2018年3月6日

福島大学環境放射能研究所

Jian Zheng

“Development and application of radiochemical methods based on the use of ICP-MS instruments”

Nordic Nuclear Safety Research (NKS-B) ICP User Seminar

Center of Nuclear Technologies

2017年9月26日

Technical University of Denmark

鄭 建

“Tracing the Fukushima nuclear accident released radiocesium and Pu isotopes in the environment: the role of isotope ratio analysis for nuclear forensics.”

Nuclear Emergency Expert Meeting (NEXT 2017)

2017年8月31日

Leibniz University Hannover

Jian Zheng, Tatsuo Aono, Masatoshi Yamada, Keiko Tagami, Shigeo Uchida

“Pu distribution in seawater and sediments in the Pacific off Fukushima after the FDNPP accident, Actinides 2017”

2017年7月12日

Actinides 2017 Organizing committee

H. Nagai, A. Kudo, T. Yamagata, Y. Kumamoto, S. Nishino, H. Matsuzaki
"Temporal variation of ¹²⁹I concentrations in seawater of the southern Canada Basin"
14th International Conference on Accelerator Mass Spectrometry
2017年8月14日-18日
University of Ottawa (Ottawa, Canada)

永井尚生、山形武靖、工藤 輝、熊本雄一郎、西野茂人、松崎浩之
"北極海における海水中 ¹²⁹I 濃度の経年変化"
第20回 AMS シンポジウム
2017年12月14日~12月15日
セラトピア土岐 (岐阜県土岐市)

Inomata, Y., Aoyama, M., Tsubono, T., Tsumune, D., Yamada, M.
"Distribution of radiocaesium derived FNPP1 accident in the North Pacific Ocean"
EGU
2017年4月23-28日
The Austria Center Vienna (ウィーン).

Inomata, Y., Aoyama, M., Tsubono, T., Tsumune, D., Yamada, M.
"Distribution of radiocaesium derived FNPP1 accident in the North Pacific Ocean"
JpGU
2017年5月20 - 25日
幕張メッセ (千葉市).

猪股弥生・青山道夫・浜島靖典・山田正俊
"日本沿岸域における福島第一原発事故由来放射性セシウムの再循環"
2017年度九州沖縄シンポジウム (一般社団法人水産海洋学会, 日本海洋学会西南支部)
2017年12月9日
九州大学 (春日市)

帰山秀樹
"北太平洋における福島第一原子力発電所事故に由来する放射性セシウムの6年間の拡散状況"
JpGU-AGU joint meeting 2017
2017年5月25日

幕張メッセ（千葉県千葉市）

帰山秀樹

“原発事故後の放射性セシウムの海洋拡散状況”

環境水等の放射性セシウムモニタリングコンソーシアム平成 29 年度第 2 回研究

2017 年 6 月 22 日

筑波大学東京キャンパス（東京都文京区）

帰山秀樹

“東京電力福島第一原子力発電所事故により放出された人工放射性物質の海洋生態系における挙動”

2017 年日本プランクトン学会・日本ベントス学会合同大会公開シンポジウム 1「巨大震災は海洋沿岸の生物にどのような影響を与えたか？東日本大震災から学んだこと」

2017 年 9 月 3 日

滋賀県立大学（滋賀県彦根市）

帰山秀樹、安倍大介、森田貴己、杉崎宏哉

“福島県沖における動物プランクトンならびに海底堆積物に見られる放射性セシウム濃度の不均一性について”

2017 年日本プランクトン学会・日本ベントス学会合同大会

2017 年 9 月 5 日

滋賀県立大学（滋賀県彦根市）

Shizuho Miki, K., FUJIMOTO, Y., SHIGENOBU, D., AMBE, H. KAERIYAMA, T., MORITA

“Strontium-90 contamination of marine fishes from the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident”

The JSFS 85th Anniversary-Commemorative International Symposium,

2017 年 9 月 22 日

東京海洋大（東京都港区）

帰山秀樹

“漁場環境における放射性セシウム汚染”

2018 年 3 月 30 日

平成 30 年度日本水産学会東日本大震災災害復興支援検討委員会シンポジウム

Kamidaira, Y., Kawamura, H., Kobayashi, T., Uchiyama, Y. and Furuno, A. (2017)
“Submesoscale eddy-induced mixing and dispersion of radioactive tracer off the northeastern
Pacific coast of Japan”

AOGS 14th Annual Meeting (AOGS 2017)

2017年8月6日-11日

Singapore

Uchiyama, Y., Aduma, K., Iwasaki, T., Odani, S., Kamidaira, Y., Tsumune, D., Shimizu, Y. and
Onda, Y. (2018)

“Storm-driven flood and associated coastal dispersal of suspended radiocesium from Niida
River: A high-resolution numerical assessment with a coupled river-ocean-wave-sediment
model”

European Geosciences Union General Assembly 2018 (EGU2018)

2018年4月8日-13日

Vienna, Austria

田副 博文

“Development and application of analytical method for radioactive strontium by solid phase
extraction using chelating resin”

化学系学協会東北大会

2017年9月16日

岩手大学(岩手県盛岡市)

Guosheng Yang, Hirofumi Tazoe and Masatoshi Yamada.

“Rapid and high throughput determination of ^{129}I activity and $^{129}\text{I}/^{127}\text{I}$ atom ratio in
environmental samples by solvent extraction coupled to ICP-QQQ.”

IUPAC International Congress on Analytical Sciences 2017

2017年5月5日-8日

Hainan International Convention & Exhibition Center (Haikou, China)

Guosheng Yang, Hirofumi Tazoe and Masatoshi Yamada.

“Rapid determination of U-236 in the soil contaminated by the Fukushima Daiichi Nuclear
Power Plant accident using single extraction chromatography combined with triple-
quadrupole inductively coupled plasma-mass spectrometry.”

8th Annual Congress on Analytical and Bioanalytical Techniques

2017年8月28日-30日

Brussels, Belgium

Guosheng Yang, Hirofumi Tazoe and Masatoshi Yamada.

“Method development and application for routine measurements of ^{129}I , ^{135}Cs , and ^{236}U in environmental samples by ICP MS/MS.”

第4回福島大学環境放射能研究所成果報告会

2018年3月6日

コラッセふくしま(福島市)

Zhang, J., Kambayashi, S., Zhang, B. Significance of submarine groundwater discharge on material transportation from land to ocean: under long term climate change and environmental accident, Goldschmidt Conference 2017, 08/15/2017, Le Palais des Congres de Paris (Paris, France)

神林翔太, 張勁, 成田尚史, 海底地下水湧出による放射性セシウムの沿岸海域への移行: 間隙水の地球化学的特徴によるアプローチ, JpGU-AGU joint meeting 2017, 2017年5月25日、幕張メッセ(千葉県千葉市)

青野 辰雄, 福田 美保, 山崎 慎之介, 高橋 博路, 伊藤 友加里, 石丸 隆,
神田 穰太, 鈴木 聡, 渡邊 昌人

“福島沿岸域における海水とプランクトンネット試料中の放射性Csの濃度変動(III)”

第18回「環境放射能」研究会, 高エネルギー加速器研究機構放射線科学センター

日本放射化学会 α 放射体・環境放射能分科会

2018年3月13日

福田 美保, 山崎 慎之介, 青野 辰雄, 石丸 隆, 神田 穰太

“2016年の福島県沖の海水と堆積物中の放射性セシウム濃度”

第19回「環境放射能研究会」

高エネルギー加速器研究機構放射線科学センター

2018年3月13日

Miho Fukuda, Yamazaki Shinnosuke, Aono Tatsuo, Ishimaru Takashi, Kanda Jota, Hirawake Toru,

“Radiocaesium activity concentrations in overlying water collected off the coast of Fukushima Prefecture in 2014-2016”

2018 Oean Science meeting, America Geophysical Union (AGU), Association for the Sciences
of Limnology and Oceanography (ASLO), The Oceanography Society (TOS)
2018 年 2 月 15 日

Shigeyoshi Ootosaka, Miho Fukuda, Aono Tatsuo
“Behavior of radiocesium at sediment-water interface off Fukushima, Goldschmidt2017”
The Geochemical Society
2017 年 8 月 15 日

Miho Fukuda, Yamazaki Shinnnosuke, Aono Tatsuo, Ishimaru Takashi, Kanda Jota,
“Distributions of radiocaesium activity in sediment and overlying water off the Fukushima”
PGU-AGU Joint Meeting 2017
日本地球惑星連合(JPGU) およびアメリカ地球物理学連合(AGU)
2017 年 5 月 25 日

T.Aono, M.Fukuda, S.Yamazaki, M.Akashi, T.Sohtome, T.Mizuno, M.Yamada, A.Yamanobe
“The activities of radiocaesium in marine fishes around off Fukushima in Japan”
ENVIRA2017 Conference (International Conference on Environmental Radioactivity)
The Centre for Physical Sciences and Technology
2017 年 5 月 29 日

T. Aono, M. Akashi, M. Fukuda, S. Yamazaki, S.K. Sahoo
“RADIOACTIVE MATERIAL CONTAMINATION IN FOOD AFTER THE FUKUSHIMA
NUCLEAR POWER STATION ACCIDENT”
International Conference on Radiation Research: Impact on Human Health and Environment
(ICRR-HHE 2018) and 2nd Biennial Meeting of Society for Radiation Research (SRR)
The Society for Radiation Research
2018 年 2 月 2 日

Tatsuo Aono
“Overview of marine environment after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Station accident:
Environmental radioactivity and radiation effects”
第 32 回台日工程技術研討会, 中國工程師學會
2017 年 11 月 22 日

Marino Hiraoka, Yuichi Onda, Takashi Gomi, Shigeru Mizugaki, Kazuki Nanko, and Hiroaki Kato

"Controlling factors for infiltration on undisturbed hillslopes in unmanaged plantation forests"

EGU2017

2017年4月24日

Austria Center Vienna

Vasyl Yoschenko, Tsugiko Takase, Kenji Nanba, Alexei Konoplev, and Yuichi Onda

"The radiocesium dynamics in the Fukushima forests at the late stage after deposition"

EGU2017

2017年4月28日

Austria Center Vienna

Koichi Sakakibara, Maki Tsujimura, Yuichi Onda, Sho Iwagami, Yutaro Sato, and Kosuke Nagano

"Temporal change of SF₆ age in spring during rainstorms in a forested headwater catchment, Fukushima, Japan"

EGU2017

2017年4月28日

Austria Center Vienna

脇山 義史、恩田 裕一

“除染農地における土砂および¹³⁷Csの移動”

JpGU-AGU Joint Meeting 2017

2017年5月25日（口頭発表のみ抜粋）

幕張メッセ 国際会議場

恩田 裕一、谷口 圭輔、脇山 義史

“福島河川のセシウム濃度の急速な低減傾向とその要因”

JpGU-AGU Joint Meeting 2017

2017年5月25日

幕張メッセ 国際会議場

加藤 弘亮、恩田 裕一、Saidin Zul、山口 敏朗

“福島県の森林における放射性セシウムの移行と林内空間線量率の時間変化傾向”

JpGU-AGU Joint Meeting 2017

2017年5月25日

幕張メッセ 国際会議場

三浦 輝、栗原 雄一、谷口 圭輔、坂口 綾、桧垣 正吾、恩田 裕一、高橋 嘉夫

“セシウム包有微粒子が河川水中のセシウムの固液分配へ与える影響”

JpGU-AGU Joint Meeting 2017

2017年5月25日

幕張メッセ 国際会議場

西岡 拓哉、他 20名

“夏季-秋季における放射性セシウム大気再飛散のメカニズム”

JpGU-AGU Joint Meeting 2017

2017年5月25日

幕張メッセ 国際会議場

岩上 翔、恩田 裕一、辻村 真貴

“福島における放射性物質の分布状況調査(12)森林小流域における渓流水の溶存態セシウム¹³⁷濃度低下傾向”

日本原子力学会 2017年秋の大会

2017年9月15日

北海道大学

恩田 裕一、谷口 圭輔、清水 康行、岩崎 理樹

“福島における放射性物質の分布状況調査(7)河川から流出する初期セシウム濃度・フラックスの推定”

日本原子力学会 2017年秋の大会

2017年9月15日

北海道大学

加藤 弘亮、恩田 裕一、Zul Hilmi Saidine、山口 敏朗

“福島における放射性物質の分布状況調査(8)森林環境における福島第一原発事故から六年間の放射性セシウムの移行状況”

日本原子力学会 2017年秋の大会

2017年9月15日

北海道大学

谷口 圭輔、恩田 裕一、倉元 隆之、佐藤 貴之、大沼 沙織、新井 宏受
“福島における放射性物質の分布状況調査(10)河川における放射性セシウムの移行状
況の広域多地点調査”
日本原子力学会 2017 年秋の大会
2017 年 9 月 15 日
北海道大学

脇山 義史、恩田 裕一、小塚 翔平、五十嵐 康記、高橋 純子、久保 貴旺
“福島における放射性物質の分布状況調査(11)様々な土地利用下にある斜面上での土
砂および放射性セシウムの移動”
日本原子力学会 2017 年秋の大会
2017 年 9 月 15 日
北海道大学

Onda Y, Taniguchi K, Wakiyama Y, Yoshimura K, Smith H, Blake W, Iwagami S & Kato H
"Catchment studies"
IAEA Second Technical Meeting (TM) for MODARIA II
2017 年 10 月 30 日-11 月 3 日
Vienna, Austria

Yuichi Onda
"Rapid Recovery from the Fukushima contamination by FDNPP accident 2 "
AMORAD/CONTI meeting
2017 年 10 月 17 日
Universite de Pau

Yuichi Onda, Keisuke Taiguchi, Kazuta Yoshimura, Hugh Smith, willium Brake
"Landuse Controls Fate and Transport of Radionulides in Fukushima Rivers"
2017AGU Fall Meeting
2017 年 12 月 13 日
New Orleans Convention Center

Wataru Sakashita, Yuichi Onda, Mohamad Racim Boutefnochet, Hiroaki Kato, Takashi Gomi
"Stable isotope-based approach to validate effects of understory vegetation on shallow soil
water movement in a Japanese cypress plantation"
2017AGU Fall Meeting

2017年12月13日
New Orleans Convention Center

Yuichi Onda
IAEA 国際会議参加、研究発表を行う
2018年1月13日-20日
IAEA Vienna Head office
Vienna, Austria

恩田 裕一
“陸はまだ汚染されているのか？”
シンポジウム「Lesson #3.11 プロジェクト～原発事故から7年、放射能汚染の状況は
どこまで改善したのか」
2018年3月10日
日本科学未来館

武藤芽依，金子信博，綾部慈子，吉田智弘，渡邊菜月，竹中千里，肘井直樹，林愛佳
音
“腐食昆虫を介した土壌から地上への放射性セシウムの移動”
第40回日本土壌動物学会大会
2017年5月21日
横浜国立大学（横浜市）

Furukawa, J., Noda, Y., Nihei, N., Hirose, A., Tanoi, K., Satoh, S.
“Novel function of potassium and cesium channel, SKOR, involved in dormancy-induced
nutrient re-allocation in poplar”
International Plant Nutrition Colloquium
2017年8月21日-24日
Copenhagen, Denmark

五十子碧・松田陽介・富岡利恵・竹中千里
“福島県のコナラ実生における深度別外生菌根数と放射性Cs濃度の関係”
第7回中部森林学会大会
2017年10月21日
福井市地域交流プラザ（福井市）

野田祐作

“RI イメージングから樹木内セシウム動態制御機構を探る”

第3回農学中手の会

2017年12月1日~3日

雄琴温泉（滋賀県大津市）

Furukawa, J.

“Radiocesium behavior within the forest ecosystem”

Ibaraki Univ.-IRSN International Workshop on Atmospheric Radiocesium and Bio-aerosol
Emission

2018年2月19日

茨城大学（茨城県水戸市）

飯塚 和也、大竹 勇希、大島 潤一、石栗 太、横田 信三

“福島原発事故後6年間のスギ樹幹木部における ^{137}Cs 濃度の分布パターンの経年変化”

第68回日本木材学会大会

2018年3月14日~2018年3月16日

京都府立大

国立京都国際会館（京都府京都市）

飯塚 和也、安田菜生、久保田優実、大島 潤一、逢沢峰昭、大久保達弘

“福島原発事故5年が過ぎたスギ木部ならびにコナラ原木シイタケに関する ^{137}Cs 濃度”

第129回日本森林学会大会

2018年3月26日~3月29日

高知大学（高知県高知市）

戸田浩人、河野沙紀、崔東寿、吉田智弘、渡辺直明

“立地の違いによるミズナラ林の放射性Cs蓄積への影響”

第129回日本森林学会大会

2018年03月27日

高知大学朝倉キャンパス（高知県高知市）

福山文子、竹中千里、福士彰久、金指努

“福島第一原子力発電所事故後に植栽した樹木の放射性物質の移行について”

第 129 回日本森林学会大会

2018 年 3 月 27 日

高知大学朝倉キャンパス（高知県高知市）

篠原 朝香, 金子信博, 武藤芽依, 石井匡志

“ウッドチップを用いた森林土壌の放射性セシウムの除染—形状による比較—”

第 129 回日本森林学会大会

2018 年 3 月 27-28 日

高知大学（高知市）

武藤芽依, 篠原朝香, 金子信博, 石井匡志

“木質チップを用いた放射性セシウム除去の効率と分解率の関係”

第 129 回日本森林学会大会

2018 年 3 月 27-28 日

高知大学（高知市）

Tanaka, K., and Yamasaki, S.

“Mineralogical control of stable Cs and radiocesium in riverbed sediment in Fukushima”

ICOBTE2017

2017 年 7 月 16 日-20 日

ETH Zurich, Switzerland

Tanaka, K., Yamasaki, S. and Takahashi, Y.

“Contamination of forests by the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident and chemical species of radiocesium in trees. “

Migration2017

2017 年 9 月 10 日-15 日

Barcelona

Nagao, S., Morokado, T., Tadou, S., Suzuki, K., Ochiai, S.

“Effects of snow melt and rain event on transport of radiocesium in the Tone River after the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident”

APSORC2017

2017 年 9 月 17 日-22 日

Jeju, Korea

Morokado, T., Nagao, S., Tomihara, S., Ochiai, S.

“Radioactivity variation and transport behavior of radiocesium in the Natsui River after the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident”

APSORC2017

2017年9月17日-22日

Jeju, Korea

松尾一樹、末木啓介、佐藤志彦、吉川英樹、箕輪はるか、笹公和、松中哲也、松村万寿美、高橋努、坂口綾

“福島原発事故由来の放射性粒子に含まれる ^{125}Sb と ^{129}I の定量”

2017年日本放射化学会年会

2017年9月6日~8日

茨城県つくば市

栗原雄一、三浦輝、桧垣正吾、坂口綾、田中万也、長尾誠也、山本政儀、高橋嘉夫

“黒い物質中の放射性セシウム含有微粒子について”

2017年日本放射化学会年会

2017年9月6日~8日

茨城県つくば市

三浦輝、栗原雄一、坂口綾、長尾誠也、田中万也、桧垣正吾、高橋嘉夫

“福島地域の河川において放射性セシウム含有微粒子がセシウムの固液分配に与える影響”

2017年日本放射化学会年会

2017年9月6日~8日

茨城県つくば市

宮坂将平、長尾誠也、落合伸也、鈴木究真、森勝伸

“群馬県山岳湖沼における放射性セシウムの堆積過程”

2017年日本放射化学会年会

2017年9月6日~8日

茨城県つくば市

栗原雄一、三浦輝、坂口綾、長尾誠也、山本政儀、桧垣正吾、田中万也、高橋嘉夫
道路粉塵（黒い物質）中の放射性セシウム包有粒子

2017年日本地球化学会年会

2017年9月13日~15日

東京都目黒区

三浦輝、栗原雄一、坂口綾、長尾誠也、田中万也、桧垣正吾、高橋嘉夫

“福島地域の河川において放射性セシウム含有微粒子がセシウムの固液分配に与える影響”

2017年日本地球化学会年会

2017年9月13日~15日

東京都目黒区

北和之、他40名

“日本地球惑星科学連合 放射化学会連携による福島第一原子力発電所近傍における事故5年後の土壤中放射性物質の調査概要”

日本地球惑星科学連合2017年大会

2017年5月20日-5月25日

幕張メッセ

千葉県幕張市

箕輪はるか、他46名

“福島第一原子力発電所近傍における事故5年後の土壤中放射性物質の調査初期結果”

日本地球惑星科学連合2017年大会

2017年5月20日-5月25日

幕張メッセ

千葉県幕張市

Anna SUZUKI, Zijiang ZHANG, Kazuhiko NINOMIYA, Atsushi SHINOHARA, Yoshiaki

YAMAGUCHI, Junko TAKAHASHI, Yuichi ONDA

“Determination of migration rate of ^{90}Sr in soil in Kawamata Town, Fukushima Prefecture by measuring depth profile of ^{90}Sr concentration”

6th Asia-Pacific Symposium on Radiochemistry (APSORC17)

September 17-22, 2017, ICC Jeju, Jeju Island, Korea

藤田将史、二宮和彦、吉村崇、木暮敏博、篠原厚

“福島原発事故により放出された放射性セシウムと金属元素を含む不溶性微粒子の生成模擬実験”

2017日本放射化学会年会・第61回放射化学討論会

2017年9月6日～9月8日

筑波大学

茨城県つくば市

宮澤直希、上杉正樹、横山明彦

“福島第一原子力発電所事故で土壌に沈着した放射性アンチモンの定量法に関する研究”

2017 日本放射化学会年会・第 61 回放射化学討論会

2017年9月6日～9月8日

筑波大学

茨城県つくば市

山守航平、上杉正樹、横山明彦

“固相抽出法を用いた土壌中 Pu 及び Am の迅速逐次定量法の検討”

“福島第一原子力発電所事故で土壌に沈着した放射性アンチモンの定量法に関する研究”

2017 日本放射化学会年会・第 61 回放射化学討論会

2017年9月6日～9月8日

筑波大学

茨城県つくば市

二宮和彦、他 54 名

“福島第一原子力発電所近隣における事故 5 年後の土壌調査”

第 19 回 「環境放射能」研究会

2017年3月13日～3月15日

高エネルギー加速器研究機構

茨城県つくば市

五十嵐淳哉、張子見、二宮和彦、篠原厚

“福島県大熊町で採取した土壌から発見された放射性セシウムを含む不溶性粒子の形状とその性質”

第 19 回 「環境放射能」研究会

2017年3月13日～3月15日

高エネルギー加速器研究機構

茨城県つくば市

鈴木杏菜、張子見、二宮和彦、山口喜朗、高橋純子、恩田裕一、篠原厚
“福島県川俣町で採取した土壌とリター層の ^{90}Sr 濃度の経年変化”

第 19 回 「環境放射能」研究会

2017 年 3 月 13 日～3 月 15 日

高エネルギー加速器研究機構

茨城県つくば市

沖雄一、高宮幸一、栗山靖敏、上杉智教、石禎浩、関本俊、大槻勤
“ワイヤスクリーンを用いた加速器エアロゾルの迅速粒径測定”

第 19 回 「環境放射能」研究会

2017 年 3 月 13 日～3 月 15 日

高エネルギー加速器研究機構

茨城県つくば市

西澤祐介、高宮幸一、関本俊、沖雄一、大槻勤

“溶液エアロゾルへの核分裂生成物の付着挙動における溶質の影響”

第 19 回 「環境放射能」研究会

2017 年 3 月 13 日～3 月 15 日

高エネルギー加速器研究機構

茨城県つくば市

齊藤敬、西間木史織、藤井健悟、小池裕也

“3D プリンターと 3D スキャナを利用した放射性セシウム基準線源の開発”

第 19 回 「環境放射能」研究会

2017 年 3 月 13 日～3 月 15 日

高エネルギー加速器研究機構

茨城県つくば市

張子見、五十嵐淳哉、二宮和彦、篠原厚

“イメージングプレート (IP) 画像解析による放射能汚染土壌中の高放射能粒子の自動
分析法の開発”

第 19 回 「環境放射能」研究会

2017 年 3 月 13 日～3 月 15 日

高エネルギー加速器研究機構

茨城県つくば市

二上文也、高宮幸一、関本俊、沖雄一、大槻勤
“福島土壌試料からの不溶性放射性微粒子の選別法の開発”
第 19 回 「環境放射能」研究会
2017 年 3 月 13 日～3 月 15 日
高エネルギー加速器研究機構
茨城県つくば市

宮澤直希、上杉正樹、横山明彦
“福島第一原子力発電所で土壌に沈着した放射性アンチモンの定量法に関する研究”
第 19 回 「環境放射能」研究会
2017 年 3 月 13 日～3 月 15 日
高エネルギー加速器研究機構
茨城県つくば市

(3) 図書

中島映至編, 大原利眞編, 植松光男編, 恩田裕一 編 (2014)
『原発事故環境汚染 福島第一原発事故の地球科学的側面』 ISBN978-4-13-060312-6,
東京大学出版会, 判型:A5, 312 頁

中島映至 (2013)
「原発事故-危機における連携と科学者の役割」 p34-37, 尾内隆之, 調麻佐志編, 『科学者に委ねてはいけないこと。科学から「生」をとりもどす』, 岩波書店

Nakajima, T. (2013)
Section 2.1.3 Observation of aerosol」 p11-14, 日本リモートセンシング学会編, 『Remote Sensing : An Introductory Textbook』, 丸善出版, ISBN 978-4-86345-185-8

Kaeriyama, H. (2015) 2.
134Cs and 137Cs in the seawater around Japan and in the North Pacific. In: Nakata, K. and Sugisaki, H. (eds) Impacts of the Fukushima Nuclear Accident on Fish and Fishing grounds, 11-32, Springer Japan, Doi:10.1007/978-4-431-55537-7_2, ISBN(Print): 978-4-431-55536-0, ISBN(Online): 978-4-431-55537-7

Kaeriyama, H. (2015) 3.
Temporal changes in 137Cs concentration in zooplankton and seawater off the Joban-Sanriku

coast, and in Sendai Bay, after the Fukushima Dai-ichi Nuclear Accident. In: Nakata, K. and Sugisaki, H. (eds) Impacts of the Fukushima Nuclear Accident on Fish and Fishing grounds. Springer Japan, 33-49. Doi:10.1007/978-4-431-55537-7_3, ISBN(Print): 978-4-431-55536-0, ISBN(Online):978-4-431-55537-7

Ambe, D., Kaeriyama, H., Shigenobu, Y., Fujimoto, K., Ono, T., Sawada, H., Saito, H., Tanaka, M., Miki, S., Setou, T., Morita, T. and Watanabe, T. (2015) 4.

Three-dimensional distribution of radiocesium in sea sediment derived from the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant. In: Nakata, K. and Sugisaki, H.(eds) Impacts of the Fukushima Nuclear Accident on Fish and Fishing grounds, 53-65, Springer Japan. Doi:10.1007/978-4-431-55537-7_4, ISBN(Print): 978-4-431-55536-0, ISBN(Online):978-4-431-55537-7

Ono, T., Ambe, D., Kaeriyama, H., Shigenobu, Y., Fujimoto, K., Sogame, K., Nishiura, N., Fujikawa, T., Morita, T. and Watanabe, T. (2015) 5.

Radiocesium concentrations in the organic fraction of sea sediments. In: Nakata, K. and Sugisaki, H. (eds) Impacts of the Fukushima Nuclear Accident on Fish and Fishing grounds, 67-75, Springer Japan, Doi:10.1007/978-4-431-55537-7_5, ISBN(Print): 978-4-431-55536-0, ISBN(Online):978-4-431-55537-7

Shigenobu, Y., Ambe, D., Kaeriyama, H., Sohtome, T., Mizuno, T., Koshiishi, Y., Yamasaki, S. and Ono, T. (2015) 7.

Investigation of radiocesium translation from contaminated sediment to benthic organisms. In: Nakata, K. and Sugisaki, H. (eds) Impacts of the Fukushima Nuclear Accident on Fish and Fishing grounds, 91-98, Springer Japan. Doi:10.1007/978-4-431-55537-7_7, ISBN(Print): 978-4-431-55536-0, ISBN(Online):978-4-431-55537-7

Watanabe, T., Fujimoto, K., Shigenobu, Y., Kaeriyama, H., Morita, T. (2015) 13. Analysis of the contamination process of the extremely contaminated fat greenling by Fukushima-derived radioactive material. In: Nakata, K. and Sugisaki, H. (eds) Impacts of the Fukushima Nuclear Accident on Fish and Fishing grounds. 163-176, Springer Japan. Doi:10.1007/978-4-431-55537-7_13, ISBN(Print): 978-4-431-55536-0, ISBN(Online): 978-4-431-55537-13

植松光夫・津旨大輔・浜島靖典・青山道夫・升本順夫(2014) 中島映至・大原利眞・植松光男・恩田裕一 編 (2014)

『原発事故環境汚染 福島第一原発事故の地球科学的側面』, ISBN978-4-13-060312-6,
東京大学出版会, 判型:A5, 312 頁

Bu, W., Zheng, J., Guo, Q. J., Tagami, K. and Uchida, S. (2014)

Distribution of plutonium isotopes in marine sediments off Japan before and after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident: a review. Chapter 9, in Radiation Monitoring and Dose Estimation of the Fukushima Nuclear Accident, S. Takahashi (Ed.), Springer, 2014. ISBN 978-4-431-54582-8. pp.91-101.

Buesseler, K. and Uematsu, M. (2013)

Fukushima and the Ocean; what have we learned from this unprecedented release of radioactive contaminants to the ocean?, *Oceanus*, 50 (1), 26 pp.

Povinec, P. P., Hirose, K. and Aoyama, M. (2013)

Fukushima Accident: Radioactivity Impact on the Environment, Elsevier

Zheng, J., Tagami, K. and Uchida, S. (2012)

Release of plutonium isotopes from the Fukushima Daiichi nuclear power plant accident. In: Environmental monitoring and dose estimation of residents after accident of TEPCO's Fukushima Daiichi nuclear power stations, Edited by S. Takahashi, H. Yamana, T. Takahashi, K. Takamiya, S. Fukutani, N. Sato and M. Nakatani. Research Reactor Institute, Kyoto University, Japan. pp. 184-189, ISSN 978-4-9906815-0-0. (査読無)

Bu, W. T., Zheng, J., Aono, T., Tagami, K., Uchida, S., Zhang, J., Guo, Q. J. and Yamada, M. (2012)

Investigating plutonium contamination in marine sediments off Fukushima following the Fukushima Daiichi nuclear power plant accident. In: Environmental monitoring and dose estimation of residents after accident of TEPCO's Fukushima Daiichi nuclear power stations, Edited by S. Takahashi, H. Yamana, T. Takahashi, K. Takamiya, S. Fukutani, N. Sato and M. Nakatani. Research Reactor Institute, Kyoto University, Japan, pp. 141-145, ISSN 978-4-9906815-0-0. (査読無)

神田穰太・青野辰雄・石丸隆(2014)中島映至, 大原利眞, 植松光男, 恩田裕一 編
(2014) 『原発事故環境汚染 福島第一原発事故の地球科学的側面』 ISBN978-4-13-060312-6, 東京大学出版会, 判型:A5, 312 頁

青野辰雄 (2011)

環境放射能モニタリングに反映された原発事故 その2. 海洋, 資源環境対策, 別冊 47
(10), 31-36

Matsunaka, T., Sasa, K., Sueki, K., Onda, Y., Taniguchi, K., Wakiyama, Y., Takahashi, T.,
Matsumura, M. and Matsuzaki, H. (2016): Migration behavior of particulate ^{129}I in the
Niida River system. In: Takahashi, T. (eds) Radiological Issues for Fukushima's
Revitalized Future. Springer Japan, Doi: 10.1007/978-4-431-55848-4_6, ISBN(Print):
978-4-431-55847-7, ISBN(Online): 978-4-431-55848-4, pp 57-63

竹中千里(2014) 中島映至, 大原利眞, 植松光男, 恩田裕一 編 (2014) 『原発事故環境
汚染 福島第一原発事故の地球科学的側面』 ISBN978-4-13-060312-6, 東京大学
出版会, 判型:A5, 312 頁

竹中千里 (2013) 土壤環境浄化機能、大気・水・土壤の環境浄化—みどりによる環
境改善—, 戸塚績編, 朝倉書店, p.107-129.

金子信博・中森泰三 (2014) 森林土壌と土壌動物の放射線影響, 竹内敬二, 森本幸裕
(編), 森林環境 2014. 森林文化協会, 東京, p.166-173.

五十嵐 康人、長田 直之、 福津 久美子 (2017) 空気中に浮遊する放射性物質の疑問
25 - 放射性エアロゾルとは—みんなが知りたいシリーズ 6、 ISBN: 978-4-425-
51431-1、(株)成山堂書店、版型 : B6、148 頁

福田 美保, 青野 辰雄, 山崎 慎之介, 石丸 隆, 神田 穰太、福島県沖の堆積
物直上水中の放射性セシウム濃度, Proceedings of the 16th Workshop on
Environmental Radioactivity (KEK proceedings), 101 - 106, 2017-11

青野 辰雄 高橋 千太郎編, 放射線防護と環境放射線管理、原子力安全基盤科学 3
放射線防護と環境放射線管理, 京都大学 学術出版会 2017-09

竹中千里 (2017) 西澤邦秀・柴田理尋編 「放射線と安全につきあう」名古屋大学出
版会 238 頁

研究成果による産業財産権の出願・取得状況

- ・ 該当なし

研究成果

研究項目 A01 放射性物質の大気への影響

A01-1 (大気物理班)

- ・ SPM 観測網の試料テープ分析により、多点毎時の ^{137}Cs と ^{129}I 大気中濃度を測定する新手法を開発した。また、モニタリングポスト測定値から、多核種の大気中濃度を評価する手法を開発した。
- ・ 複数の放射性物質の大気輸送モデルによるシミュレーションを行ない、事故当時のブルームの発生・消長・変動を把握し、A01 班統一放出シナリオを作成した。さらに、放射性物質の再浮遊量をモデルで評価し、再浮遊による除去過程は重要ではないことを示した。

- ・福島原発事故による環境汚染研究とコミュニティの教訓をまとめた書籍（東大出版会，2014年）の刊行に貢献した。その英語版をケンブリッジ大学出版会より2018年中に刊行予定である。

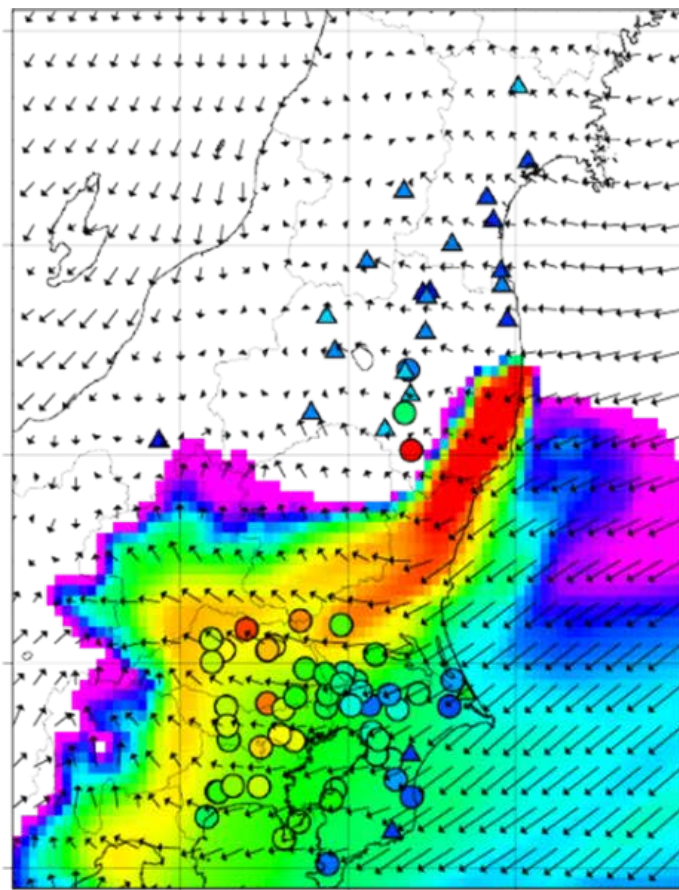


図6 . プルームの再現の様子

- ・空間線量率分布データを用いた放射性物質の排出量の最初の逆推計：Yumimoto, K., Yu Morino, Toshimasa Ohara, Yasuji Oura, Mitsuru Ebihara, Haruo Tsuruta, and Teruyuki Nakajima, 2016: Inverse modeling of the ^{137}Cs source term of the Fukushima Dai-ichi Nuclear Power Plant accident constrained by a deposition map monitored by aircraft. *J. Environ. Radioactivity*, 164 (2016) 1-12.
- ・Cs-137 の2つの大気輸送モデルによるシミュレーション結果と SPM 観測値の比較を通じた初めての、1時間ごとの詳細なプルーム動態の把握：Nakajima, T., S. Misawa, Y. Morino, H. Tsuruta, D. Goto, J. Uchida, T. Takemura, T. Ohara, Y. Oura, M. Ebihara and M. Satoh, 2017: Model depiction of the atmospheric flows of radioactive cesium emitted from the Fukushima Daiichi Nuclear Power Station accident. *Progress in Earth and Planetary Science*, 4(1), 1-18, DOI 10.1186/s40645-017-0117-x.
- ・NaI 波高計データからの放射性物質の大気濃度推定法の確立とデータ解析：Terasaka, Y.,

H. Yamazawa, J. Hirouchi, S. Hirao, H. Sugiura, J. Moriizumi and Y. Kuwahara, Air Concentration Estimation of Radionuclides Discharged from Fukushima Daiichi Nuclear Power Station Using NaI(Tl) Detector Pulse Height Distribution Measured in Ibaraki Prefecture, J. Nucl. Sci. Technol. 53(12), 1919-1932, 2016.

- ・放射性物質の土壌からの再巻き上げと森林生態系からの放出の算定と季節変化の発見 : Kajino, M., Ishizuka, M., Igarashi, Y., Kita, K., Yoshikawa, C., Inatsu, M. (2016) Long-term assessment of airborne radiocesium after the Fukushima nuclear accident: re-suspension from bare soil and forest ecosystems, Atmos. Chem. Phys. 16, 13149-13172.
- ・SPM 99 点の放射セシウム観測 : Oura, Y., M. Ebihara, H. Tsuruta, T. Nakajima, T. Ohara, M. Ishimoto, H. Sawahata, Y. Katsumura, and W. Nitta, 2015: A Database of Hourly Atmospheric Concentrations of Radiocesium ^{134}Cs and ^{137}Cs in Suspended Particulate Matter Collected in March 2011 at 99 Air Pollution Monitoring Stations in Eastern Japan. J. Nuclear and Radiochem. Sci., 15, 15-26.
- ・浮遊粒子状物質 (SPM) の自治体観測網のサンプリングテープからの初の、放射性セシウムの大気濃度の時間毎測定 : Tsuruta, H., Y. Oura, M. Ebihara, T. Ohara, and T. Nakajima (2014): First retrieval of hourly atmospheric radionuclides just after the Fukushima accident by analyzing filter-tapes of operational air pollution monitoring stations. Sci. Rep. 4, 6717; DOI:10.1038/srep06717.
- ・学術会議と連携した放射性物質による環境汚染の実態研究の取りまとめと社会発信 : 中島映至・大原利眞・植松光夫・恩田裕一 (篇), 2014 : 原発事故環境汚染-福島第一原発事故の地球科学的側面-, 東大出版会, 東京、310pp, ISBN 978-4-13-060312-6。
A01-1 (公募・伊藤)
- ・福島原発事故に係わる放射線測定メタデータ検索システムの開発事故直後に個人やグループで測定された放射線に関するデータを , データベース化するとともに , 検索システムを開発した。

A01-2 (大気陸面班)

- ・ A01-1 班, A03-5 班, A01公募班中井らと共同研究。初期の Cs 放出には従来想定されていた水溶性サブミクロン・サルフェート粒子に加え, 直径数 μm の不溶性粗大球状 Cs 粒子が存在することを世界で初めて明らかにした。球状 Cs 粒子は, 主要な構成元素として Fe, Zn, Cs, O のみならず, Ba, Te, Sn, Mo, Rb, U 等の中重元素を含み, 非晶質で, 含有される金属は高酸化状態であること等が判明した。

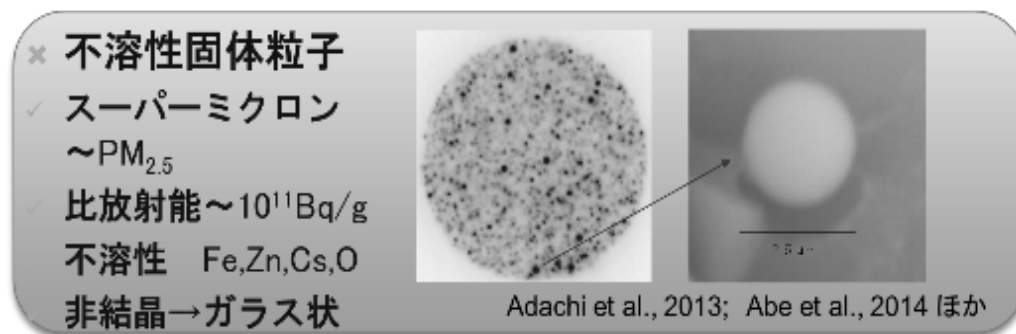


図7. 不溶性球状 Cs 粒子の性状まとめと電子顕微鏡像

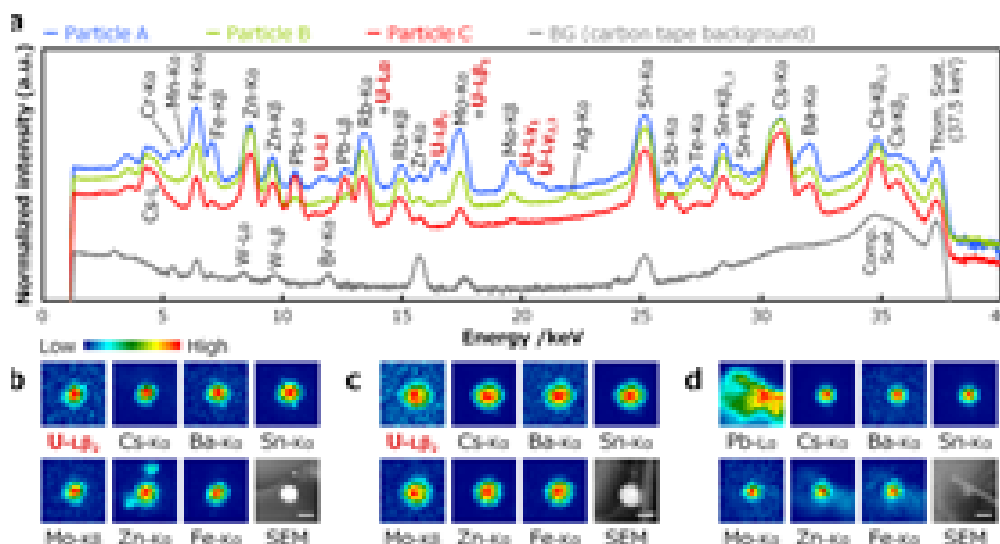


図8. 不溶性球状 Cs 粒子の u-XRF 結果と電子顕微鏡像

- ・ 放射性物質の沈着直後の再飛散係数(沈着量に対する再飛散量率比)を求めた(A01-1 班と共同研究)。
- ・ 再飛散は沈着した Cs の減少や移動にほとんど寄与しないことがわかった。また, 再飛散 Cs 濃度は, 里山地点では夏季に濃度が上昇し, 冬季には低く, 夏季の Cs 担体は, 大部分が生物由来であることを見出した。(A01-1 班 A03-6班と共同)

「大気試料の組織的捕集と放射能分析」

- ・ 浪江高校などで観測継続、計一万試料以上を分析(気象研、東工大、阪大)
- ・ 濃度・降水量・粒径分布の変動(Igarashi et al., PEPS, 2015, Kinase et al., PEPS, in review)
- ・ 沈着直後の再飛散(Igarashi et al., PEPS, 2015)

- ・昼・夜サンプリング、雨天・晴天サンプリング、高度別サンプリング (Manuscripts in preparation)
- 「一次放出の解明」
- ・不溶性 Cs 粒子の表土などからの単離、発生源の違い等 (Satou et al., 2016; 小野ほか, 2017)
- ・Cs 粒子の内部構造解明 (Yamaguchi et al., Sci. Rep., 2016)
- ・SPring-8 での X 線分析による性状解明 (重元素含有、高酸化状態、非晶質) (Abe et al., 2014)
- ・中性子捕獲で生成する核種 S-35 観測、輸送モデル開発 (Danielache et al., 2012; Priyadarshi et al., 2013)
- ・不溶性球状 Cs 粒子の発見 (IP 黒点より分離、数 Bq、球状、Fe, Zn, Cs, O などの特異な組成) (Adachi et al., 2013)
- 「二次放出の解明」
- ・浪江高校での観測+ダストフラックスの定式化、観測で検証 (Ishizuka et al., 2017)
- ・多数成分の分析+PMF (ソース・レセプタ解析) 手法やインパクターサンプリング手法での発生源の特定は、うまくいかない+バイオエアロゾルの夏季における寄与可能性 (Kinase et al., PEPS, in review)
- ・バイオエアロゾル (真菌孢子類を含む) によるセシウム再浮遊 (Manuscripts in preparation)
- ・昼・夜サンプリング、抽出操作、過熱操作等々による放射性粒子の変化 (Manuscripts in preparation)
- ・エアロゾル ICP-MS 現場観測データの解析 (Manuscripts in preparation)
- ・植物葉表面からの再飛散に関する研究 (in preparation)
- ・同じ期間での雨天・晴天サンプリングにより見出された、降水時間帯におけるセシウム高濃度事象の発見 (in preparation)
- 「大気モデルの精度向上・再飛散過程モデル化」
- ・再飛散の長期挙動予測新規スキームの考案等 (in preparation)
- ・再飛散過程のモデル化 (Ishizuka et al., JER, 2017)
- ・再飛散と沈着の福島第一原発事故サイトからの遅れた一次放出を含む収支解析・森林からの放出モデル化 (Kajino et al., ACP, 2016)
- ・放射性物質の滞留半減期とその要因解明 (Aoyama et al., 2012; 2015)
- ・逆解析による放出量推定、アンサンプル解析 (Sekiyama et al., 2015)
- ・Cs の物理・化学性状の違いによる沈着過程の解明 (Adachi et al., Sci. Rep., 2013)

研究項目 A02 放射性物質の海洋への影響

A02-3 (海洋班)

北太平洋における福島第一原子力発電所事故由来放射性セシウムの輸送の三つの主要な経路と輸送の様相を明らかにした。1)北太平洋海流によって北太平洋中緯度域を、およそ一日当たり 7 km の速度で東に輸送され、事故後一年で太平洋中央部日付変更線に達した。モデルシミュレーションによる再現計算でも、表層においては北太平洋で観測された放射性セシウムの輸送の様相と良好な一致を示した。2)北太平洋亜熱帯モード水の沈み込みに伴って亜熱帯域の亜表層を南に運ばれた。3)中央モード水の沈み込みにより海洋内部に運ばれ東方向に移動した。

- ・ 福島第一原子力発電所近傍海域における放射性セシウム， ^3H ， ^{90}Sr ， ^{129}I ， Pu の動態を明らかにした。外洋域における粒状態放射性セシウムの鉛直輸送と大陸棚斜面での水平輸送を明らかにした。
- ・ 事故による海洋への直接漏洩率(Bq/day)を推定した。2011年3月26日に直接漏洩が開始し，最初の12日間は 2.2×10^{14} Bq/dayであった。その後，指数関数的に減少し，海側遮水壁閉合の直前では， 10^9 Bq/dayのオーダーまで低下したことを明らかにした。

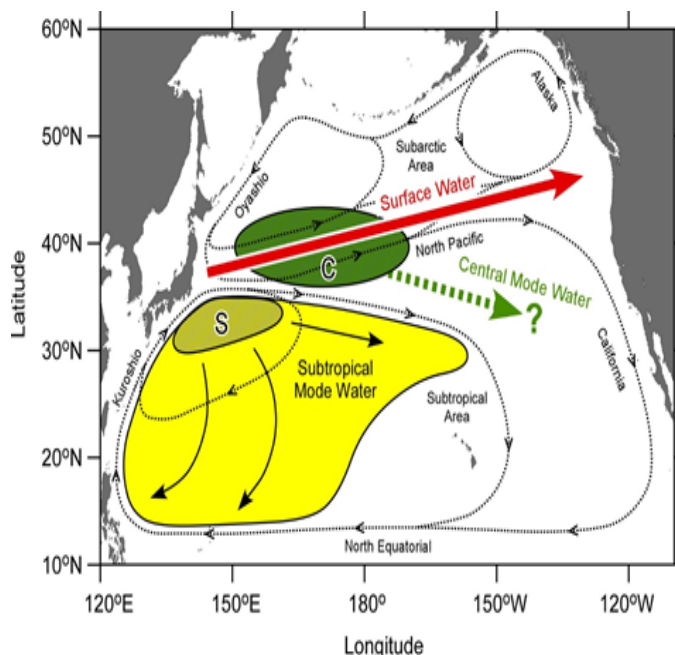


図9．放射性セシウムの輸送経路

A02-4 (海洋生物班)

- ・ 動物プランクトン群集の放射能について，海域や深度による変化および経時的低下が予想よりはるかに遅れていることについて，亜熱帯モード水の高い放射能との関連を中心に検討した。(A02-3と共同)
- ・ 福島沿岸海域生態系におけるセシウム放射能の時系列データセットと，A02-3の海水および放射能変動シミュレーションを基盤に，生物群集の放射能推移のシミュレーションによる再現を行った。その結果，有機態堆積物から底生魚類への放射能移行が強く示唆された。(A02-3と共同)

- ・沿岸域生態系への継続的な放射能移行経路として考えられる発電所からの継続流出の影響について、港湾の海水交換率の推定にもとづく定量的評価を行い、生態系への有意な影響は限定された海域でのみ有意であることを示した。

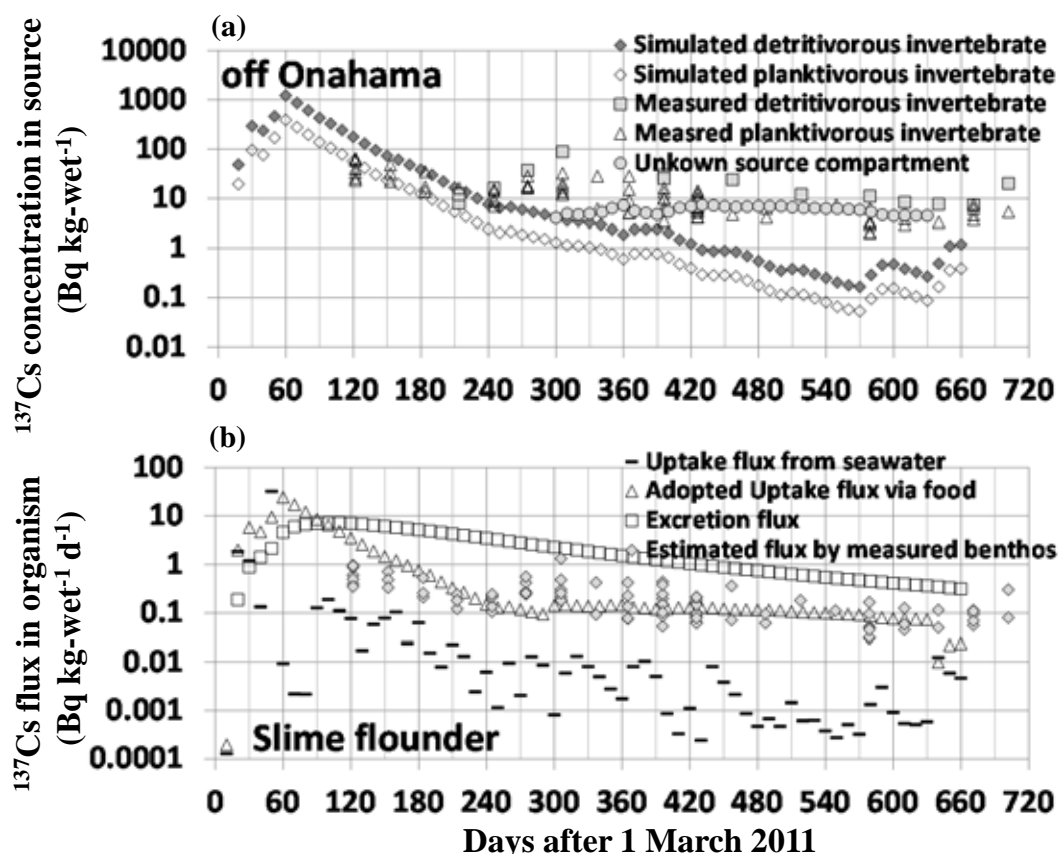


図10. ベントスにおける理論的経時濃度再構築レベルと実測値(上)、および底生魚への移行フラックス(下)

研究項目 A03 放射性物質の陸域での移行

A03-5 (陸域班)

「森林から水・落葉を通じた放射性物質の環境への移行とモデル化」

- ・森林渓流水における溶存態のセシウム ^{137}Cs 濃度は二重指数関数的な低下傾向を示し、2011年10月以降現在まで Second phase の緩やかな低下傾向を示している。Second phase における指数関数の係数は $-1.0 \sim -0.14$ (T_{eff} は $0.7\text{-}5.0\text{ y}$) の値を示した。
- ・SS では指数関数の係数は $-0.35 \sim -0.18$ (T_{eff} は $2.0\text{-}3.9\text{ y}$)、粗大有機物では $-0.97 \sim -0.14$ ($0.70\text{-}2.3\text{ y}$) の値を示し、除染が行われた疣石山ではSSのセシウム濃度に顕著な低下が見られた。
- ・いずれの流域でも、セシウム ^{137}Cs 流出フラックスにおいて全体を通してSSが総流出量の97%以上を占め、森林流域からの放射性セシウムの主な流形態となっている。

河畔域のリターを用い、溶出実験を行った結果、セシウム 137 の溶出量は浸水時間が増加するとともに減少傾向を示し、攪拌速度により変化することが示唆された。

- ・ 森林生態系内における、セシウムの分布とフラックスを明らかにした。・ 杉によって初期に遮断されたセシウムの多くは地上に移行した。・ 放射性セシウムと安定セシウムはまだ平衡に達していない。・ 杉による放射性セシウムの、経根吸収はトータルフラックスにおける 1%程度である。
- ・ さまざまな土地利用区画から流出する土砂の ^{137}Cs 濃度の測定を行った。未耕作畑・耕作畑・草地・森林では土壌侵食観測プロットから流出した土砂、水田では代掻き時の田面水中の浮遊砂および長期観測水田の流出口における浮遊砂サンプラーに捕捉された浮遊砂の ^{137}Cs 濃度の測定を行った。・ 各土地利用についての ^{137}Cs 濃度およびその時間変化傾向について以下の結果が得られた。未耕作畑 (3 プロット) では、各プロットの Sc 平均値は 0.0079~0.063 であり、おおむね低下傾向を示した。耕作畑 (3 プロット) では、Sc 平均値は 0.0065~0.0170 であり、未耕作畑に比べて低く、低下傾向は見られなかった。草地 (4 プロット) では、Sc 平均値は 0.063~0.024 であり、地点によって ^{137}Cs 濃度およびその変化傾向の差が大きかった。森林 (1 プロット) では 0.085 であり、比較的高い値であり、若干低下傾向が見られた。水田では 2011 年の 5 月の 0.24 から急激に低下し、2016 年には 0.018 まで低下し、その時間変化は三重指数関数によって表された。
- ・ 中程度汚染地域における渓流水を通じたセシウムの流出として栃木県那須塩原市の森林小流域に観測地点を設けて、林外雨、林内雨、渓流水、リターの定期的な観測・サンプル採取を実施した。渓流水の Cs-137 は 0.003~0.116 Bq kg⁻¹ までの値を示した。また、平水時に比べ出水時において高濃度の Cs-137 が認められた。

「河川・湖沼・海洋への流出量とモデル化」

- ・ 河川 30 地点での観測、阿武隈川本線の SS のセシウム濃度変化をチェルノブイリのプリャチ川と比較すると 2 年目以降は 1 桁くらい低い。溶存態の濃度変化を Smith のデータの範囲と比較すると、阿武隈川本線は Smith の値に近いが支流は 1 桁下がる。Kd は初期からほとんど変わってなく、Kd の値をみても濃度変化は、fixation とは考えにくく、セディメントソースと推測される。初期を k1 として、k2, k3 に書き直したところ、K2 については土地利用で説明できる部分もある。

・阿武隈川黒岩での溶存態・懸濁態の継続測定。懸濁物乾重量 1kg 当たり含まれるセシウム 137 濃度は、2012 年には 10,000 Bq を超える値が観測されたが、減少が続き 2015 年以降数千 Bq で横ばい傾向となった。河川水 1 リットル当たりのセシウム 137 濃度 (Bq/L) は、夏季に増加し、冬季に減少する変動を示しつつ、長期的には低下傾向が見られた。阿武隈川黒岩と祓川とを比較すると、懸濁物乾重量あたり、および溶存態のセシウム 137 は祓川の方が高い値が続いた。Kd は水中の溶存有機物濃度との関係が見られたが、NH₄⁺ および K⁺ との関係はみられなかった。Kd の値は低下傾向が見られた。これは、溶存態のセシウム 137 の濃度低下傾向が、懸濁態セシウム 137 の濃度低下よりも緩やかであることによる。

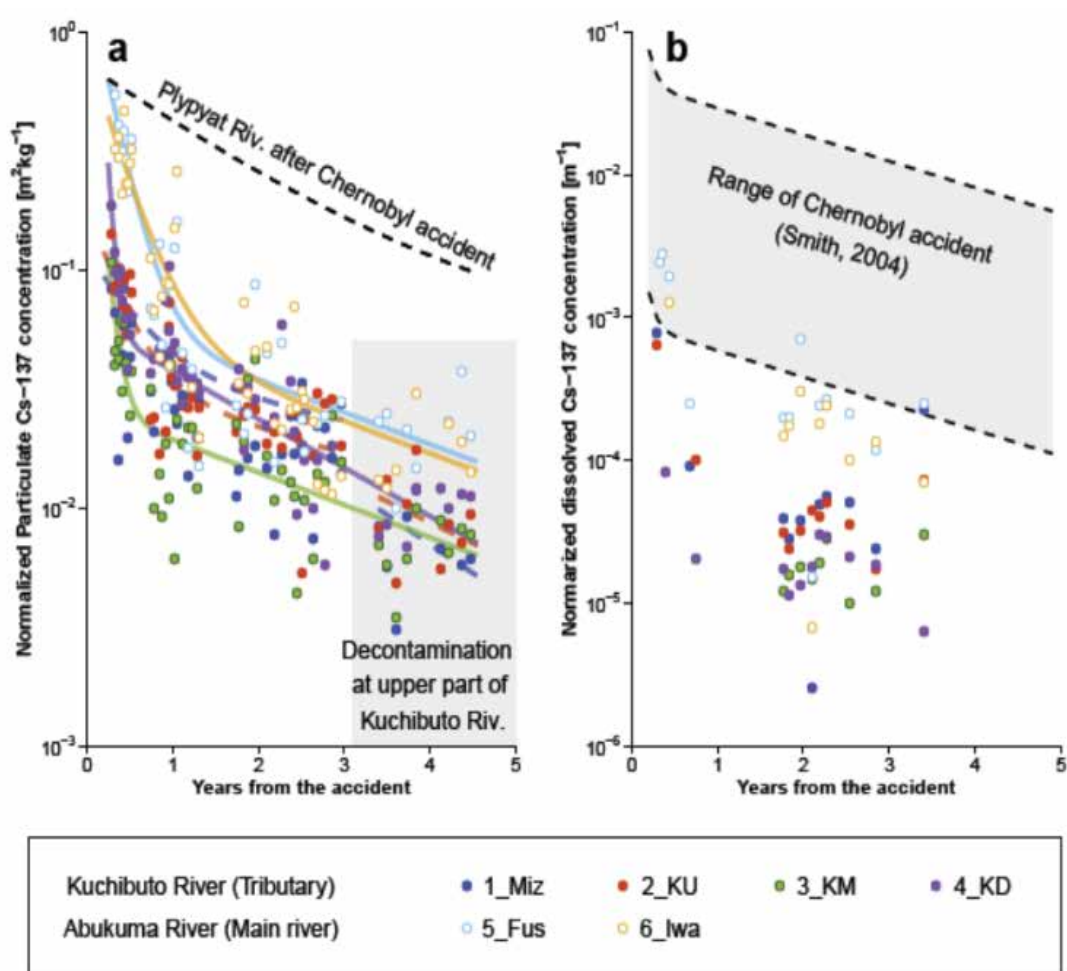


図11. 阿武隈川におけるSSのセシウム濃度変化とプリピャチ川、チェルノブイリとの比較

・懸濁態として輸送される放射性核種の環境動態を数値モデル化し、特に河川領域におけるセシウム 137 の移行過程について把握するとともに、海域へのセシウム 137 移行量、タイミング等について推定することを試みた。一次元モデルによる検討より、懸濁態として河川領域に輸送されたセシウム 137 は、9 割以上が河川内に堆積すること

なく海域に輸送されること、また海域への輸送量については上流から供給される懸濁態セシウム ^{137}Cs 濃度の時間的減衰に大きく影響を受けることが明らかとなった。二次元モデルによる検討では、まず阿武隈川高水敷において実施された土砂サンプルから明らかとなったセシウムの堆積分布との比較検討により、モデルが十分な予測精度を持って河川内のセシウム移行過程を再現できること明らかにした。

- ・ 網羅的分析アプローチによる自然水中での放射性セシウムの存在形態と溶出機構の解明。阿武隈川の微細浮遊砂・底泥(<2mm)に含まれる RCs は、有機炭素・窒素含有量と非常に高い相関があった。RCs は、BET 表面積と高い相関がある一方で、レーザー回折から測定した粒子サイズと表面積とは低い相関であった。比重分離サンプルについても、RCs は BET 表面積と有機物と高い相関を示した。有機物除去後も RCs は変わらずに残存していたため、底泥・浮遊砂中の RCs は有機物に直接吸着しているわけではない。
- ・ 河川浮遊砂 (31 地点) の粒子の歩放射性セシウム補足ポテンシャル (RIP)、固液分配係数 (Kd)、比表面積、イオン交換容量、鉱物組成、有機物濃度を測定した。RIP は、採取した河川流域の土壌の平均 RIP と相関しており、河川の後背地の土壌の RIP を反映することが示された。RIP あるいは Kd に与える比表面積、イオン交換容量、鉱物組成 (XRD のピーク強度から(雲母)/(石英)比として算出)、有機物濃度の影響を調べるために、多重回帰分析を行った。その結果、有機物濃度に対して負の相関を示し、それ以外の比表面積、イオン交換容量、鉱物組成に対しては、正の相関を示すことが分かった。

「河川・湖沼・海洋への流出量とモデル化」

- ・ 霞ヶ浦・日本各地の湖沼・蓬莱ダムのセシウム濃度およびフラックス 霞ヶ浦における放射性セシウムの堆積状況の変化と収支、2011 年 7~8 月の航空機モニタリング結果を補間して推定した ^{137}Cs 湖面降水量に対して、同年 9 月の 3 地点の ^{137}Cs インベントリーの平均的な割合は約 70%であった。湖心における ^{137}Cs インベントリーは、2011~2014 年に増加し、その後は横ばいで推移している。一方、底質表層の ^{137}Cs 濃度(放射壊変補正済み)の減衰係数は 0.18y^{-1} であった。5 湖沼(曾原湖、小野川湖、涸沼、霞ヶ浦、北浦)で 2011 年 9 月以降に採取した底質コアの情報から、 ^{137}Cs インベントリーは概ね増加傾向だが、曾原湖ではほぼ横ばいであった。5 湖沼の ^{137}Cs 鉛直分布は大きく異なっており、霞ヶ浦・北浦では底質堆積速度から予想される深度よりかなり深くまで ^{137}Cs の侵入がみられた。
- ・ 新田川における懸濁粒子中の ^{129}I 濃度は $0.92\text{--}4.1\text{ mBq kg}^{-1}$ であり、月別懸濁物質量と相関があった ($R^2=0.88$)。降水量が多かった 2013 年 9~10 月の粒子状 ^{129}I フラックスは $7.6\text{--}9.0\text{ kBq month}^{-1}$ と推定され、放射能汚染の強い上流域から土砂の運搬に付随して粒子状 ^{129}I が多量に輸送された。新田川沖表層堆積物中の ^{129}I 濃度は $5.8\text{--}8.4\text{ }\mu\text{Bq kg}^{-1}$ であり、河川中の懸濁物質より 2~3 桁低かった。河口から 2 km 内において、

河川から放出された粒子状 ^{129}I は、海底堆積物の侵食などにより堆積しにくかった可能性が考えられた。2014年7月における海水中の溶存態 ^{129}I は $0.12 - 2.2 \mu\text{Bq L}^{-1}$ であり、表層の濃度はこれまでの報告の中で最も高かった。シロメバルの ^{129}I は $42-48 \mu\text{Bq kg}^{-1}$ であり、現場の海水より 20-400 倍高かった。事故直後における海水の高い ^{129}I 濃度の保存の可能性が考えられた。 ^{129}I の生態学的半減期を求めることを含め、更なる検討が必要である。

- ・阿武隈川からのセシウム輸送量の初期見積もりを行い、2011年8月10日から2012年5月11日の期間において、この盆地の河川流域で輸送された放射性セシウム全体の84~92%が粒子態で運ばれたと推定された。2011年9月の台風15号によって陸域から沿岸域に流下した放射性セシウムは6.18テラベクレル(TBq)観測期間に沿岸域へ放出された全フラックスの61.4%に相当する観測期間全体では ^{137}Cs が5.34 TBq、 ^{134}Cs が4.74 TBqであり、阿武隈川流域全体に降下したと推定される全放射性セシウム(890 TBq)の1.13%に相当することが推定された(Yamashiki et al. 2014)。

A03-6 (森林生態班)

- ・植物における放射性Csの吸収・輸送過程の解明：公募・福島と連携・事故直後の植物への放射性Csの吸収には、葉面や樹皮からの表面吸収の寄与が大きかったことを明らかにした(Sugiura et al., 2016; Wang et al., 2016)。また、放射性Csの樹木内動態についてカリウム輸送に関わるCs遺伝子の解析を行い、経根吸収および表面吸収由来の放射性CsがSKOR遺伝子の発現変動を介して輸送されるという新たな機構を提示した(Noda et al., 2016)。
- ・地表の菌類による放射性Cs輸送について、落葉広葉樹林において地表の菌類が放射性Csを上方輸送してリター層に移行させることを明らかにした(Huang et al., 2016)。
- ・昆虫・動物における放射性Csの蓄積・ジョロウグモがその生態系における放射性Cs汚染の指標となることを示唆し(Ayabe et al., 2014)、また、ジョロウグモにおける放射性CsはKよりもNa濃度と関係があることを明らかにした(Ayabe et al., 2015)。シカにおける放射性Csは、糞に多く含まれていることが明らかとなった(小金澤ら, 2013)。
- ・森林における放射性Csの長期的な予測、スギとコナラ林におけるさまざまな構成要素に分布する放射性Cs量の変化のモデルを作成した(Kanasashi, 投稿中)。
- ・B02(公募・加藤)森林に降下した放射性セシウムの初期遮断率の広域評価：A03-5と共同研究、A03-6と連携・スギ林のほうがアカマツ・コナラ混交林及び落葉広葉樹林よりも放射性セシウムの樹冠遮断率が高く、大気から沈着した放射性セシウムは常緑針葉樹の樹冠により効率的に捕捉されていることを明らかにした(Kato et al., 2017)。

- ・ B02 (公募・Vasyl Yoschenko) Study of stable cesium for the long-term prognosis of radiocesium cycling in forest ecosystems after Fukushima NPP accident : A03-5 と共同研究, A03-6 と連携. 安定セシウムの分布と比較するにより, 放射性セシウムの森林生態系での動態の現状を調べ, 2016 年の段階でまだ非平衡状態であることを明らかにした。
- ・ B02 (公募・高橋) 間伐施業が森林生態系の放射性セシウムの循環に及ぼす影響の定量的評価 : A03-5 と共同研究, A03-6 と連携, 間伐作業が, 土壌中の放射性 Cs の分布に影響を与えることを明らかにした (Takahashi et al., 2015)。

研究項目 A04 移行に伴う放射性物質の存在形態および測定技術の開発

A04-7 (化学形態班)

- ・河川から海水に流入した懸濁粒子からの放射性セシウム(Cs)の脱着を推定するために, 室内吸脱着実験で得た固液分配係数 K_d による脱着量の推定, 天然系での実験, Generalized Adsorption Model によるイオン交換モデルによる推定を行った (Fan et al., 2014; Sakaguchi et al., 2015; Fan and Takahashi, 2017)。
- ・福島原発由来の環境試料中のアクチノイド核種の定量を行い, 原発からの放射性核種の放出過程や環境中への輸送・沈着過程の解析を行った (Yamamoto et al., 2012, 2014, 2015; Sakaguchi et al., 2012, 2014)。放射性微粒子中の U・Cs 同位体比測定から, これらが燃料メルトから放出されたことを明確にした。
- ・大気環境モニタリングのために自動採取されていた大気浮遊塵試料 (SPM 捕集ろ紙) を回収し, その中に含まれる放射性 Cs 定量すると共に, 放射性ヨウ素 (I) については加速器質量分析計を用いた分析法を開発し, その結果から, Cs や I の環境中への拡散過程を明らかにした (Oura et al., 2015a, 2015b)。
- ・土壌・堆積物中の Cs や I の化学状態を選択的抽出法や XAFS により明らかにした。XAFS による局所構造により Radiocesium Interception Potential が持つ意味を明確にした (Tanaka et al., 2012, 2014; Qin et al., 2012; Fan et al., 2014)。X 線顕微鏡の開発により懸濁粒子中の有機物の解析を行った (Suga et al., 2014)。
- ・河川などにおける放射性セシウムのモニタリングを行い, 関連する分析法の開発などと共に, その固液分配の経時変化などを報告した (Nagao et al., 2013, 2015, Mori et al., 2017; Ochiai et al., 2015; Matsunga et al., 2015)。

A04-8 (測定技術開発班)

- ・主に大気中の放射性核種について, 他班との共同研究で 5 年間にわたる長期観測を実施した。この研究により, 2013 年に太平洋側で観測された高濃度のイベントの存在が明らかとなるなど, A01 班の成果の基盤が得られた。また, Sr や Am といった難測定放射性核種の定量法の開発, 環境試料からの定量についても成果を得た。特に大気中

^{90}Sr の分析では汚染イベントごとに濃度比が変化することを明らかにした (A01-01, A01-02, A04-07 と共同)

・事故時に原子炉から放出された放射性核種の化学形態は、その後の環境中の拡散過程、沈着過程とその後の環境動態に大きく影響する。本研究では事故を模擬した実験システムの開発を行い、核分裂反応により生成する元素の高温下での揮発過程、環境中で発見されている不溶性の放射性粒子の生成模擬実験、放射性核種の様々なエアロゾルへの吸着とその運搬過程について調べた。 ^{252}Cf 線源を用いた核分裂核種の吸着実験から、図に示すように、放射性核種の吸着に平衡過程が存在することを明瞭に示した。

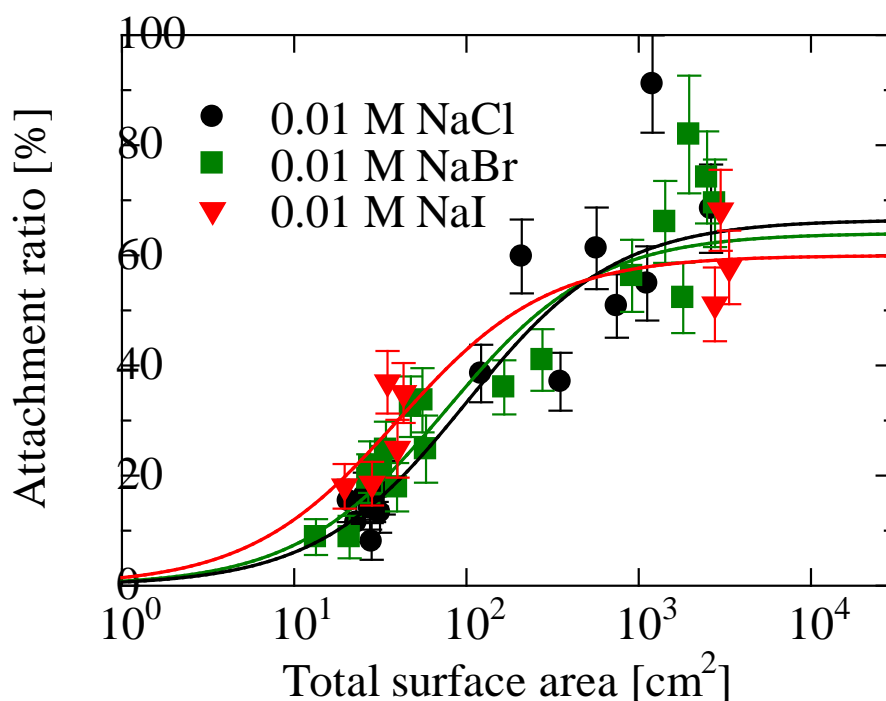


図12. 放射性核種の吸着率とエアロゾル表面積の関係

ホームページによる情報公開状況

ISET-R: 福島原発事故により放出された放射性核種の環境動態に関する学際的研究
<http://www.ied.tsukuba.ac.jp/hydrogeo/isetr/index.html> , News Letter の発行 10 件(日英版 各通算)

論文位置情報を示す Meta-data base の公開準備中。

シンポジウム開催

福島原発由来の放射性核種の環境動態に関する分野横断シンポジウム

2015 年 1 月 9-10 日 筑波大学 合計 125 名参加

IAEA 2nd Proficiency Test Japan Meeting 結果報告会

2014 年 3 月 24 日 筑波大学 合計 40 名参加

福島第一原子力発電所事故由来放射性物質調査研究 分野横断ワークショップ

2014 年 3 月 15-16 日 筑波大学筑波キャンパス総合研究棟 A110 (※世話人として運営を担当)全体会議の様子を U-stream で配信 (<http://www.ustream.tv/channel/alltsukuba2014>) 合計述べ 117 名参加

シンポジウム「原発事故から 7 年、放射能汚染の状況はどこまで改善したのか」

2018 年 3 月 10 日 日本科学未来館 7 階 未来館ホール 合計 240 名参加

IAEA-CRP 専門委員会

津旨大輔、青山道夫、立田穰、猪股弥生 Long Term Behavior of Artificial Radionuclides in the Marine Environment in the Pacific Ocean: Past and Present Status of Radiocaesium in the Marine and Marine Ecology.-Modeling- 2017/6/19-23. IAEA Environmental Laboratory (Monaco)

山田正俊.海に流れ出した放射性物質はどこに行ったのか? シンポジウム「原発事故から 7 年、放射能汚染の状況はどこまで改善したのか」, 2018 年 3 月 10 日, 日本科学未来館(東京都江東区)

第 11 回大気バイオエアロゾルシンポジウム, 2018 年 2 月 20 日~2018 年 2 月 21 日、信州大学長野(工学)キャンパス信州大学国際科学イノベーションセンター(長野県長野市)

Ibaraki Univ.-IRSN international workshop on atmospheric radio-caesium and bio-aerosol emission, 2017 年 2 月 19 日、茨城大学ライブラリホール(茨城県水戸市)

市民向け公開講演等

科研費新学術領域研究若手講習会(A01-1, 2 班共催)「福島第一原発事故による放射性物質

の環境汚染シミュレーションに関する講習会」, 第1回:平成25年10月28日-29日;
第2回:平成26年8月19日;第3回:平成27年8月25日, 場所:東京大学情報
基盤センター, 参加者:のべ120名

公募班(張)の研究グループは松川浦等をフィールドとして, 漁業従事者の方々や及び漁業
協同組合職員の方々の多大なご理解・ご協力のもと研究を行った。研究期間内に5回の
経過報告会を開催した。

「福島第一原子力発電所事故から現在まで海洋学の視点」藤沢市放射能測定器運営協議会
学習会, 平成28年11月12日, 藤沢市民会館, 藤沢市(海洋研究開発機構 熊本雄一
郎)

「福島第一原子力発電所事故と海」地球情報館公開セミナー 第191回, 平成27年7月18
日, JAMSTEC 横浜研究所, 横浜市(海洋研究開発機構 熊本雄一郎)

「福島第一原子力発電所事故起源放射性物質の海洋への影響:最新の研究動向」日本放射線
影響学会第56回大会市民公開講座 平成25年10月20日 青森市(弘前大学 山
田正俊)

「福島原発事故により放出された放射能核種の環境動態に関する学術調査(招待講演)」
平成25年10月21日-23日 第3回CSJ科学フェスタ(筑波大学 恩田裕一)

「Terrestrial Trasfer of fallout radionuclides by geomorphological process by Fukushima NPP
accident(招待講演)」平成25年7月23日 Joint Assembly of IAHS-IAPSO-IASPEI,
Gothenburg(Sweden)

北海道大学水産学部「海のナビゲーター」・「海のプロデューサー」人材養成プログラムワー
クショップ、「福島第1原子力発電所沖の海と生物の現状」平成27年8月8日(土)
函館市国際水産・海洋総合研究センター大会議室
(講演)

「おしよる丸による震災対応航海について」(今井 圭理)

「福島沖海洋生態系の放射能汚染」(石丸 隆)

「東電福島第一原発事故による福島県沿岸から太平洋全域での放射能汚染」(青山 道夫)

TV 報道

NHK 総合「放射能汚染からの漁業再生～福島・浜通り Part3～」平成28年9月18日(石丸
隆)

NHK 総合「放射能汚染からの漁業再生～福島・いわき市 Part2～」平成27年7月19日(神
田穰太)

サイエンスゼロ「No. 489 シリーズ原発事故(13) 謎の放射性粒子を追い！」
<http://www.nhk.or.jp/zero/contents/dsp489.html>, 平成 26 年 12 月 21 日放送(気象研究所:
足立, 五十嵐, 梶野, 東京理科大: 中井, 筑波大学: 末木)

NHK 総合「放射能汚染からの漁業再生～福島・いわき市～」平成 26 年 6 月 22 日(神田穰
太)

福島中央テレビ「Cs ボール」について 平成 25 年 12 月放送(気象研究所 足立光司)

東日本大震災「空白の初期被ばく～消えたヨウ素 131 を追う」平成 25 年 1 月 12 日 NHK
スペシャル(鶴田治雄・滝川雅之)

「Fukushima forests found to be radioactive」平成 25 年 3 月 10 日 Al Jazeera English(筑波大
学 恩田裕一)

「消えない放射能-最悪事故が残す汚染の実態」平成 24 年 9 月 17 日 TBS テレビ・震災報
道スペシャル
(筑波大学 恩田裕一)

「“目に見える”放射性物質の粒、福島の川で確認」平成 30 年 3 月 7 日 TBS NEWS

「原発事故 7 年“謎の放射性粒子”徐々に判明」平成 30 年 3 月 6 日 日テレ NEWS24

「セシウムボールを福島県内の川で発見」平成 30 年 3 月 8 日 TBS ニュースバード・
News 23(高橋嘉夫・栗原雄一・三浦輝ほか)

新聞報道

「震災 5 年 放射性物質薄まった海洋」読売新聞 平成 28 年 3 月 20 日(神田穰太、石丸
隆)

「福島第一放射性雲 2 度の拡散裏付け」で、SPM データの解析結果(原子力規制庁委託事
業報告書)について報道。平成 26 年 9 月 6 日 朝日新聞・毎日新聞記事(大気海洋研・
首都大学東京のグループ)

「がれき粉じん 7 回宮城へ」で、宮城県丸森町での長期大気観測で、放射性セシウムが高濃
度になった原因についての報道。平成 26 年 7 月 31 日 朝日新聞記事(中島映至ら)

「Mishaps Underscore Weaknesses of Japanese Nuclear Plant」平成 25 年 4 月 10 日, The New
York Times,(神田穰太)

「東大、チェルノブイリと福島の河川水中の放射性セシウムの水への溶け易さの違いを解明」平成 29 年 9 月 29 日 日本経済新聞（他に、福井新聞、静岡新聞、河北新報、神戸新聞、四国新聞、長崎新聞、京都新聞、日刊工業新聞、澎湃新聞（中国）などが同様の記事を配信）（高橋嘉夫）